
銚子市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査・
介護サービス事業所等実態調査
結果報告書

令和8年3月

銚子市

目次

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査の概要等.....	2
(1) 調査の背景と目的.....	2
(2) 調査の実施概要.....	2
(3) 本報告書の見方.....	2
2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	3
属性（日常生活圏域・性別・年齢・要介護認定）.....	3
問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について.....	6
問2 からだを動かすことについて.....	13
問3 食べることについて.....	19
問4 毎日の生活について.....	26
問5 地域での活動について.....	36
問6 就労について.....	43
問7 たすけあいについて.....	45
問8 日常生活での困りごとについて.....	52
問9 健康について.....	56
問10 これからの生き方や市の取組について.....	64
問11 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	68
問12 認知症に対するイメージについて.....	70
問13 成年後見制度について.....	73
3 介護予防判定.....	75
(1) 生活機能.....	75
(2) 日常生活・社会生活.....	84
4 日常生活圏域ごとの地域特性.....	89
(1) リスク該当者等の圏域別回答割合.....	89
(2) 調査結果から見える地域特性.....	91

Ⅱ 介護サービス事業所等実態調査

1 調査の概要等.....	94
(1) 調査の背景と目的.....	94
(2) 調査の実施概要.....	94
(3) 本報告書の見方.....	94
2 介護サービス事業所等実態調査結果.....	95
(A 票) 介護サービス事業所等実態調査.....	95
1 貴事業所について.....	95
2 地域との関わりについて.....	97
3 事業所運営について.....	98
4 人材の確保・育成について.....	103
5 地域で不足するサービスについて.....	112
6 新規参入意向について.....	116
介護職員に関する調査結果.....	117
(B 票) 在宅生活改善調査.....	122
在宅生活改善調査 利用者票.....	129
(C 票) 居所変更実態調査.....	137

Ⅲ 調査票

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	146
介護サービス事業所等実態調査.....	162
(A 票) 介護サービス事業所等実態調査.....	162
(B 票) 在宅生活改善調査.....	173
(C 票) 居所変更実態調査.....	178

I 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

1 調査の概要等

(1) 調査の背景と目的

要介護状態になる前の高齢者リスクや社会参加状況を把握した情報を基に地域の抱える課題を特定することを目的に実施します。介護予防・日常生活支援総合事業の管理及び運営に活用するとともに、銚子市第10期介護保険事業計画における介護予防・日常生活支援総合事業にかかる部分に反映いたします。

(2) 調査の実施概要

アンケート調査は、65歳以上の介護認定を受けていない方及び要支援認定を受けた方を対象としています。

高齢者の基本的な属性を把握するため、調査票にラベルを貼り付け、標本名簿と照合できるようにした記名式による調査としています。調査結果については統計的処理を行った上で公表することでプライバシーを確保することを説明して、アンケート記入を依頼し、ご本人が記入することが難しい場合はご家族などに本人の意思を汲み取って代筆していただくよう説明文に記載して、アンケート記入を依頼しています。

回答いただいた調査票は個人情報が含まれているため、法令を遵守した取り扱いを行っています。

調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
対象者	①65歳以上の一般高齢者 ②要支援認定を受けている65歳以上高齢者
対象者数	18,281人
抽出方法	層化無作為抽出
調査方法	郵送配付・郵送回収
実施時期	令和8年1月5日～令和8年2月2日
回収結果：配布数 有効回収数 有効回収率	3,000 2,223（無効票2票を除く） 74.1%

(3) 本報告書の見方

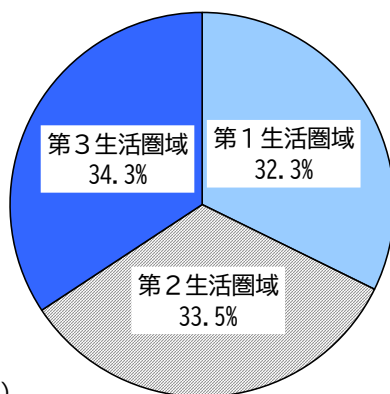
- アンケートの選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- 文章中で選択肢を引用する場合は「」を用いており、合計値等を表す場合には『』を用いています。
- 調査結果の回答比率（％）は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、四捨五入の関係で回答比率の合計は100％にならない場合があります。
- 回答者が2つ以上回答することができる設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100％を超えることがあります。
- 「n」は、その設問への回答者数を表します。
- 「圏域」「生活圏域」とは「日常生活圏域」を指しており、本市は3つの日常生活圏域に分かれています。なお、属性（日常生活圏域、性別、年齢、要介護認定）不明の回答票が10票含まれているため、全体の回答者数と属性別の回答者数の合計が異なっています。

2 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

属性（日常生活圏域・性別・年齢・要介護認定）

日常生活圏域

第1生活圏域が 32.3%、第2生活圏域が 33.5%、第3生活圏域が 34.3%となっており、同程度の割合となっています。



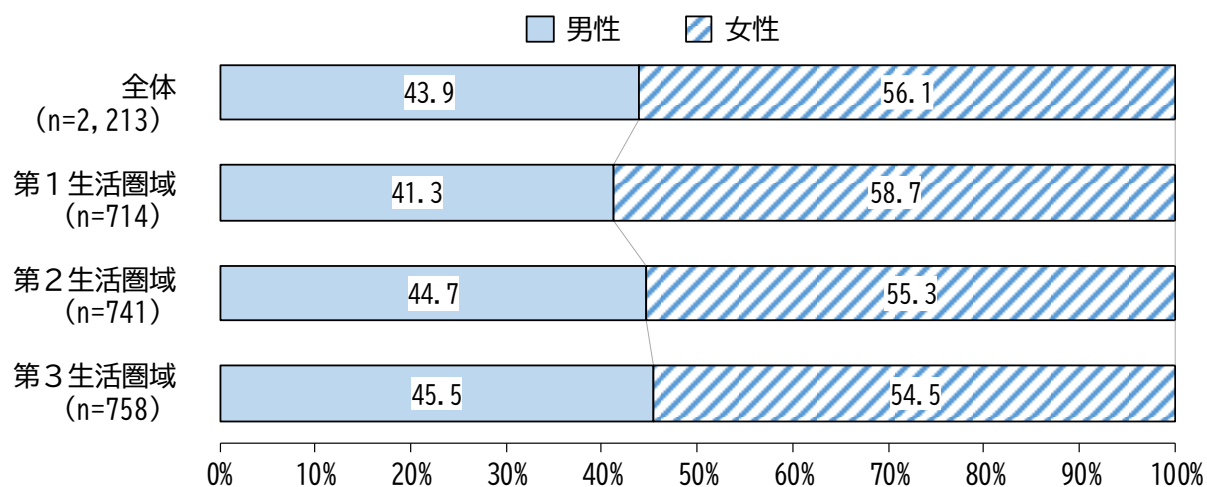
(n=2, 213)

	第1生活圏域	第2生活圏域	第3生活圏域
町 丁 名	外川町 1・2・3・4・5 丁目 外川台町 長崎町 犬吠埼 君ヶ浜 犬若 潮見町 高神東町 高神西町 天王台 高神原町 小畑町 小畑新町 名洗町 川口町 1・2 丁目 植松町 明神町 1・2 丁目 笠上町 黒生町 海鹿島町 榊町 愛宕町 清水町 幸町 1・2 丁目 弥生町 1・2 丁目 本町 仲町 通町 橋本町 港町	栗島町 内浜町 竹町 和田町 田中町 新地町 浜町 後飯町 飯沼町 東町 馬場町 南町 陣屋町 前宿町 新生町 1・2 丁目 中央町 末広町 双葉町 妙見町 台町 東芝町 西芝町 栄町 1・2・3・4 丁目 若宮町 大橋町 三軒町 唐子町 清川町 1・2・3・4 丁目 八幡町 東小川町 西小川町 南小川町 北小川町 春日町 春日台町 上野町 三崎町 1・2・3 丁目 松本町 1 丁目 長塚町 6・7 丁目 松岸見晴台 垣根見晴台 見晴台 新町 八木町 小浜町 親田町 常世田町	今宮町 松本町 2・3・4・5・6 丁目 本城町 1・2・3・4・5・6 丁目 長塚町 1・2・3・4・5 丁目 松岸町 1・2・3・4 丁目 垣根町 1・2 丁目 柴崎町 1・2・3・4・5・6・7 丁目 四日市場町 四日市場台 余山町 三宅町 1・2・3 丁目 赤塚町 高野町 芦崎町 高田町 1・2・3・4・5・6・7 丁目 岡野台町 1・2・3・4 丁目 三門町 中島町 1・2 丁目 正明寺町 船木町 白石町 野尻町 小船木町 1・2 丁目 塚本町 忍町 猿田町 茶畑町 長山町 小長町 富川町 森戸町 笹本町 豊里台 1・2・3 丁目 桜井町 諸持町 宮原町

性別

性別は、「男性」が43.9%、「女性」が56.1%で、女性が多くなっています。

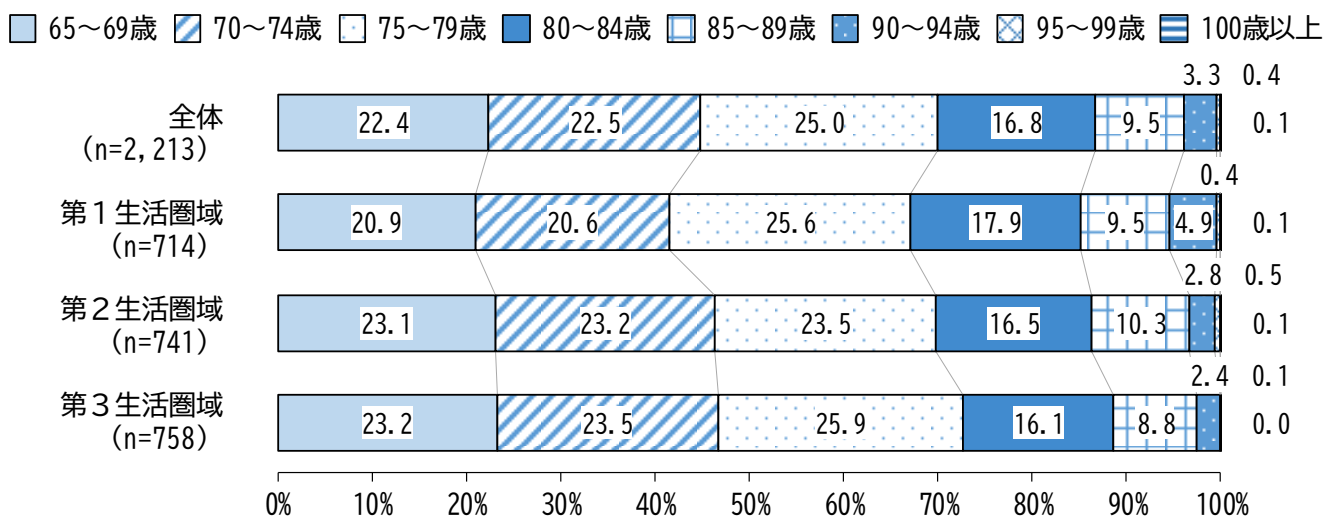
日常生活圏域別では、いずれの圏域も全体とほぼ同じ比率となっています。



年齢

年齢は、「75～79 歳」が 25.0%と最も多く、以降は年齢が高くなるにつれて、割合が少なくなっています。

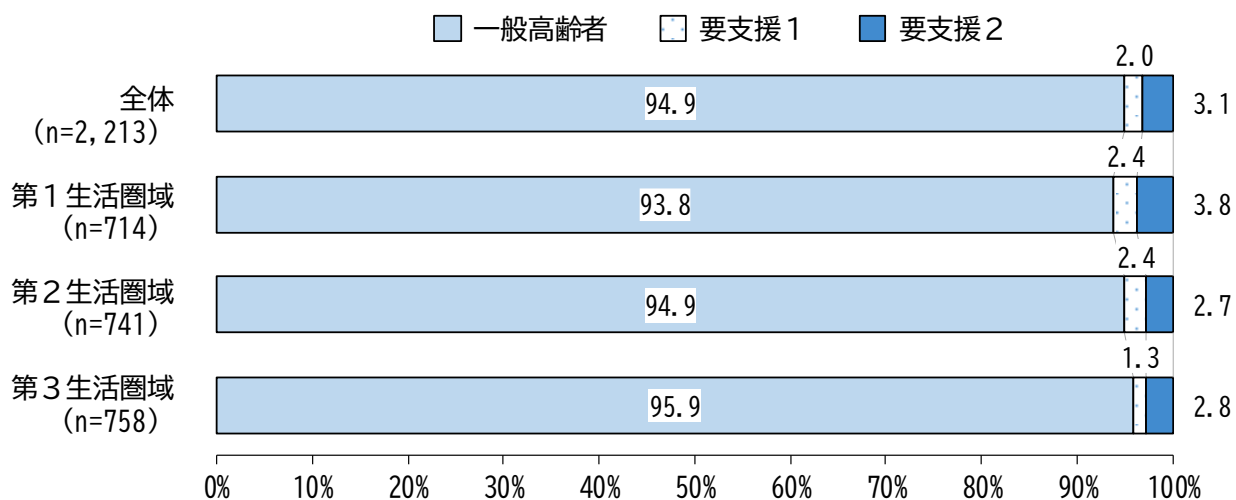
日常生活圏域別の後期高齢者の割合は、第1生活圏域で58.4%、第2生活圏域で53.7%、第3生活圏域で53.3%となっています。



要介護認定

要介護認定は、介護認定を受けていない「一般高齢者」が 94.9%、「要支援1」が 2.0%、「要支援2」が 3.1%と、『要支援認定を受けている高齢者』は 5.1%となっています。

日常生活圏域別では、「一般高齢者」が9割以上を占めており、『要支援認定を受けている高齢者』は、第1生活圏域で 6.2%、第2生活圏域で 5.1%、第3生活圏域で 4.1%となっています。

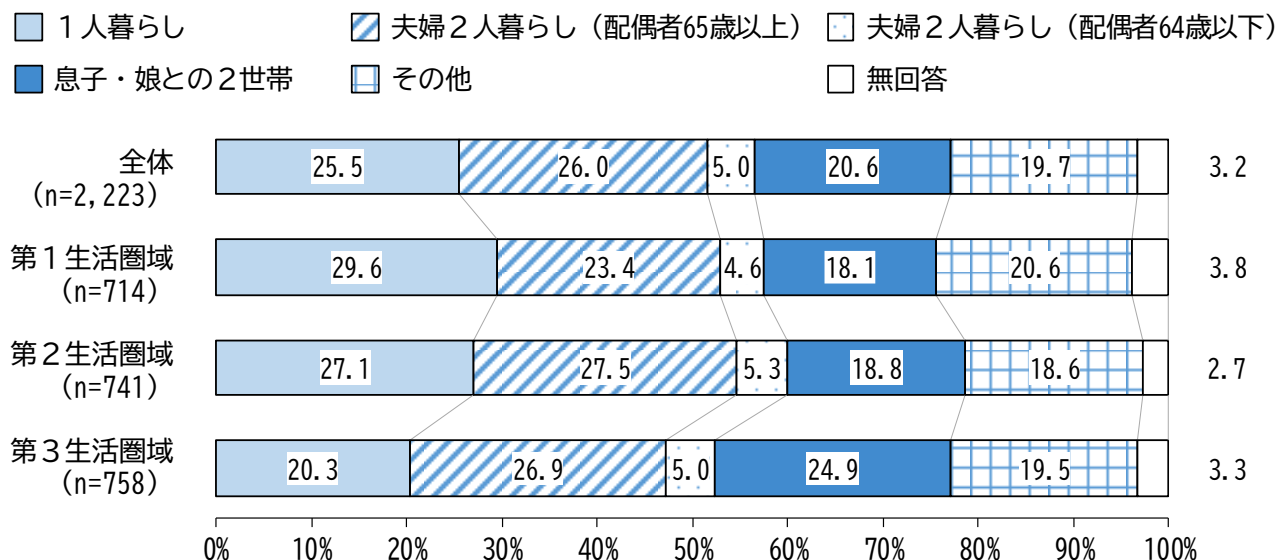


問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

（1）家族構成をお教えてください。（1つに○）

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 26.0%と最も多く、次いで「1人暮らし」が 25.5%、「息子・娘との2世帯」が 20.6%となっています。

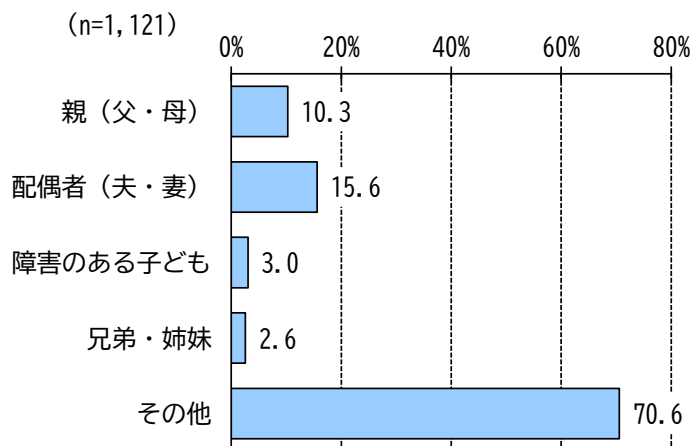
日常生活圏域別では、第1生活圏域では「1人暮らし」、第2生活圏域、第3生活圏域では「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が最も多くなっています。



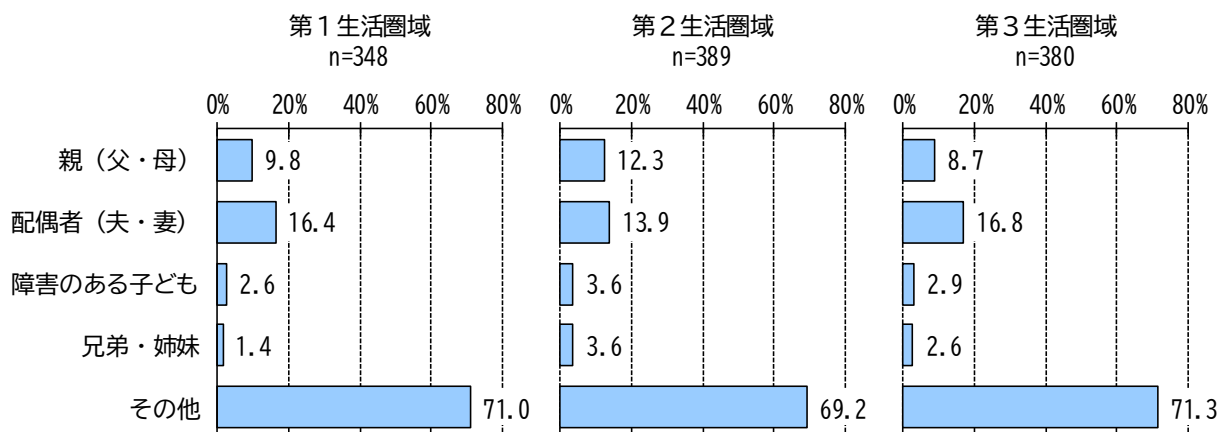
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助をしていますか。(いくつでも)

主な介護・介助者は、「その他」(※主な回答は「介護・介助をしていない」)が70.6%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が15.6%、「親(父・母)」が10.3%となっています。

日常生活圏域別では、第2生活圏域で「親(父・母)」が他の圏域よりもやや多くなっています。



【日常生活圏域別】

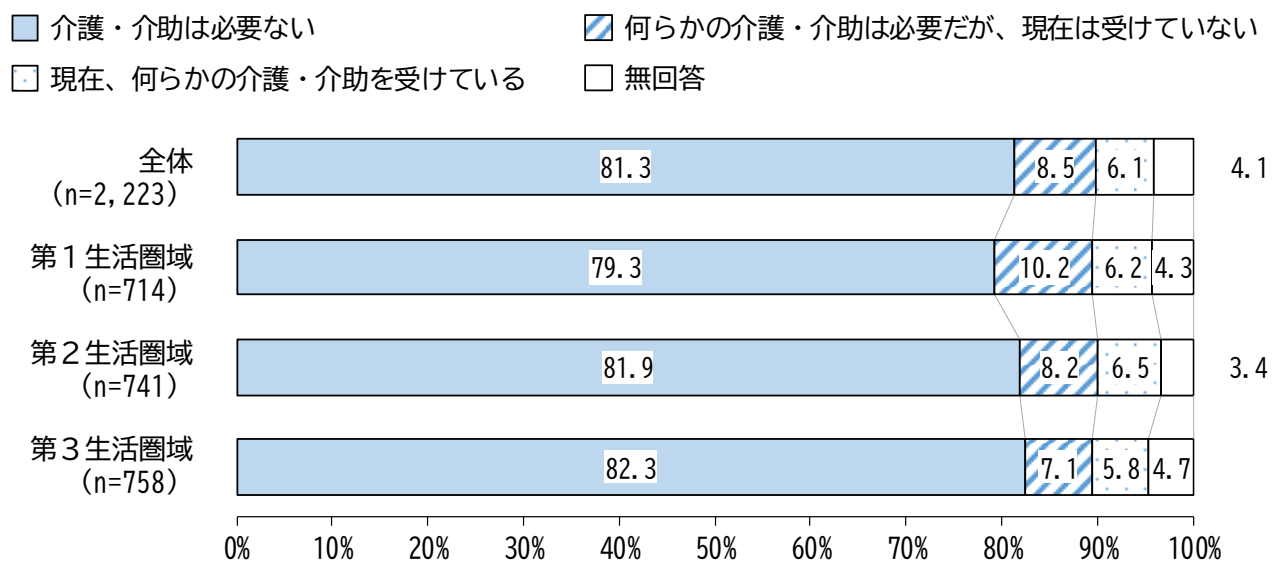


※無回答を除く集計

(3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が81.3%と最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.5%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が6.1%となっています。

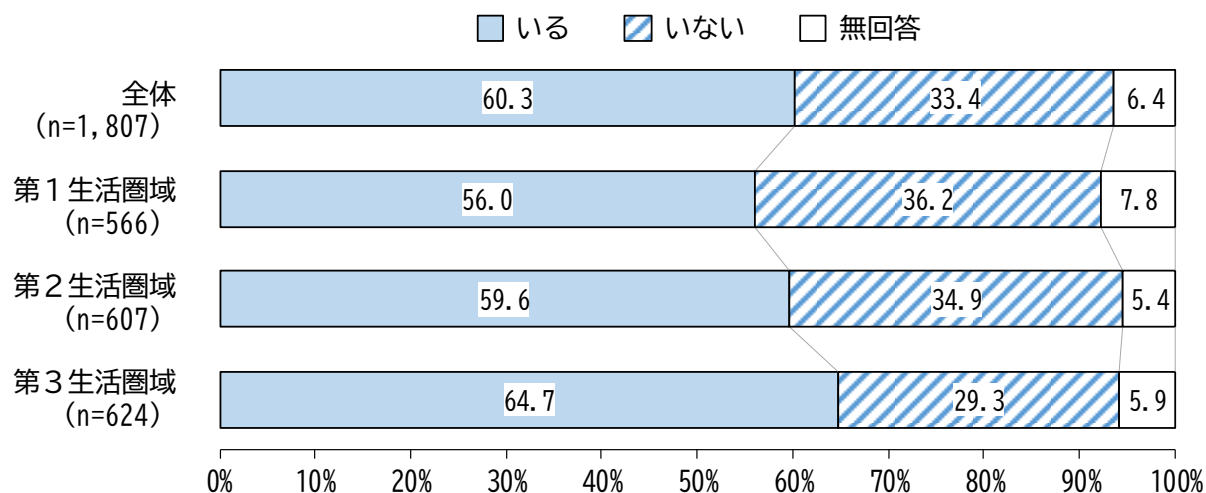
日常生活圏域別では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護・介助を受けている」を合わせた『介護・介助が必要な方』は第1生活圏域で16.4%、第2生活圏域で14.7%、第3生活圏域で12.9%となっています。



【(3) において「1. 介護・介助は必要ない」の方のみ】

① 将来的に介護・介助が必要になった場合、介護・介助をしてくれる人はいますか。(1つに○)

介護・介助をしてくれる人の有無は、「いる」が60.3%、「いない」が33.4%となっています。日常生活圏域別では、第1生活圏域で「いる」が他の圏域よりも少なくなっています。

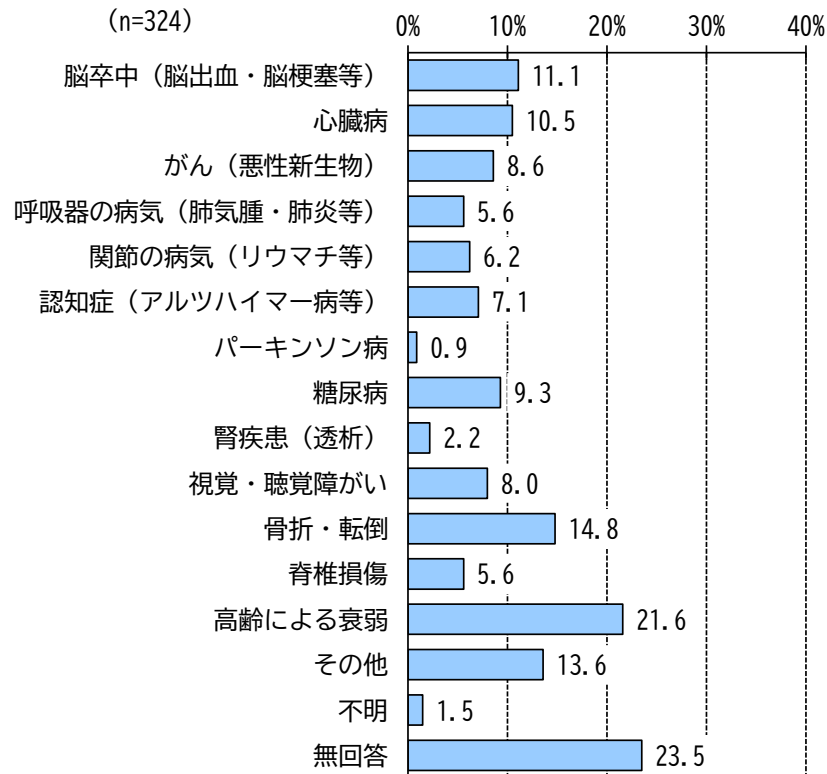


【(3) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

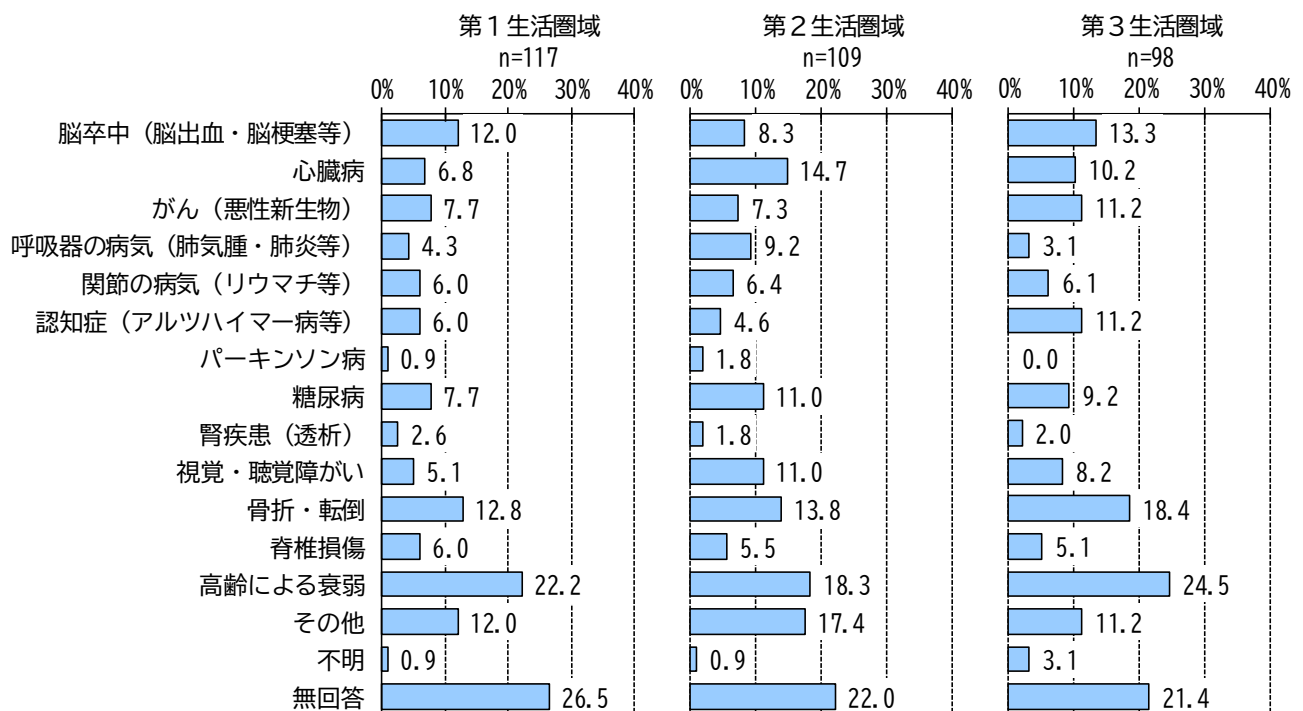
② 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が 21.6%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 14.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 11.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「高齢による衰弱」が最も多くなっています。



【日常生活圏域別】

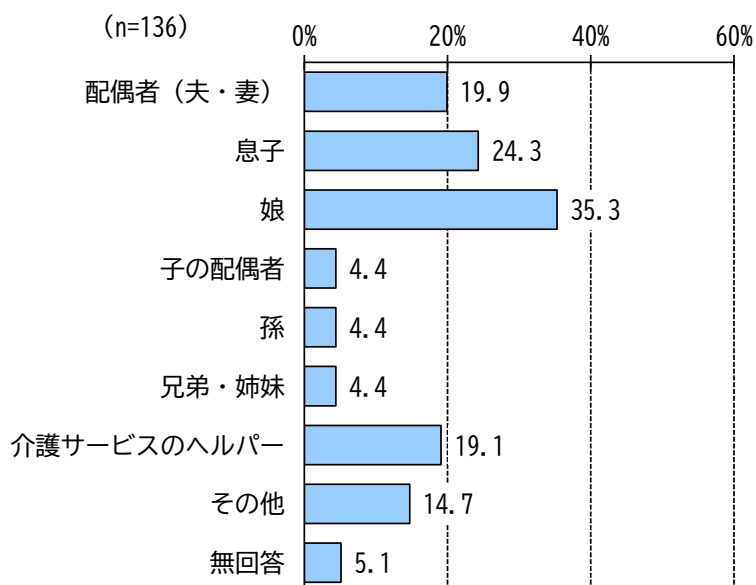


【(3) において「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】

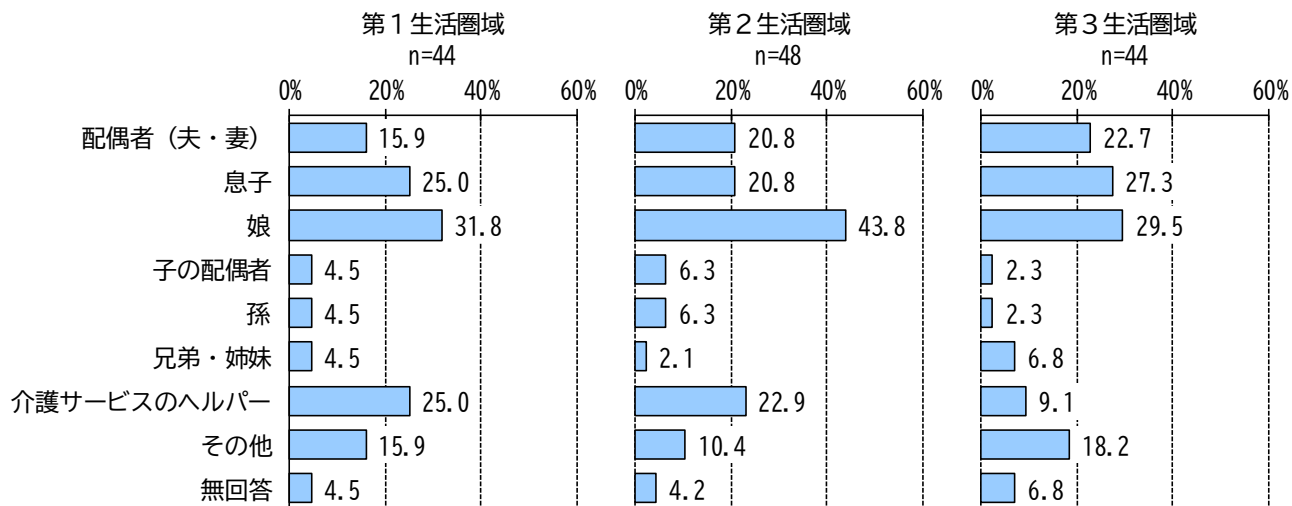
③ 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

主に介護・介助を受けている方は、「娘」が 35.3%と最も多く、次いで「息子」が 24.3%、「配偶者(夫・妻)」が 19.9%、「介護サービスのヘルパー」が 19.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「娘」が最も多くなっています。



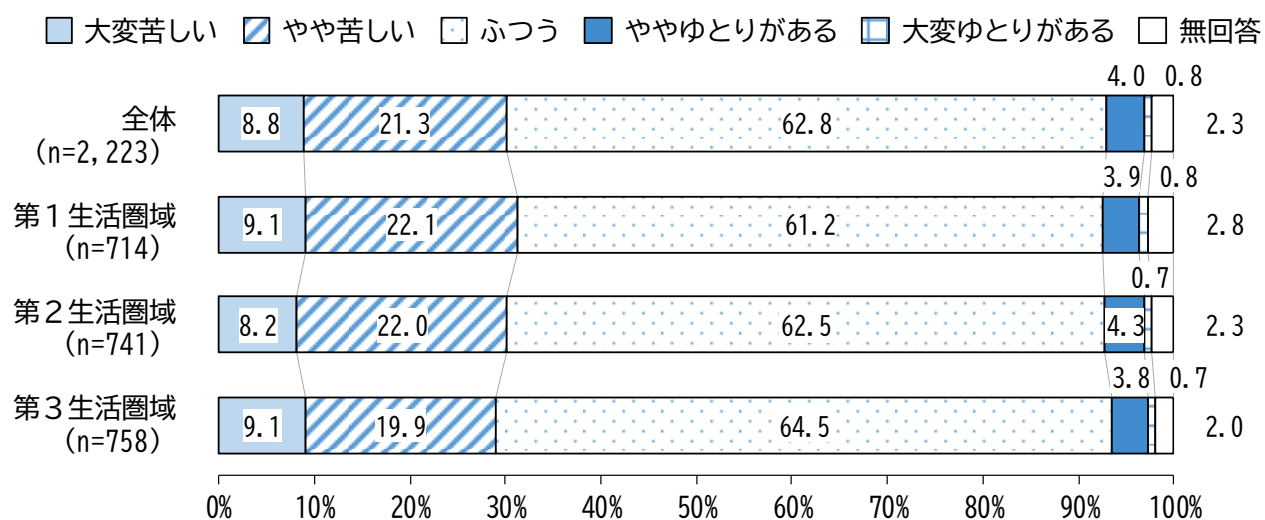
【日常生活圏域別】



(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が62.8%と最も多く、次いで「やや苦しい」が21.3%、「大変苦しい」が8.8%となっており、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』割合は30.1%と約3割を占めています。

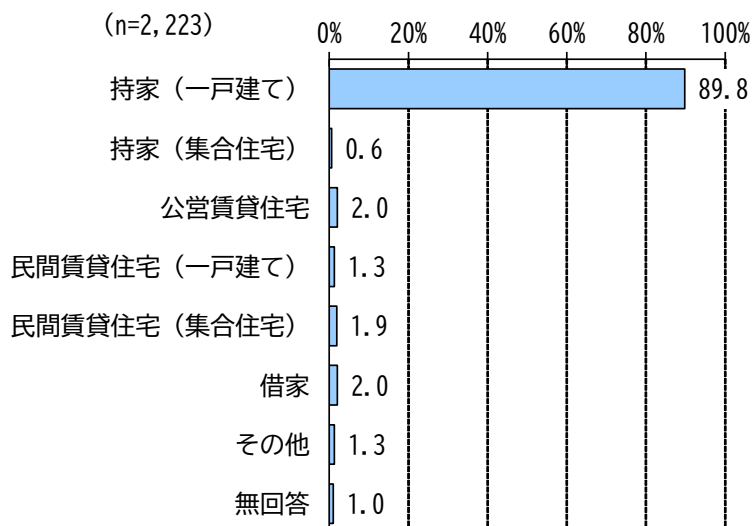
日常生活圏域別では、いずれの圏域も「ふつう」が最も多くなっている一方、『苦しい』は第1生活圏域で31.2%、第2生活圏域で30.2%、第3生活圏域別で29.0%となっており、第1生活圏域が最も多くなっています。



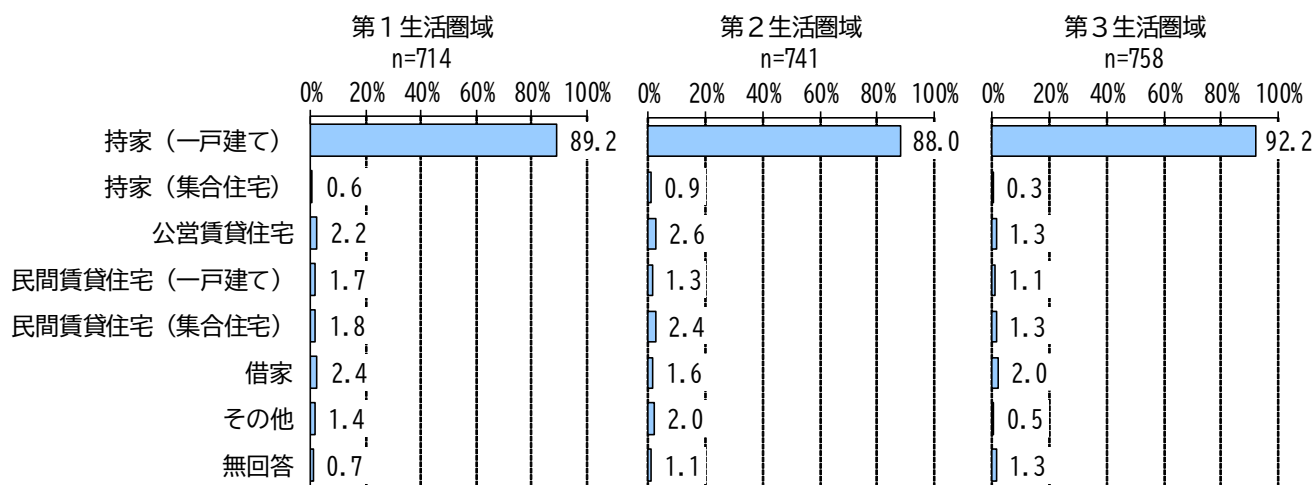
(5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

居住形態は、「持家（一戸建て）」が 89.8%と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」「借家」が 2.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.9%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域も「持家（一戸建て）」が最も多く、約9割となっています。



【日常生活圏域別】

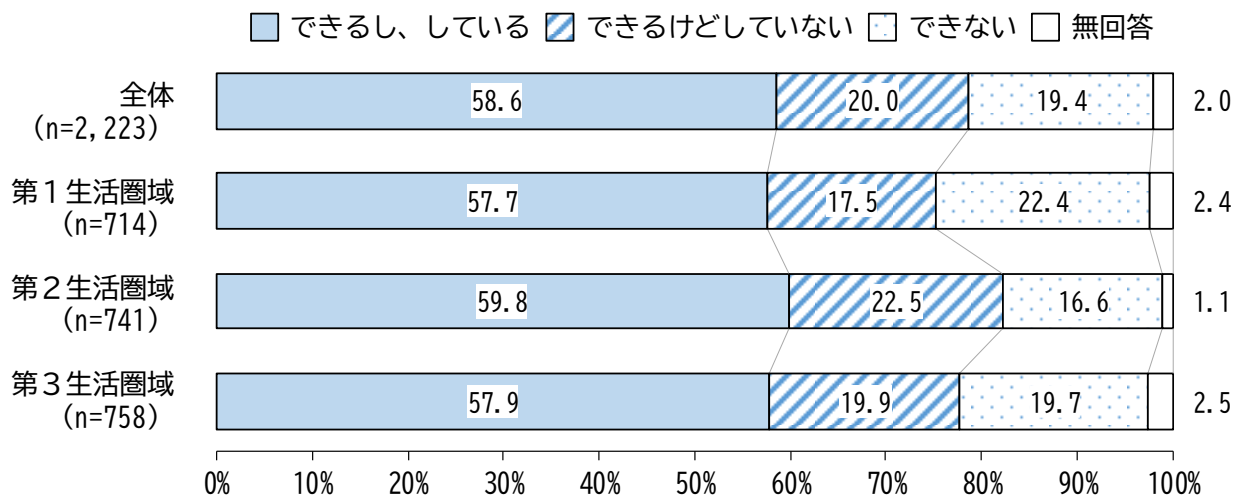


問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できるし、している」が 58.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 20.0%、「できない」が 19.4%となっています。

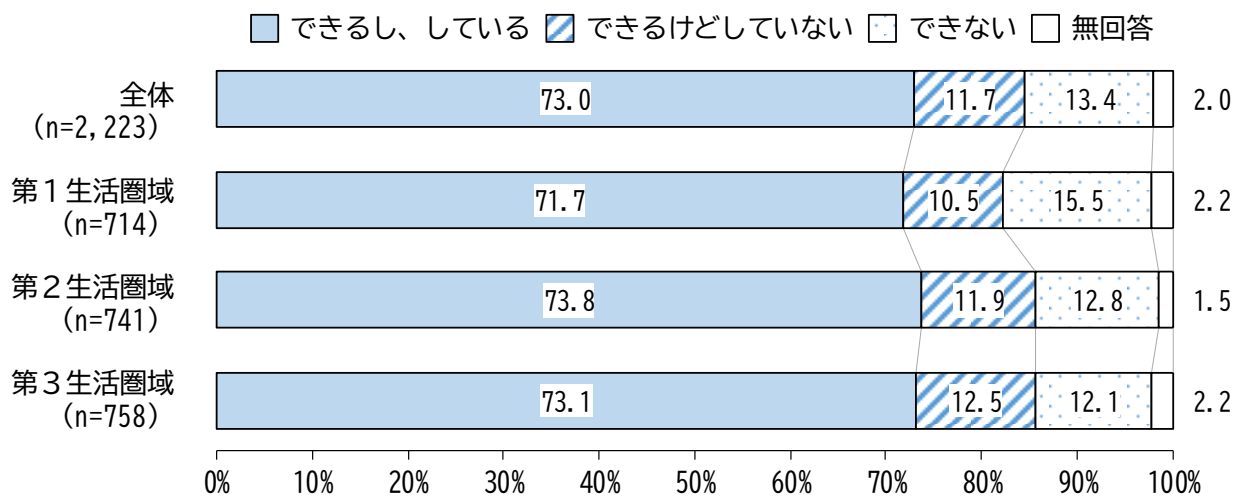
日常生活圏域別で「できない」は第1生活圏域で 22.4%、第2生活圏域で 16.6%、第3生活圏域で 19.7%となっており、第1生活圏域で最も多くなっています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できるし、している」が 73.0%と最も多く、次いで「できない」が 13.4%、「できるけどしていない」が 11.7%となっています。

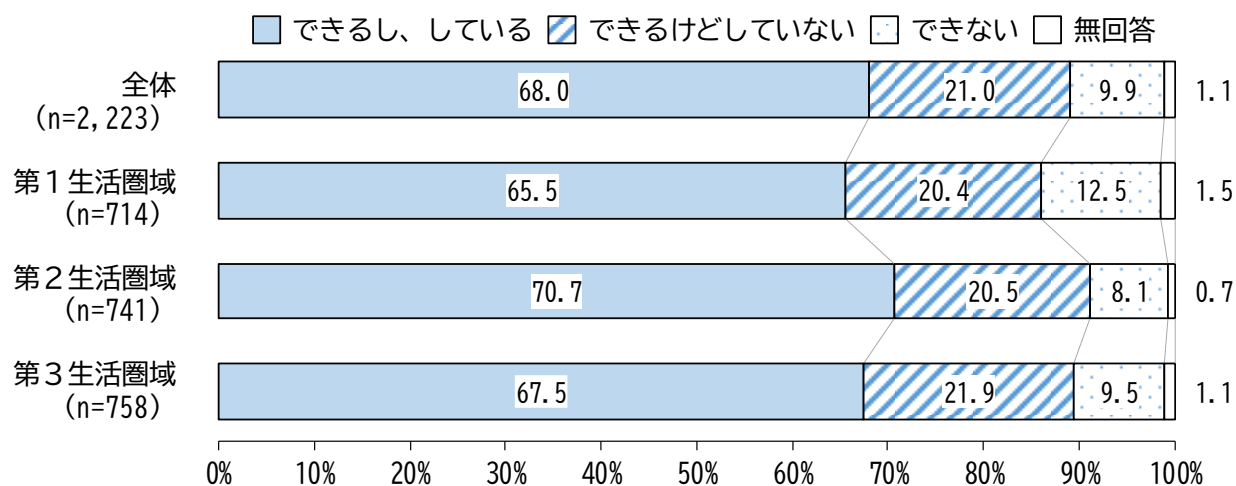
日常生活圏域別で「できない」は第1生活圏域で 15.5%、第2生活圏域で 12.8%、第3生活圏域で 12.1%となっており、第1生活圏域で最も多くなっています。



(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

15分位続けて歩くことは「できるし、している」が68.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.0%、「できない」が9.9%となっています。

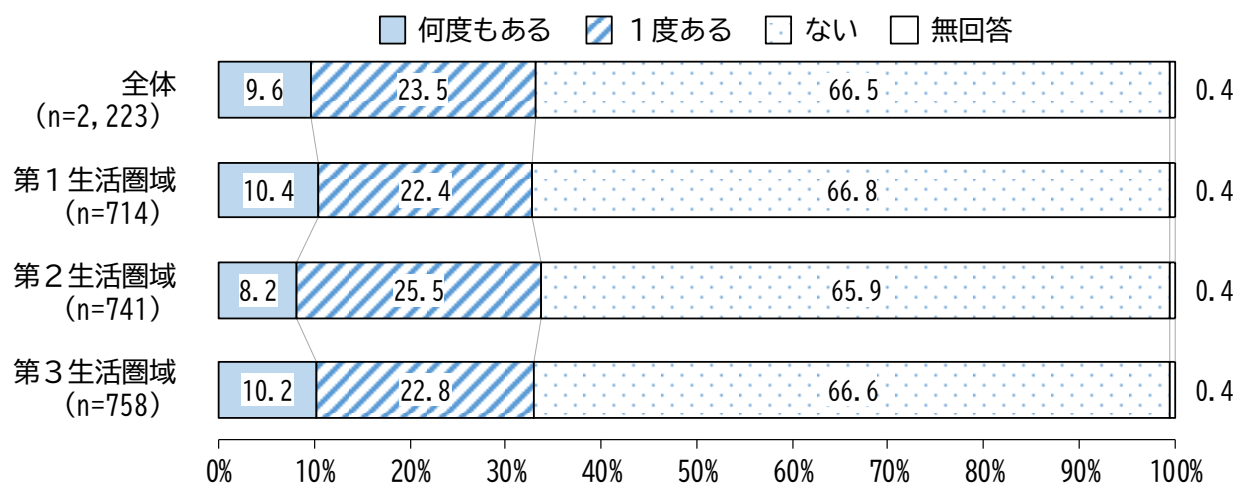
日常生活圏域別で「できない」は、第1生活圏域別で12.5%、第2生活圏域で8.1%、第3生活圏域で9.5%となっており、第1生活圏域で最も多くなっています。



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

過去1年間に転んだ経験が「ない」が66.5%と最も多く、次いで「1度ある」が23.5%、「何度もある」が9.6%となっており、「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は33.1%となっています。

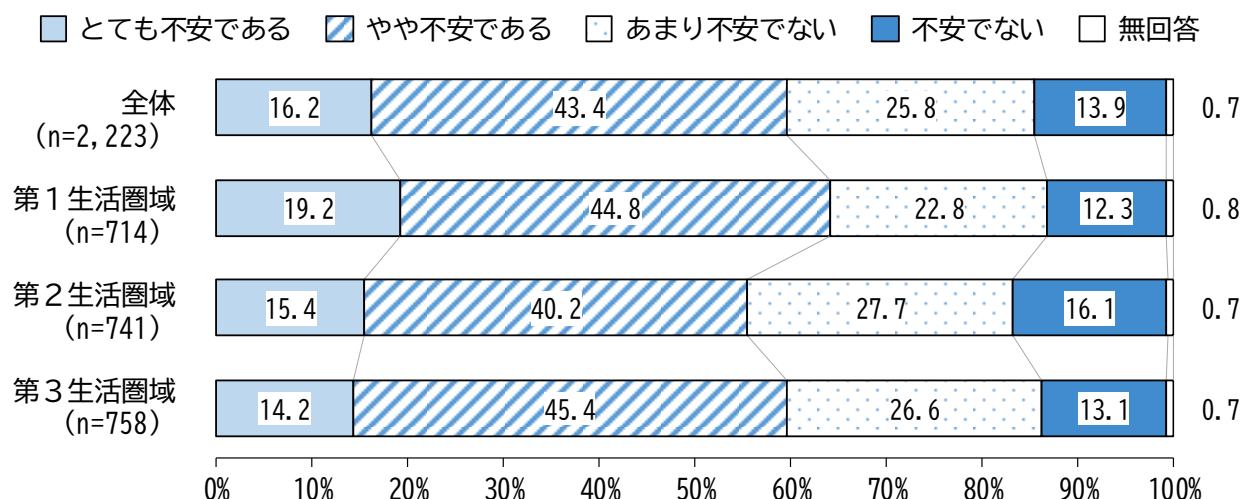
日常生活圏域別で『ある』は、第1生活圏域で32.8%、第2生活圏域で33.7%、第3生活圏域で33.0%となっており、いずれの圏域も3割強となっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

転倒に対する不安は、「やや不安である」が 43.4%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 25.8%、「とても不安である」が 16.2%となっており、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』は 59.6%と約6割となっています。

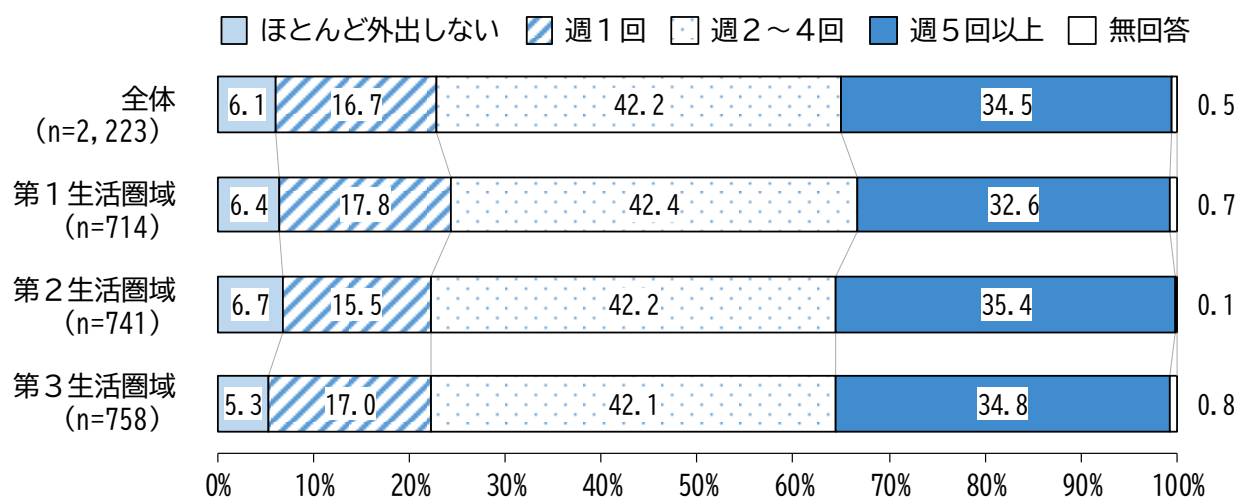
日常生活圏域別で『不安がある』は、第1生活圏域で 64.0%、第2生活圏域で 55.6%、第3生活圏域で 59.6%と、第1生活圏域で最も多くなっています。



(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

外出回数では、「週2～4回」が 42.2%と最も多く、次いで「週5回以上」が 34.5%、「週1回」が 16.7%となっています。なお、「週1回」と「ほとんど外出しない」を合わせた『週1回以下』は、22.8%となっています。

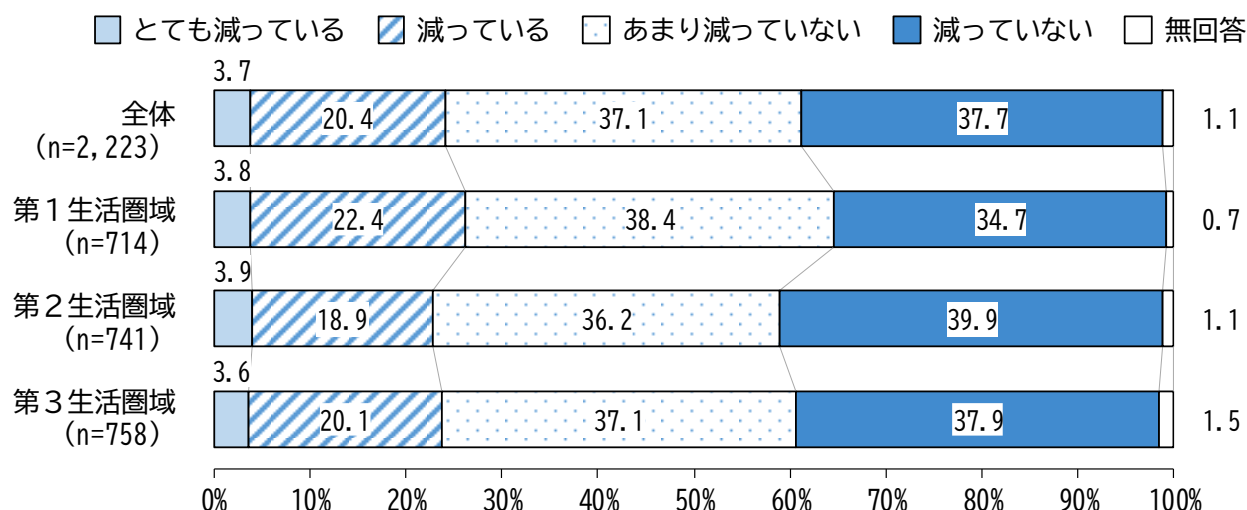
日常生活圏域別で『週1回以下』は、第1生活圏域で 24.2%、第2生活圏域で 22.2%、第3生活圏域で 22.3%となっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

昨年と比べて外出の回数は、「減っていない」が 37.7%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が 37.1%、「減っている」が 20.4%となっており、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は 24.1%となっています。

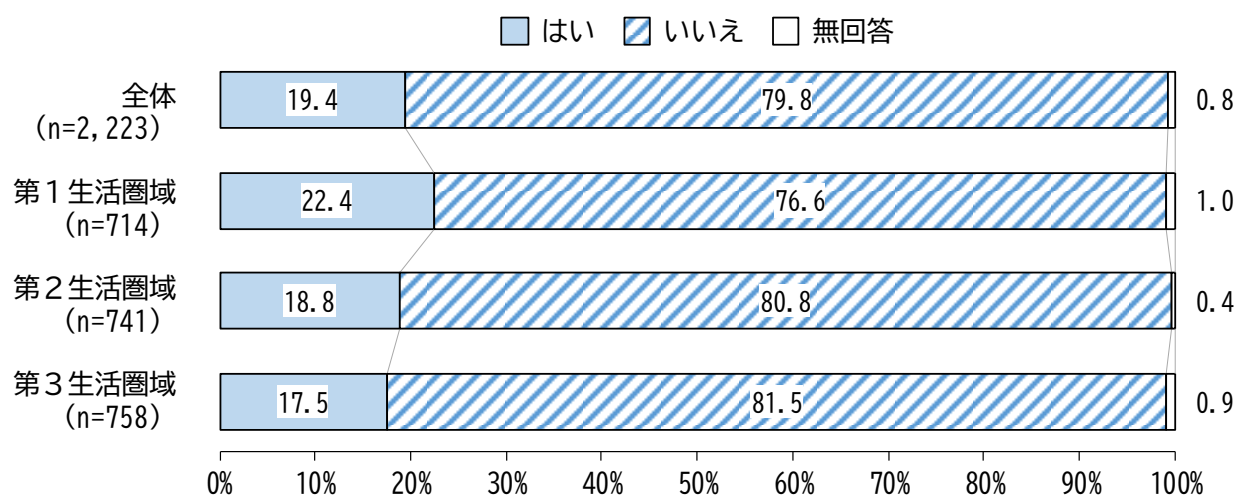
日常生活圏域別で『減っている』は、第1生活圏域で 26.2%、第2生活圏域で 22.8%、第3生活圏域で 23.7%となっており、第1生活圏域で最も多くなっています。



(8) 外出を控えていますか。(1つに○)

外出を控えているかは、「はい」が 19.4%、「いいえ」が 79.8%となっています。

日常生活圏域別で外出を控えている割合は、第1生活圏域で 22.4%、第2生活圏域で 18.8%、第3生活圏域で 17.5%となっており、第1生活圏域で最も多くなっています。

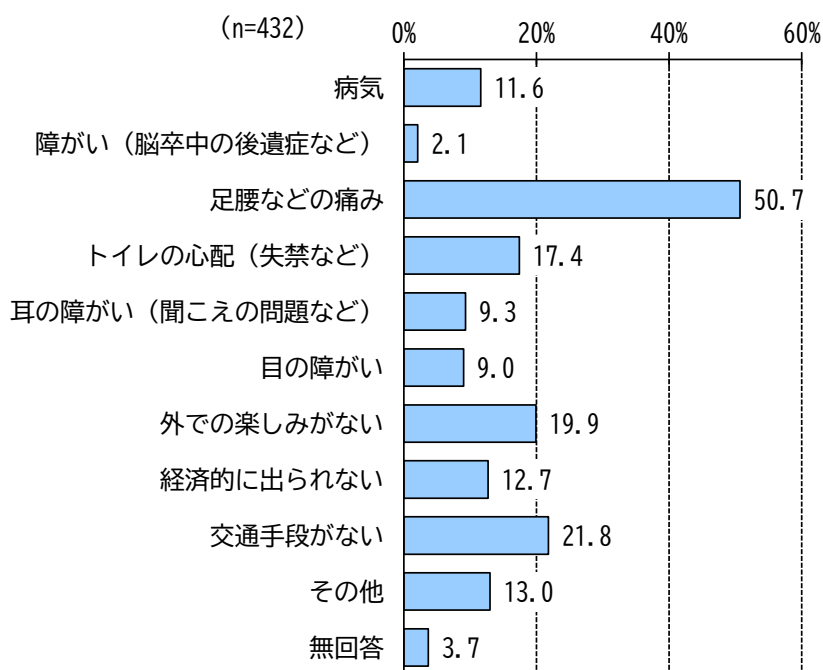


【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

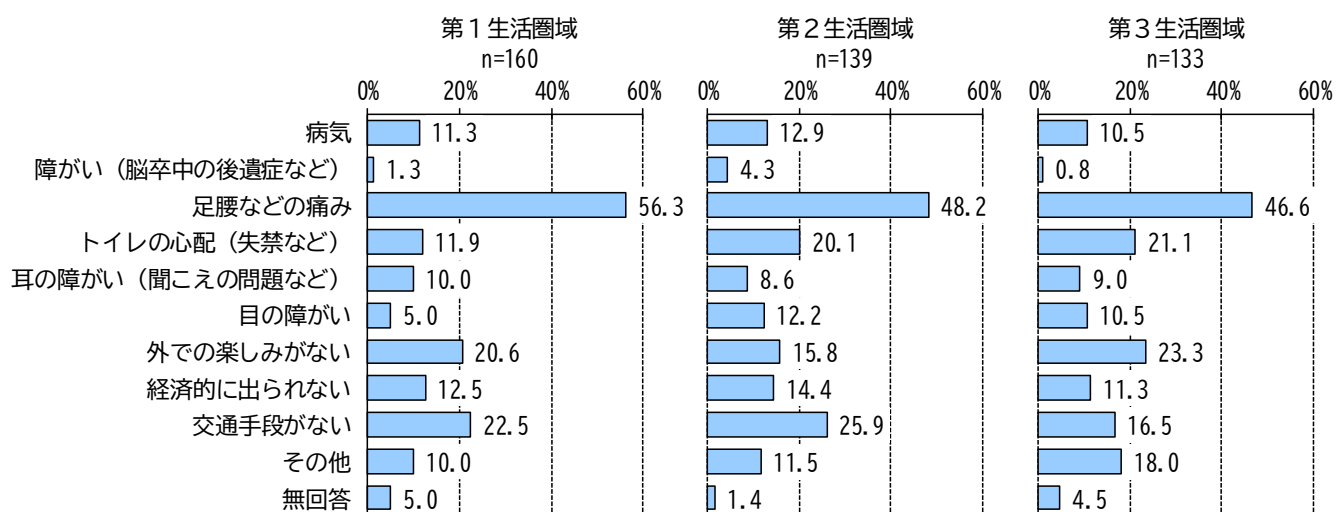
① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が 50.7%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 21.8%、「外での楽しみがない」が 19.9%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域も「足腰などの痛み」が最も多くなっており、第1生活圏域では 56.3%と最も多くなっています。



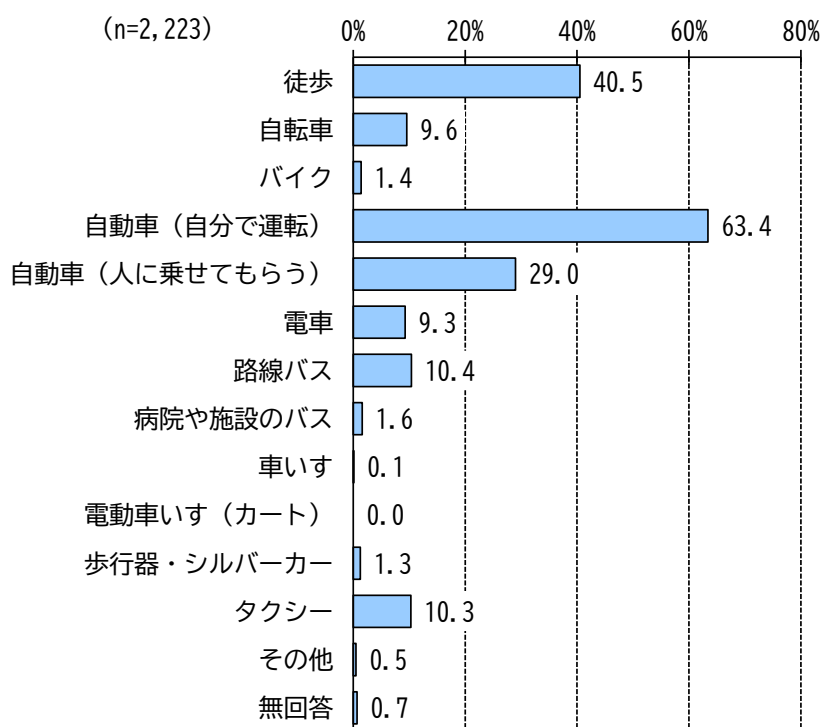
【日常生活圏域別】



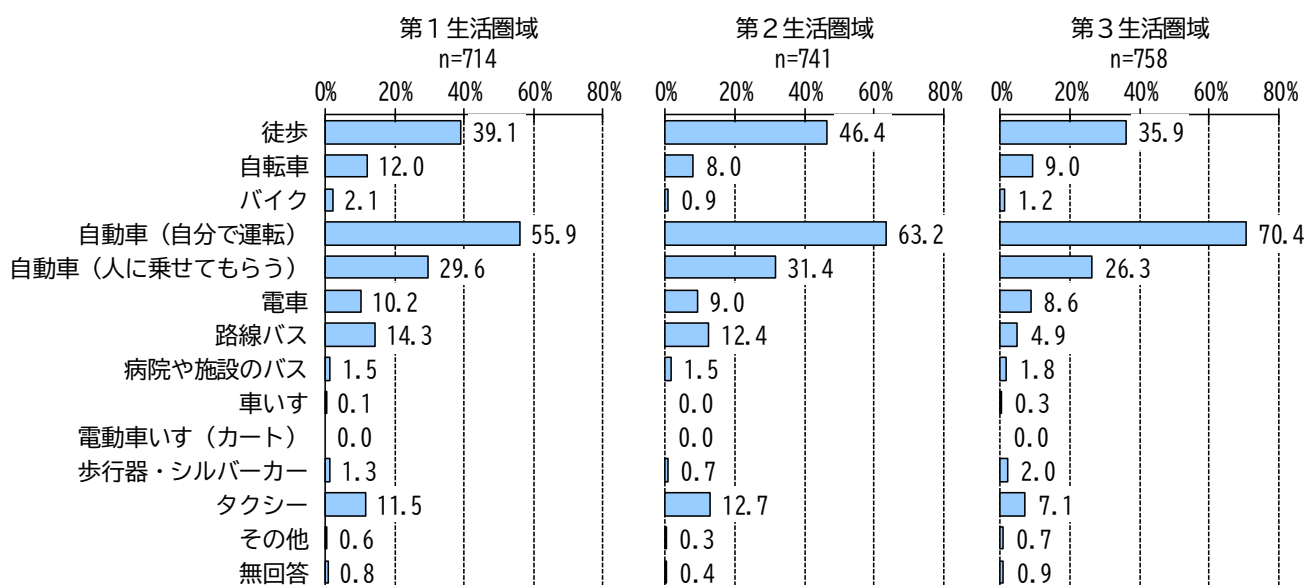
(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

外出の際の交通手段では、「自動車（自分で運転）」が63.4%と最も多く、次いで「徒歩」が40.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」が29.0%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「自動車（自分で運転）」が最も多くなっており、第3生活圏域では7割を超え特に多くなっています。また、第2生活圏域で「徒歩」が他の圏域より多くなっています。



【日常生活圏域別】



問3 食べることについて

(1) 身長・体重（記述式）

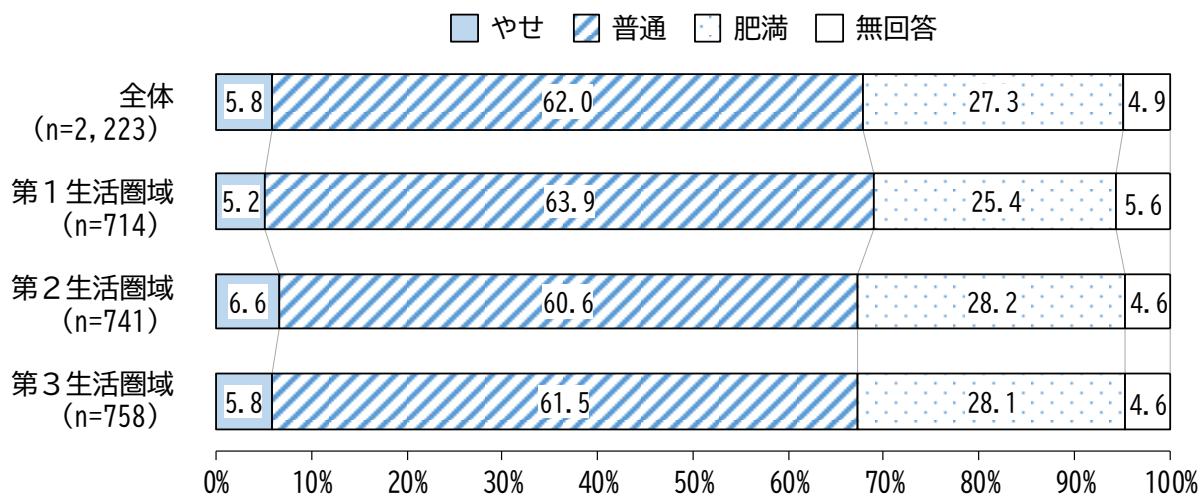
身長と体重から算出されるBMIは、「普通（18.5 以上 25 未満）」が 62.0%と最も多く、次いで「肥満（25 以上）」が 27.3%、「やせ（18.5 未満）」が 5.8%となっています。

日常生活圏域別で「やせ（18.5 未満）」はいずれの圏域も 1 割未満となっています。

BMI は、身長と体重から算出される肥満度を表す体格指数です。

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

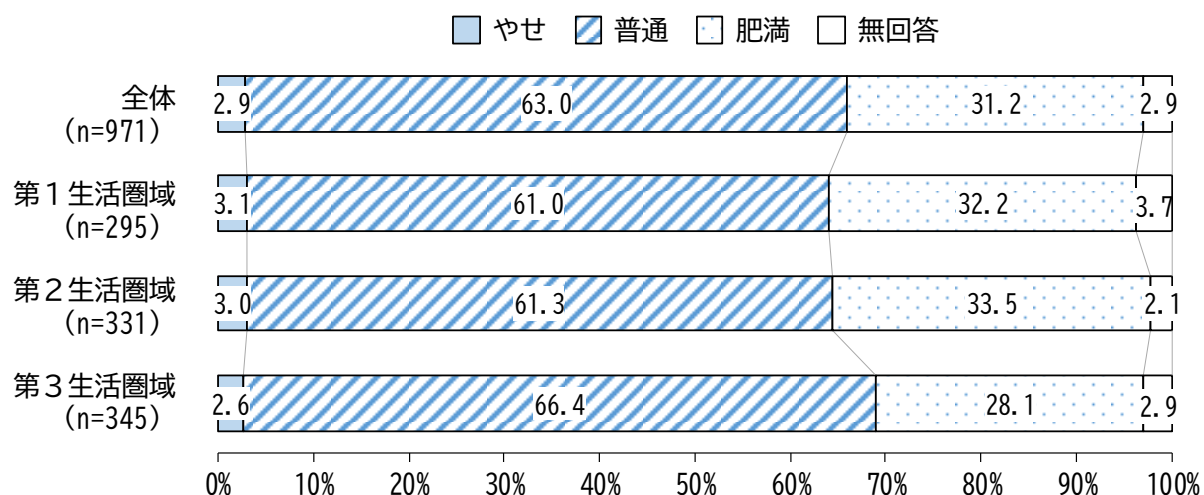
例：身長 160cm、体重 70kg の方 = $70\text{kg} \div (1.6 \times 1.6) = 27.3$ （肥満）



性別でみると、男性では「普通（18.5 以上 25 未満）」が 63.0%と最も多く、次いで「肥満（25 以上）」が 31.2%、「やせ（18.5 未満）」が 2.9%となっています。

日常生活圏域別で「やせ（18.5 未満）」は、いずれの圏域も 5 %未満で、「肥満（25 以上）」は第 3 生活圏域で 28.1%と他の圏域より少なくなっています。

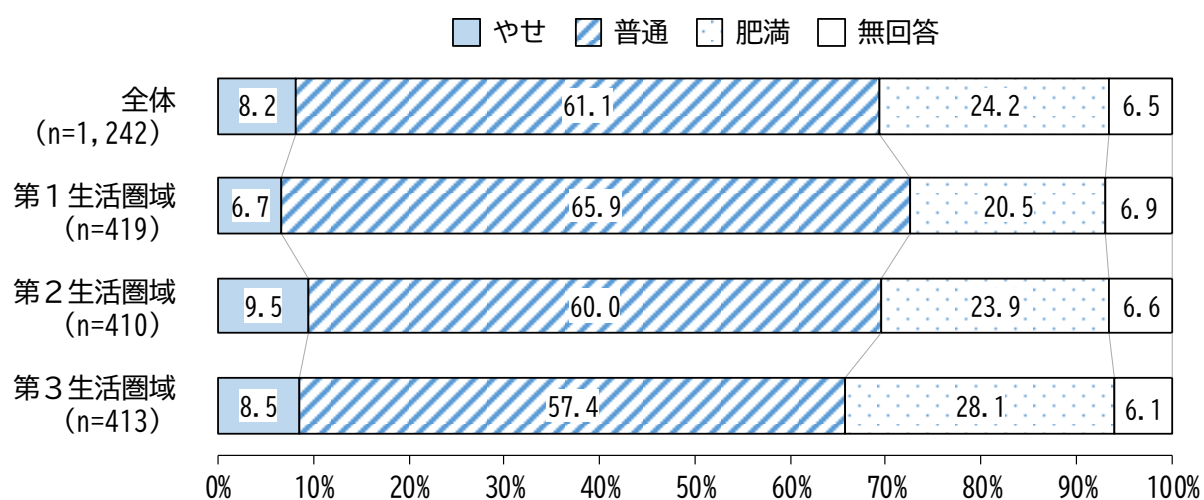
【男性 BMI】



女性では「普通（18.5 以上 25 未満）」が 61.1%と最も多く、次いで「肥満（25 以上）」が 24.2%、「やせ（18.5 未満）」が 8.2%となっており、男性より「肥満（25 以上）」が少なく、「やせ（18.5 未満）」が多くなっています。

日常生活圏域別で「やせ（18.5 未満）」は、いずれの圏域も 1 割未満で、「肥満（25 以上）」は第 3 生活圏域で 28.1%と多くなっています。

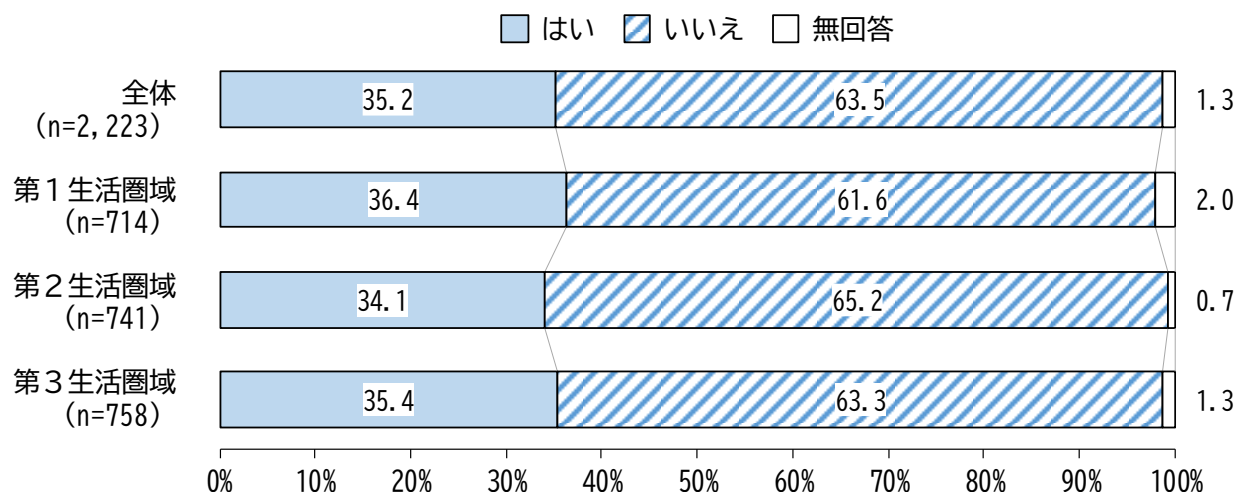
【女性 BMI】



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか否かでは、「はい」が35.2%、「いいえ」が63.5%となっています。

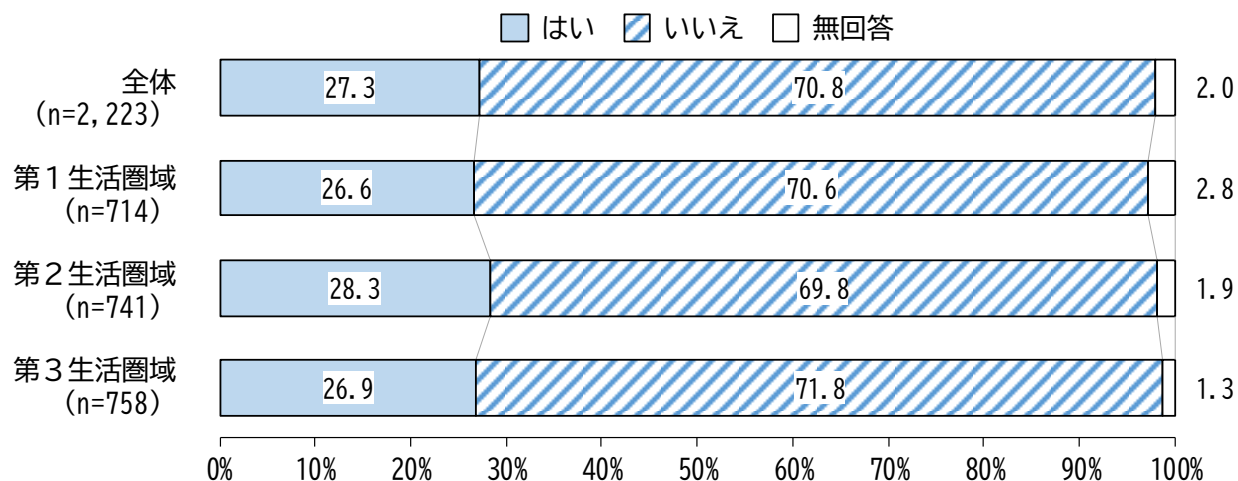
日常生活圏域別で「はい」は、いずれの圏域も3割以上となっています。



(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

お茶や汁物等でむせることでは、「はい」が27.3%、「いいえ」が70.8%となっています。

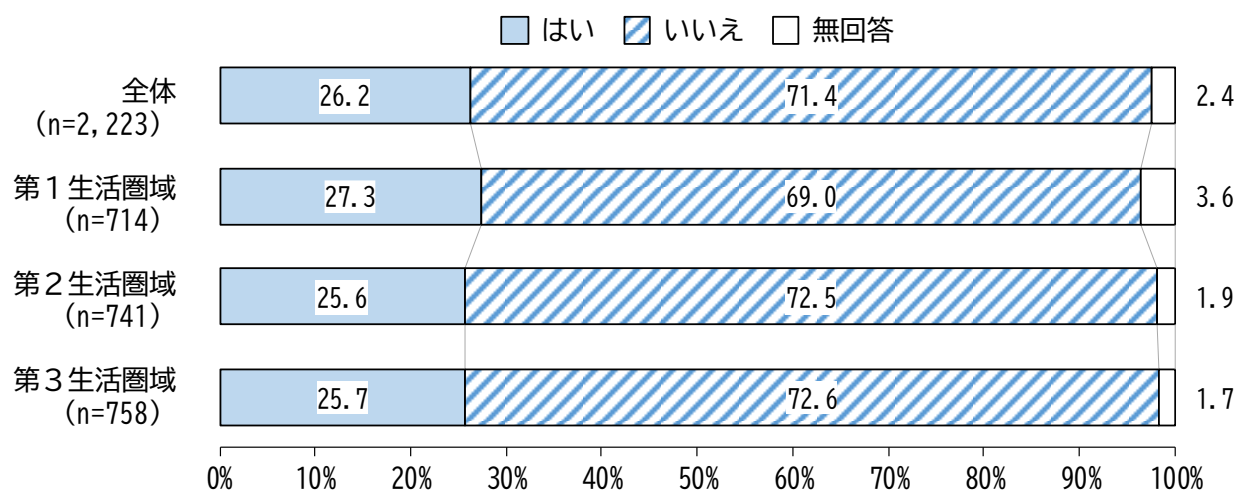
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「はい」は3割弱となっています。



(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

口の渇きが気になるかでは、「はい」が26.2%、「いいえ」が71.4%となっています。

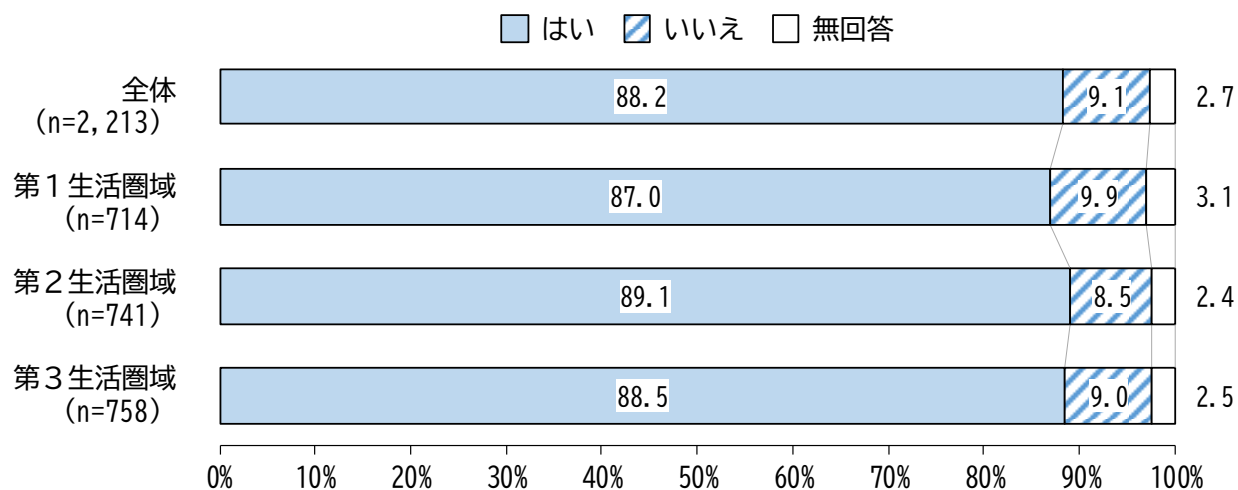
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「はい」は3割弱となっています。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。(1つに○)

歯磨きを毎日するかでは、「はい」が88.2%、「いいえ」が9.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「いいえ」は1割未満となっています。

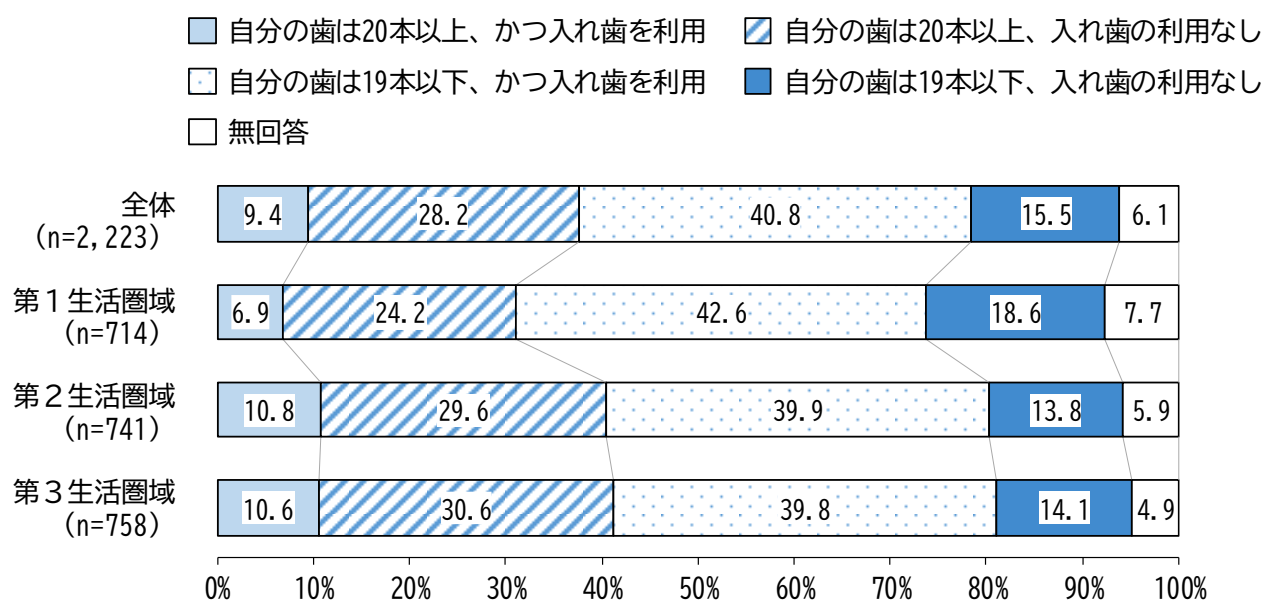


(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が40.8%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が15.5%となっています。

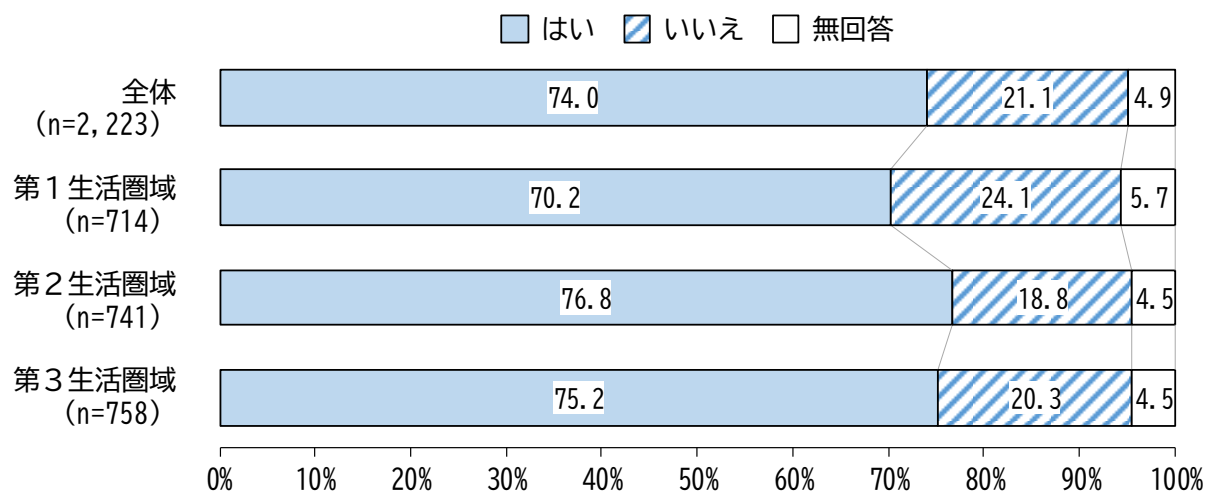
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっていますが、第1生活圏域では42.6%と他の圏域よりもやや多くなっています。



① 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

噛み合わせが良いかでは、「はい」が74.0%、「いいえ」が21.1%となっています。

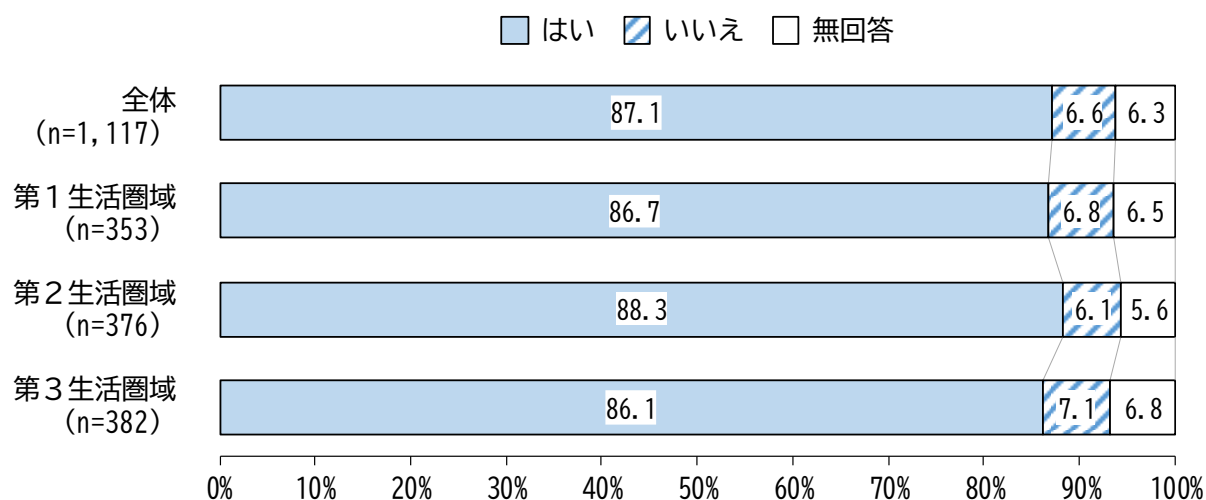
日常生活圏域別でみると、「いいえ」は、第1生活圏域で24.1%、第2生活圏域で18.8%、第3生活圏域で20.3%となっており、第1生活圏域では他の圏域よりもやや多くなっています。



②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

毎日入れ歯の手入れをしているかでは、「はい」が87.1%、「いいえ」が6.6%となっています。

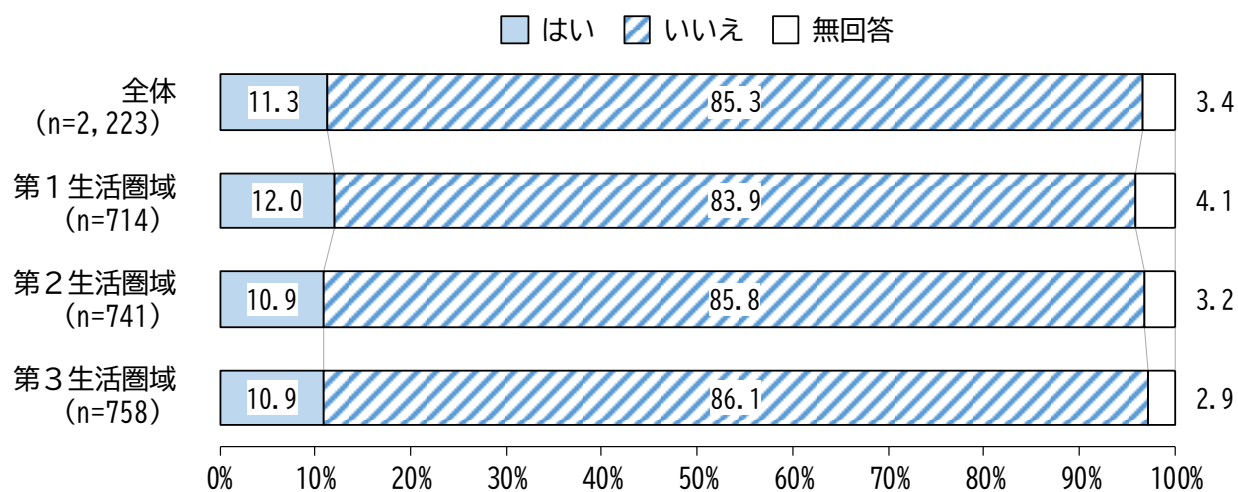
日常生活圏域別でみると、「いいえ」は第1生活圏域で6.8%、第2生活圏域で6.1%、第3生活圏域で7.1%となっています。



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかでは、「はい」が11.3%、「いいえ」が85.3%となっています。

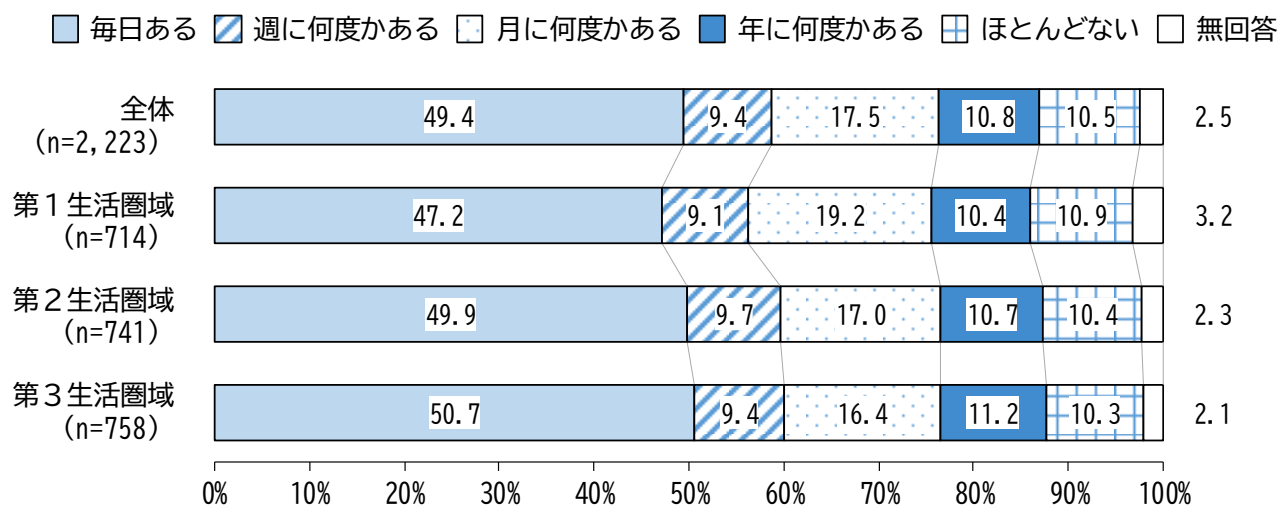
日常生活圏域別でみると、「はい」は第1生活圏域で12.0%、第2生活圏域で10.9%、第3生活圏域で10.9%となっています。



(8) どなたかと食事をともしめる機会がありますか。(1つに○)

どなたかと食事をともしめる機回は、「毎日ある」が49.4%で最も多く、次いで「月に何度かある」が17.5%、「年に何度かある」が10.8%となっています。

日常生活圏域別で「年に何度かある」と「ほとんどない」を合わせた『孤食傾向にある方』は、第1生活圏域で21.3%、第2生活圏域で21.1%、第3生活圏域で21.5%となっています。

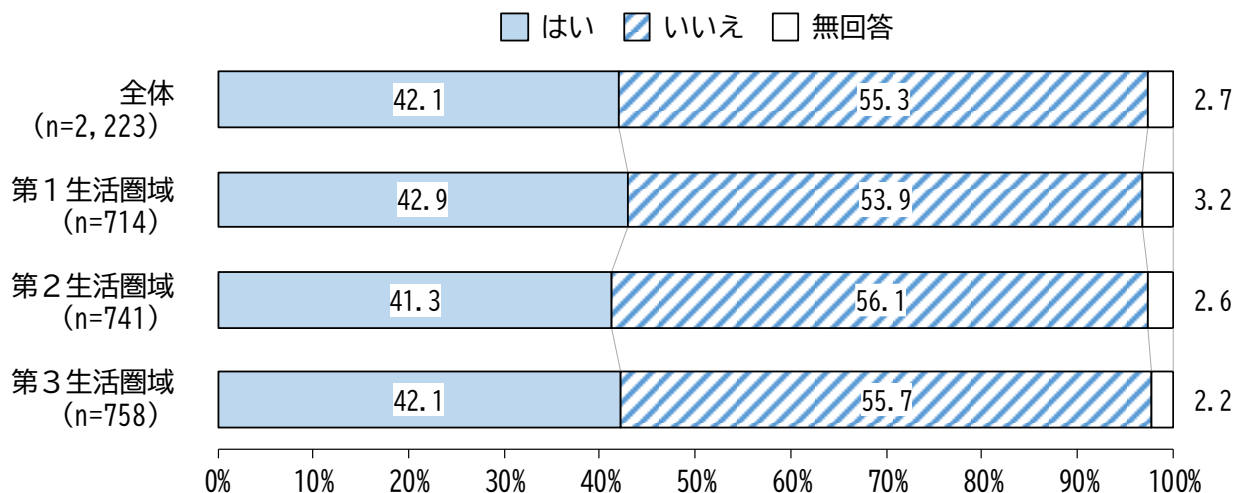


問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

物忘れが多いと感じるかでは、「はい」が 42.1%、「いいえ」が 55.3%となっており、「いいえ」の方が多くなっています。

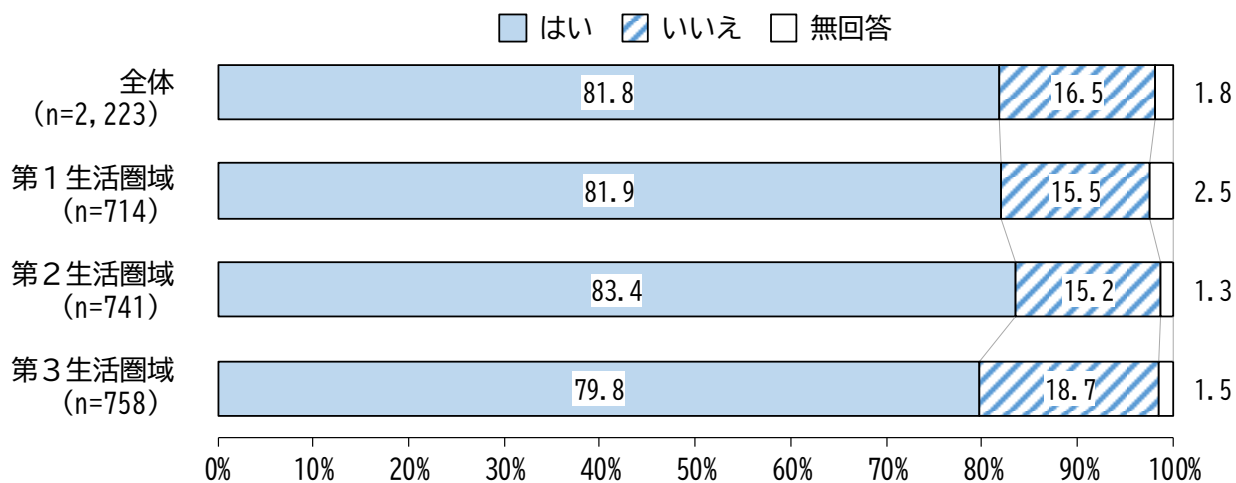
日常生活圏域別で「はい」(物忘れが多いと感じる)は、第1生活圏域で 42.9%、第2生活圏域で 41.3%、第3生活圏域で 42.1%となっています。



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかでは、「はい」が 81.8%、「いいえ」が 16.5%となっています。

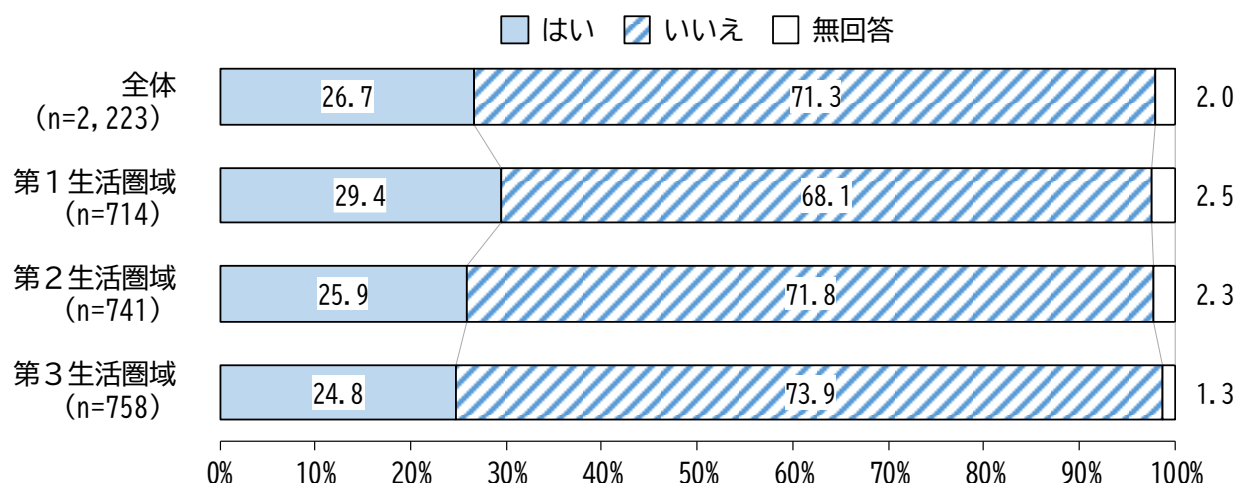
日常生活圏域別で「いいえ」(電話をかけることをしない)は、第1生活圏域で 15.5%、第2生活圏域で 15.2%、第3生活圏域で 18.7%となっており、第3生活圏域でやや多くなっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)

今日が何月何日かわからない時があるかでは、「はい」が26.7%、「いいえ」が71.3%となっています。

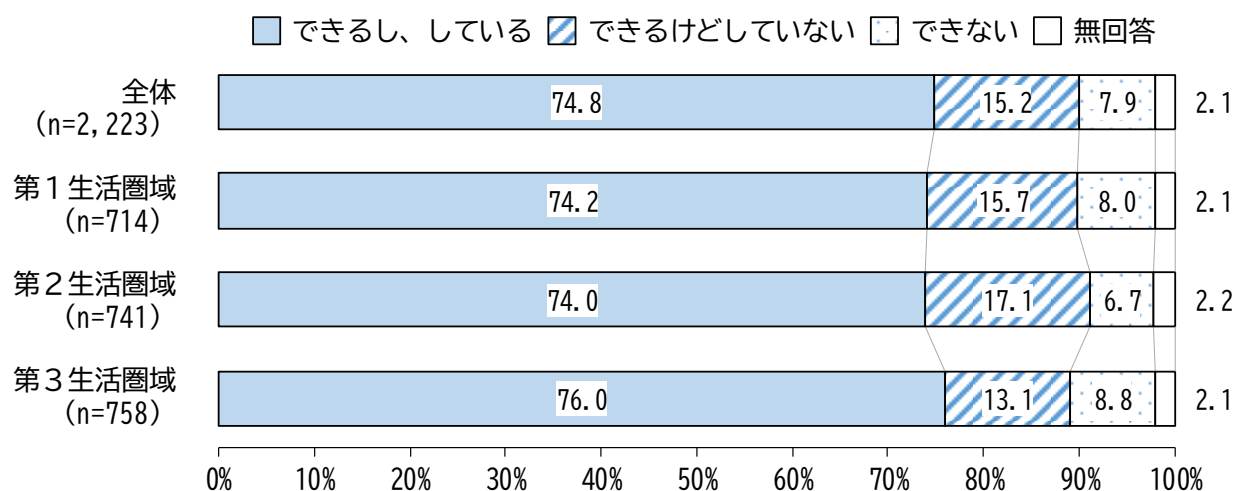
日常生活圏域別で「はい」(今日が何月何日かわからない)は、第1生活圏域で29.4%、第2生活圏域で25.9%、第3生活圏域で24.8%となっており、第1生活圏域でやや多くなっています。



(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

バスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できるし、している」が74.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.2%、「できない」が7.9%となっています。

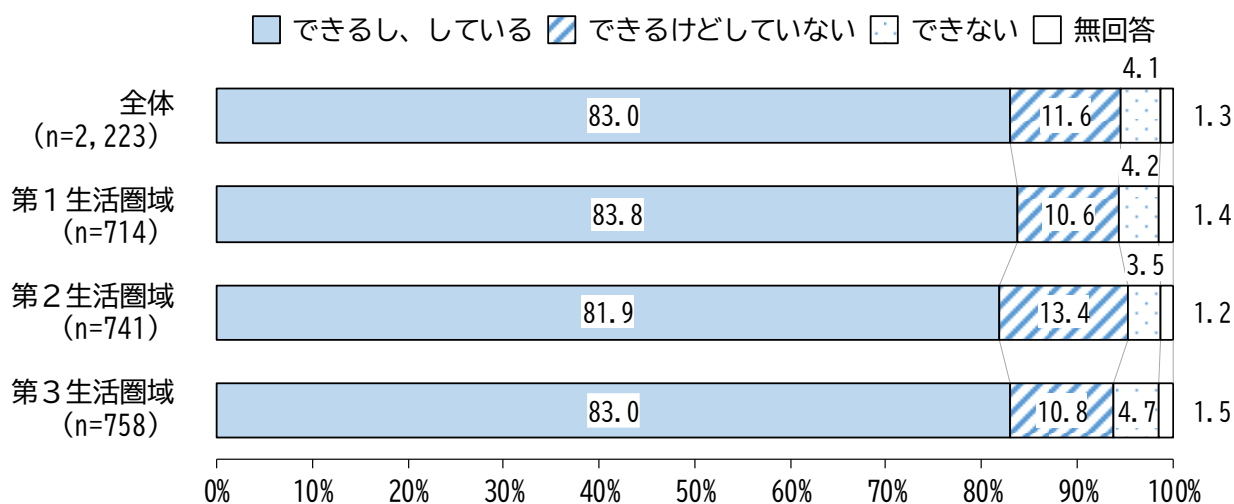
日常生活圏域別で「できない」は、第1生活圏域で8.0%、第2生活圏域で6.7%、第3生活圏域で8.8%となっています。



(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できるし、している」が83.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.6%、「できない」が4.1%となっています。

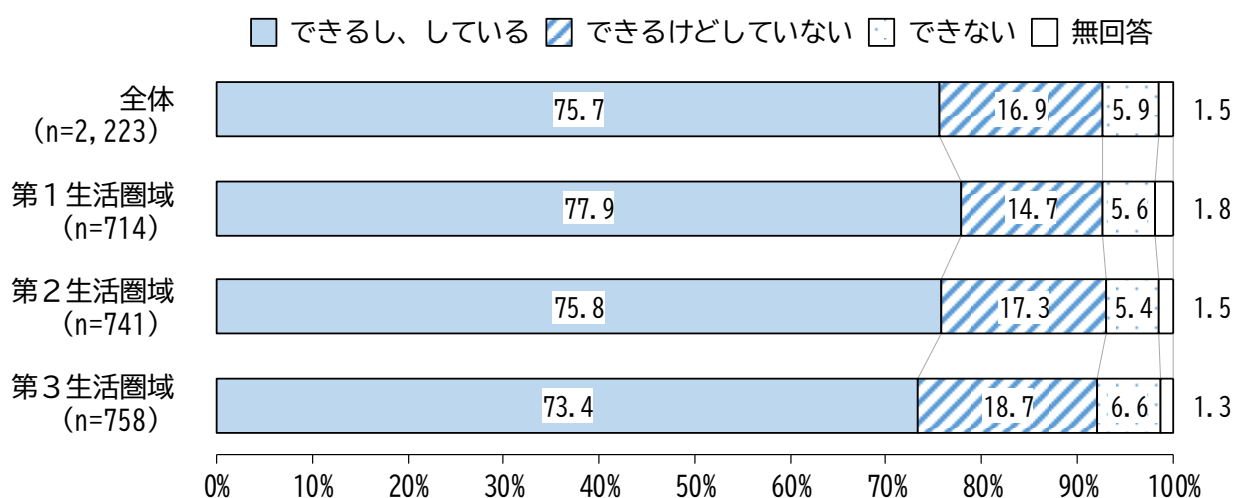
日常生活圏域別で「できない」は、第1生活圏域で4.2%、第2生活圏域で3.5%、第3生活圏域で4.7%となっています。



(6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

自分で食事の用意をしているかでは、「できるし、している」が75.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.9%、「できない」が5.9%となっています。

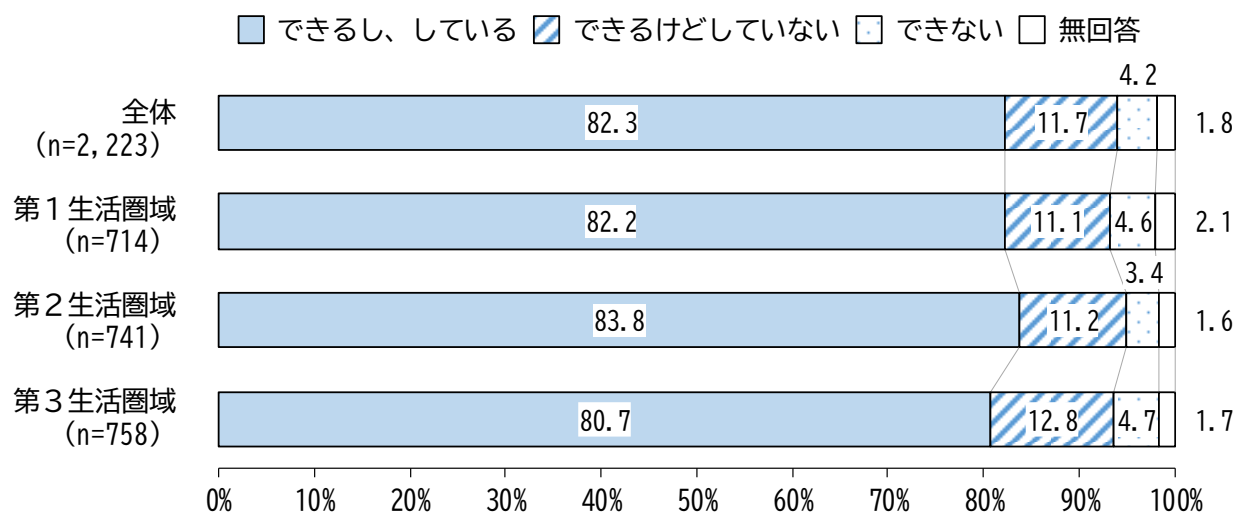
日常生活圏域別で「できない」は、第1生活圏域で5.6%、第2生活圏域で5.4%、第3生活圏域で6.6%となっています。



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

自分で請求書の支払いをしているかでは、「できるし、している」が 82.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.7%、「できない」が 4.2%となっています。

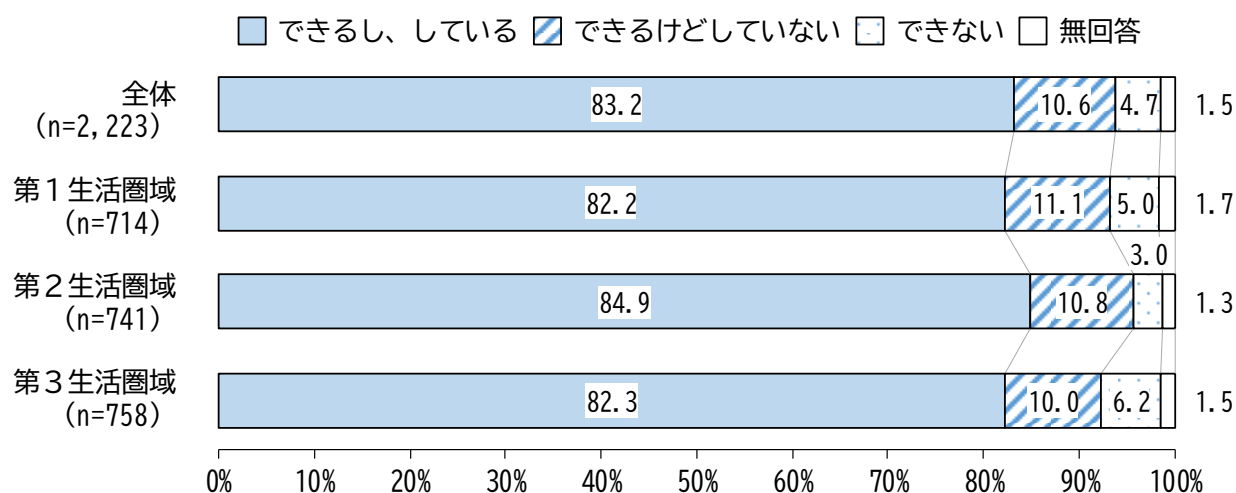
日常生活圏域別で「できない」は、第1生活圏域で 4.6%、第2生活圏域で 3.4%、第3生活圏域で 4.7%となっています。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

自分で預貯金の出し入れができるかでは、「できるし、している」が 83.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 10.6%、「できない」が 4.7%となっています。

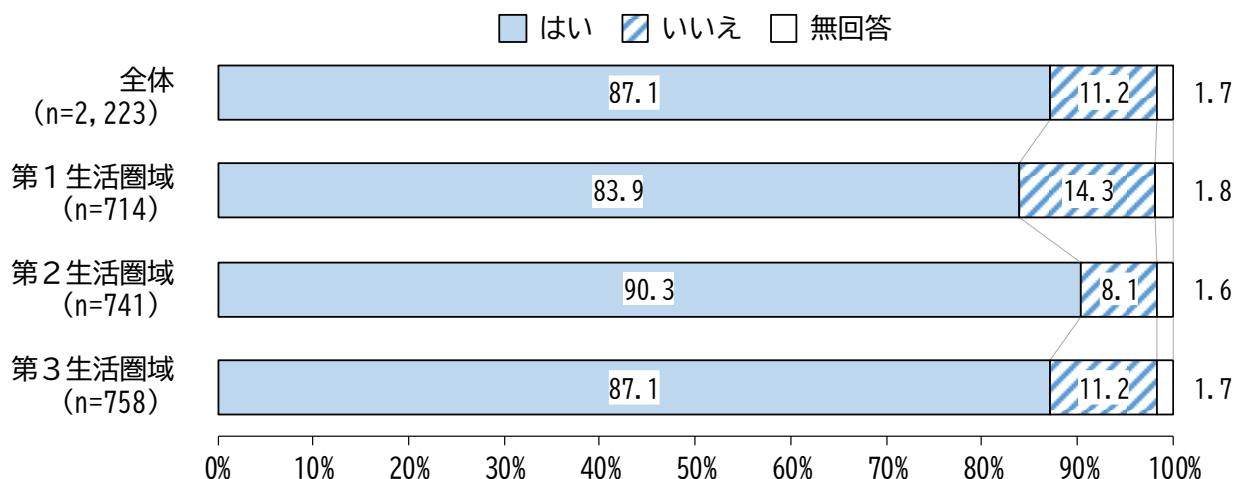
日常生活圏域別で「できない」は、第1生活圏域で 5.0%、第2生活圏域で 3.0%、第3生活圏域で 6.2%となっています。



（９）役所や病院などに出す書類が書けますか。（１つに○）

役所や病院などに出す書類が書けるかでは、「はい」が87.1%、「いいえ」が11.2%となっています。

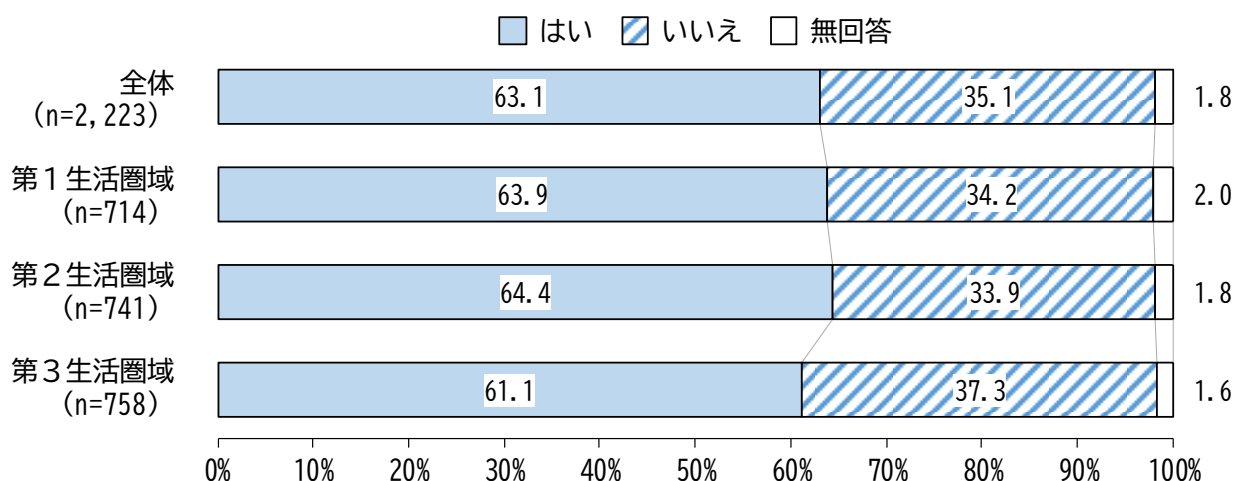
日常生活圏域別で「いいえ」（書類が書けない）は、第1生活圏域で14.3%、第2生活圏域で8.1%、第3生活圏域で11.2%となっており、第1生活圏域でやや多くなっています。



（１０）新聞を読んでいますか。（１つに○）

新聞を読んでいるかでは、「はい」が63.1%、「いいえ」が35.1%となっています。

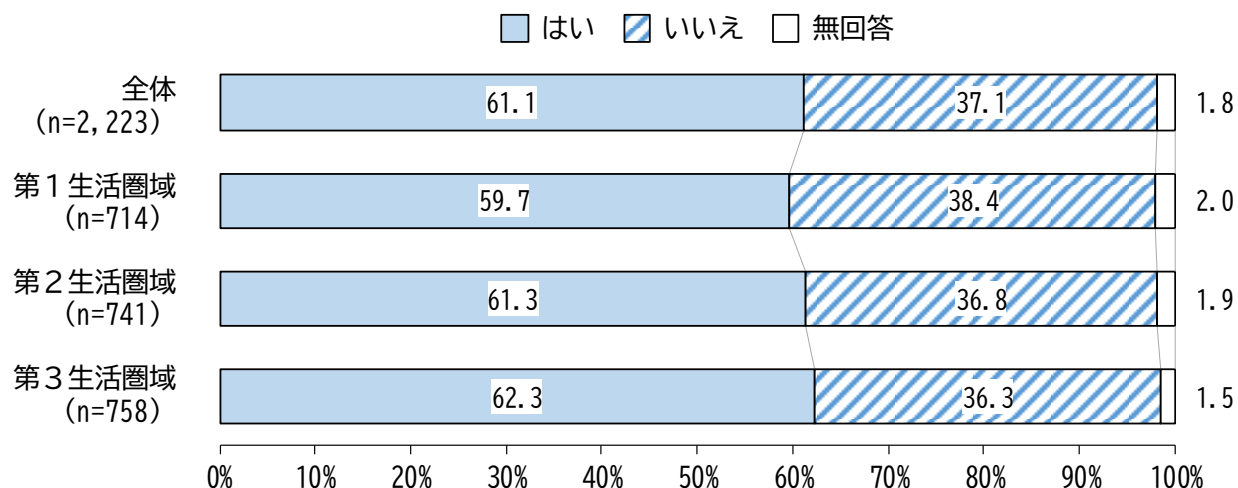
日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で34.2%、第2生活圏域で33.9%、第3生活圏域で37.3%となっています。



(11) 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

本や雑誌を読んでいるかでは、「はい」が61.1%、「いいえ」が37.1%となっています。

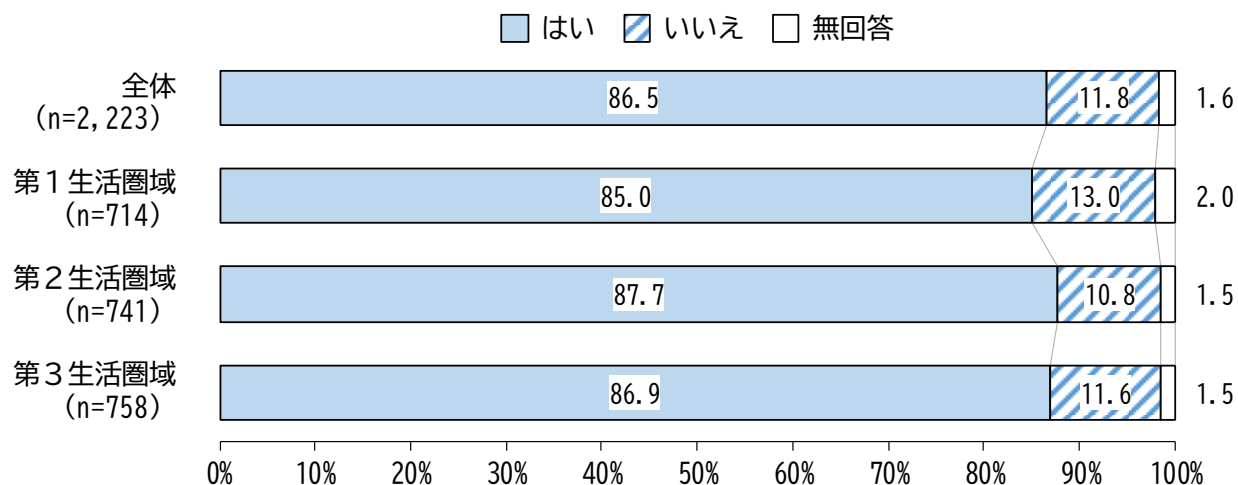
日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で38.4%、第2生活圏域で36.8%、第3生活圏域で36.3%となっています。



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

健康についての記事や番組に関心があるかでは、「はい」が86.5%、「いいえ」が11.8%となっています。

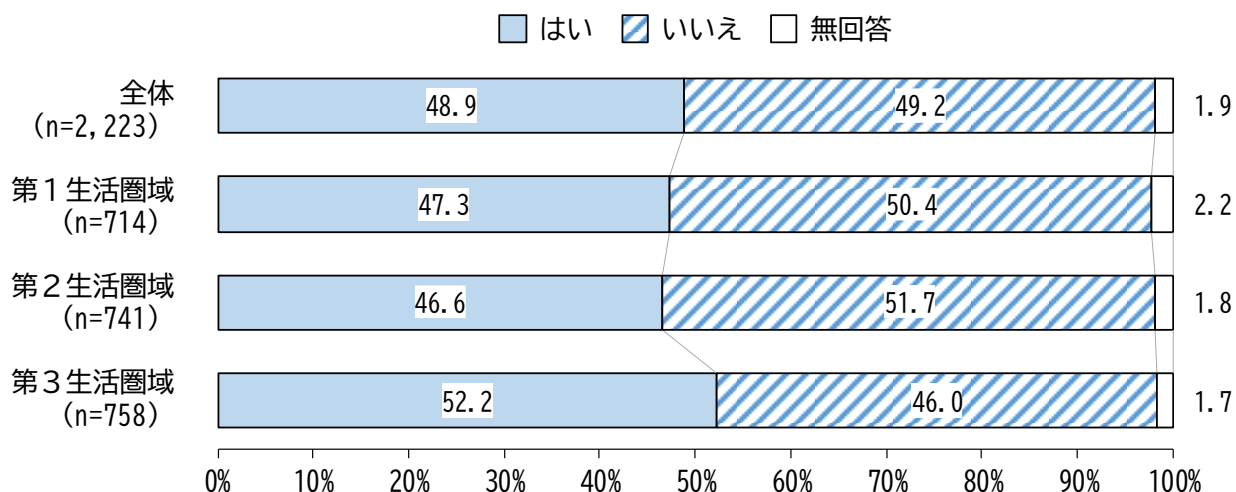
日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で13.0%、第2生活圏域で10.8%、第3生活圏域で11.6%となっています。



(13) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

友人の家を訪ねているかでは、「はい」が48.9%、「いいえ」が49.2%となっています。

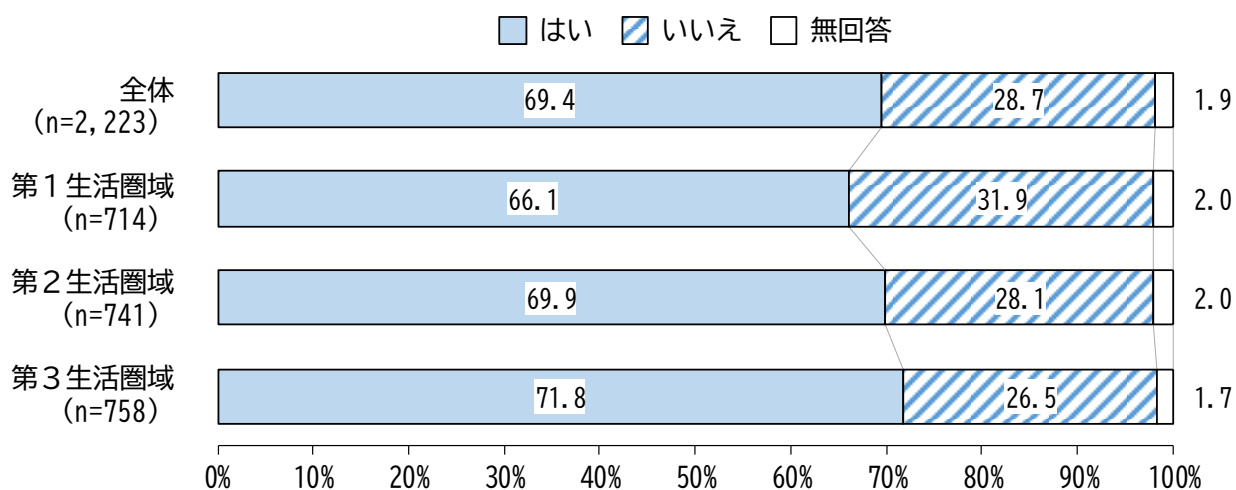
日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で50.4%、第2生活圏域で51.7%、第3生活圏域で46.0%となっています。



(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

家族や友人の相談にのっているかでは、「はい」が69.4%、「いいえ」が28.7%となっています。

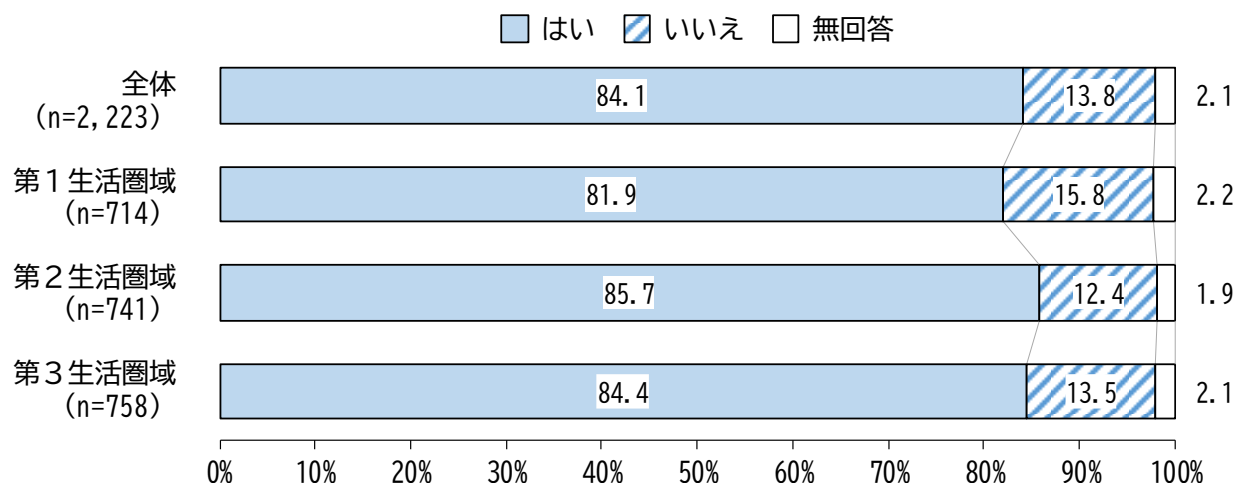
日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で31.9%、第2生活圏域で28.1%、第3生活圏域で26.5%となっており、第1生活圏域でやや多くなっています。



（１５）病人を見舞うことができますか。（１つに○）

病人を見舞うことができるかでは、「はい」が84.1%、「いいえ」が13.8%となっています。

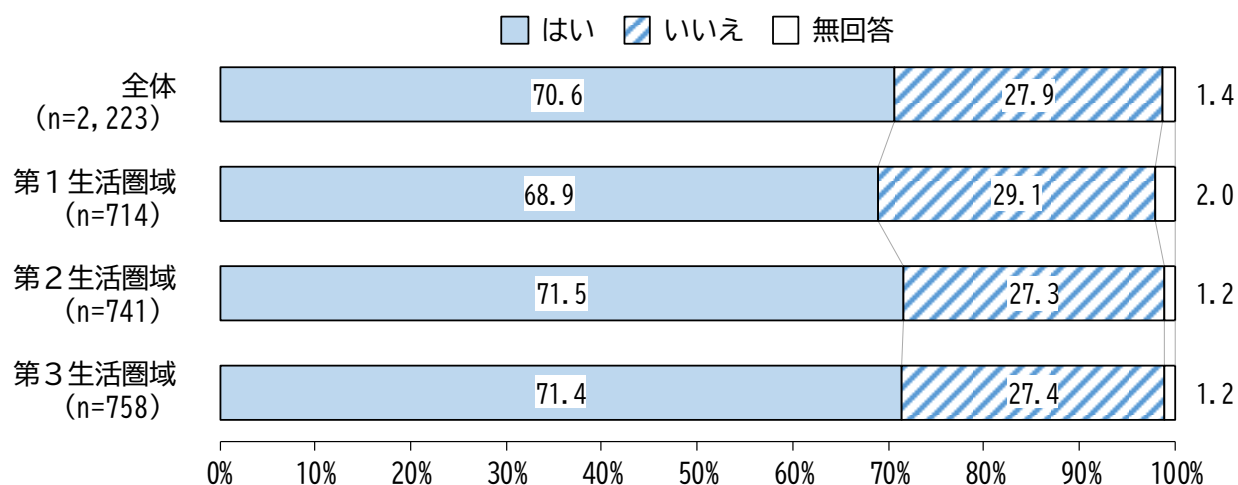
日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で15.8%、第2生活圏域で12.4%、第3生活圏域で13.5%となっています。



（１６）若い人に自分から話しかけることがありますか。（１つに○）

若い人に自分から話しかけることがあるかでは、「はい」が70.6%、「いいえ」が27.9%となっています。

日常生活圏域別で「いいえ」は、第1生活圏域で29.1%、第2生活圏域で27.3%、第3生活圏域で27.4%となっています。

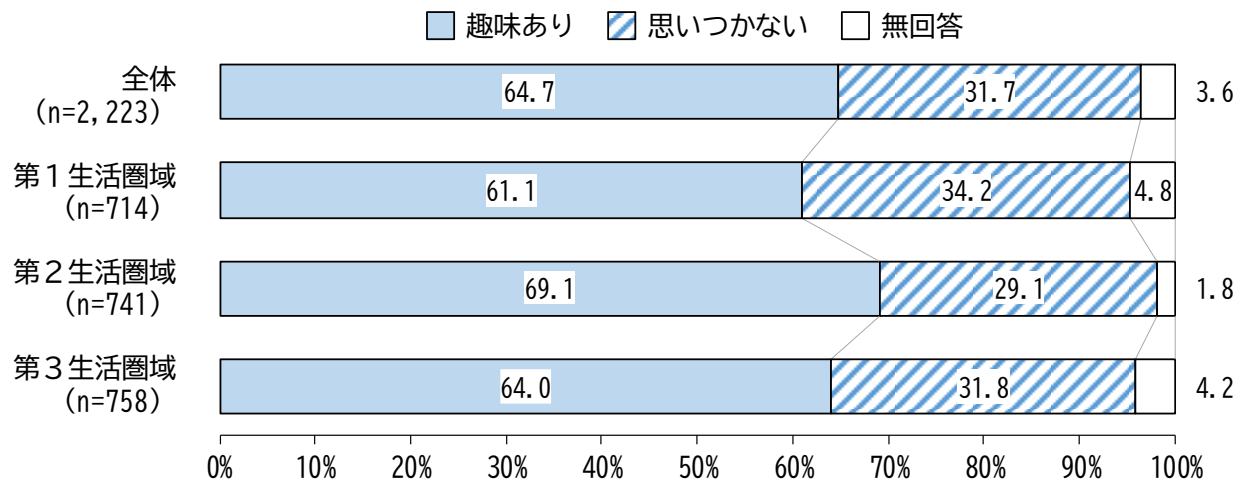


(17) 趣味はありますか。(1つに○)(記述式)

趣味の有無では、「趣味あり」が64.7%、「思いつかない」が31.7%となっています。

日常生活圏域別で「趣味あり」は、第1生活圏域で61.1%、第2生活圏域で69.1%、第3生活圏域で64.0%となっています。

趣味の内容では、「園芸（庭木の手入れ、花の手入れ、畑、家庭菜園等）」が最も多くなっており、「スポーツ（ゴルフ、ウォーキング等）」「手芸（編み物、洋裁等）」も多くなっています。



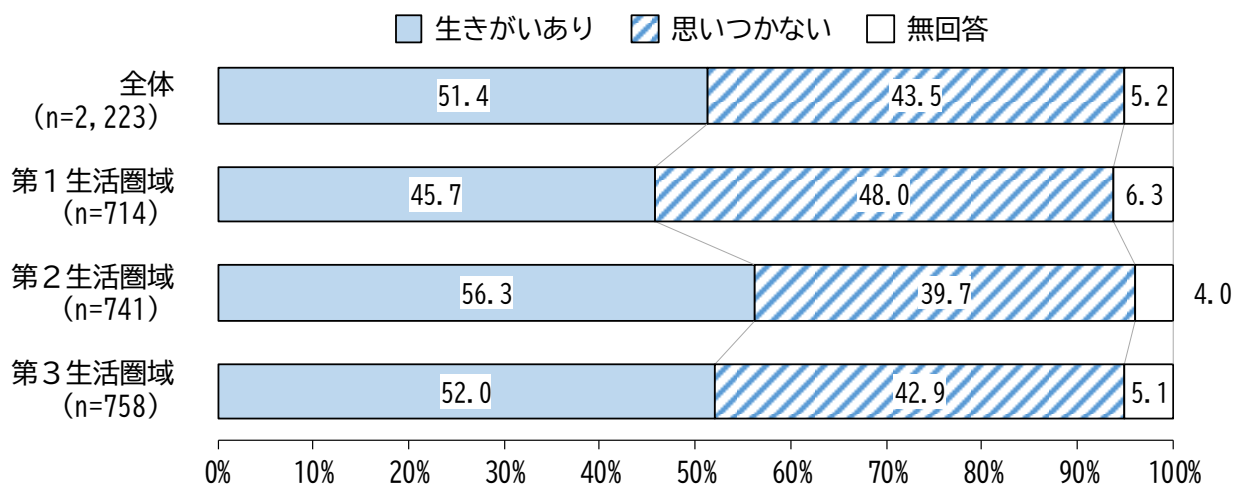
順位	趣味（上位）	票数
1	園芸（庭木の手入れ、花の手入れ、畑、家庭菜園等）	306
2	スポーツ（ゴルフ、ウォーキング等）	299
3	手芸（編み物、洋裁等）	231
4	娯楽・ゲーム（カラオケ、将棋等）	153
5	読書	145
6	音楽鑑賞、絵画鑑賞、観劇	143
7	旅行	118
8	釣り	73
9	料理・家事	44
10	パソコン	21

(18) 生きがいがありますか。(1つに○)(記述式)

生きがいの有無では、「生きがいあり」が51.4%、「思いつかない」が43.5%となっています。

日常生活圏域別で「生きがいあり」は、第1生活圏域で45.7%、第2生活圏域で56.3%、第3生活圏域で52.0%となっています。

生きがいの内容では、「孫の子どもの世話や成長」が最も多く、「趣味」「健康でいること、運動」「仕事、社会活動」も多くなっています。



順位	生きがい（上位）	票数
1	孫や子どもの世話や成長	323
2	趣味	166
3	健康でいること、運動	131
4	仕事、社会活動	117
5	旅行・外出	76
6	友人との交流	69
7	園芸・畑仕事等	66
8	ペットの世話等	43
9	日々の暮らし	33
10	自己の成長	32

問5 地域での活動について

(1) 地域で行われている活動について、参加している団体名をご記入ください。

地域で行われている活動について、参加している団体では「なし」が最も多く、「町内会」「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」も多くなっています。

地域で行われている活動について、参加している団体	票数
なし	251
町内会	131
趣味関係のグループ	96
スポーツ関係のグループやクラブ	93
民生委員、防犯指導員等	69
銚子プラチナ体操等	60
老人クラブ	30
神社役員等	18
その他	68

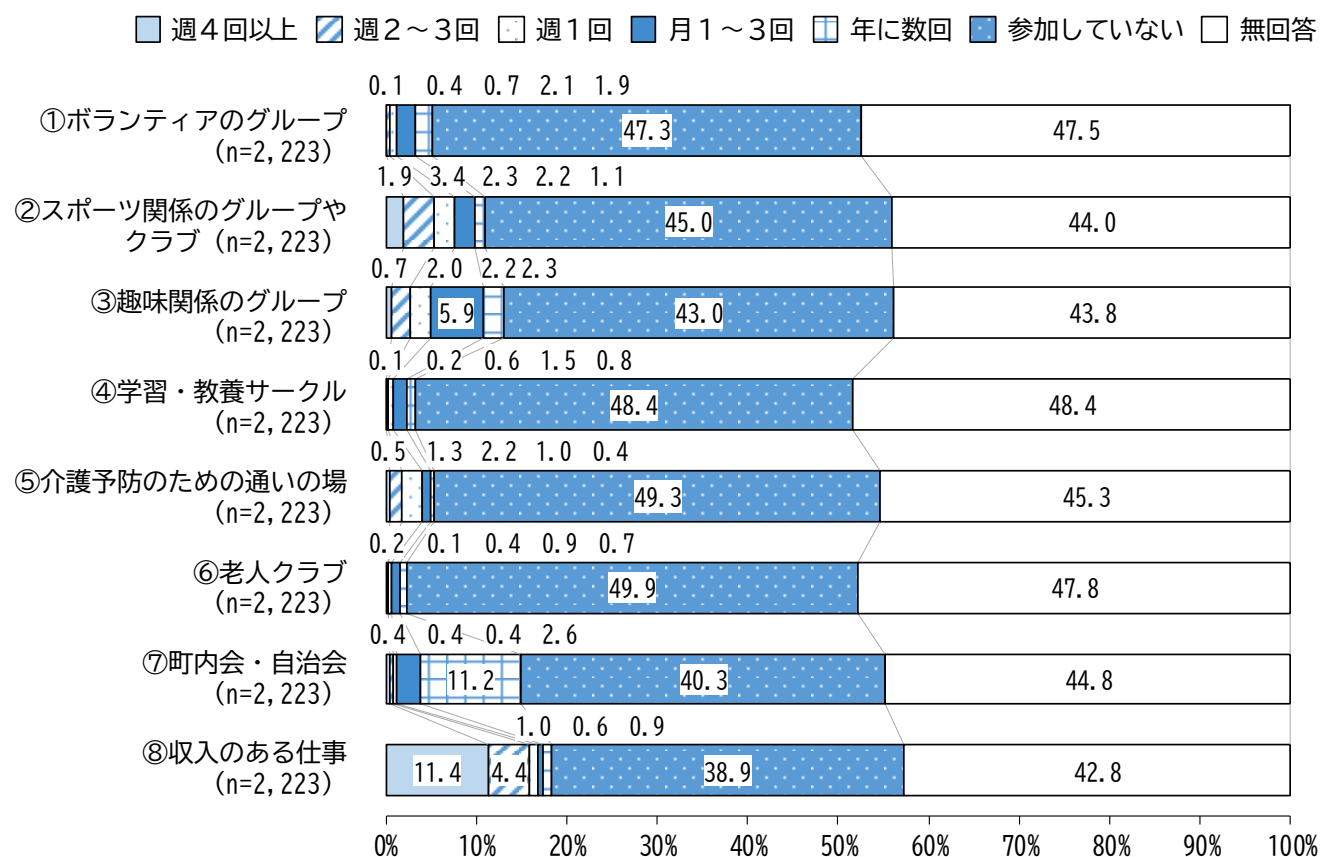
(2) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

会・グループ等の参加頻度で「週4回以上」は、「収入のある仕事」が11.4%と最も多く、次いで「スポーツ関連のグループやクラブ」が1.9%となっています。参加頻度で1割を超えるものは、「収入のある仕事」を除いて、「年に数回」の「町内会・自治会」で11.2%となっています。

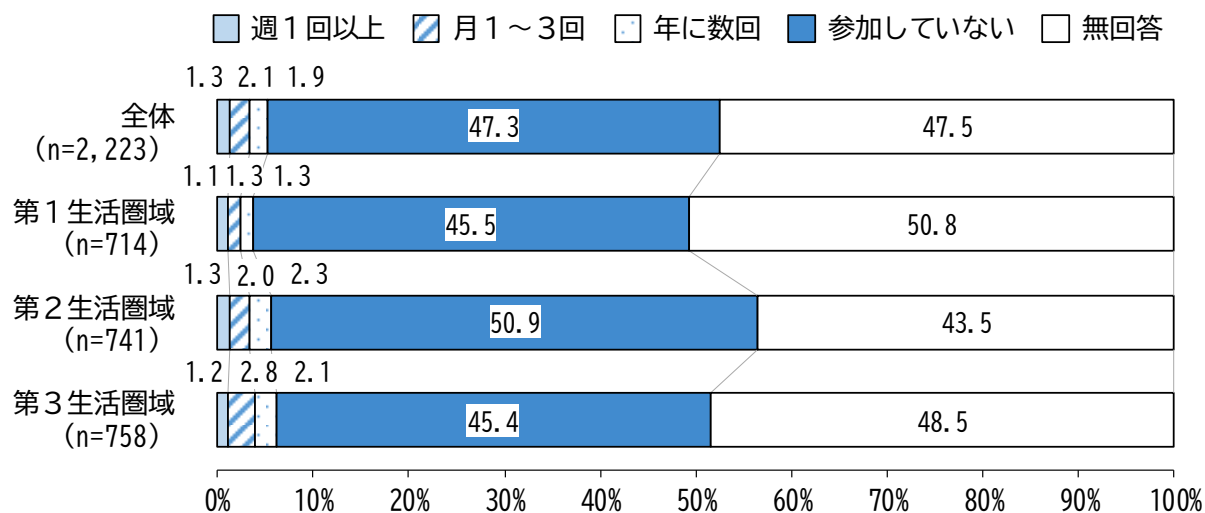
「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた『週1回以上』は、「収入のある仕事」の16.8%が最も多く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が7.6%、「趣味関係のグループ」が4.9%、「介護予防のための通いの場」が4.0%となっています。また、どの会・グループ等にも「参加していない」が、3割～5割を占めています。

日常生活圏域別でみると、スポーツ関係のグループやクラブは『週1回以上』が第2生活圏域で9.7%と、他の圏域よりもやや多くなっています。また、いずれの圏域も『週1回以上』は、「収入のある仕事」が最も多く、第1生活圏域で15.4%、第2生活圏域及び第3生活圏域で17.5%となっています。

項目\選択肢	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	週1回以上	月1回以上
①ボランティアのグループ	0.1	0.4	0.7	2.1	1.9	47.3	47.5	1.3	3.3
②スポーツ関係のグループやクラブ	1.9	3.4	2.3	2.2	1.1	45.0	44.0	7.6	9.9
③趣味関係のグループ	0.7	2.0	2.2	5.9	2.3	43.0	43.8	4.9	10.9
④学習・教養サークル	0.1	0.2	0.6	1.5	0.8	48.4	48.4	0.9	2.4
⑤介護予防のための通いの場	0.5	1.3	2.2	1.0	0.4	49.3	45.3	4.0	5.0
⑥老人クラブ	0.2	0.1	0.4	0.9	0.7	49.9	47.8	0.7	1.6
⑦町内会・自治会	0.4	0.4	0.4	2.6	11.2	40.3	44.8	1.1	3.7
⑧収入のある仕事	11.4	4.4	1.0	0.6	0.9	38.9	42.8	16.9	17.5

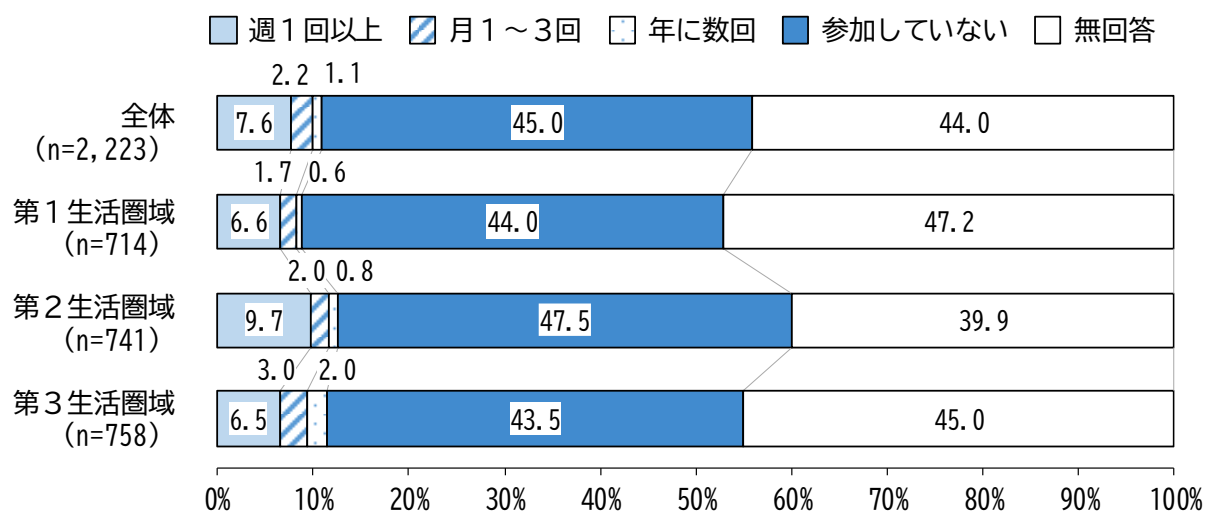


① ボランティアのグループ

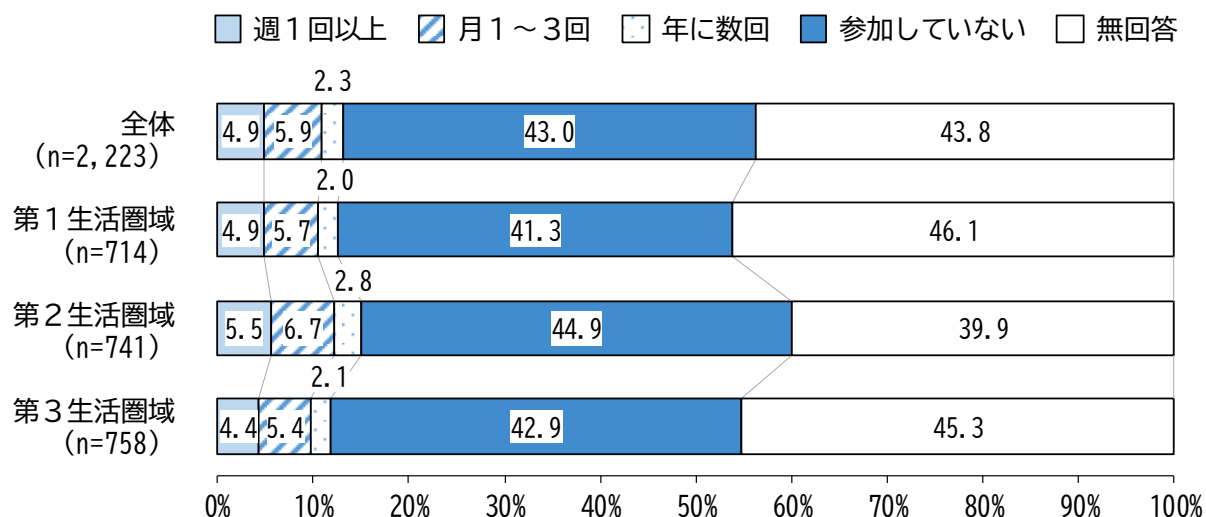


※「週1回以上」は、週1回、週2～3回、週4回以上の合計値となります。

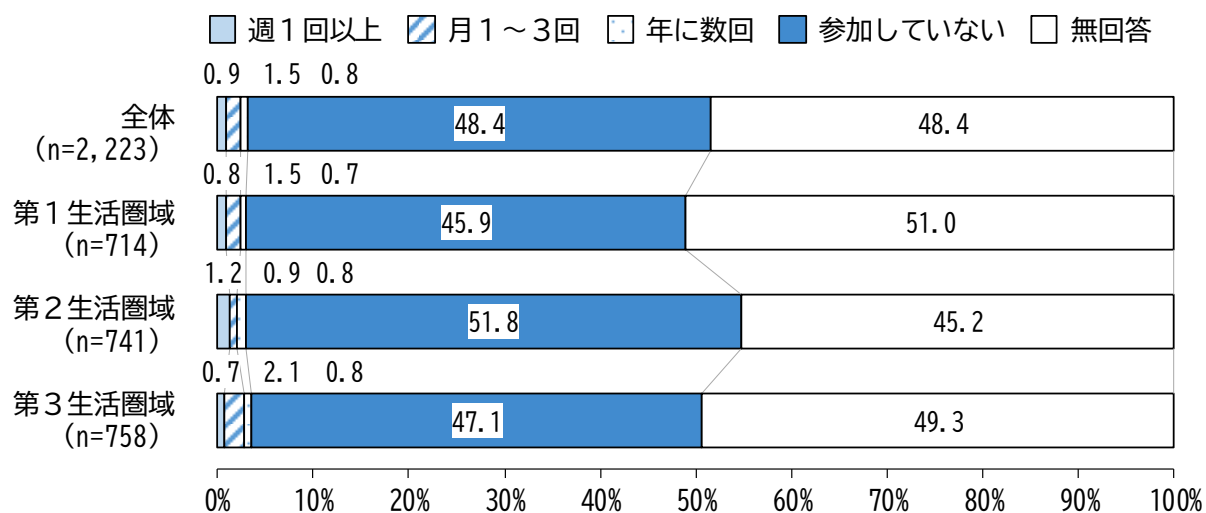
② スポーツ関係のグループやクラブ



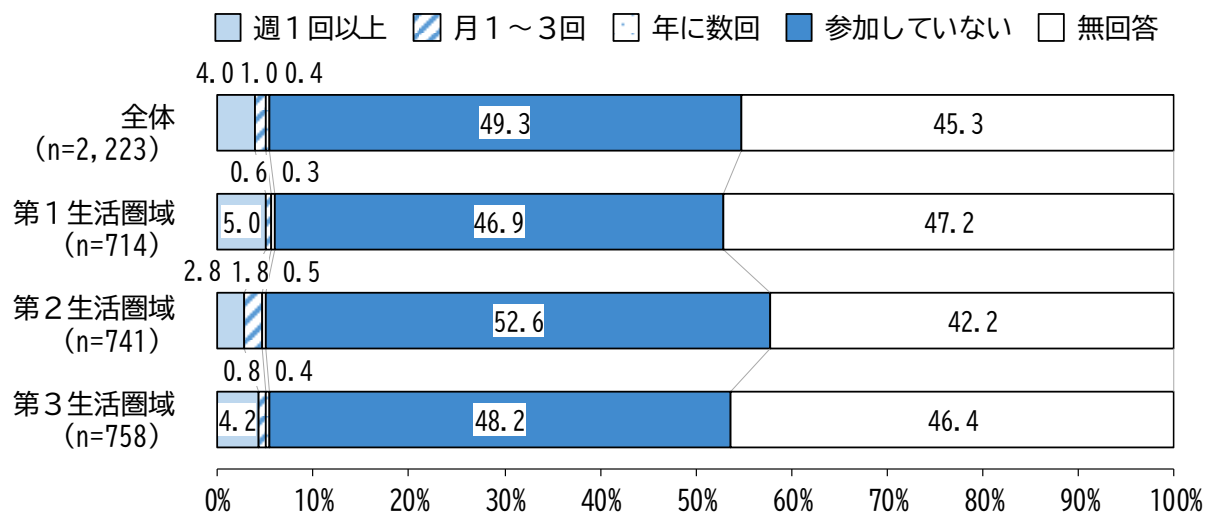
③ 趣味関係のグループ



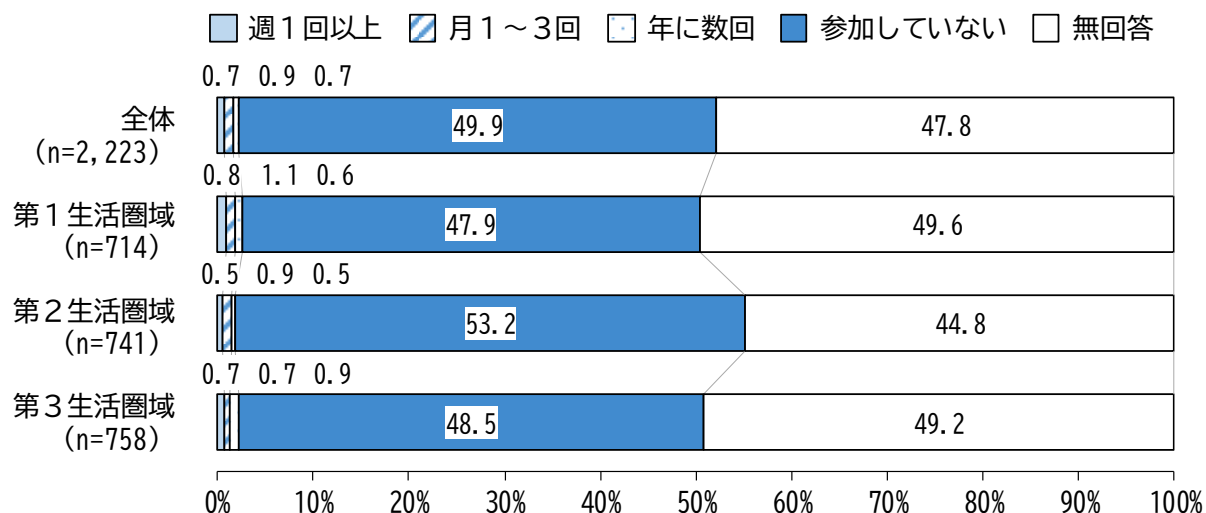
④ 学習・教養サークル



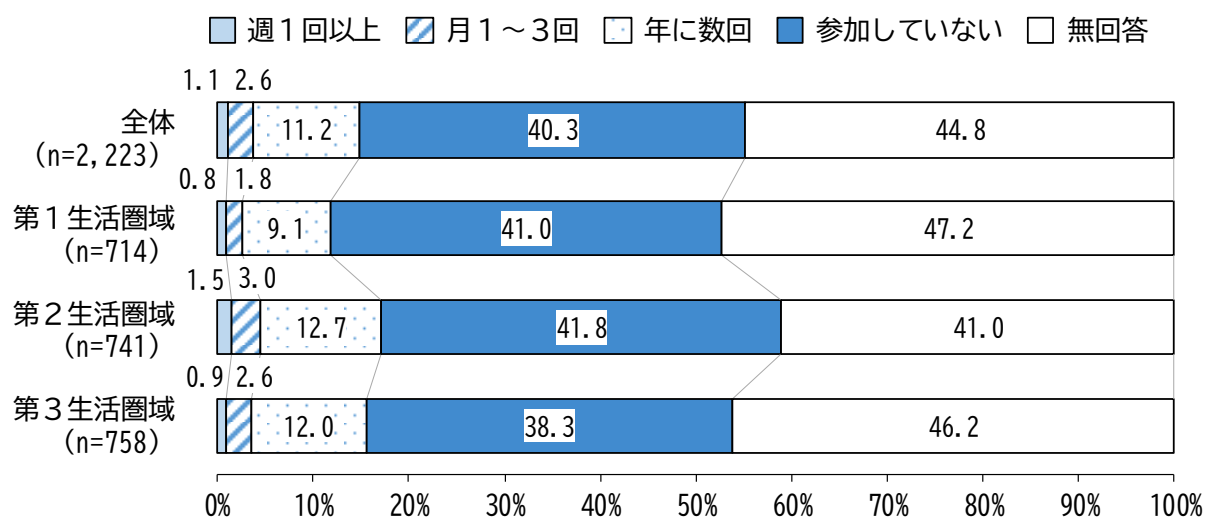
⑤ 「銚子プラチナ体操」、「ふれあい交流サロン」など介護予防のための通いの場



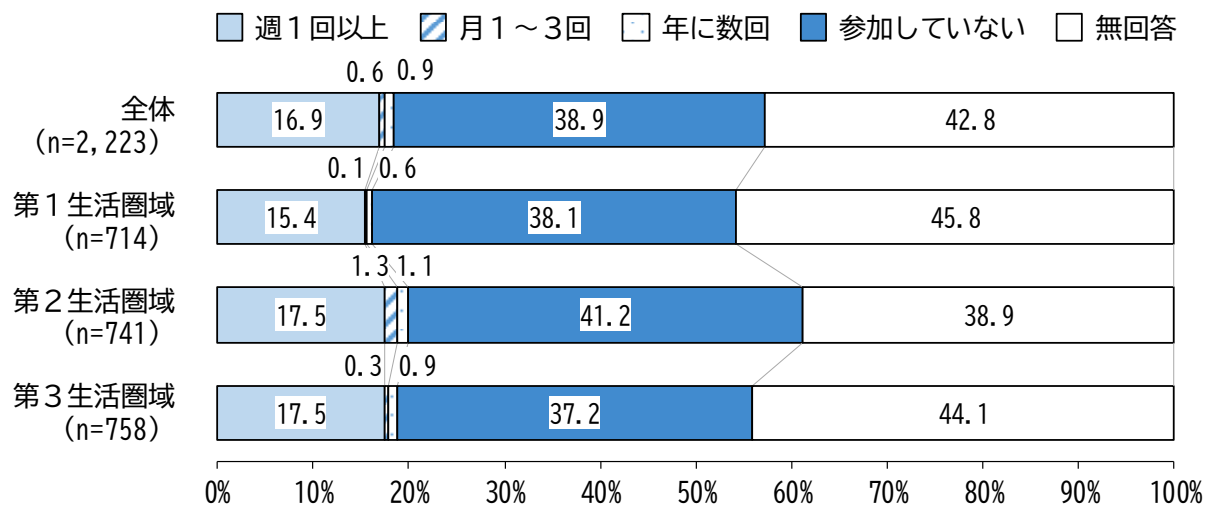
⑥ 老人クラブ



⑦ 町内会・自治会



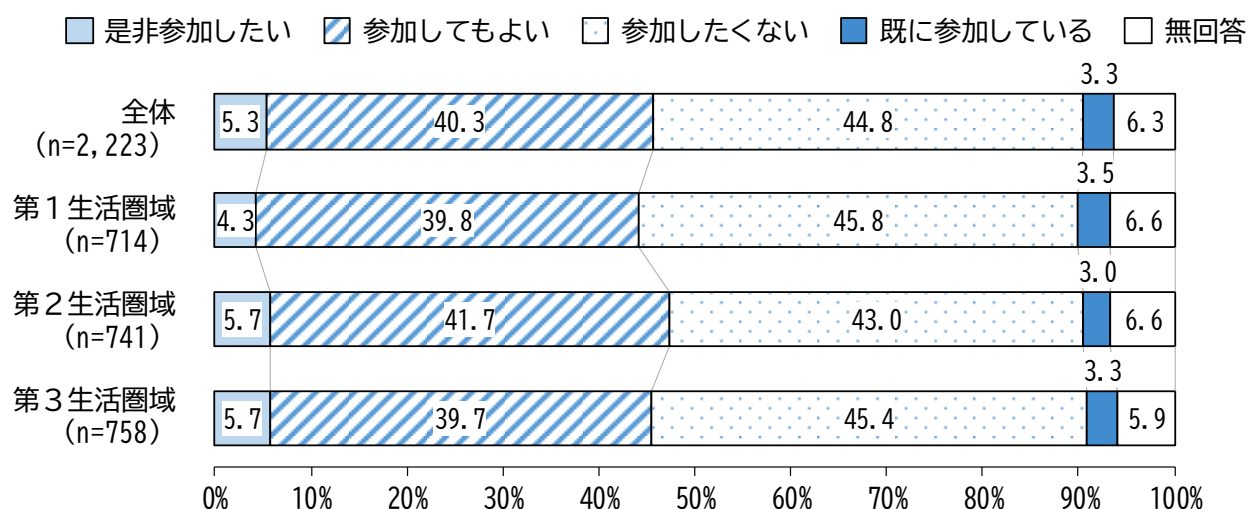
⑧ 収入のある仕事



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

地域活動に参加者として参加してみたいかでは、「是非参加したい」は 5.3%、「参加してもよい」は 40.3%となっており、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向あり』は 45.6%となっています。

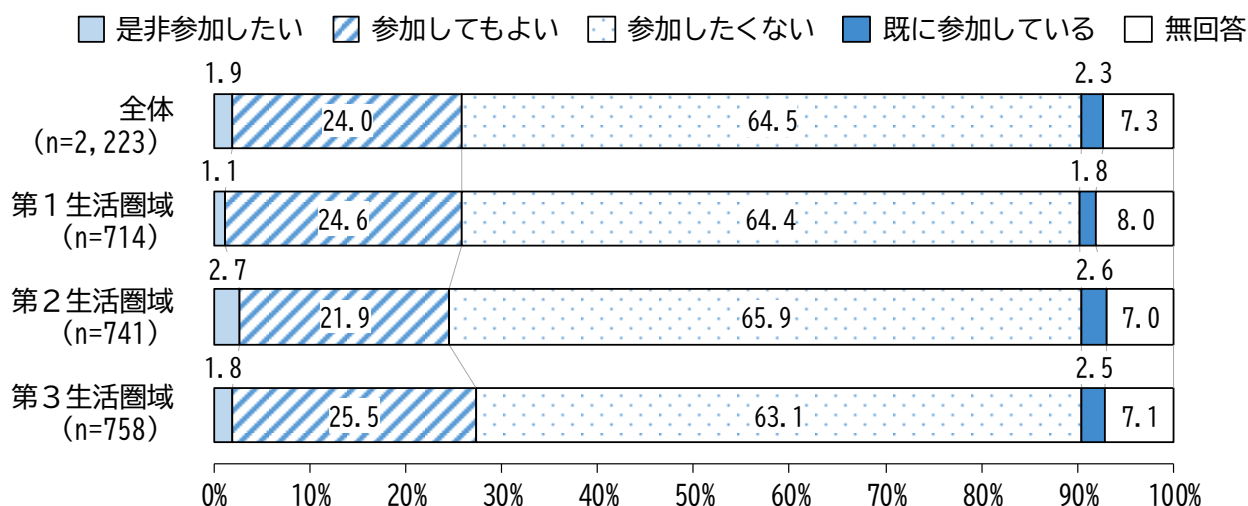
日常生活圏域別では、『参加意向あり』は、第2生活圏域で 47.4%と最も多く、一方、「参加したくない」は、第1生活圏域で 45.8%と最も多くなっています。



(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

地域活動に企画・運営として参加してみたいかでは、「是非参加したい」は 1.9%、「参加してもよい」は 24.0%となっており、『参加意向あり』は 25.9%となっている一方で、「参加したくない」は 64.5%となっています。

日常生活圏域別で『参加意向あり』は、第1生活圏域で 25.7%、第2生活圏域で 24.6%、第3生活圏域で 27.3%となっており、いずれも「参加したくない」が最も多くなっています。

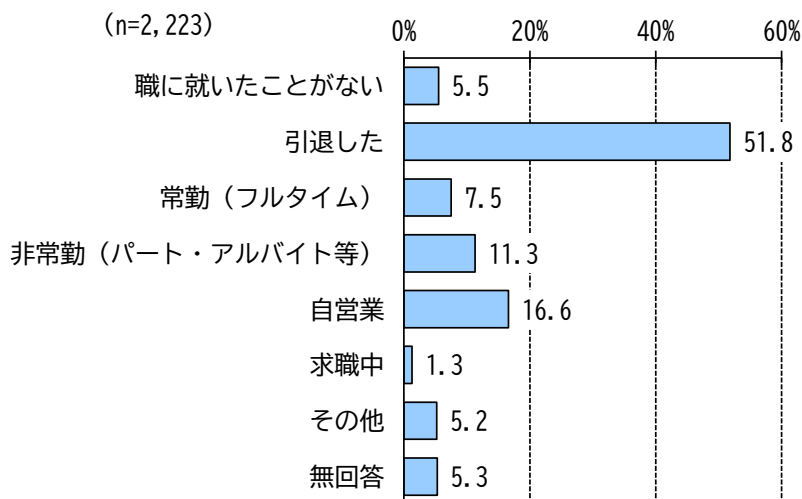


問6 就労について

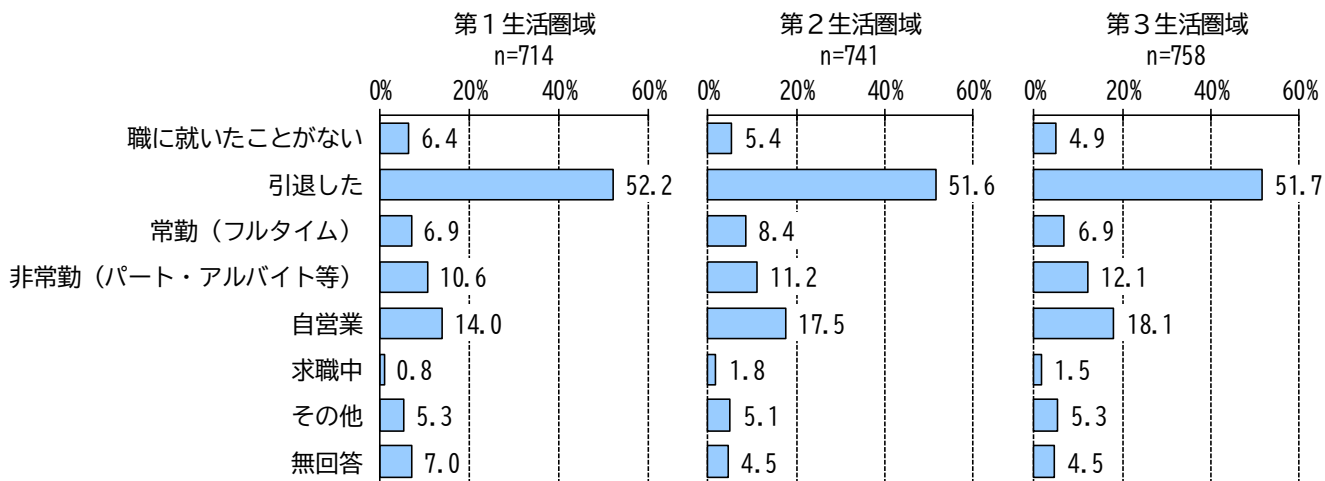
(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

現在の就労状態は、「引退した」が 51.8%と最も多く、次いで「自営業」が 16.6%、「非常勤（パート・アルバイト等）」が 11.3%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域も「引退した」が最も多くなっています。



【日常生活圏域別】

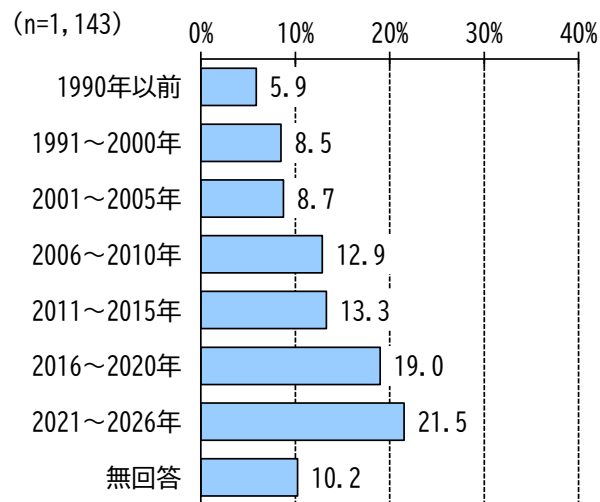


【(1) において「2. 引退した」の方のみ】

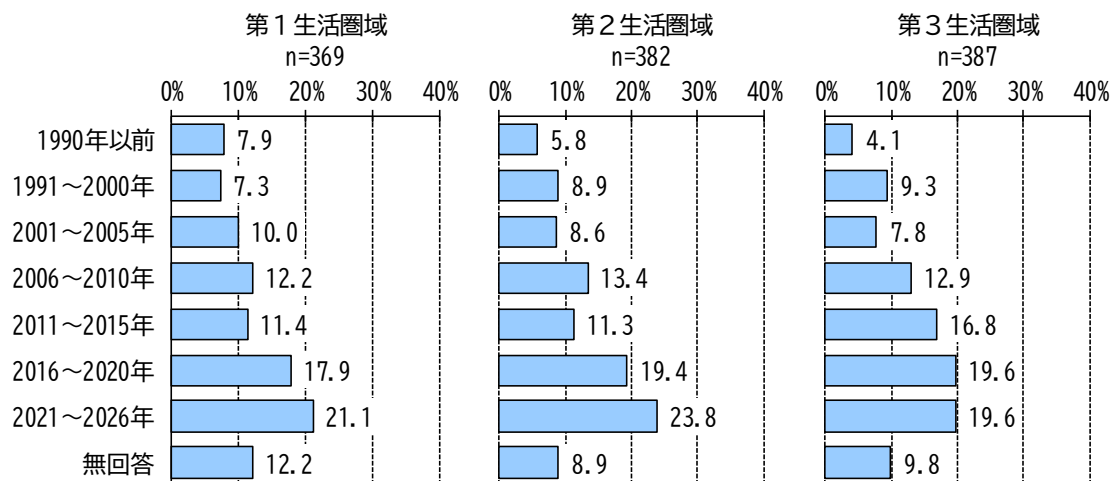
① あなたはいつ引退しましたか。

引退した時期は、「2021～2026年（令和3～8年）」が21.5%と最も多く、次いで「2016～2020年（平成28年～令和2年）」が19.0%、「2011～2015年（平成23～27年）」が13.3%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「2021～2026年（令和3～8年）」が最も多く、第3生活圏域では「2016～2020年（平成28年～令和2年）」も同率で最も多くなっています。



【日常生活圏域別】

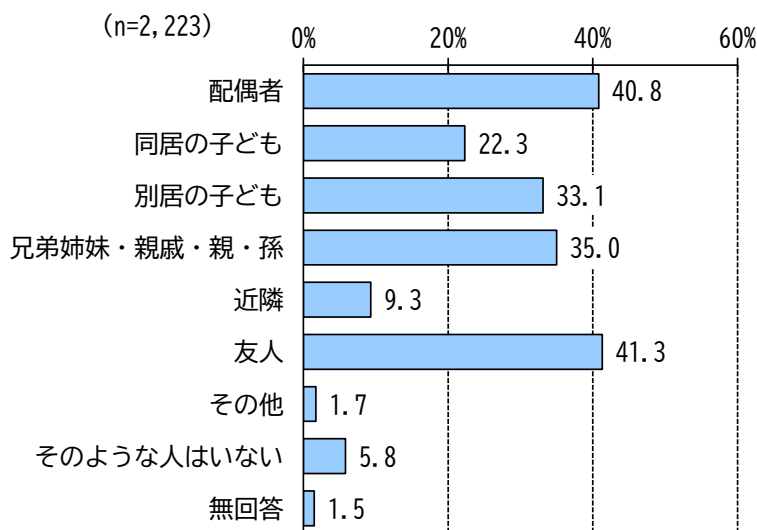


問7 たすけあいについて

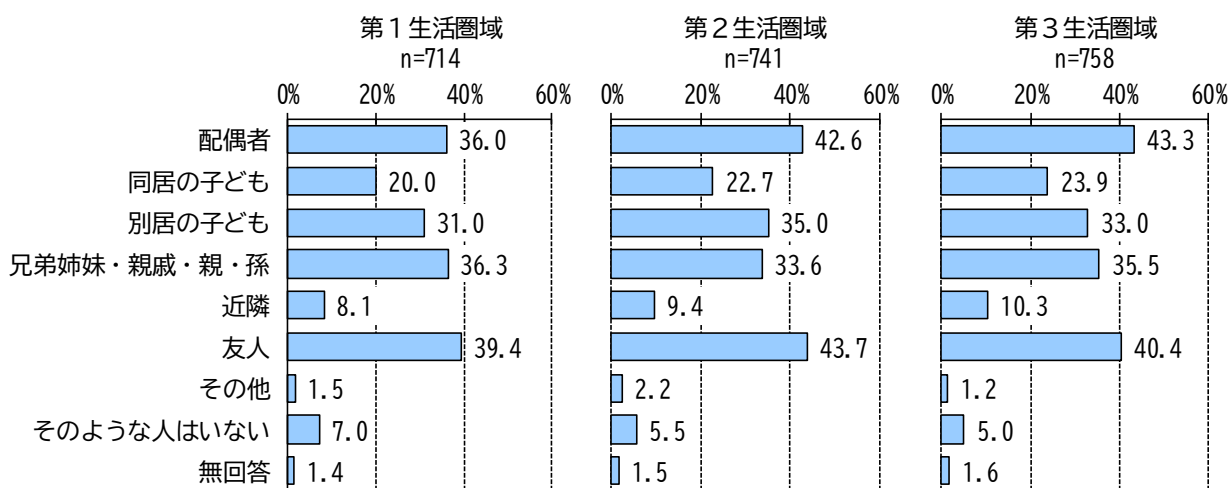
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人を教えてください。（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」が41.3%と最も多く、次いで「配偶者」が40.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.0%となっており、その一方で、「そのような人はいない」は5.8%となっています。

日常生活圏域別では、第1生活圏域及び第2生活圏域では「友人」が最も多く、第3生活圏域では「配偶者」が最も多くなっています。また、いずれの圏域でも「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が多くなっています。



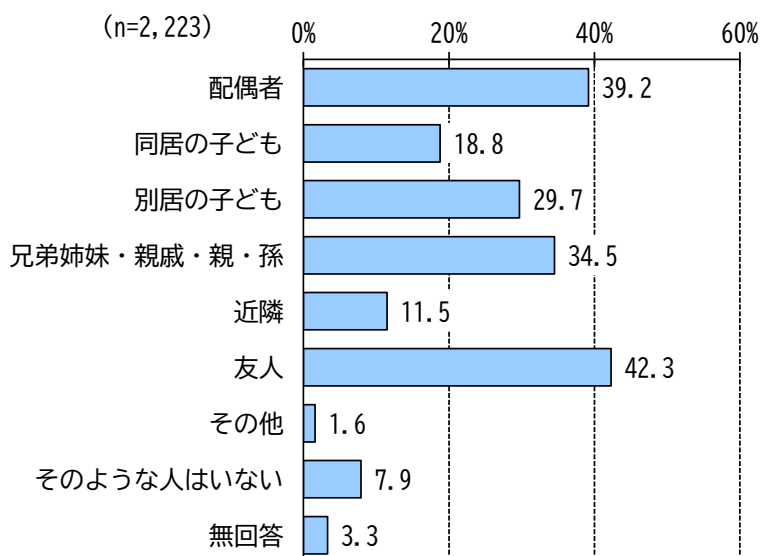
【日常生活圏域別】



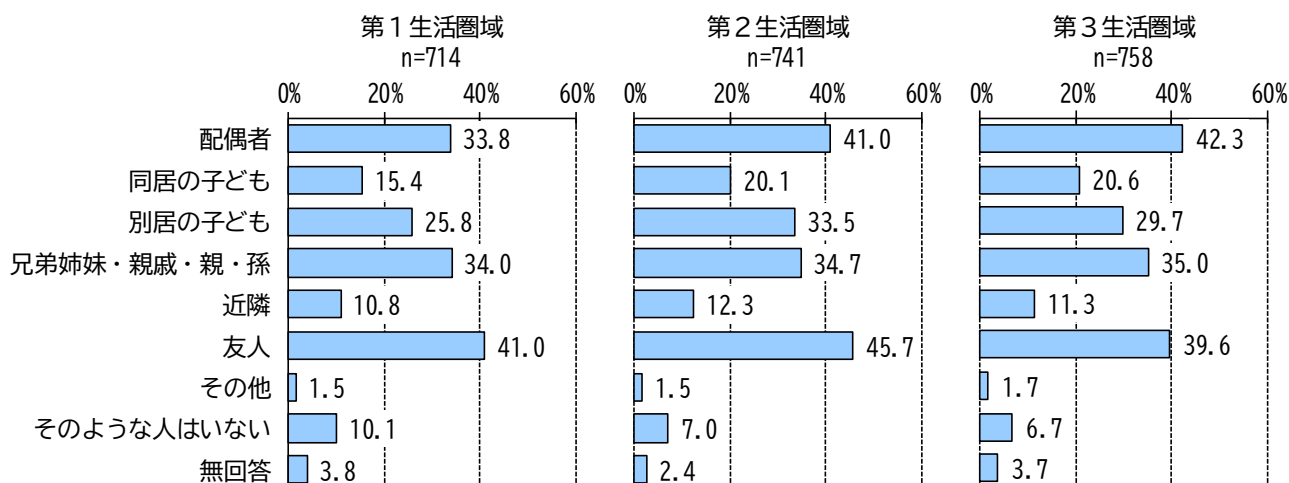
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人を教えてください。（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」が42.3%と最も多く、次いで「配偶者」が39.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.5%となっており、その一方で、「そのような人はいない」は7.9%となっています。

日常生活圏域別では、第1生活圏域及び第2生活圏域では「友人」が最も多く、第3生活圏域では「配偶者」が最も多くなっています。また、いずれの圏域でも「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が多くなっています。



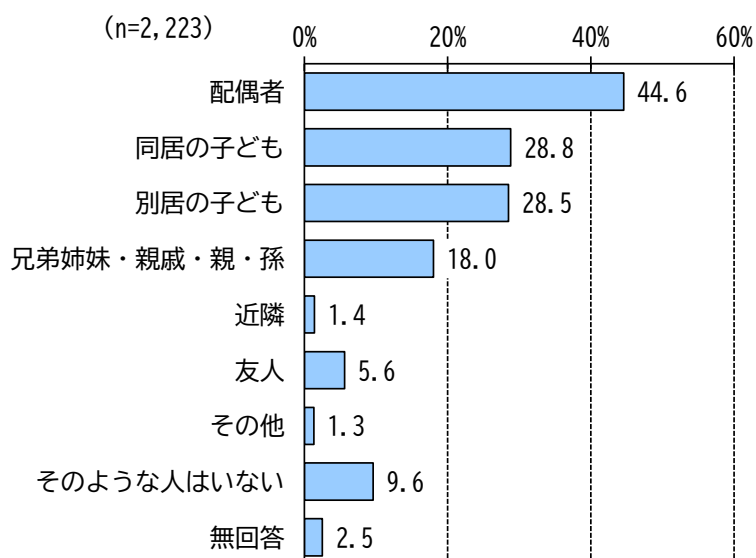
【日常生活圏域別】



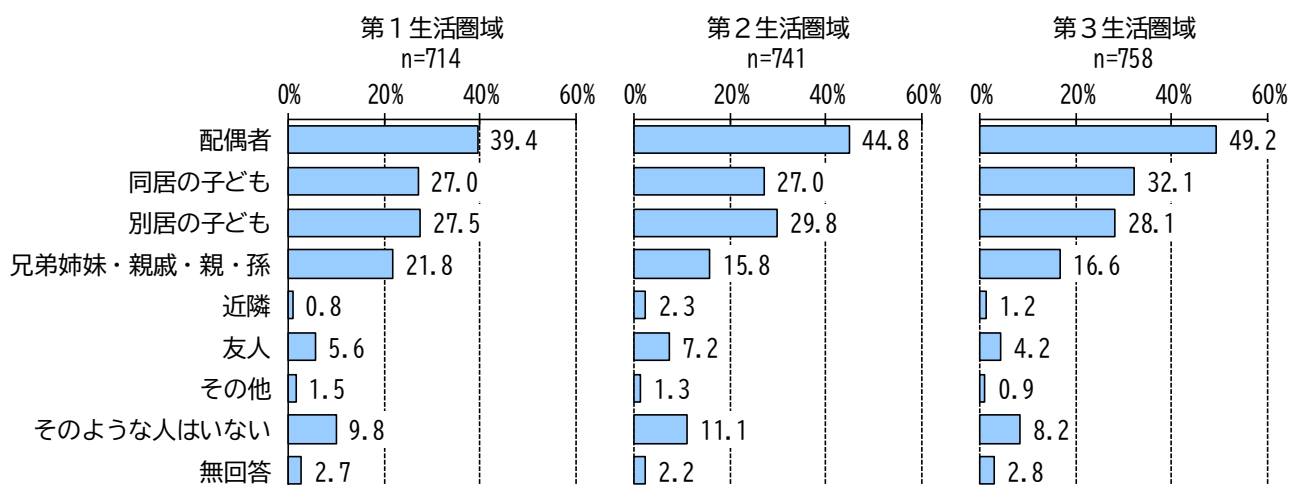
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。
(いくつでも)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が 44.6%と最も多く、次いで「同居の子ども」が28.8%、「別居の子ども」が28.5%となっており、その一方で、「そのような人はいない」は9.6%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「配偶者」が最も多く、特に第3生活圏域でやや多くなっています。また、いずれの圏域でも「同居の子ども」「別居の子ども」が多くなっています。



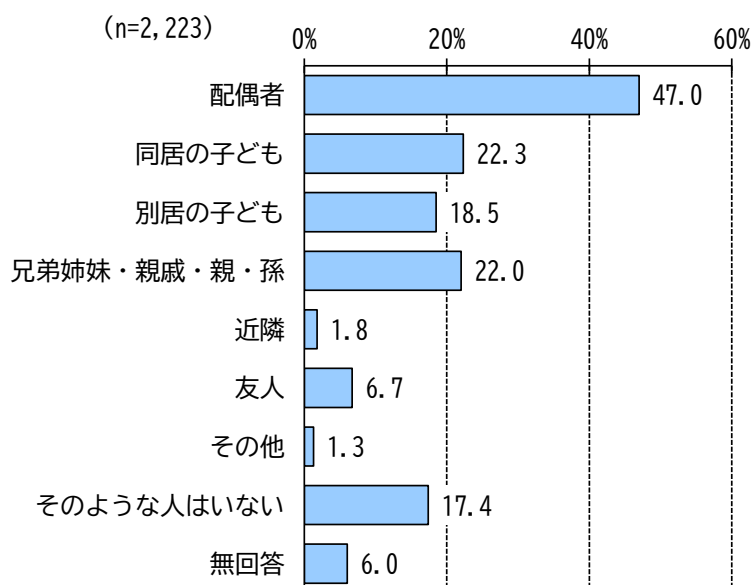
【日常生活圏域別】



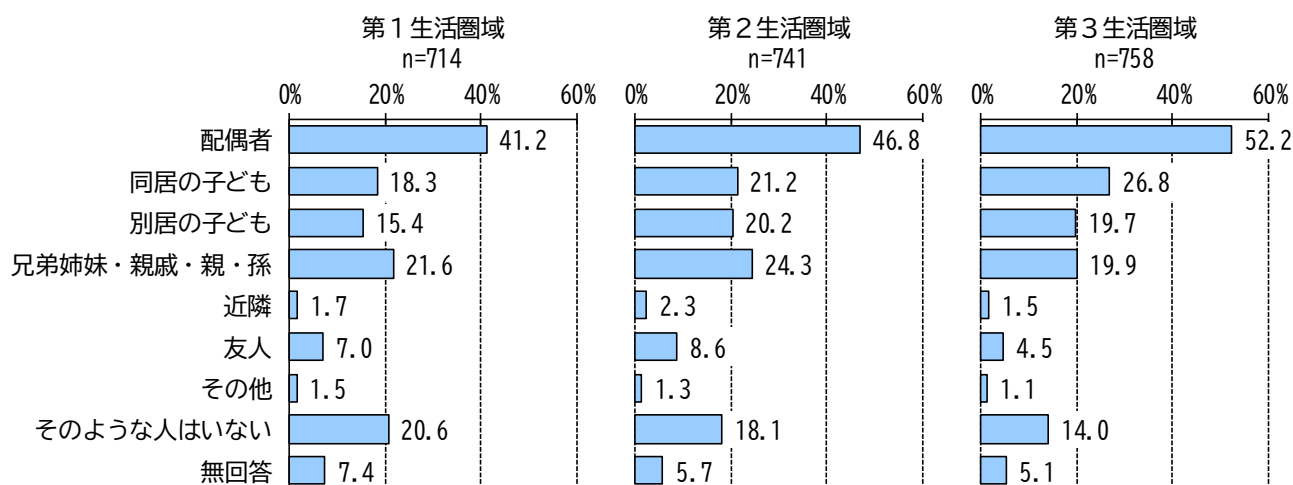
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。(いくつでも)

看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が 47.0%で最も多く、次いで「同居の子ども」が 22.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 22.0%となっており、その一方で、「そのような人はいない」は 17.4%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「配偶者」が最も多く、特に第3生活圏域で多くなっています。一方、「そのような人はいない」は、第1生活圏域で最も多くなっています。



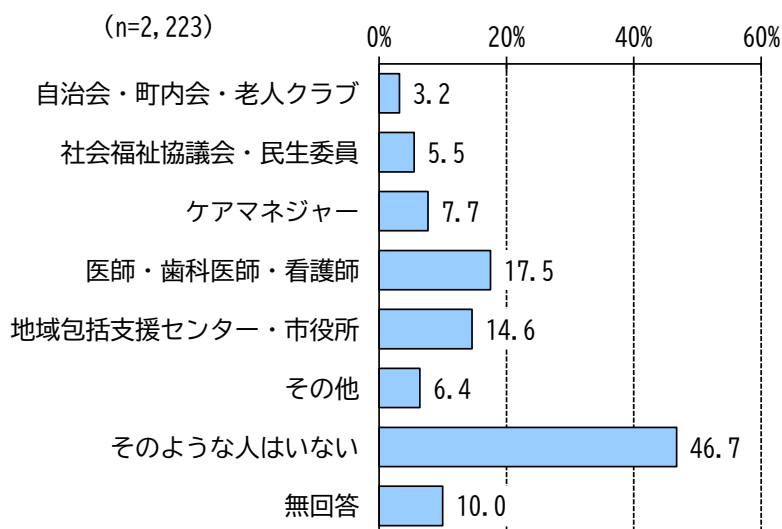
【日常生活圏域別】



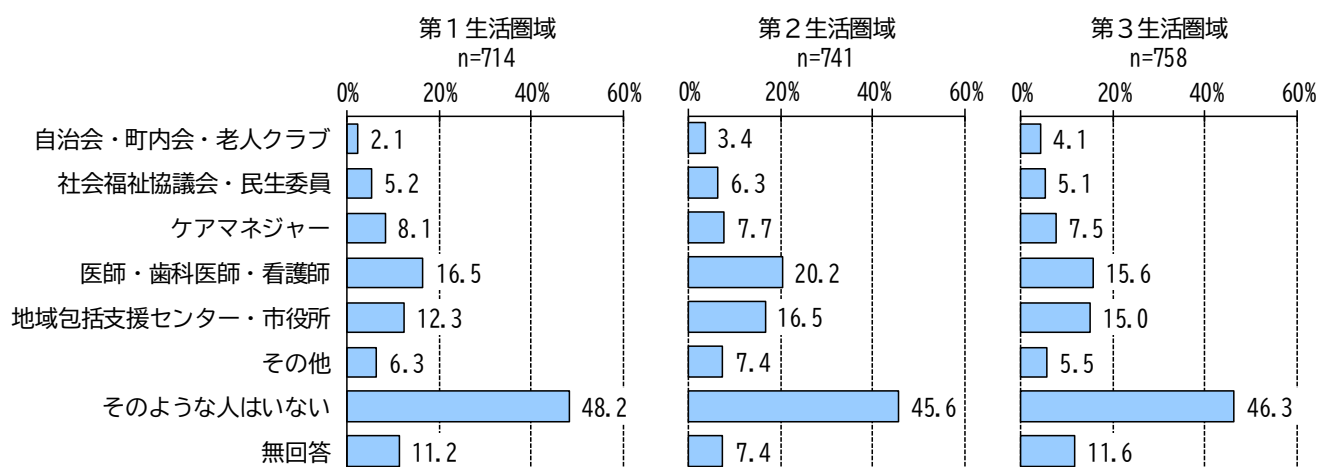
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」が 46.7%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 17.5%、「地域包括支援センター・市役所」が 14.6%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「そのような人はいない」が最も多くなっています。



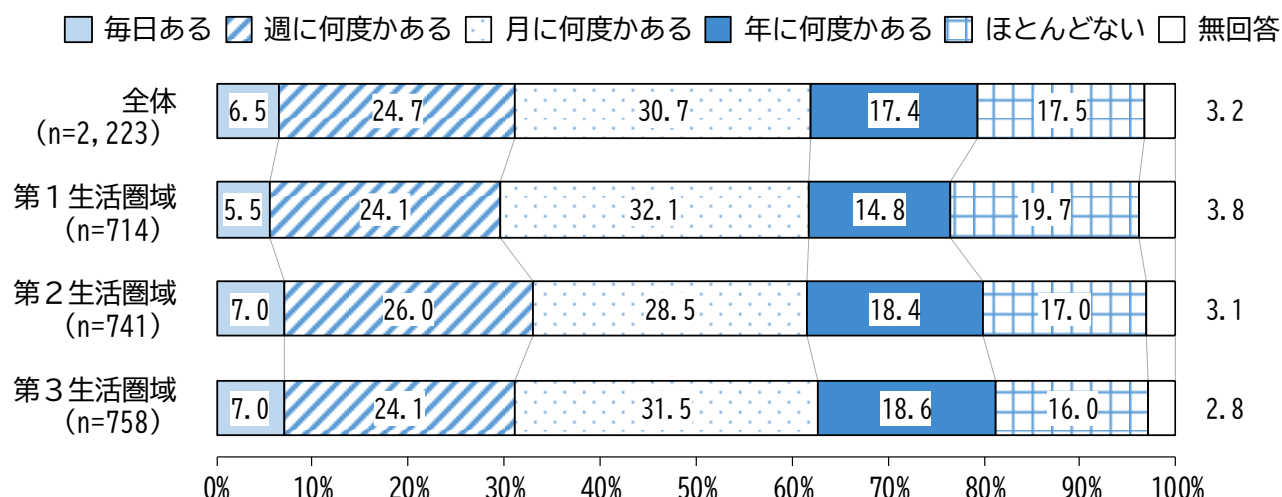
【日常生活圏域別】



(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が30.7%で最も多く、次いで「週に何度かある」が24.7%、「ほとんどない」が17.5%となっています。また、「年に何度かある」と「ほとんどない」を合わせた『あまりない』は34.9%となっています。

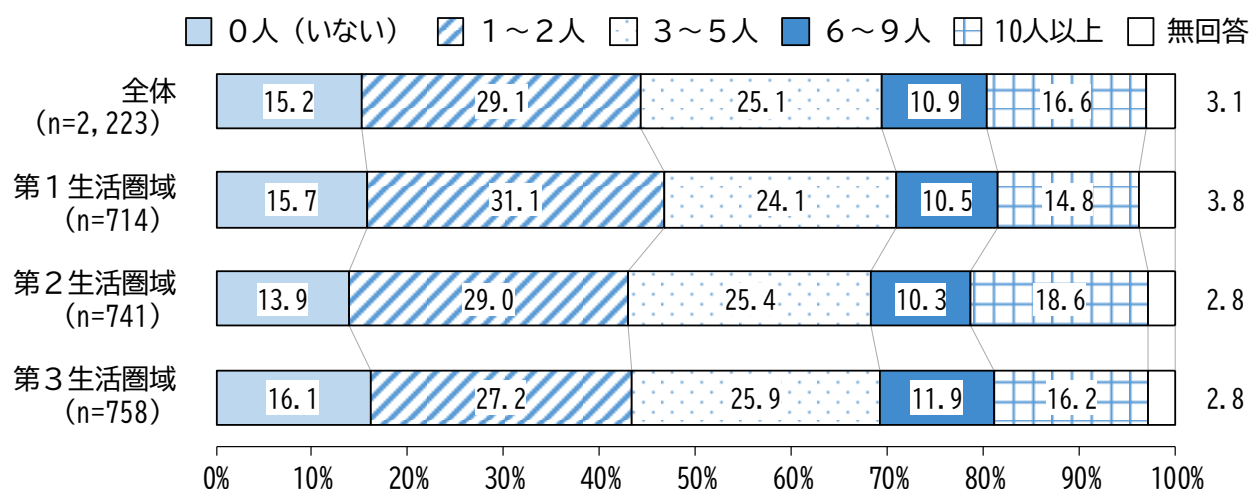
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「月に何度かある」が最も多くなっています。『あまりない』は、第1生活圏域で34.5%、第2生活圏域で35.4%、第3生活圏域で34.6%となっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つに○) 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

1か月間で会った友人・知人の数では、「1～2人」が29.1%で最も多く、次いで「3～5人」が25.1%、「10人以上」が16.6%となっています。また、「0人(いない)」は15.2%となっています。

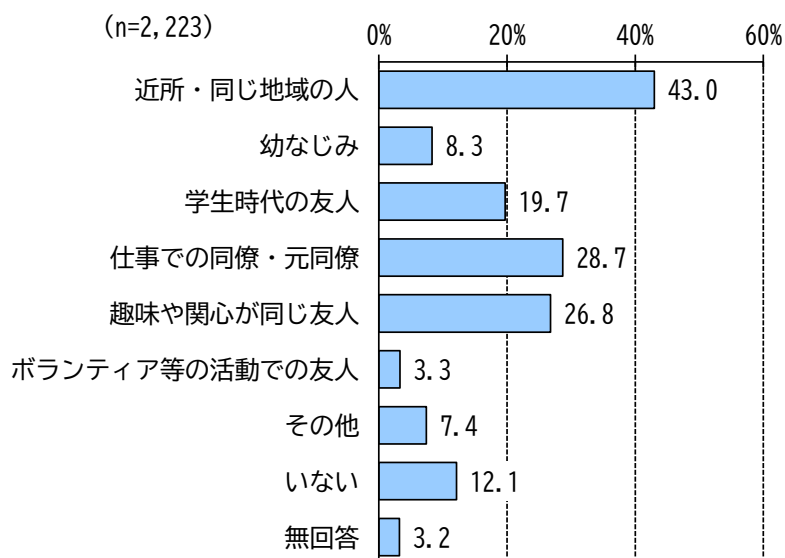
日常生活圏域別で「0人(いない)」は、第1生活圏域で15.7%、第2生活圏域で13.9%、第3生活圏域で16.1%となっており、第3生活圏域でやや多くなっています。



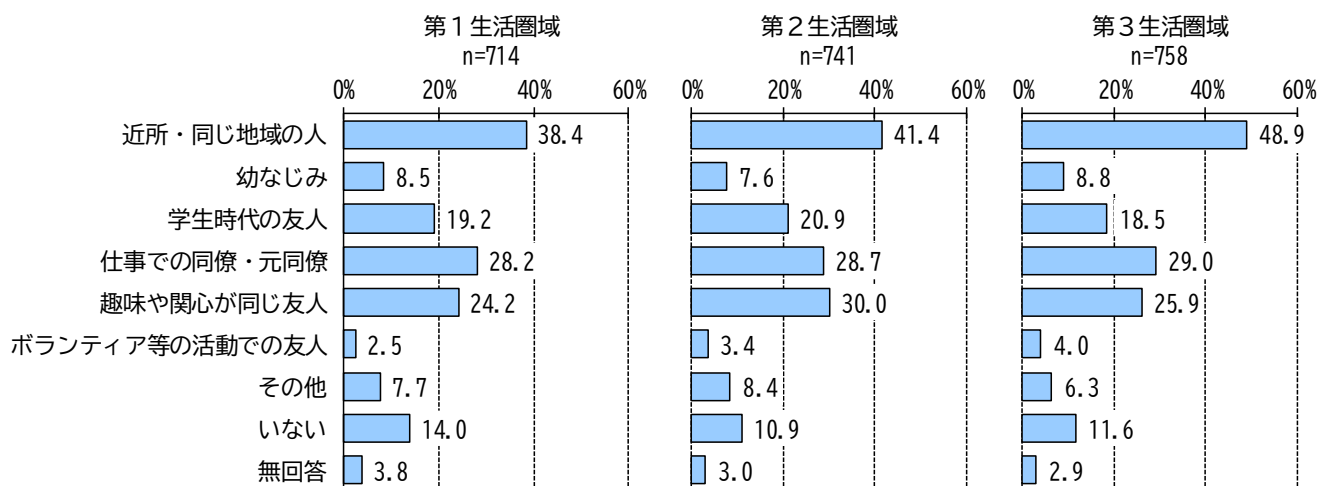
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が43.0%と最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が28.7%、「趣味や関心が同じ友人」が26.8%となっています。また、「いない」は12.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「近所・同じ地域の人」が最も多く、第3生活圏域では48.9%と他の生活圏域に比べて特に多くなっています。



【日常生活圏域別】

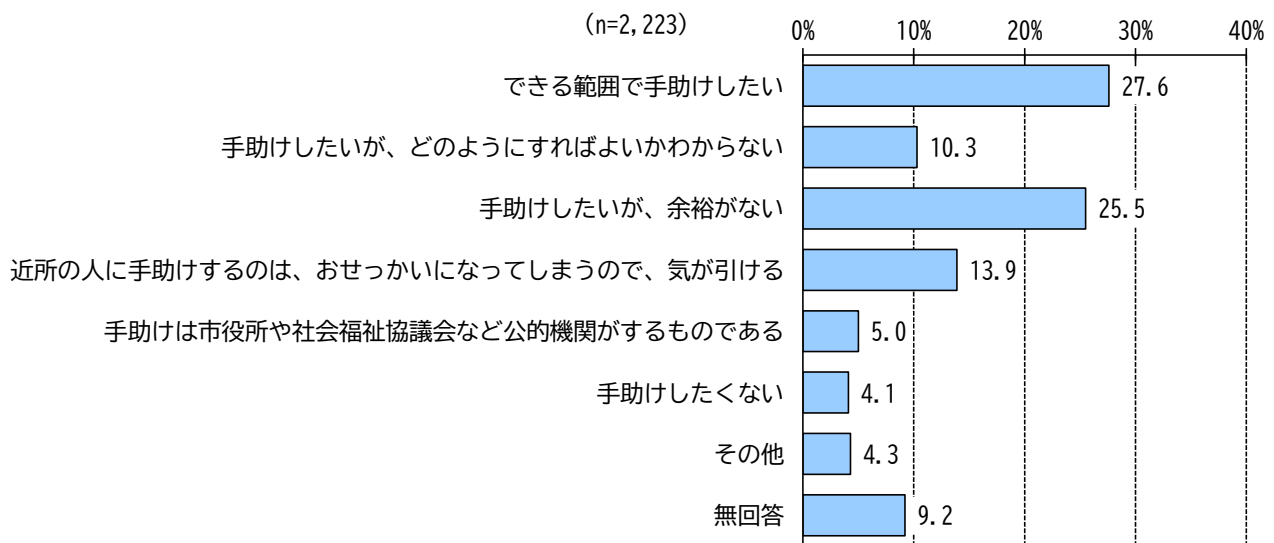


問8 日常生活での困りごとについて

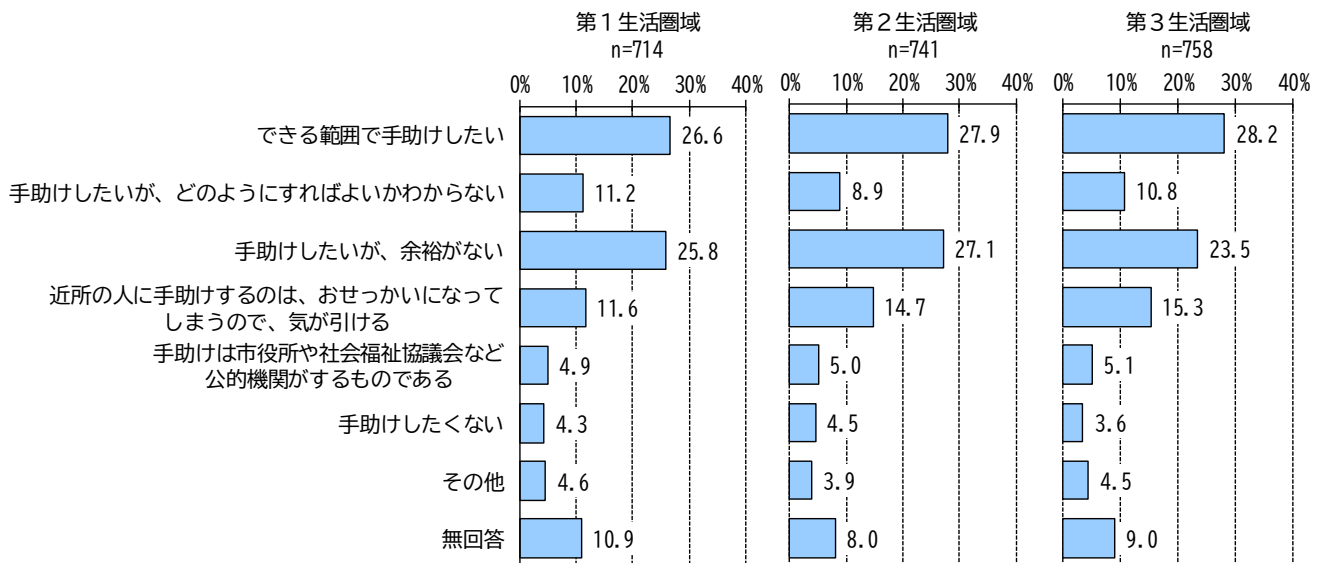
(1) 地域で何らかの日常生活上の支援を必要としている高齢者への手助けについて、あなたの考えに近いものはどれですか。(1つに○)

高齢者への手助けについて、「できる範囲で手助けしたい」が27.6%と最も多く、次いで「手助けしたいが、余裕がない」が25.5%、「近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける」が13.9%となっています。また、「手助けしたくない」は4.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「できる範囲で手助けしたい」が最も多く、「手助けしたいが、余裕がない」が続いています。



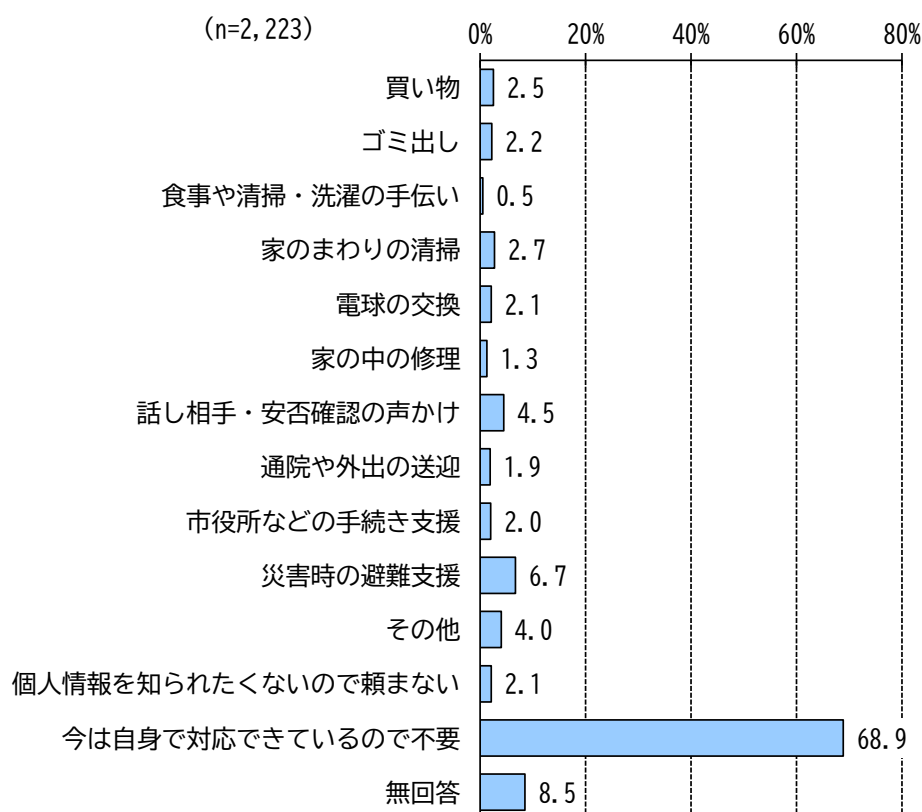
【日常生活圏域別】



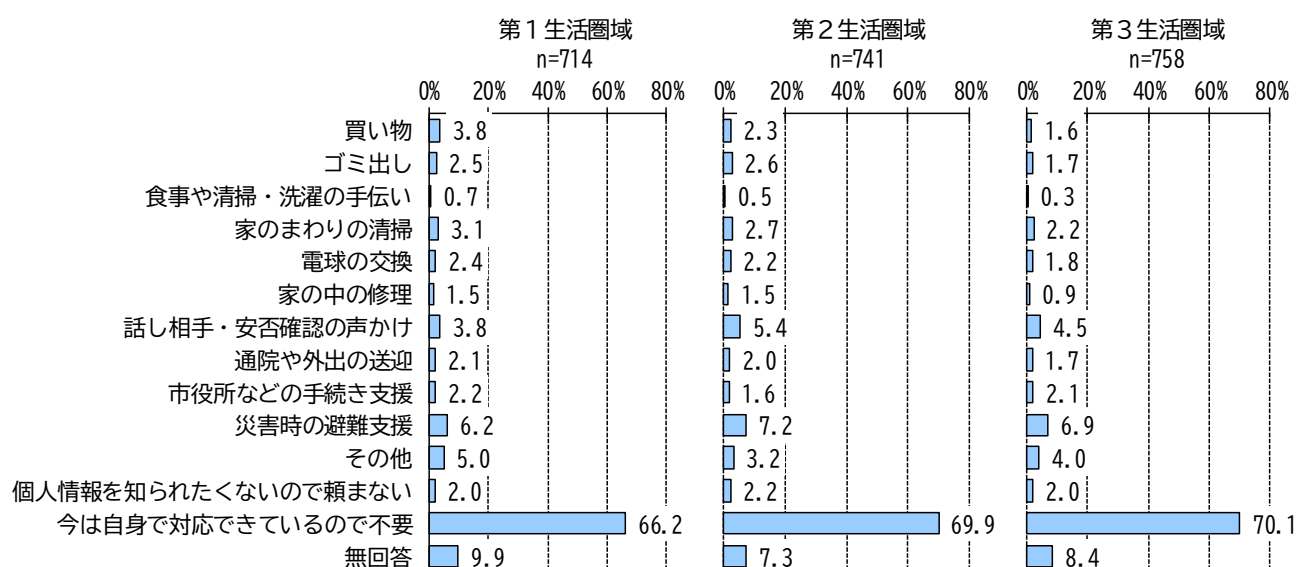
(2) 近所の人に手助けしてほしいことは何ですか。(いくつでも)

近所の人に手助けしてほしいことでは、「今は自身で対応できているので不要」が68.9%で最も多く、次いで「災害時の避難支援」が6.7%、「話し相手・安否確認の声かけ」が4.5%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「今は自身で対応できているので不要」が最も多く、「災害時の避難支援」が続いています。



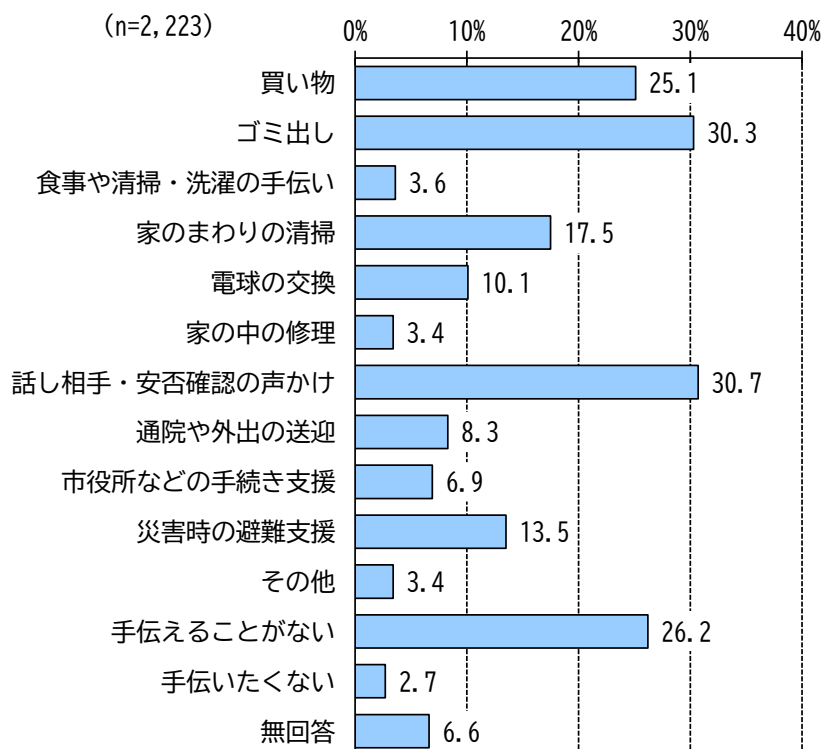
【日常生活圏域別】



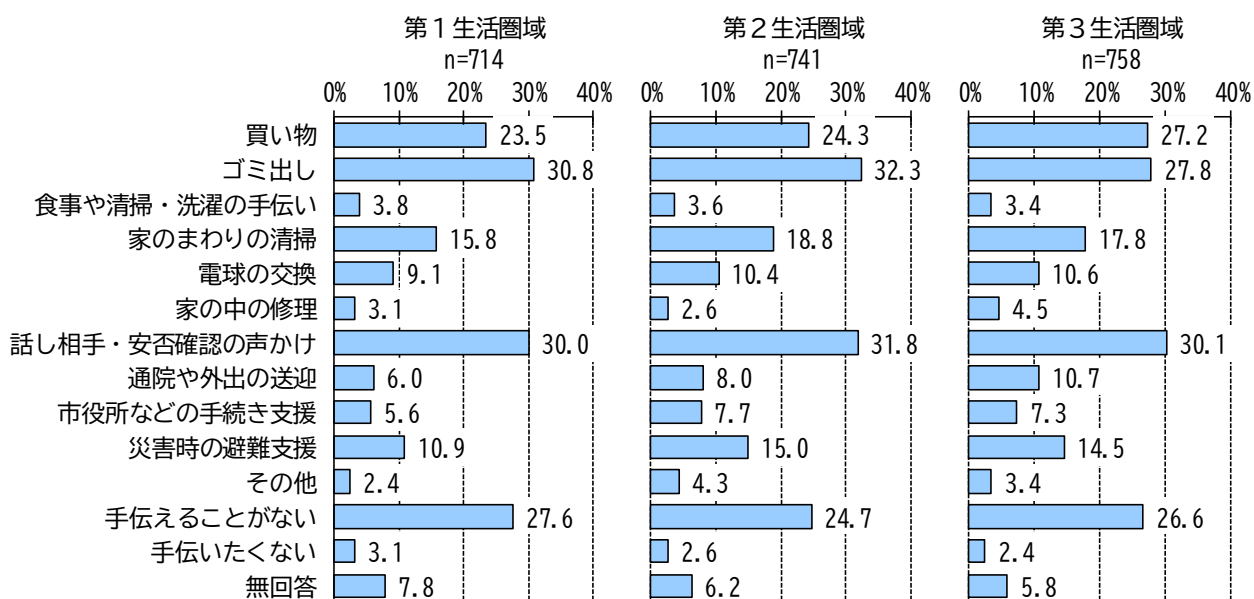
(3) 近所の人に頼まれたとき、手伝ってあげることができることは何ですか。(いくつでも)

近所の人に頼まれたとき、手伝ってあげることができることでは、「話し相手・安否確認の声かけ」が30.7%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が30.3%、「手伝えることがない」が26.2%となっており、「手伝いたくない」は2.7%となっています。

日常生活圏域別では、第1生活圏域及び第2生活圏域では「ゴミ出し」、第3生活圏域では「話し相手・安否確認の声かけ」が最も多くなっています。



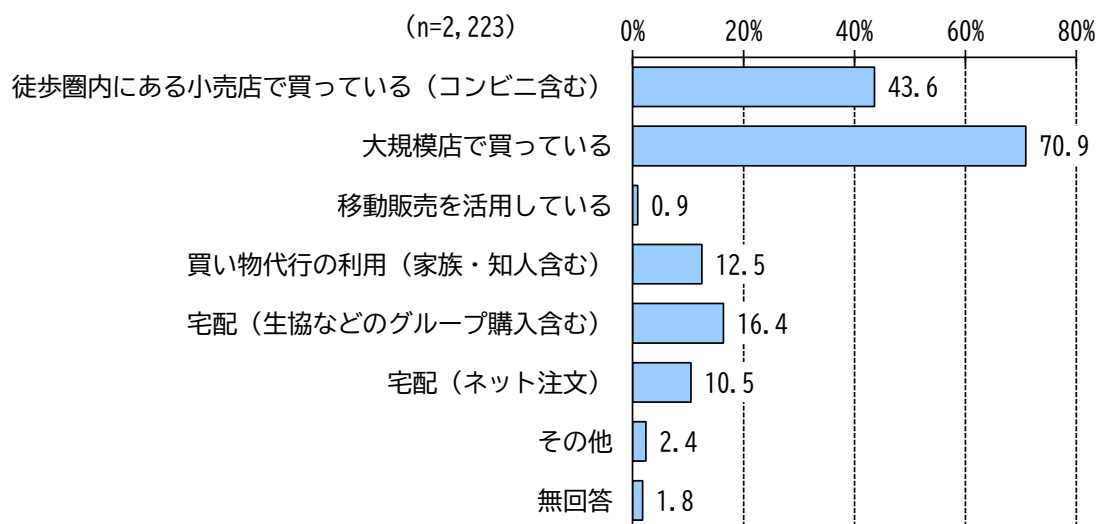
【日常生活圏域別】



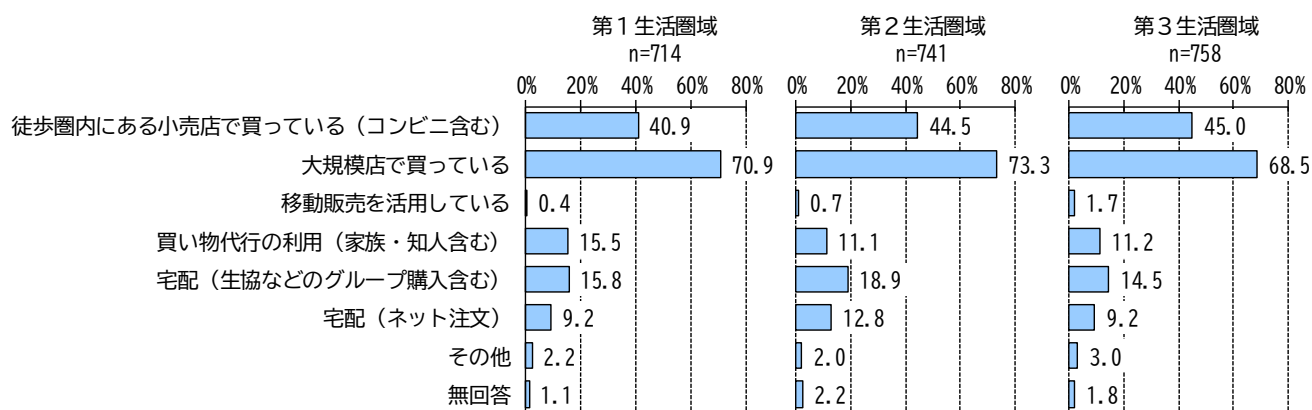
(4) 食品や日用品など生活必需品の買い物はどのようにしていますか。(いくつでも)

生活必需品の買い物は、「大規模店で買っている」が 70.9%と最も多く、次いで「徒歩圏内にある小売店で買っている（コンビニ含む）」が 43.6%、「宅配（生協などのグループ購入含む）」が 16.4%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「大規模店で買っている」が最も多く、「徒歩圏内にある小売店で買っている（コンビニ含む）」が続いています。



【日常生活圏域別】

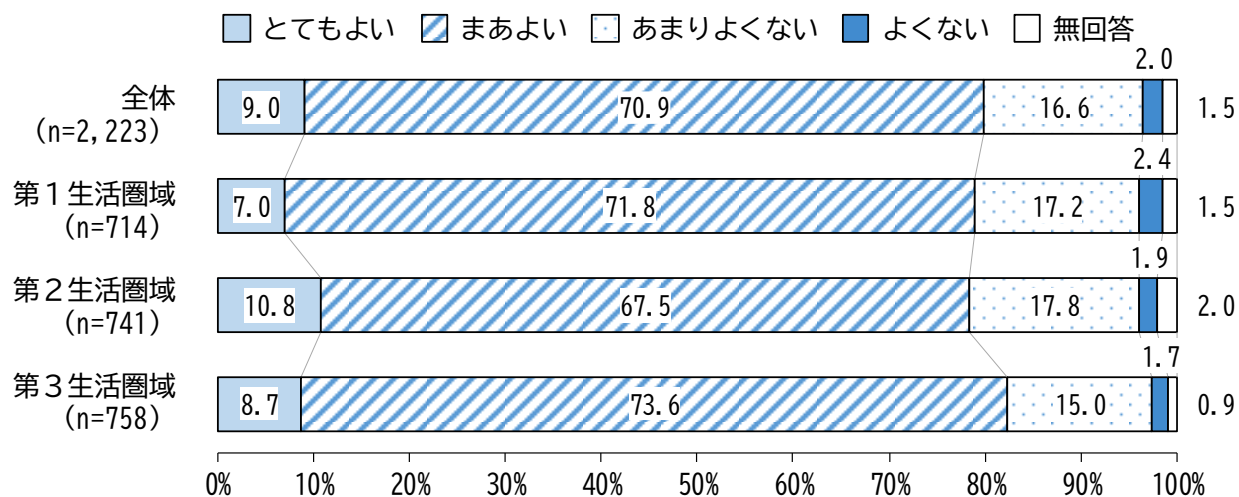


問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

現在の健康状態では、「まあよい」が70.9%と最も多くなっており、一方で「あまりよくない」の16.6%と「よくない」の2.0%を合わせた『よくない』は18.6%となっています。

日常生活圏域別では、『よくない』は第1生活圏域で19.6%、第2生活圏域で19.7%、第3生活圏域で16.7%と、第3生活圏域でやや少なくなっています。



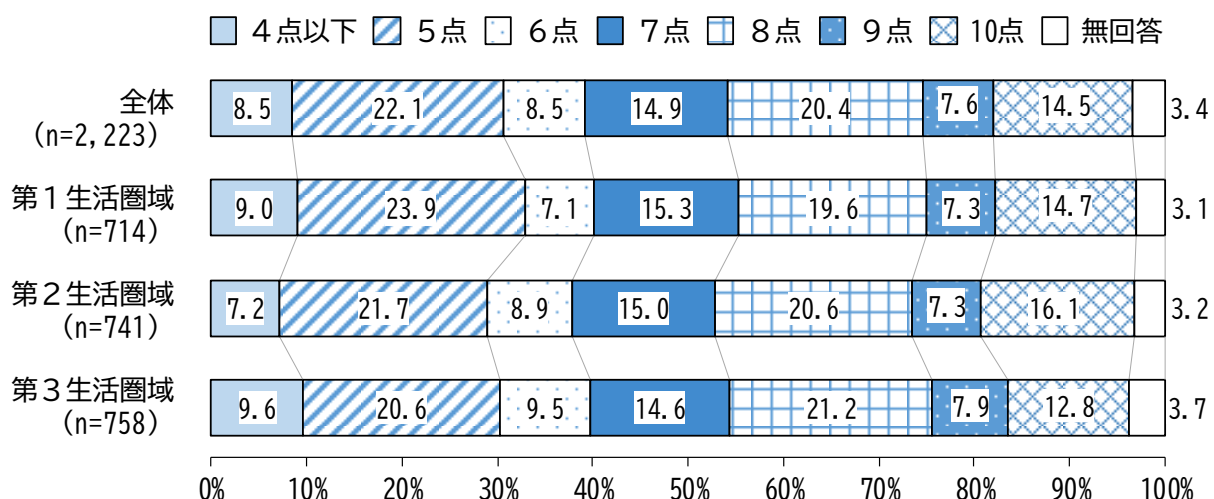
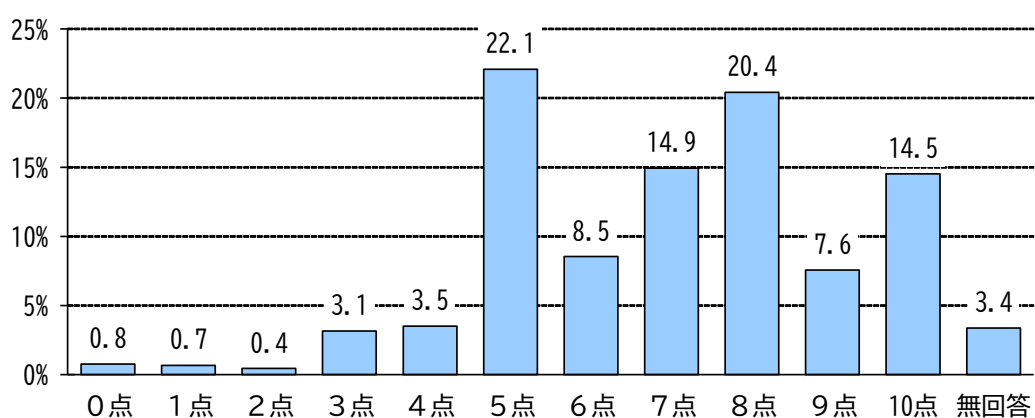
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つに○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○をしてください)

現在の幸せ度の点数は、「5点」が22.1%と最も多く、次いで「8点」が20.4%、「7点」が14.9%となっており、平均点は6.91点となっています。

日常生活圏域別では、第1生活圏域で「5点」が23.9%、「8点」が19.6%、「7点」が15.3%、第2生活圏域で「5点」が21.7%、「8点」が20.6%、「10点」が16.1%、第3生活圏域で「8点」が21.2%、「5点」が20.6%、「7点」が14.6%となっています。日常生活圏域別の平均点は、第1生活圏域で6.86点、第2生活圏域で7.02点、第3生活圏域で6.86点となっており、第2生活圏域で最も高くなっています。

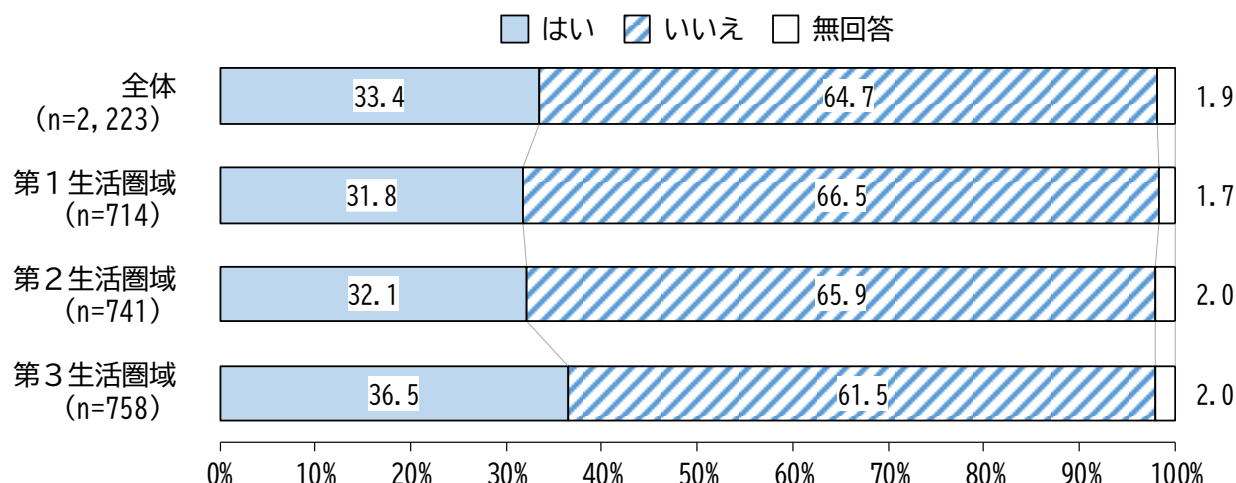
(n=2,223)



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つに○)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるかでは、「はい」が33.4%、「いいえ」が64.7%となっています。

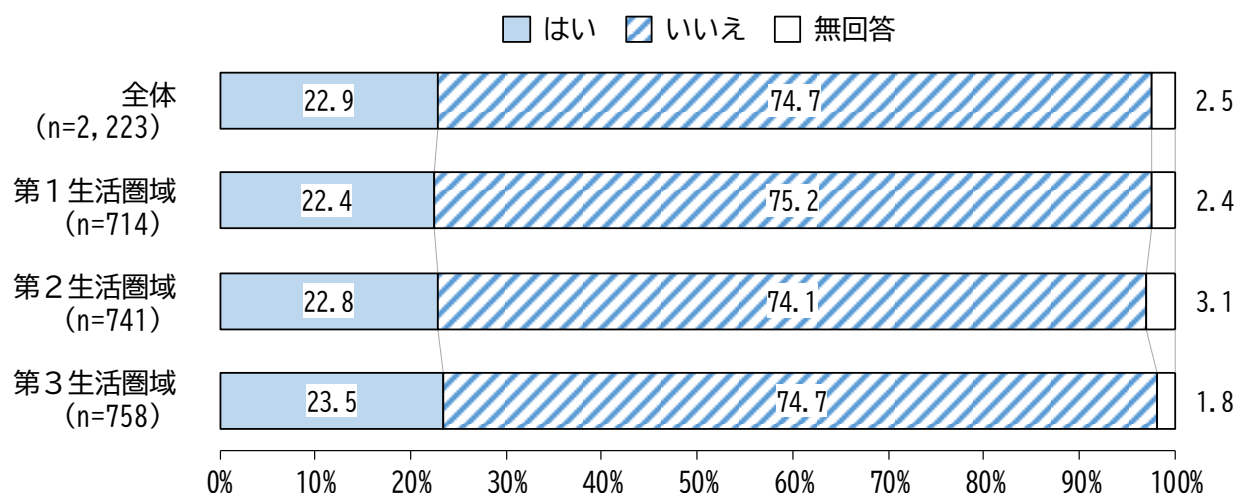
日常生活圏域別では、「はい」(気分が沈むことがある)は第1生活圏域で31.8%、第2生活圏域で32.1%、第3生活圏域で36.5%となっており、第3生活圏域で最も多くなっています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかでは、「はい」が22.9%、「いいえ」が74.7%となっています。

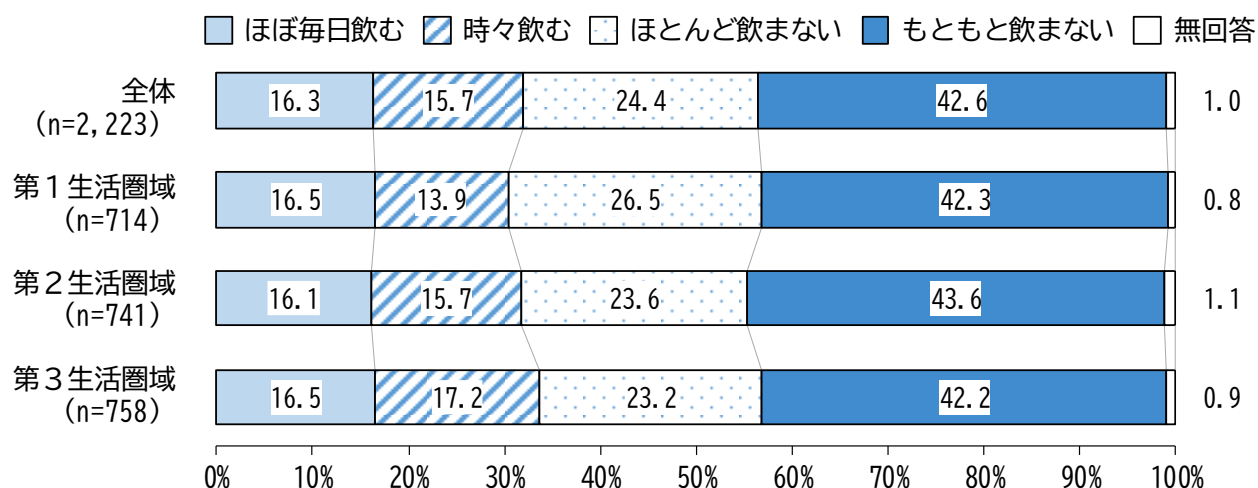
日常生活圏域別では、「はい」(物事に大して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくある)は第1生活圏域で22.4%、第2生活圏域で22.8%、第3生活圏域で23.5%となっています。



(5) お酒は飲みますか。(1つに○)

飲酒の頻度では、「もともと飲まない」が42.6%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.4%、「ほぼ毎日飲む」が16.3%となっています。

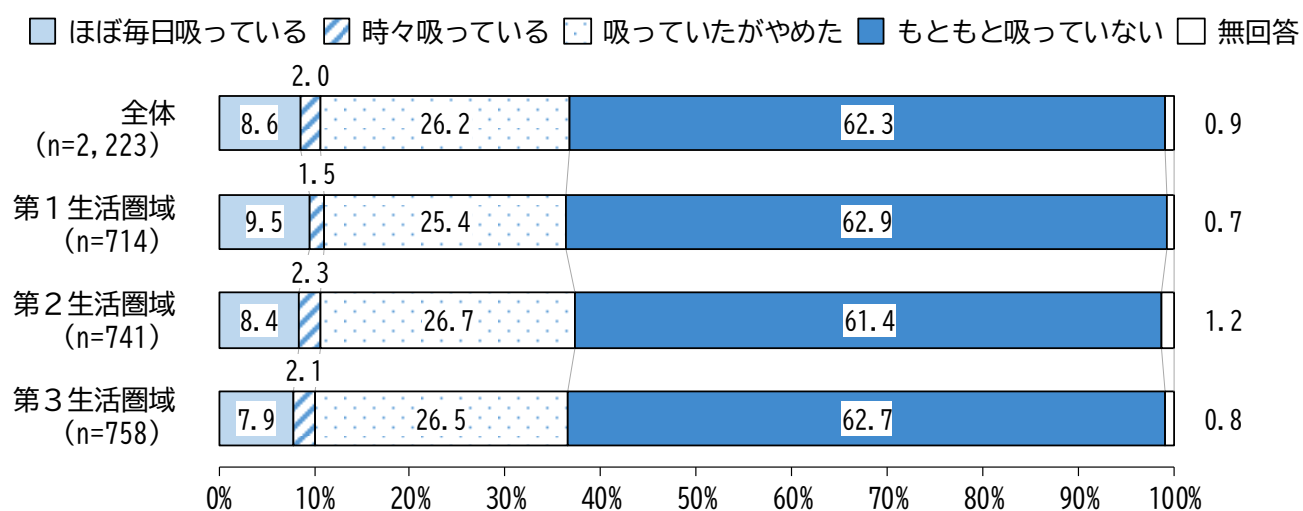
日常生活圏域別では、「ほぼ毎日飲む」は第1生活圏域で16.5%、第2生活圏域で16.1%、第3生活圏域で16.5%となっています。



(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)

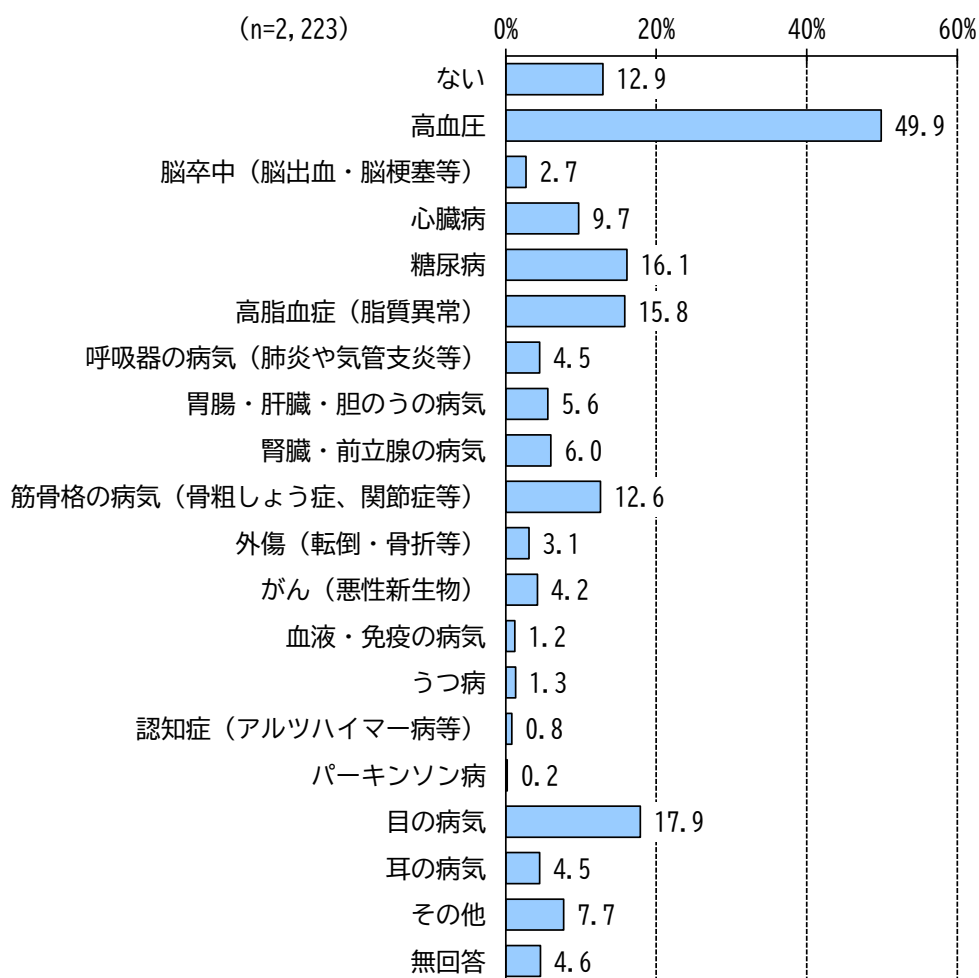
喫煙の状況では、「もともと吸っていない」が62.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が26.2%、「ほぼ毎日吸っている」が8.6%となっています。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙者』は10.6%となっています。

日常生活圏域別では、『喫煙者』は第1生活圏域で11.0%、第2生活圏域で10.7%、第3生活圏域で10.0%となっています。



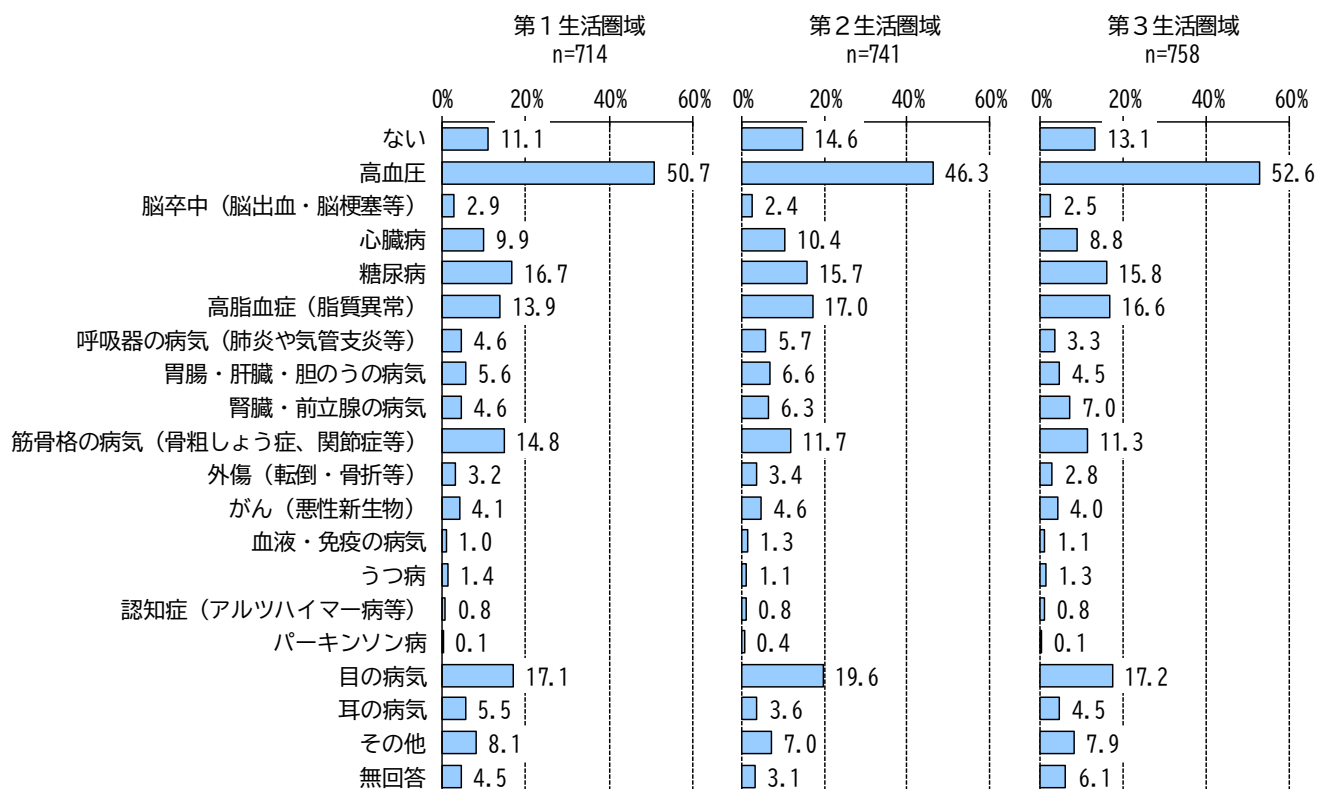
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気では、「高血圧」が 49.9%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.9%、「糖尿病」が 16.1%、「高脂血症（脂質異常）」が 15.8%となっています。



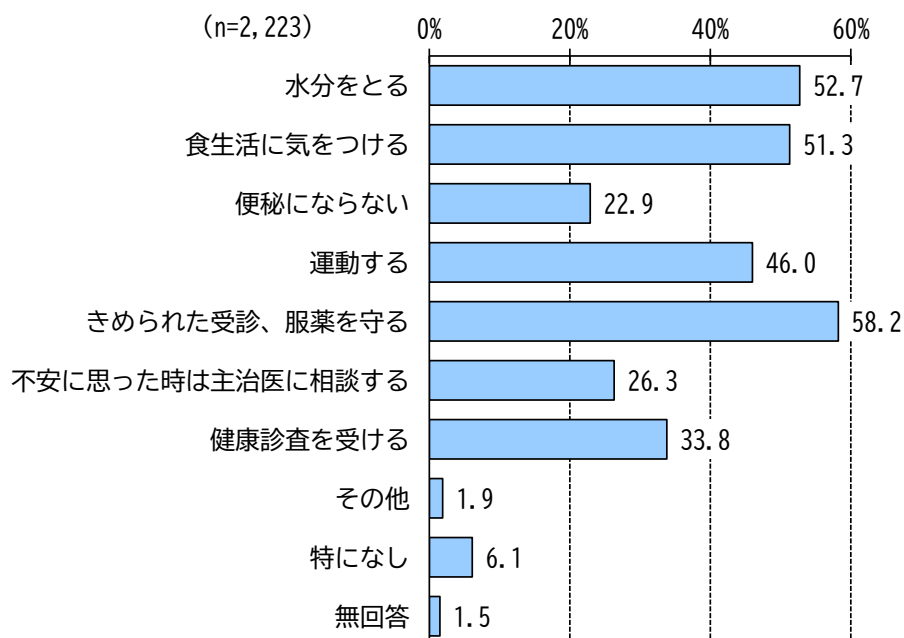
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「高血圧」が4～5割と最も多くなっており、「目の病気」「糖尿病」「高脂血症（脂質異常）」が続いています。なお、「ない」は第1生活圏域で11.1%、第2生活圏域で14.6%、第3生活圏域で13.1%となっており、第1生活圏域で他の圏域よりもやや少なくなっています。

【日常生活圏域別】

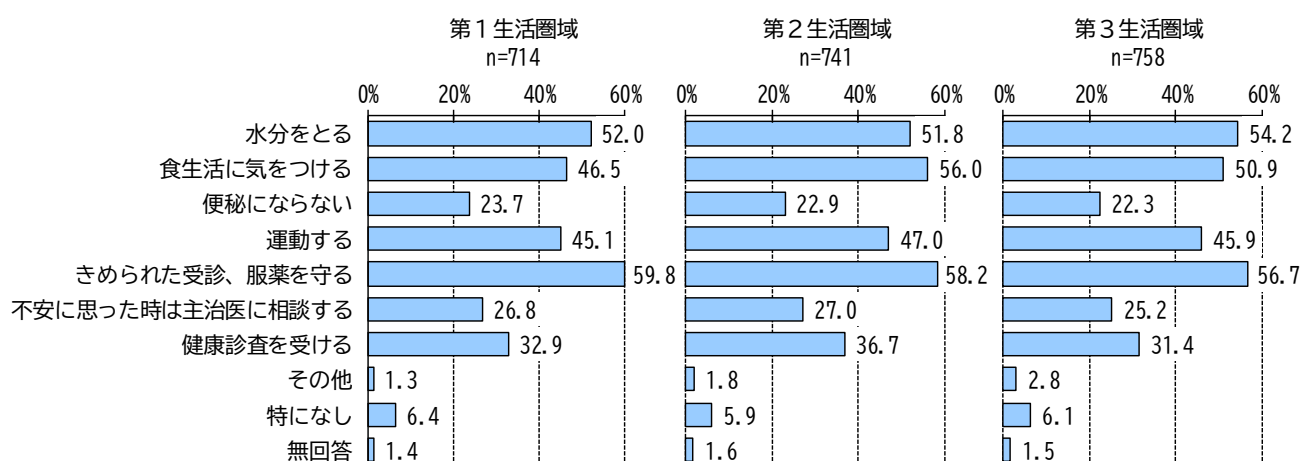


(8) 健康管理や介護予防、認知症予防のために、何か取り組んでいることがありますか。(いくつかつでも)

健康管理や介護予防、認知症予防のために取り組んでいることは、「きめられた受診、服薬を守る」が58.2%で最も多く、次いで「水分をとる」が52.7%、「食生活に気をつける」が51.3%となっています。日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「きめられた受診、服薬を守る」が最も多くなっています。



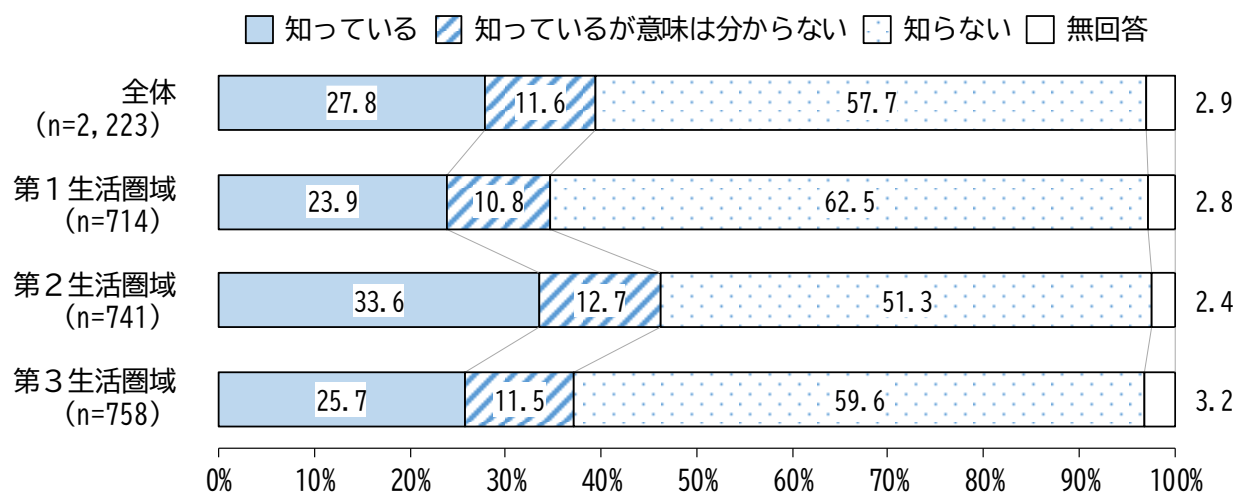
【日常生活圏域別】



(9) フレイルという言葉を知っていますか。(1つに○)

フレイルの認知度については、「知らない」が57.7%、「知っている」が27.8%、「知っているが意味は分からない」が11.6%となっています。

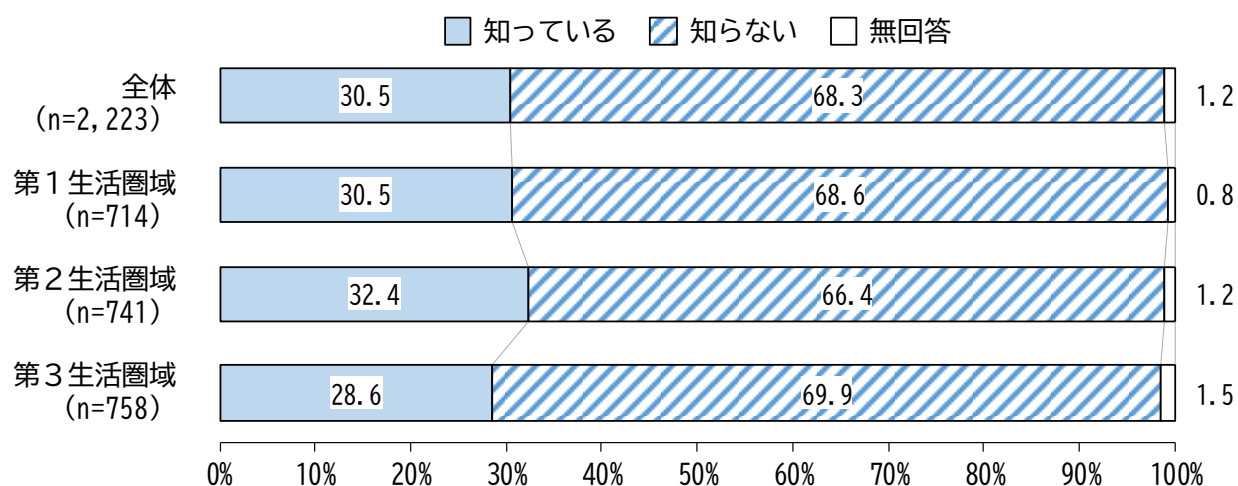
日常生活圏域別では、「知っている」は第1生活圏域で23.9%、第2生活圏域で33.6%、第3生活圏域で25.7%となっており、第2生活圏域で他の圏域よりも多くなっています。



(10) 銚子プラチナ体操を知っていますか。(1つに○)

銚子プラチナ体操の認知度については、「知っている」が30.5%、「知らない」が68.3%となっています。

日常生活圏域別では、「知っている」は第1生活圏域で30.5%、第2生活圏域で32.4%、第3生活圏域で28.6%となっています。

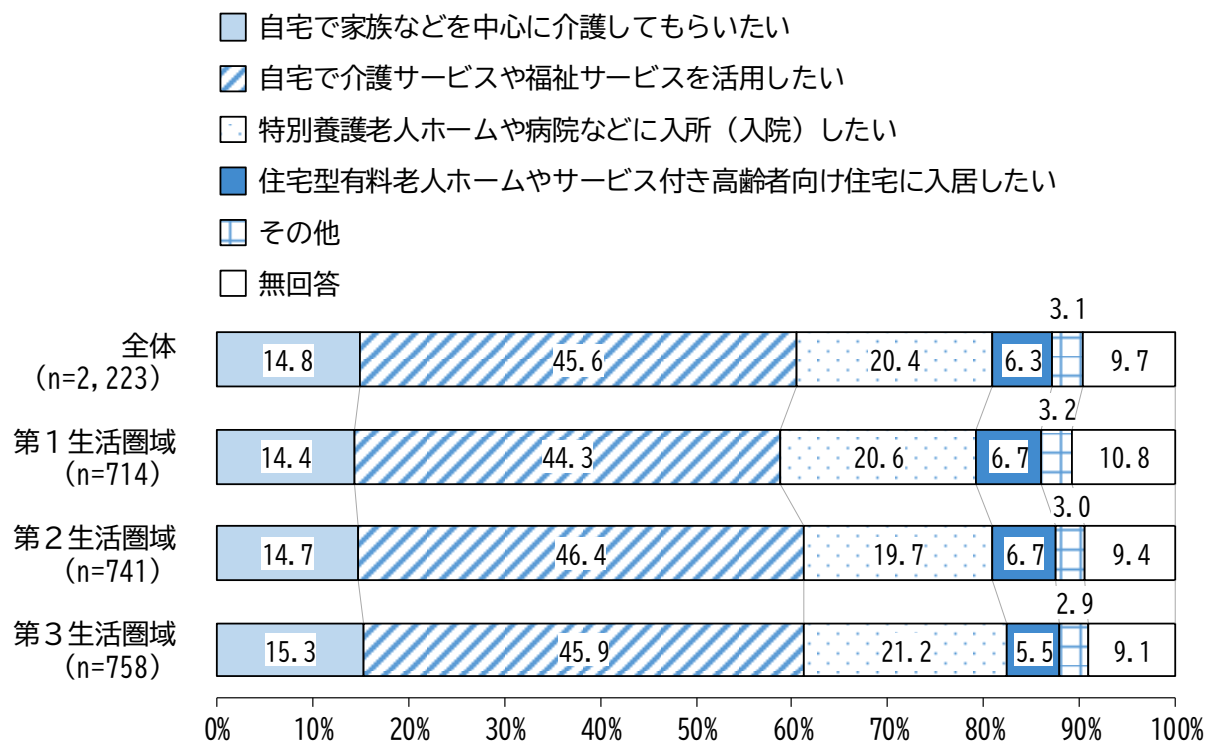


問10 これからの生き方や市の取組について

(1) 今後、あなた自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

介護が必要となった場合に希望する暮らしは、「自宅で介護サービスや福祉サービスを活用したい」が45.6%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや病院などに入所（入院）したい」が20.4%、「自宅で家族などを中心に介護してもらいたい」が14.8%となっています。

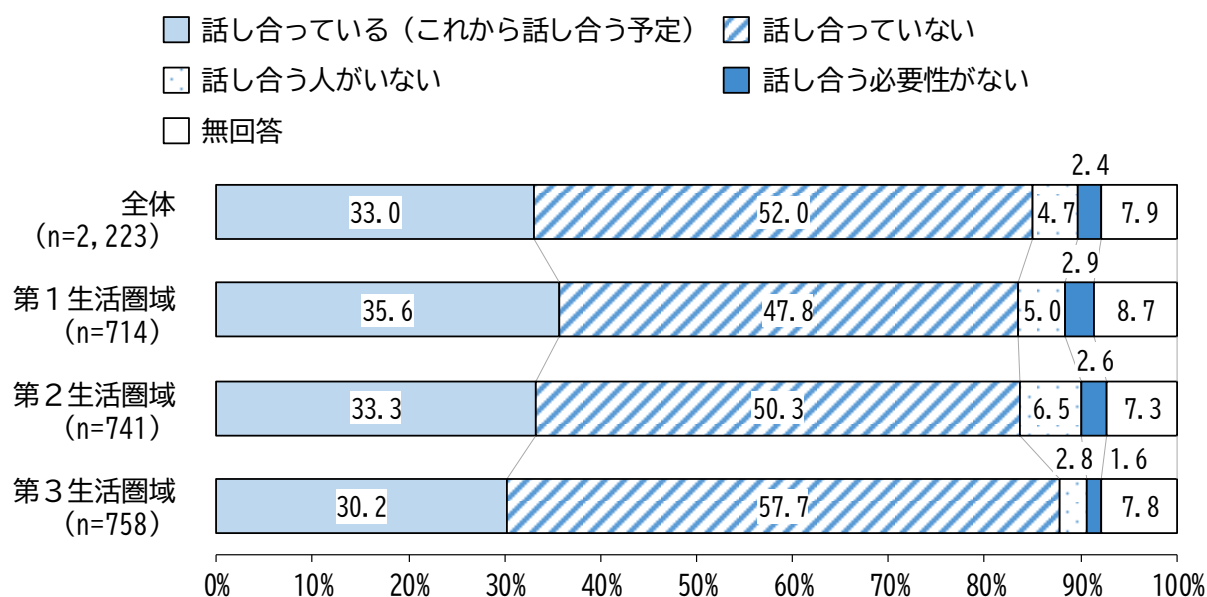
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「自宅で介護サービスや福祉サービスを活用したい」が最も多く、第1生活圏域で44.3%、第2生活圏域で46.4%、第3生活圏域で45.9%となっています。



(2) 最期をどのように迎えたいか家族と話し合いをしていますか。(1つに○)

最期をどのように迎えたいか家族と話し合っているかは、「話し合っていない」が 52.0%と最も多く、次いで「話し合っている（これから話し合う予定）」が 33.0%、「話し合う人がいない」が 4.7%となっています。

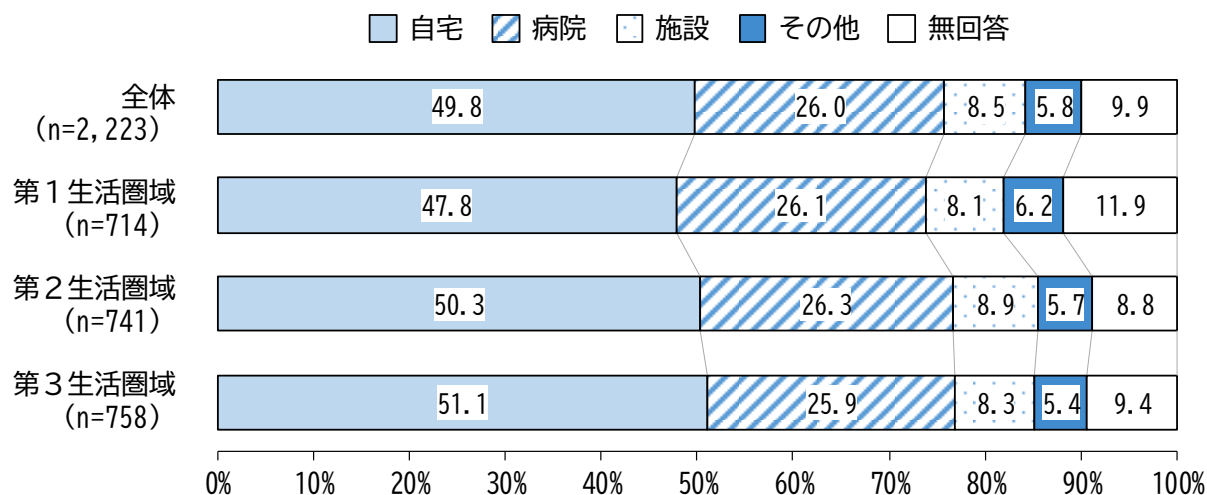
日常生活圏域別では、「話し合っていない」は第1生活圏域で 47.8%、第2生活圏域で 50.3%、第3生活圏域で 57.7%となっています。また、「話し合う人がいない」は第1生活圏域で 5.0%、第2生活圏域で 6.5%、第3生活圏域で 2.8%となっています。



(3) 最期を迎える場所はどこを希望しますか。(1つに○)

最期を迎える希望の場所では、「自宅」が 49.8%と最も多く、次いで「病院」が 26.0%、「施設」が 8.5%となっています。

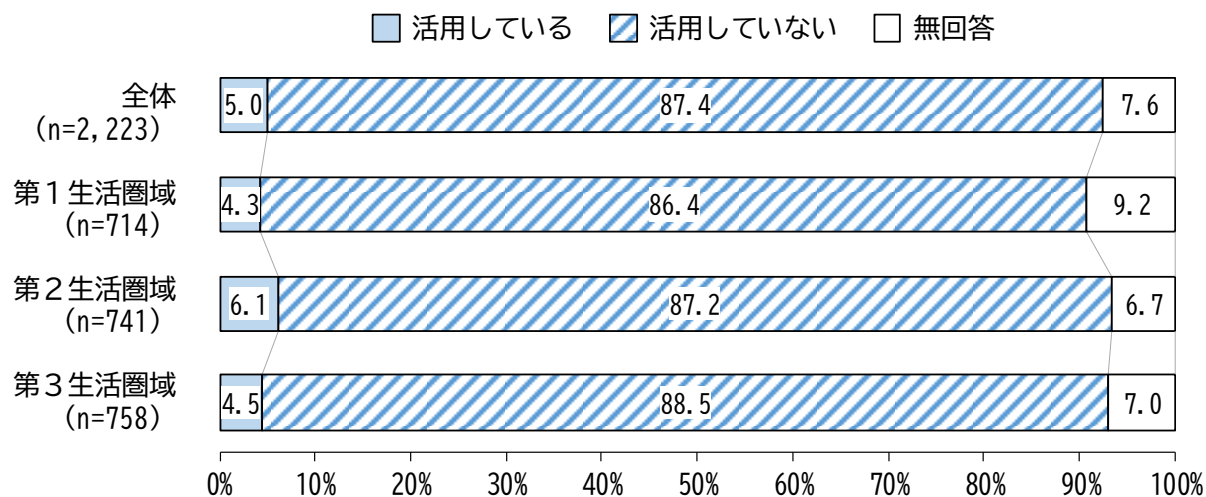
日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「自宅」が最も多く、第1生活圏域で 47.8%、第2生活圏域で 50.3%、第3生活圏域で 51.1%となっています。



(4) エンディングノート（終活ノート）を活用していますか。（1つに○）

エンディングノートを活用しているかは、「活用している」が 5.0%、「活用していない」が 87.4%となっています。

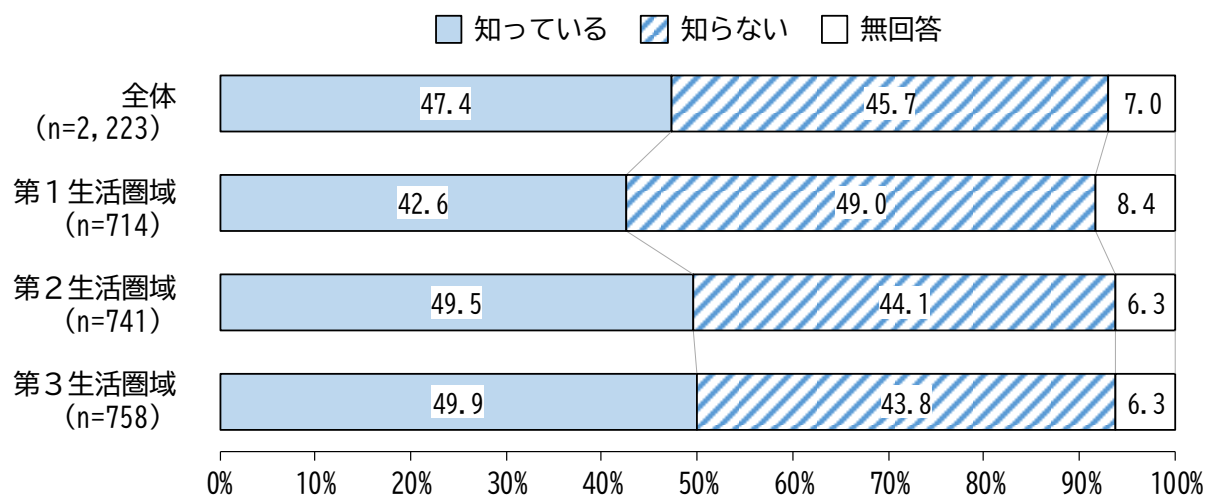
日常生活圏域別では、「活用している」は第1生活圏域で 4.3%、第2生活圏域で 6.1%、第3生活圏域で 4.5%となっています。



(5) 地域包括支援センター（総合相談窓口、高齢者の介護予防のお手伝い）をご存じですか。（1つに○）

地域包括支援センターの認知度については、「知っている」が 47.4%、「知らない」が 45.7%となっています。

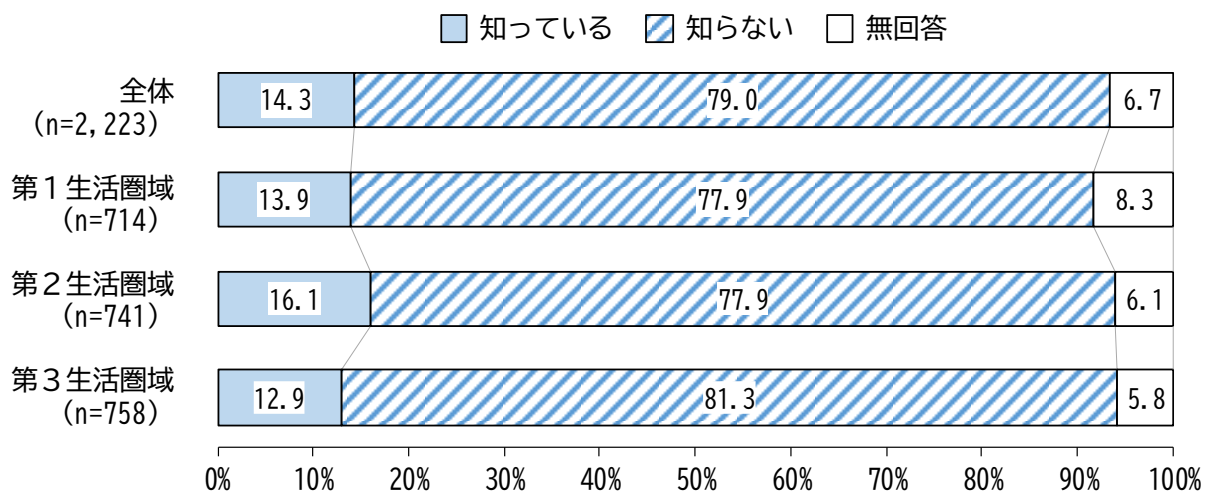
日常生活圏域別では、「知っている」は第1生活圏域で 42.6%、第2生活圏域で 49.5%、第3生活圏域で 49.9%となっており、第1生活圏域で他の圏域よりも少なくなっています。



(6) 地域のサービスをまとめた情報冊子「ちょーぴーのやさしさ便利帳」を配布していますが、ご存じですか。(1つに○)

「ちょーぴーのやさしさ便利帳」の認知度については、「知っている」が14.3%、「知らない」が79.0%となっています。

日常生活圏域別では、「知っている」は第1生活圏域で13.9%、第2生活圏域で16.1%、第3生活圏域で12.9%となっています。

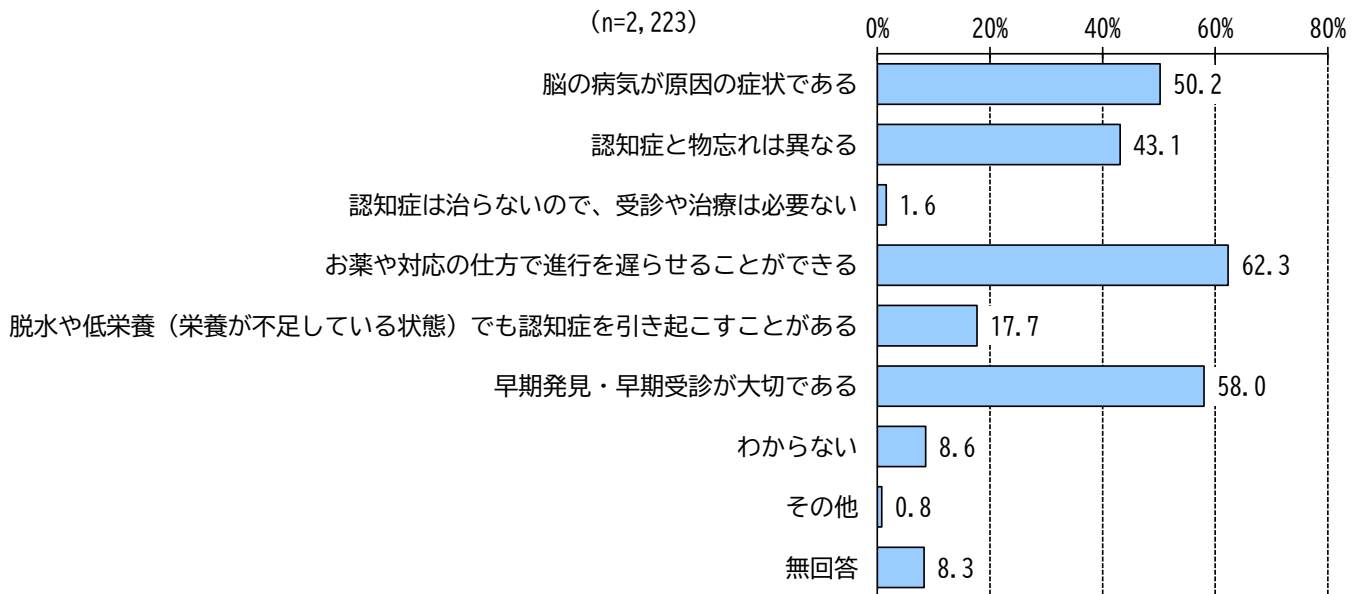


問11 認知症にかかる相談窓口の把握について

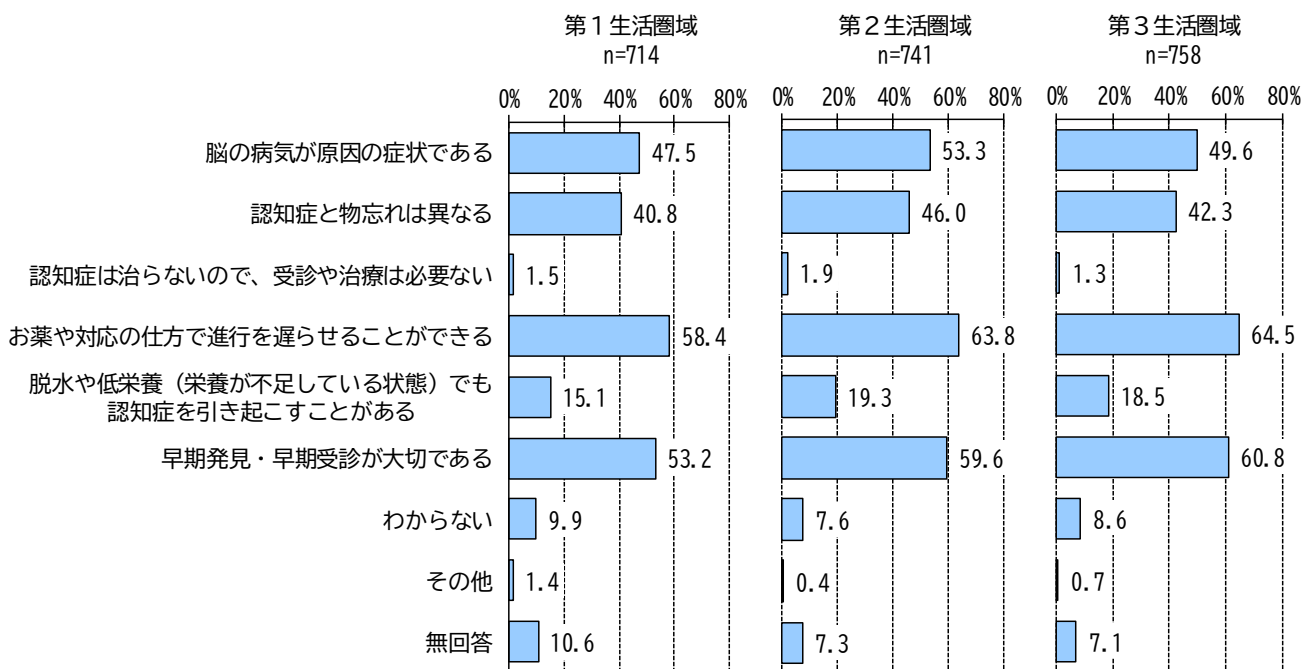
(1) 認知症について、どのように理解していますか。(いくつでも)

認知症への理解は、「お薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」が 62.3%と最も多く、次いで「早期発見・早期受診が大切である」が 58.0%、「脳の病気が原因の症状である」が 50.2%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「お薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」が最も多くなっています。



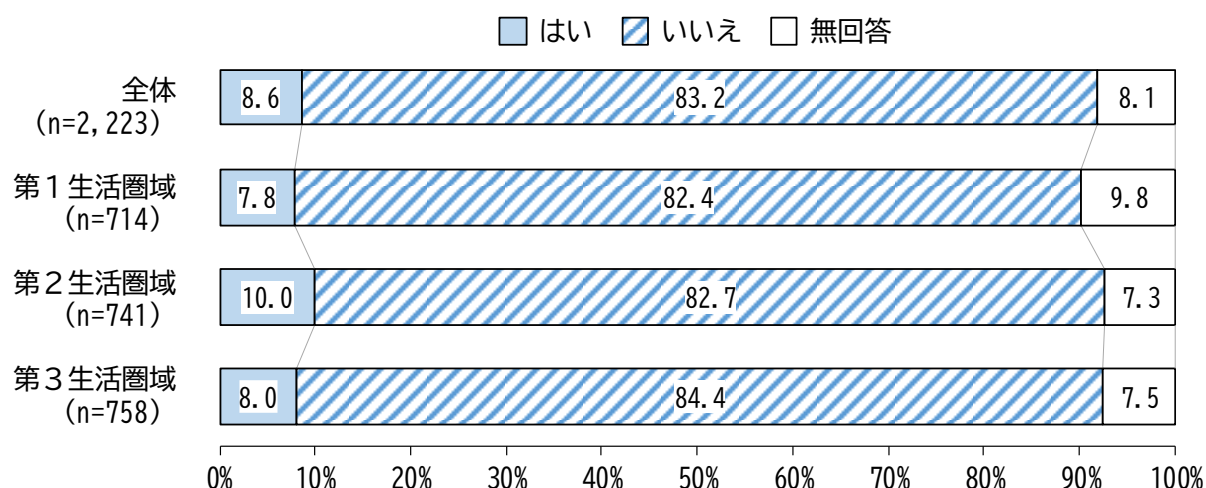
【日常生活圏域別】



(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「はい」(いる)が8.6%、「いいえ」(いない)が83.2%となっています。

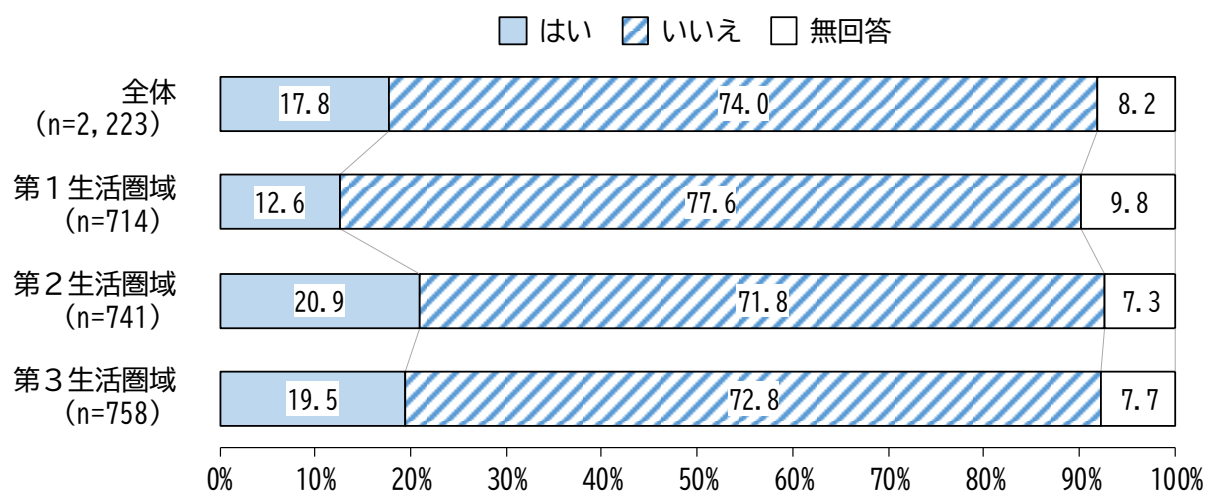
日常生活圏域別では、「はい」(認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる)は第1生活圏域で7.8%、第2生活圏域で10.0%、第3生活圏域で8.0%となっています。



(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「はい」(知っている)が17.8%、「いいえ」(知らない)が74.0%となっています。

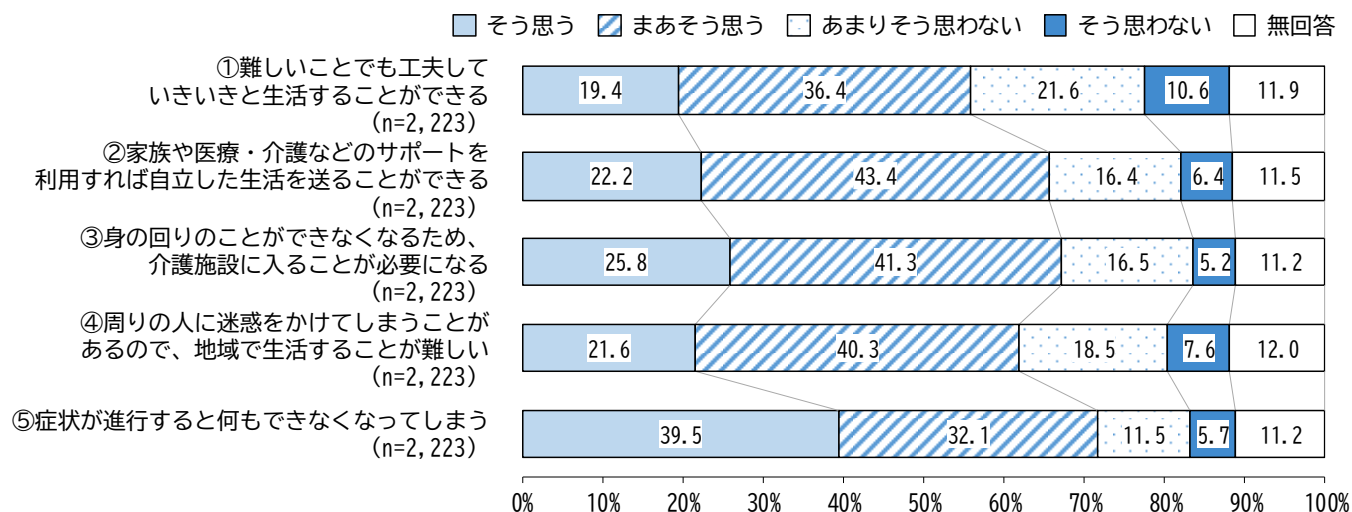
日常生活圏域別では、「はい」(知っている)は第1生活圏域で12.6%、第2生活圏域で20.9%、第3生活圏域で19.5%となっており、第1生活圏域で他の圏域よりも少なくなっています。



問12 認知症に対するイメージについて

(1) あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。※①～⑤それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

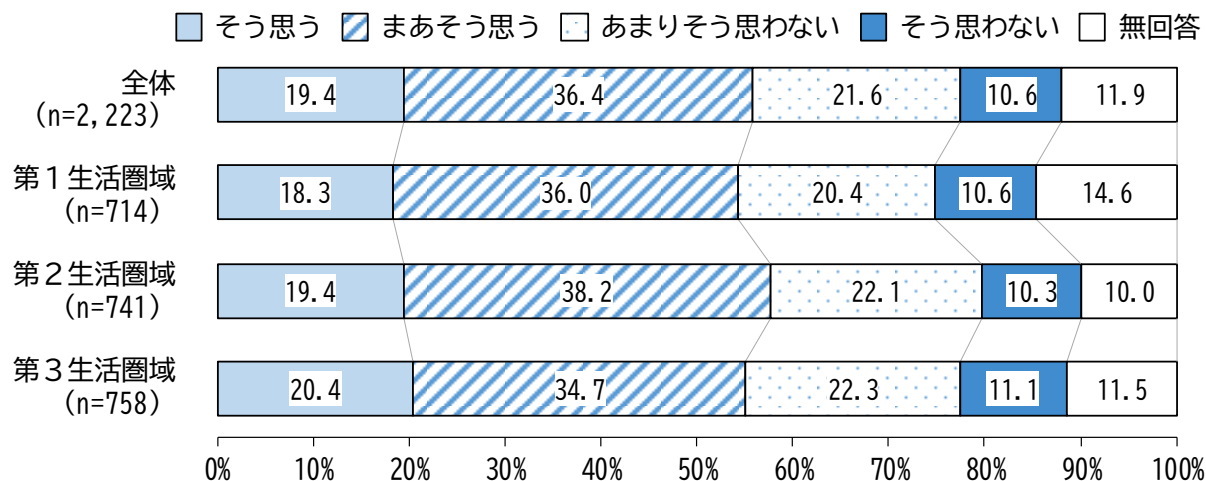
認知症に対するイメージでは、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が、「家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」「身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる」「症状が進行すると何もできなくなってしまう」で65%を超えています。



①難しいことでも工夫していきいきと生活することができる

「難しいことでも工夫していきいきと生活することができる」について、「まあそう思う」が36.4%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が21.6%、「そう思う」が19.4%となっています。『そう思う』は55.8%となっています。

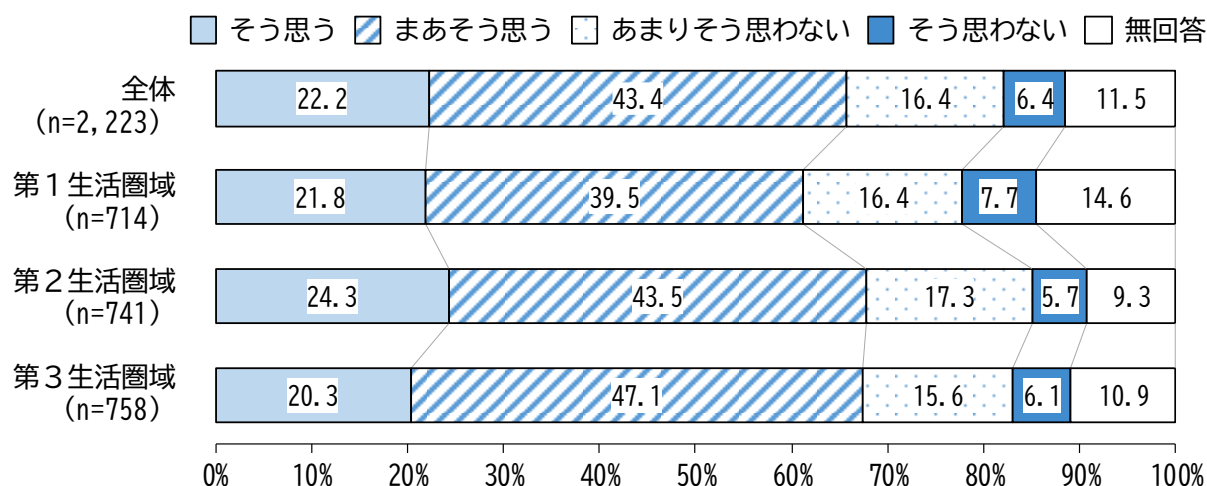
日常生活圏域別では、『そう思う』は第1生活圏域で54.3%、第2生活圏域で57.6%、第3生活圏域で55.1%となっています。



②家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる

「家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」について、「まあそう思う」が43.4%で最も多く、次いで「そう思う」が22.2%、「あまりそう思わない」が16.4%となっています。『そう思う』は65.6%となっています。

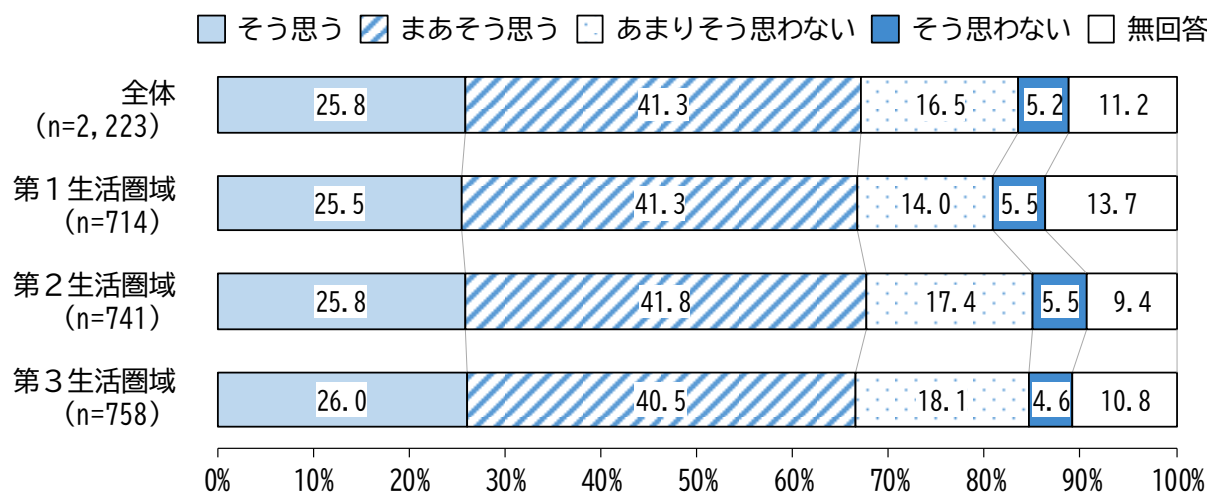
日常生活圏域別では、『そう思う』は第1生活圏域で61.3%、第2生活圏域で67.8%、第3生活圏域で67.4%となっており、第1生活圏域で他の圏域よりも少なくなっています。



③身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる

「身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる」について、「まあそう思う」が41.3%で最も多く、次いで「そう思う」が25.8%、「あまりそう思わない」が16.5%となっています。『そう思う』は67.1%となっています。

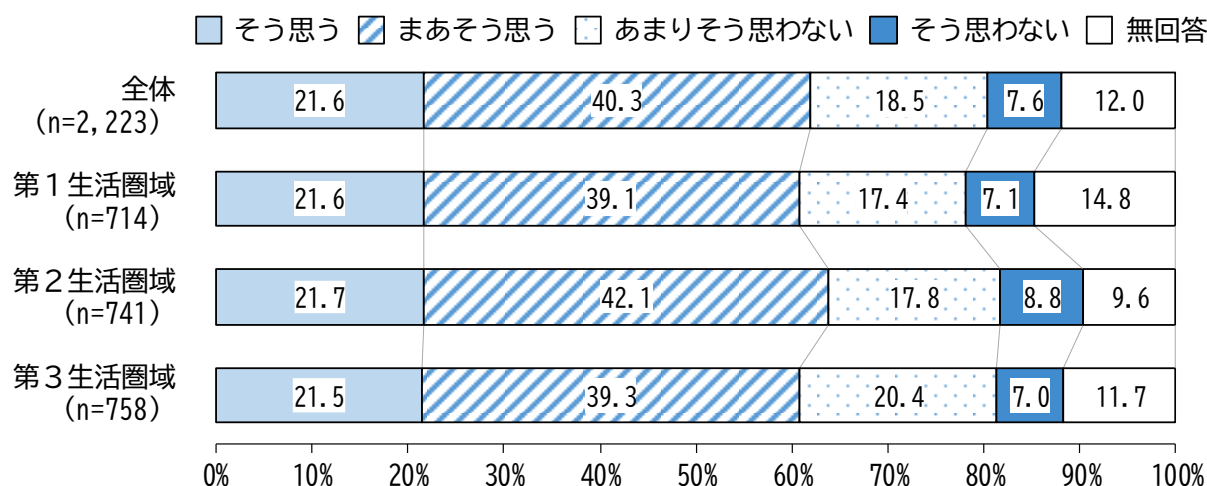
日常生活圏域別では、『そう思う』は第1生活圏域で66.8%、第2生活圏域で67.6%、第3生活圏域で66.5%となっています。



④周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい

「周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい」について、「まあそう思う」が40.3%で最も多く、次いで「そう思う」が21.6%、「あまりそう思わない」が18.5%となっています。『そう思う』は61.9%となっています。

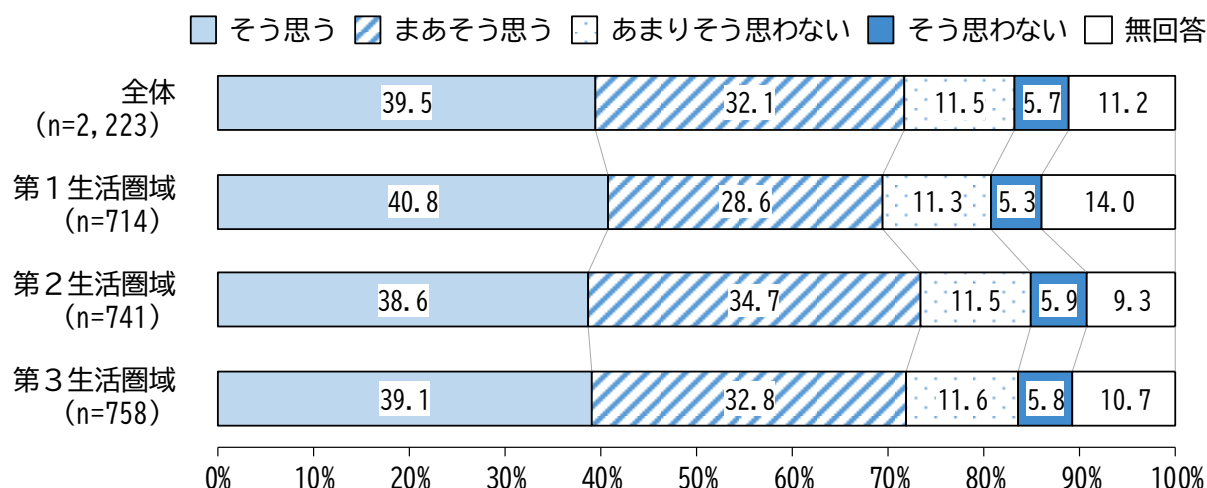
日常生活圏域別では、『そう思う』は第1生活圏域で60.7%、第2生活圏域で63.8%、第3生活圏域で60.8%となっており、第2生活圏域で他の圏域よりもやや多くなっています。



⑤症状が進行すると何もできなくなってしまう

「症状が進行すると何もできなくなってしまう」について、「そう思う」が39.5%で最も多く、次いで「まあそう思う」が32.1%、「あまりそう思わない」が11.5%となっています。『そう思う』は71.6%となっています。

日常生活圏域別では、『そう思う』は第1生活圏域で69.4%、第2生活圏域で73.3%、第3生活圏域で71.9%となっており、第1生活圏域で他の圏域よりもやや少なくなっています。

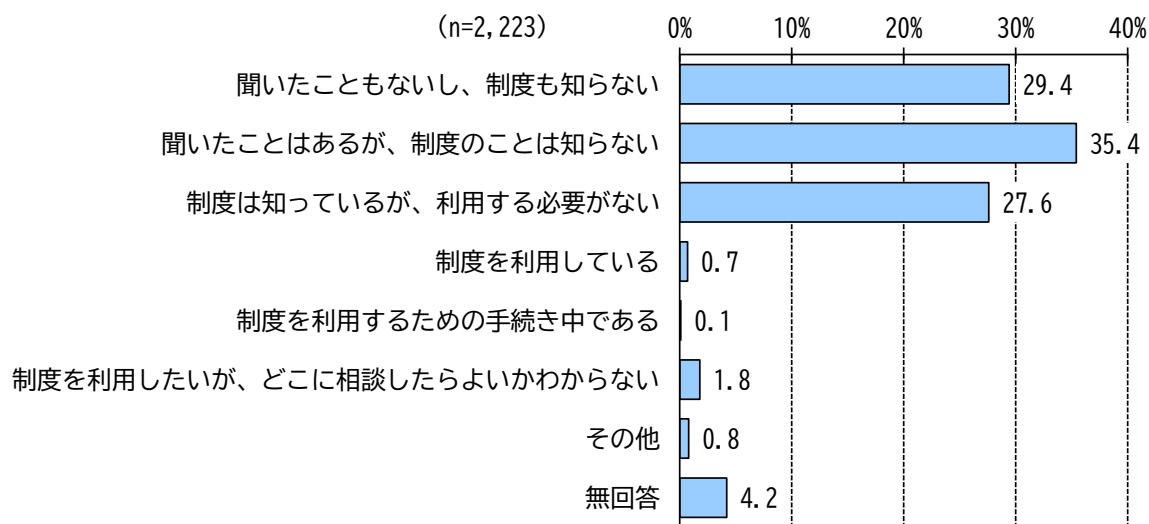


問13 成年後見制度について

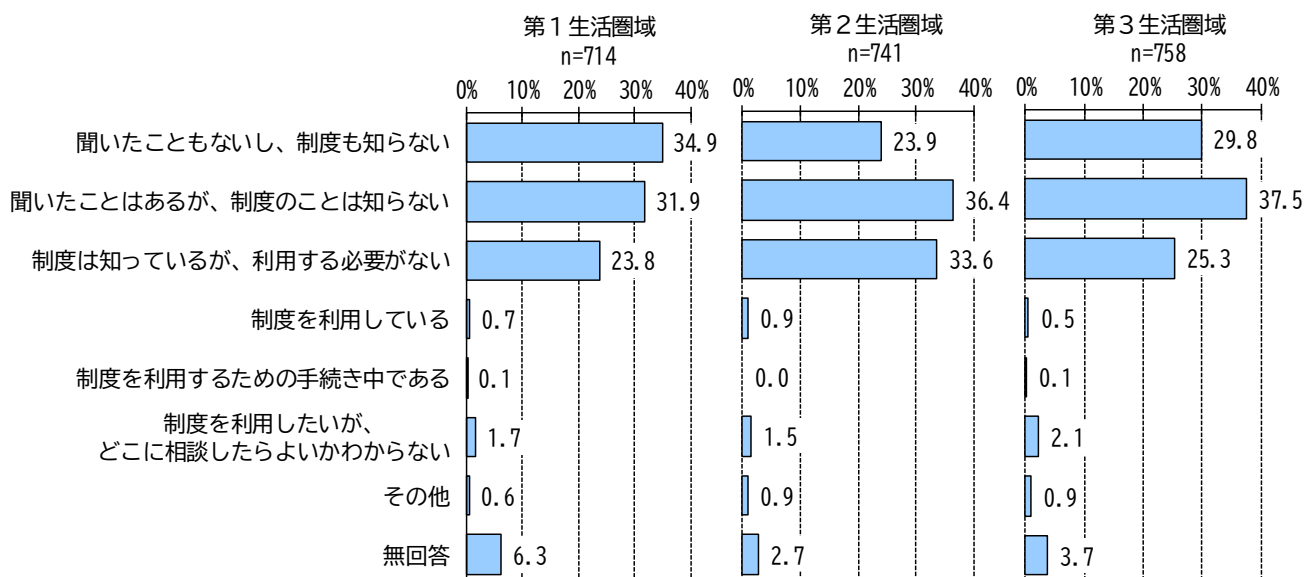
(1)「成年後見制度」を知っていますか。(1つに○)

「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはあるが、制度のことは知らない」が 35.4%で最も多く、次いで「聞いたこともないし、制度も知らない」が 29.4%、「制度は知っているが、利用する必要がない」が 27.6%となっています。「聞いたこともないし、制度も知らない」と「聞いたことはあるが、制度のことは知らない」を合わせた『制度を知らない』方は 64.8%と6割を超えています。

日常生活圏域別では、『制度を知らない』方は第1生活圏域で 66.8%、第2生活圏域で 60.3%、第3生活圏域で 67.3%となっており、第2生活圏域で他の圏域よりも少なくなっています。



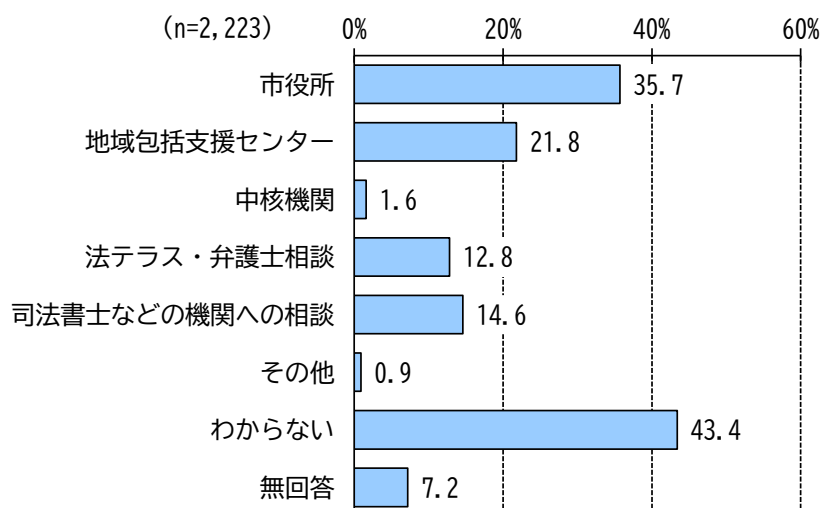
【日常生活圏域別】



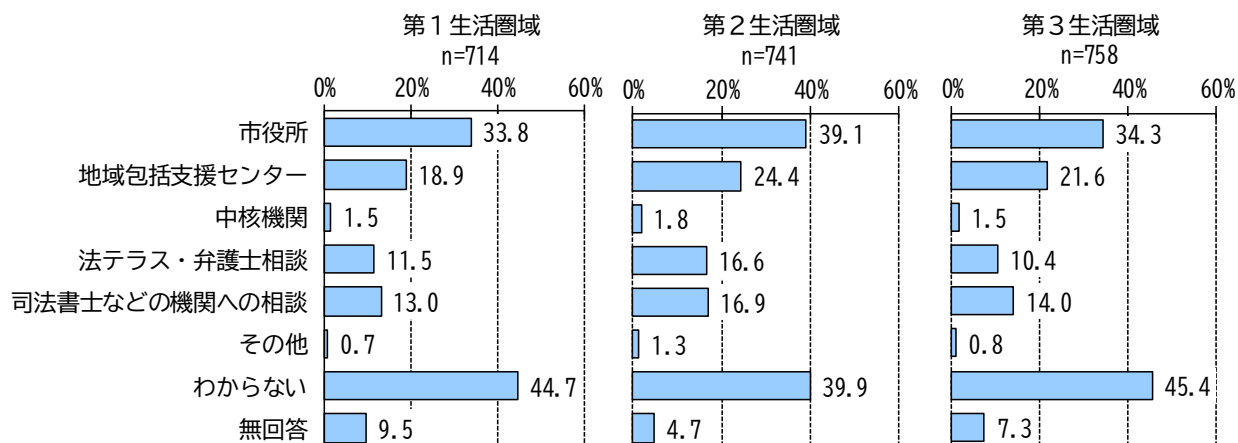
(2) 成年後見制度の相談先として知っているところはどこですか。(いくつでも)

成年後見制度の相談先として知っているところでは、「わからない」が 43.4%で最も多く、次いで「市役所」が 35.7%、「地域包括支援センター」が 21.8%となっています。

日常生活圏域別では、いずれの圏域でも「わからない」が最も多く、第1生活圏域で 44.7%、第2生活圏域で 39.9%、第3生活圏域で 45.4%となっています。



【日常生活圏域別】



3 介護予防判定

(1) 生活機能

運動機能の低下

以下の5つの設問のうち、3問以上該当する選択肢が回答された場合は運動器機能の低下している高齢者となります。

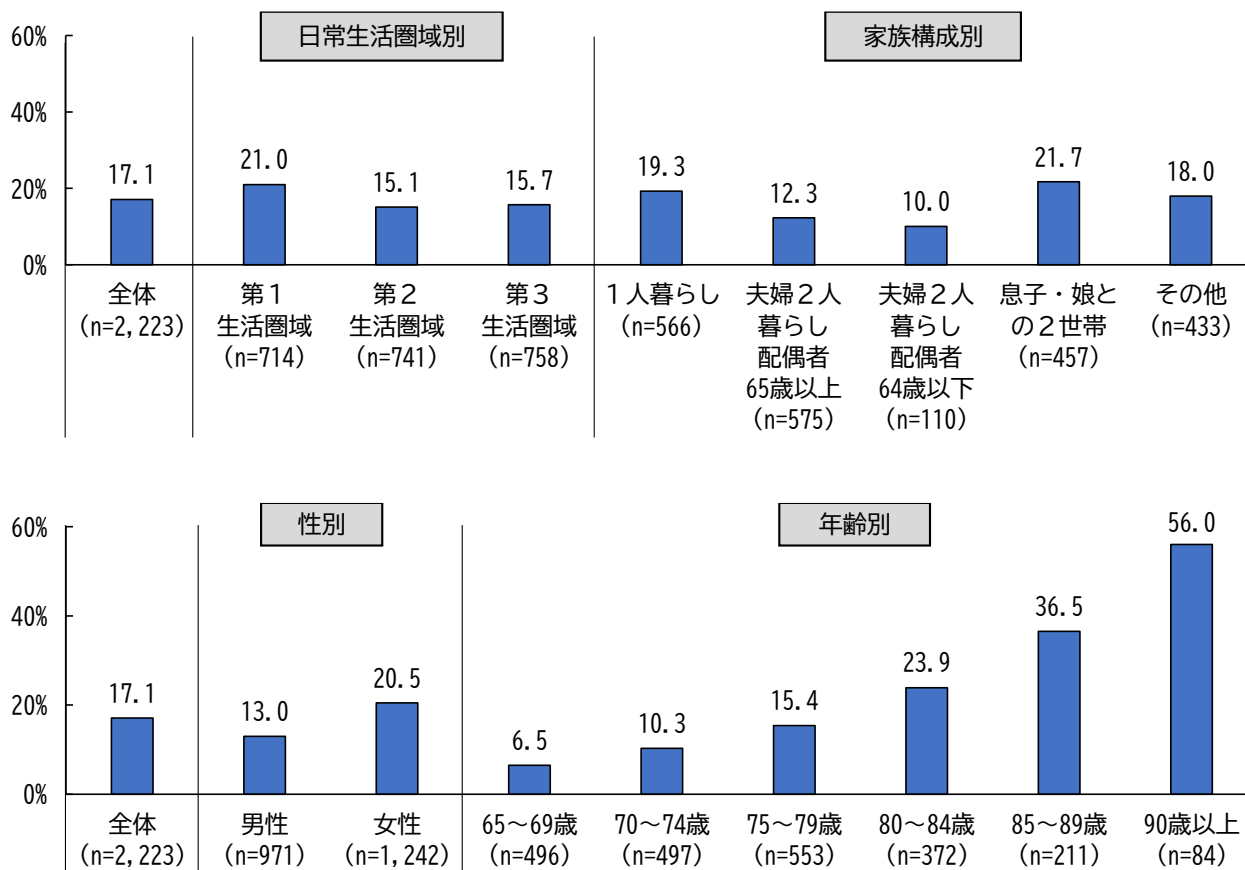
	設問	選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

運動器機能の低下リスクのある該当者は、全体で17.1%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で21.0%、第2生活圏域で15.1%、第3生活圏域で15.7%と、第1生活圏域で多くなっています。

家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が10.0%と最も少なくなっています。

性別では、男性より女性が多くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



転倒リスク

以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合は転倒リスクのある高齢者となります。

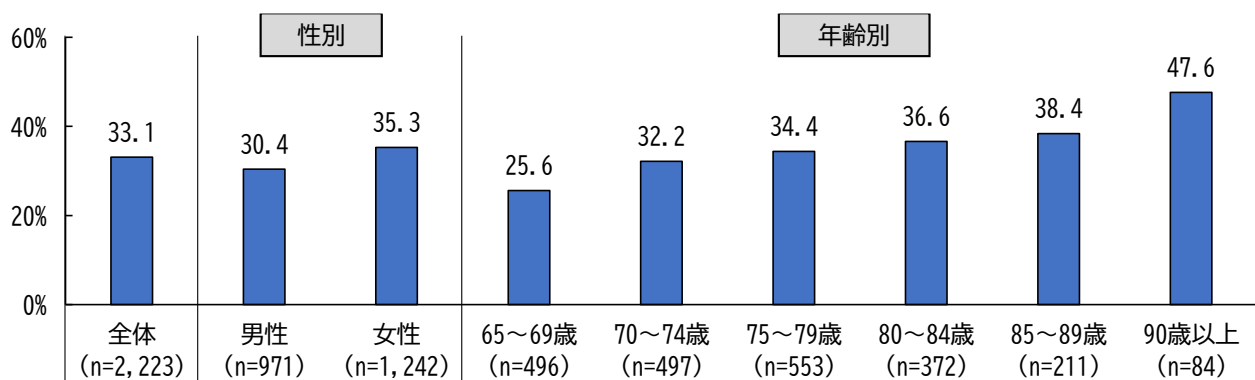
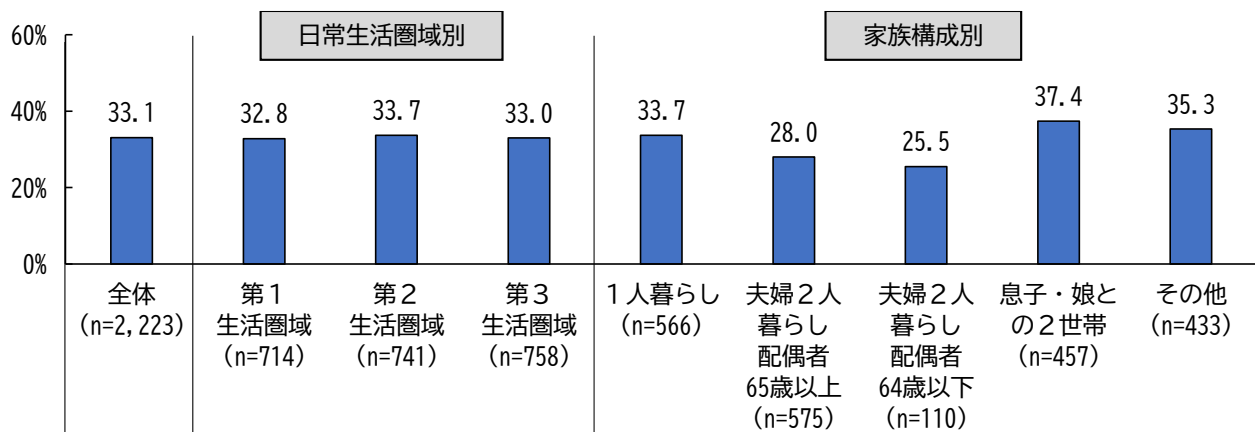
	設問	選択肢
問2（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

転倒リスクのある該当者は、全体で 33.1%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 32.8%、第2生活圏域で 33.7%、第3生活圏域で 33.0%と、ほぼ同じ割合となっています。

家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 25.5%と最も少なくなっています。

性別では、男性より女性がやや多くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



閉じこもり傾向

以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合は閉じこもり傾向のある高齢者となります。

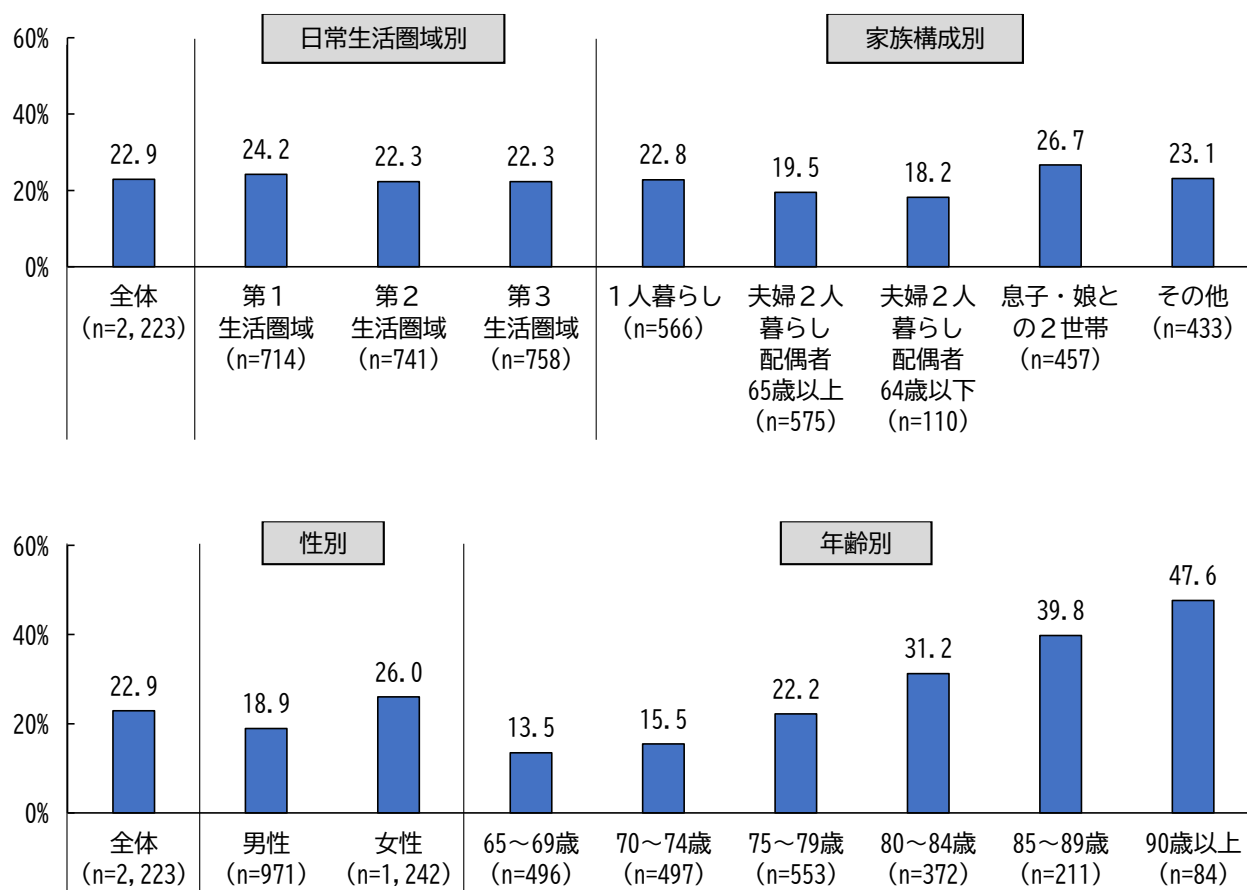
	設問	選択肢
問2（6）	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出していない 2. 週1回

閉じこもり傾向のある該当者は、全体で 22.9%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 24.2%、第2生活圏域で 22.3%、第3生活圏域で 22.3%となっています。

家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 18.2%と最も少なく、息子・娘との2世帯で 26.7%と最も多くなっています。

性別では、男性より女性が多くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



低栄養リスク

以下の2つの設問で、2問とも該当する選択肢が回答された場合は低栄養リスクのある高齢者となります。

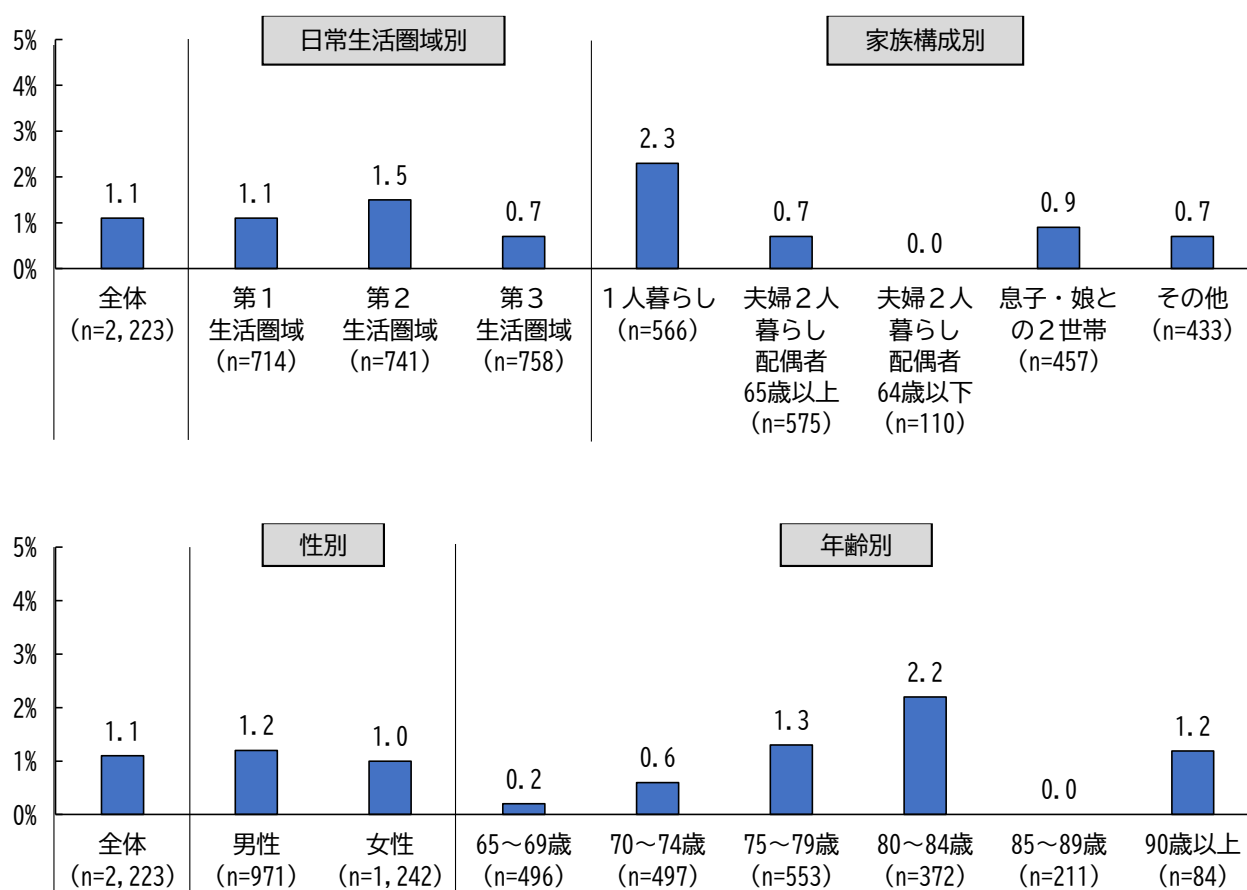
	設問	選択肢
問3（1）	身長・体重（BMI値）	1. BMI値が18.5未満
問3（7）	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

低栄養リスクのある該当者は、全体で1.1%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で1.1%、第2生活圏域で1.5%、第3生活圏域で0.7%となっています。

家族構成別では、1人暮らしで2.3%となっています。

性別では、ほぼ同じ割合となっています。

年齢別では、80～84歳で2.2%となっています。



口腔機能の低下

以下の3つの設問のうち、2問以上該当する選択肢が回答された場合は口腔機能の低下している高齢者となります。

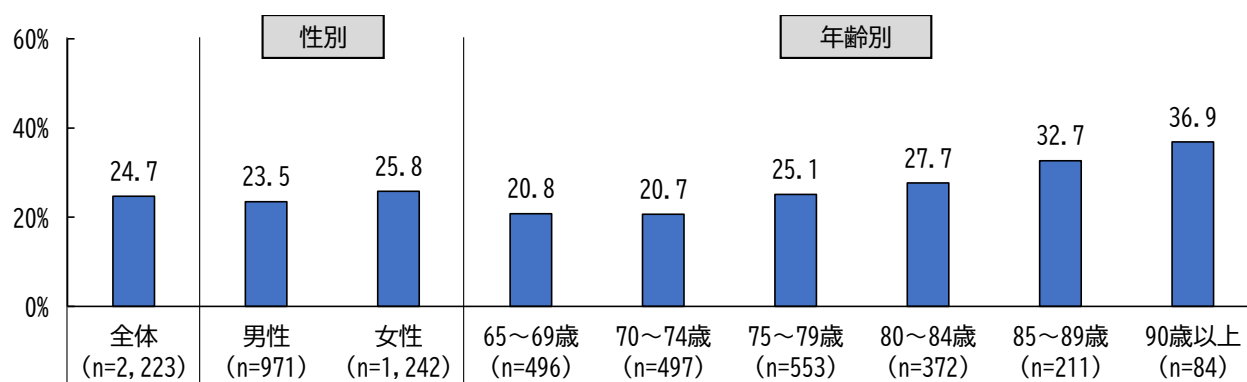
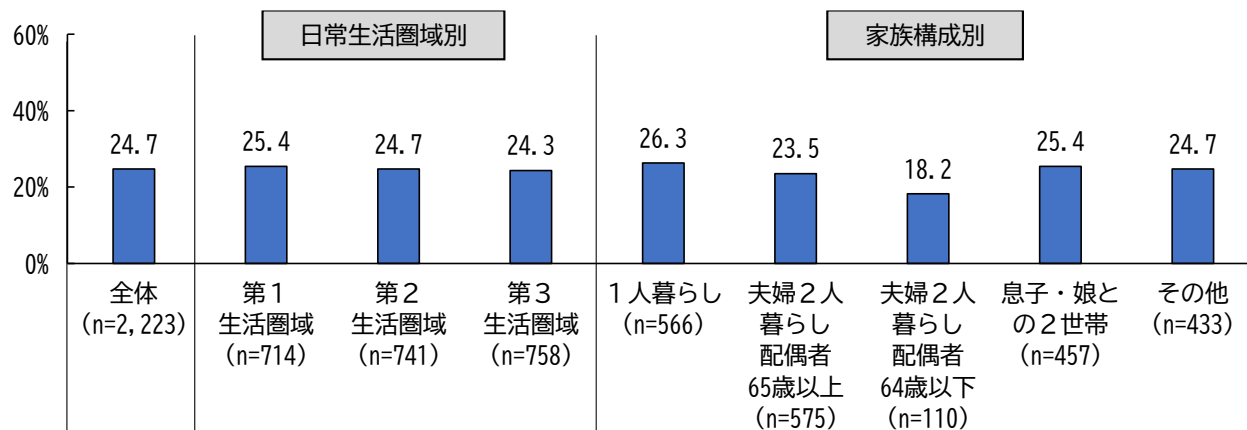
	設問	選択肢
問3（2）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3（3）	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3（4）	口の渇きが気になりますか	1. はい

口腔機能の低下リスクのある該当者は、全体で 24.7%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 25.4%、第2生活圏域で 24.7%、第3生活圏域で 24.3%と、ほぼ同じ割合となっています。

家族構成別では、1人暮らしで 26.3%となっています。

性別では、男性より女性がやや多くなっています。

年齢別では、概ね年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



認知機能の低下

以下の3つの設問のうち、1問以上該当する選択肢が回答された場合は認知機能の低下している高齢者となります。

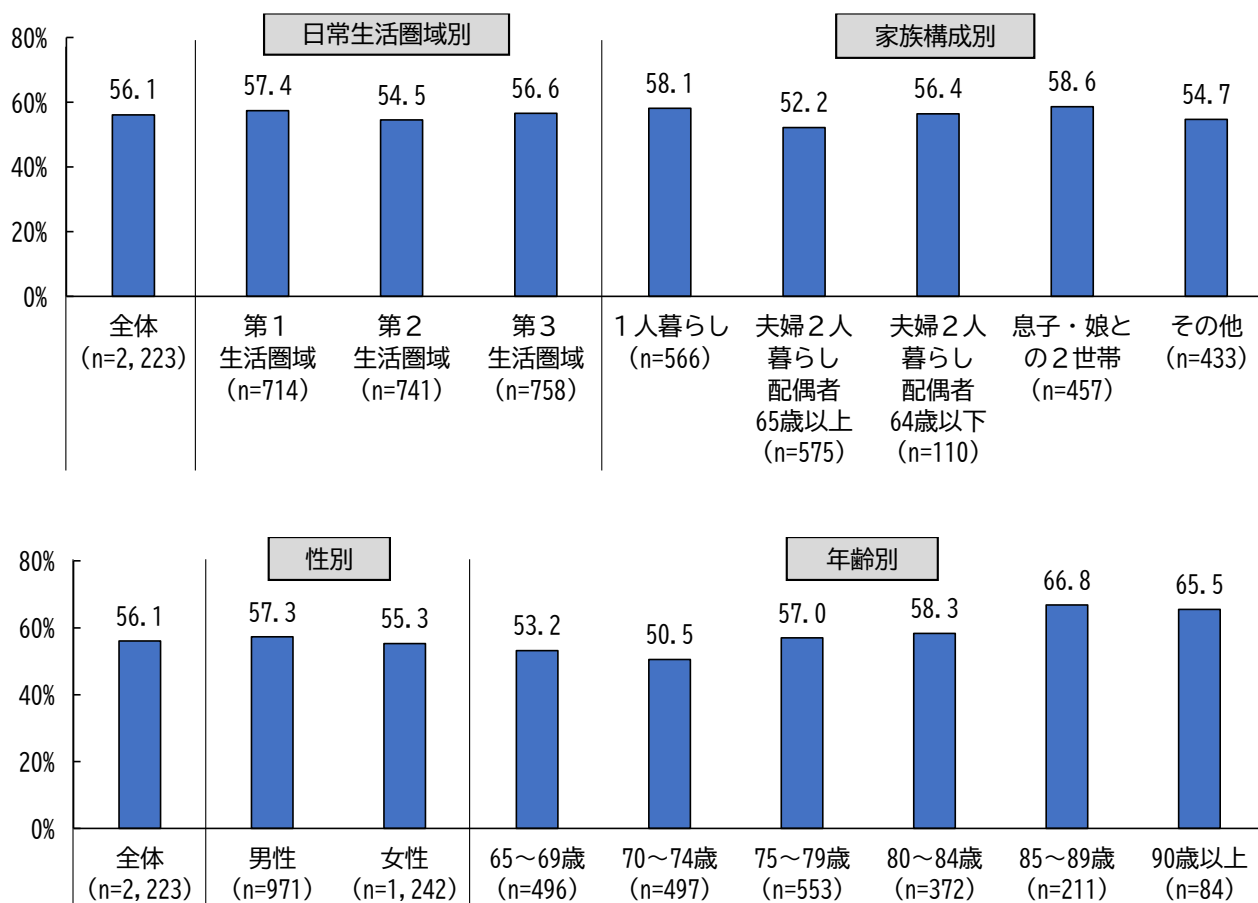
	設問	選択肢
問4（1）	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問4（2）	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ
問4（3）	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい

認知機能の低下リスクのある該当者は、全体で 56.1%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 57.4%、第2生活圏域で 54.5%、第3生活圏域で 56.6%と、ほぼ同じ割合となっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯で 58.6%、1人暮らしで 58.1%と他の世帯よりやや多くなっています。

性別では、女性より男性がやや多くなっています。

年齢別では、85歳以上で 65%を超えています。



虚弱（生活機能の低下）

以下の設問のうち、10 問以上該当する選択肢が回答された場合は生活機能の低下している高齢者となります。

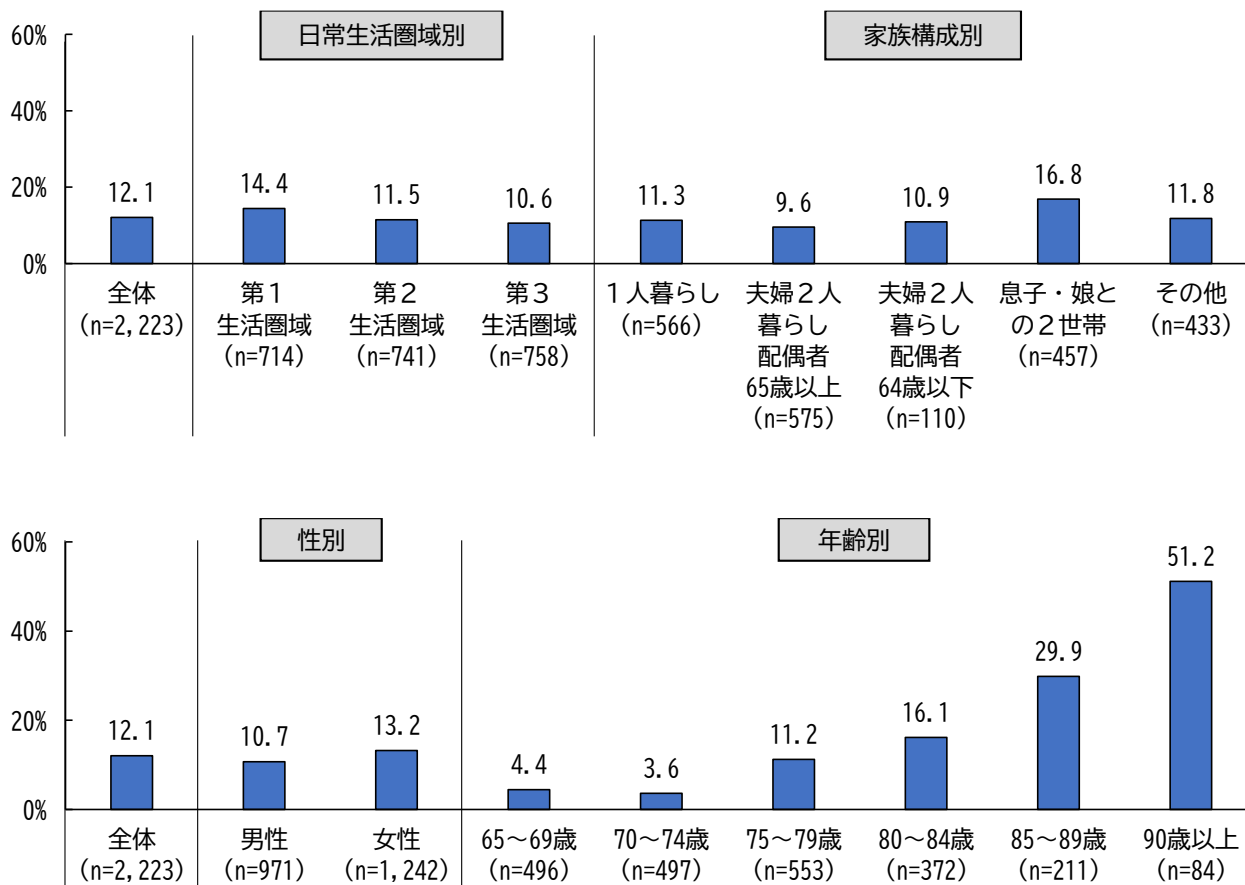
	設問	選択肢
問2（1）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2（3）	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2（5）	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である
問2（6）	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出していない 2. 週1回
問2（7）	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている
問3（1）	身長・体重（BMI 値）	1. BMI 値が18.5未満
問3（7）	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
問3（2）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3（3）	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3（4）	口の渇きが気になりますか	1. はい
問4（1）	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問4（2）	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ
問4（3）	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問4（4）	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	2. できるけど、していない 3. していない
問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	2. できるけど、していない 3. していない
問4（8）	自分で預貯金のおし入れをしていますか	2. できるけど、していない 3. していない
問4（13）	友人の家を訪ねていますか	2. いいえ
問4（14）	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ

生活機能の低下リスクのある該当者は、全体で 12.1%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 14.4%、第2生活圏域で 11.5%、第3生活圏域で 10.6%となっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯で 16.8%と最も多くなっています。

性別では、男性より女性がやや多くなっています。

年齢別では、概ね年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



うつ傾向

以下の2つの設問のうち、1問以上該当する選択肢が回答された場合はうつ傾向のある高齢者となります。

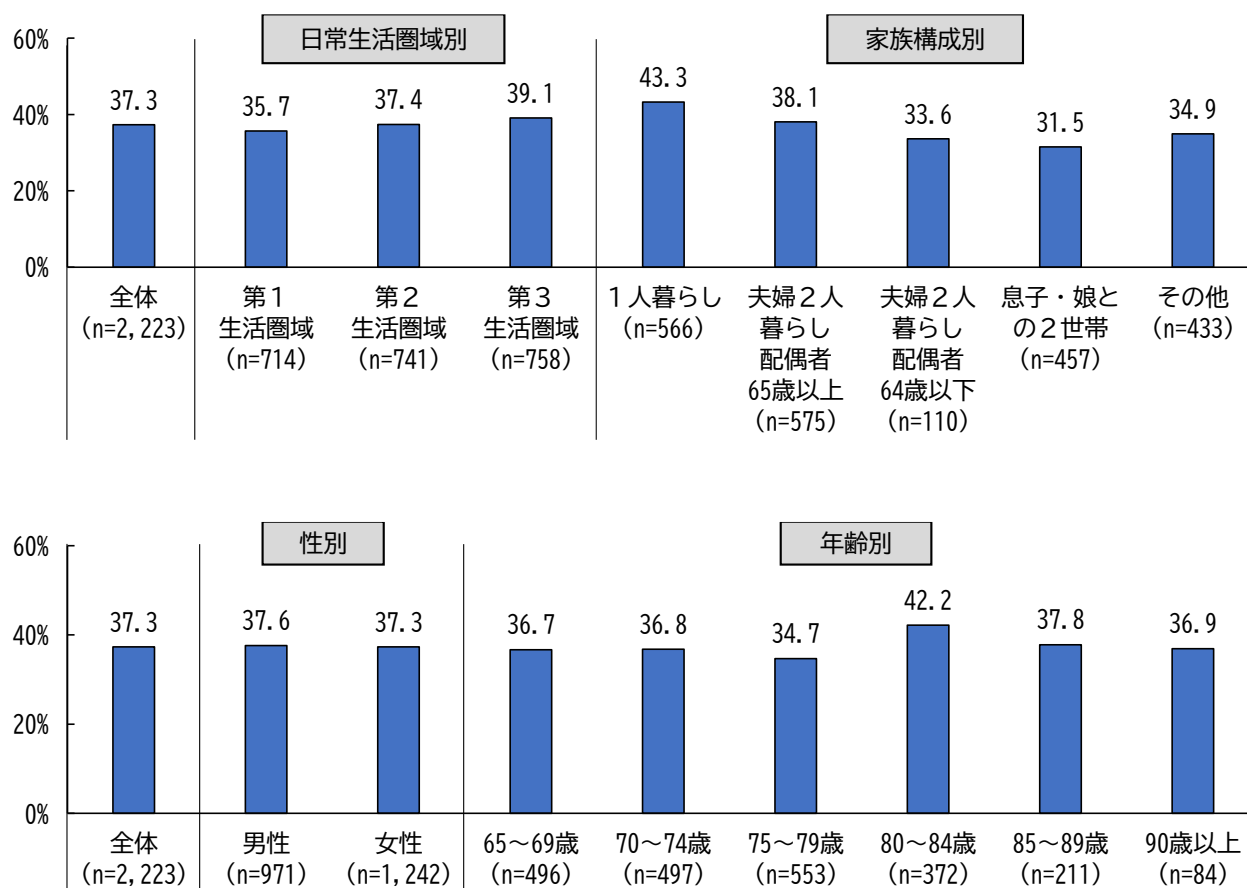
	設問	選択肢
問9 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問9 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

うつ傾向のある該当者は、全体で37.3%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で35.7%、第2生活圏域で37.4%、第3生活圏域で39.1%となっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯で31.5%と最も少なくなっており、1人暮らしで43.3%と最も多くなっています。

性別では、ほぼ同じ割合となっています。

年齢別では、75～79歳で34.7%と最も少なく、80～84歳で42.2%と最も多くなっています。



(2) 日常生活・社会生活

手段的自立度 (IADL)

以下の5つの設問のうち、該当する選択肢を回答された設問が4問以下の場合は手段的自立度が低下している高齢者となります。

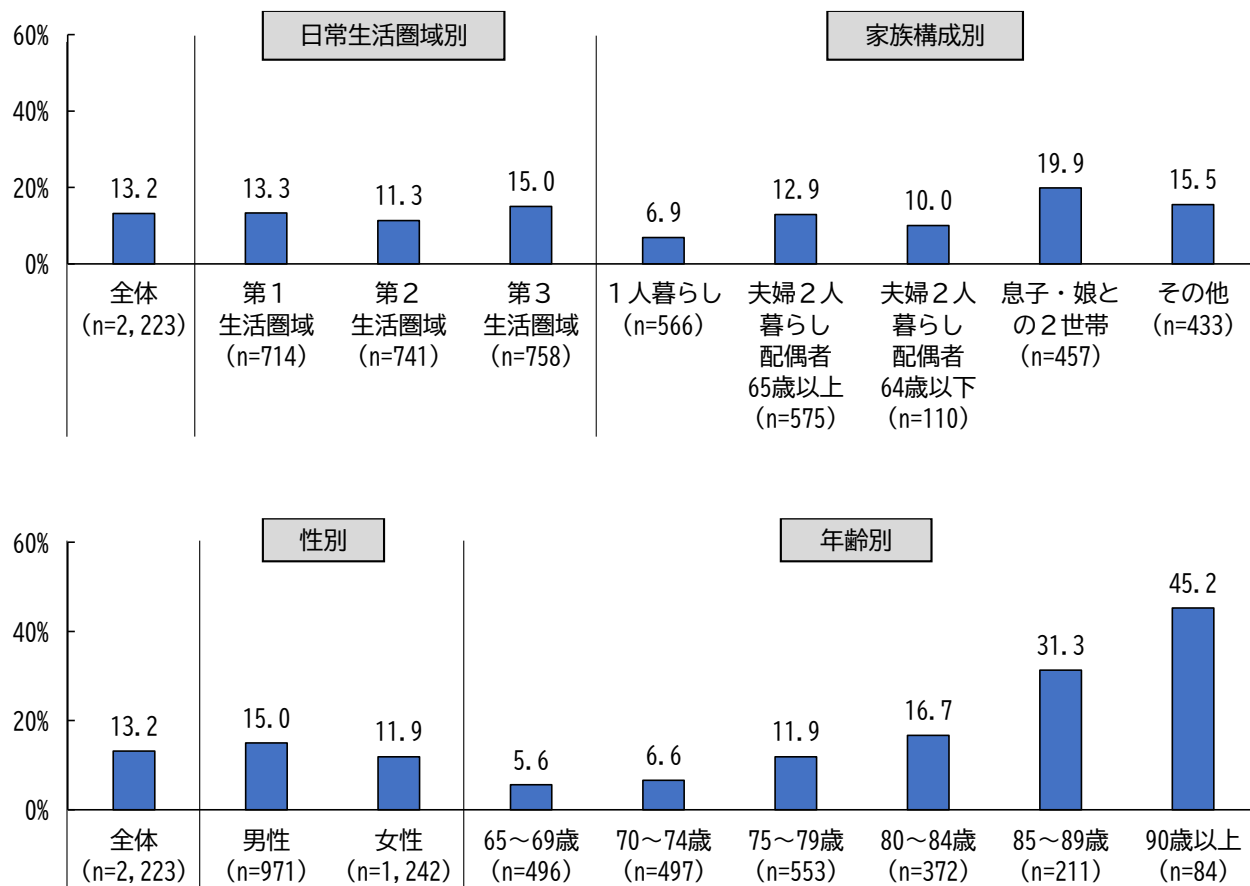
	設問	選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4 (8)	自分で預貯金のおし入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない

手段的自立度が低下している該当者は、全体で 13.2% となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 13.3%、第2生活圏域で 11.3%、第3生活圏域で 15.0% となっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯で 19.9% と最も多くなっています。

性別では、女性より男性がやや多くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



知的能動性

以下の4つの設問のうち、該当する選択肢を回答された設問が3問以下の場合は知的能動性が低下している高齢者となります。

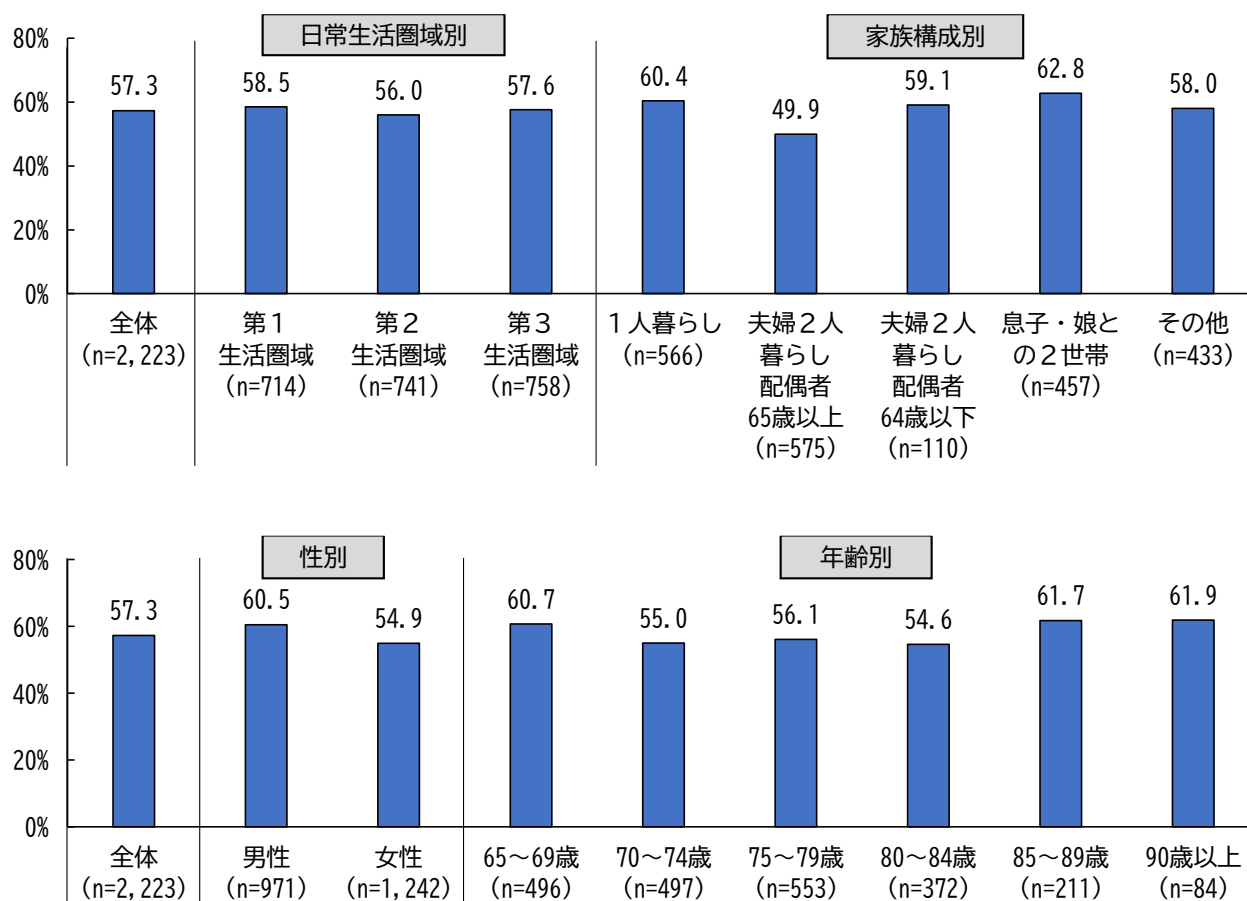
	設問	選択肢
問4（9）	役所や病院などに出す書類が書けますか	1. はい
問4（10）	新聞を読んでいますか	1. はい
問4（11）	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問4（12）	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい

知的能動性が低下している該当者は、全体で 57.3%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 58.5%、第2生活圏域で 56.0%、第3生活圏域で 57.6%となっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯で 62.8%と最も多くなっています。

性別では、女性より男性が多くなっています。

年齢別では、65～69歳、85歳以上で6割以上となっています。



社会的役割

以下の4つの設問のうち、該当する選択肢を回答された設問が3問以下の場合は社会的役割が低下している高齢者となります。

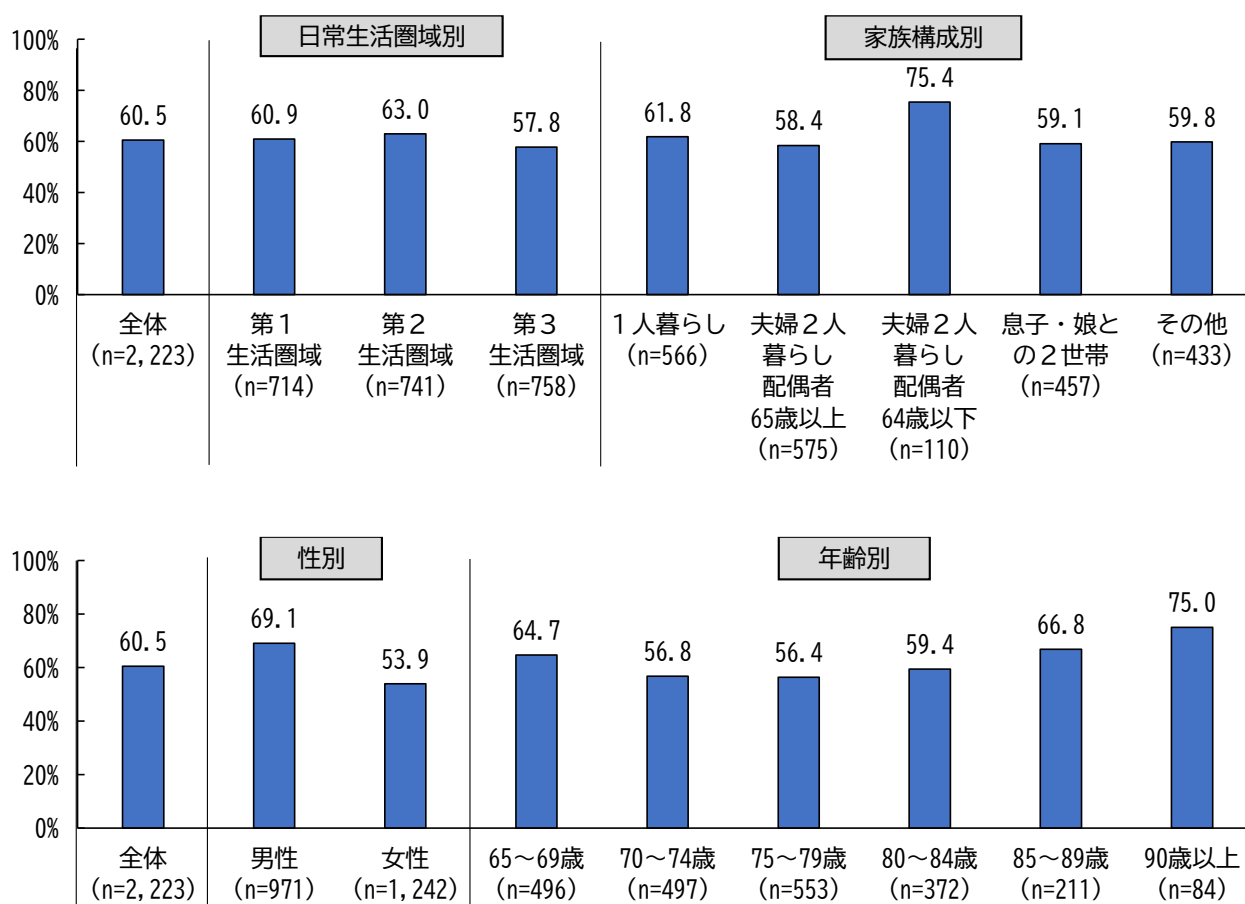
	設問	選択肢
問4 (13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問4 (15)	病人を見舞うことができますか	1. はい
問4 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

社会的役割が低下している該当者は、全体で 60.5%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 60.9%、第2生活圏域で 63.0%、第3生活圏域で 57.8%と、第2生活圏域で最も多くなっています。

家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で 75.4%と最も多くなっています。

性別では、男性で 69.1%、女性 53.9%と、男性が多くなっています。

年齢別では、85～89 歳で 66.8%、90 歳以上で 75.0%と多くなっています。



老研式活動能力指標総合評価

以下の設問のうち、該当する選択肢を回答された設問が10問以下の場合は老研式活動能力指標が低下している高齢者となります。

	設問	選択肢
問4（4）	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4（6）	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4（7）	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4（8）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4（9）	役所や病院などに出す書類が書けますか	1. はい
問4（10）	新聞を読んでいますか	1. はい
問4（11）	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問4（12）	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい
問4（13）	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問4（14）	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問4（15）	病人を見舞うことができますか	1. はい
問4（16）	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

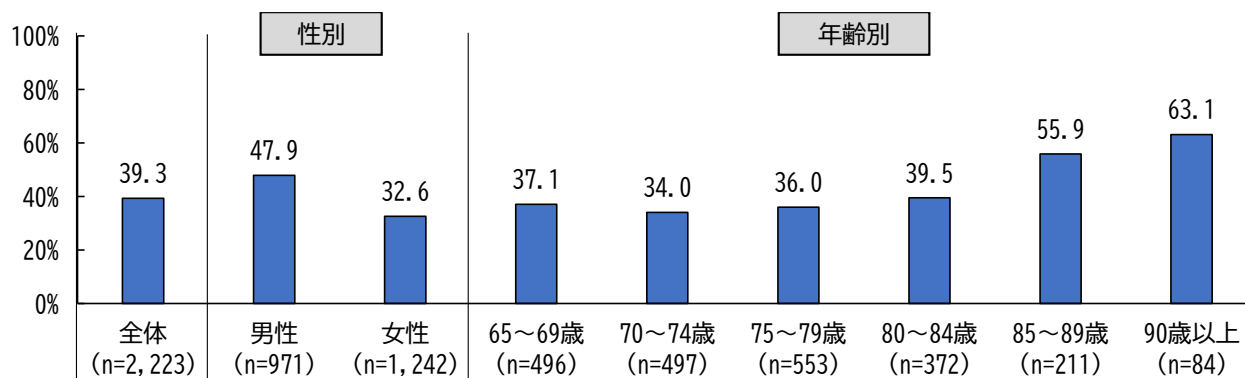
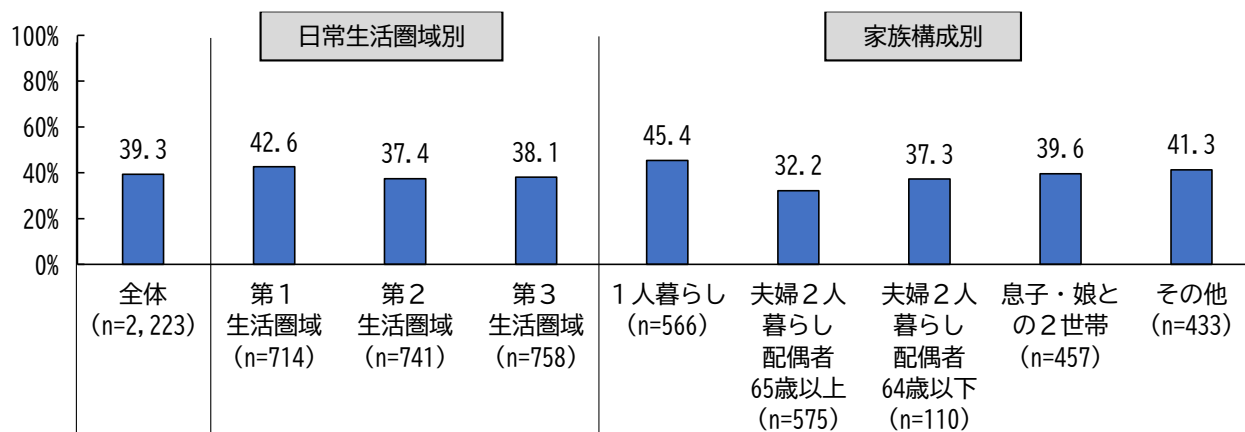
老研式活動能力指標は、高齢者が地域で自立して日常生活を送るために必要な、高いレベルの生活機能を測定する指標です。

老研式活動能力指標が低下している該当者は、全体で 39.3%となっており、日常生活圏域別では、第1生活圏域で 42.6%、第2生活圏域で 37.4%、第3生活圏域で 38.1%と、第1生活圏域で最も多くなっています。

家族構成別では、1人暮らしで 45.4%と最も多くなっています。

性別では、男性で 47.9%、女性で 32.6%と、男性が多くなっています。

年齢別では、70歳以上で年齢が高くなるにつれて該当者の割合は多くなっています。



4 日常生活圏域ごとの地域特性

(1) リスク該当者等の圏域別回答割合

①本人の属性等

設問		回答・判定	全体	日常生活圏域		
				第1	第2	第3
問1	属性					
問1	年齢	後期高齢者が多い	55.1	58.4	53.7	53.3
問1	要介護認定者	要支援認定者が多い	5.1	6.2	5.1	4.1
問1(1)	家族構成	「1人暮らし」が多い	25.5	29.6	27.1	20.3
問1(2)	介護・介助をしているか	「親」の介護・介助をしている	10.3	9.8	12.3	8.7
		「配偶者」の介護・介助をしている	15.6	16.4	13.9	16.8
問1(3)	介護・介助の必要性	『介護・介助が必要な方』が多い	14.6	16.4	14.7	12.9
問1(3)①	将来的に介護・介助をしてくれる人	将来的に介護・介助をしてくれる人がいない	33.4	36.2	34.9	29.3
問1(4)	経済的状況	『苦しい』が多い	30.1	31.2	30.2	29.0
問1(5)	居住形態	「持家(一戸建て)」が多い	89.8	89.2	88.0	92.2

②介護や健康にかかわる本人の状況

設問		回答・判定	全体	日常生活圏域		
				第1	第2	第3
問2	からだを動かすことについて					
問2(1)～(5)	運動器機能の低下	リスク該当者が多い	17.1	21.0	15.1	15.7
問2(4)	転倒リスク	リスク該当者が多い	33.1	32.8	33.7	33.0
問2(6)	閉じこもり傾向	リスク該当者が多い	22.9	24.2	22.3	22.3
問2(7)	昨年と比べた外出回数	『減っている』が多い	24.1	26.2	22.8	23.7
問2(8)	外出を控えているか	「はい」が多い	19.4	22.4	18.8	17.5
問2(9)	外出する際の移動手段	「徒歩」が少ない	40.5	39.1	46.4	35.9
問3	食生活について					
問3(2)～(4)	口腔機能の低下	リスク該当者が多い	24.7	25.4	24.7	24.3
問3(5)	毎日の歯磨き	「いいえ」が多い	9.1	9.9	8.5	9.0
問3(6)	自分の歯の本数	「20本以上」が少ない	37.6	31.1	40.4	41.2
問3(6)①	噛み合わせ	「いいえ」が多い	21.1	24.1	18.8	20.3
問3(1)(7)	低栄養リスク	リスク該当者が多い	1.1	1.1	1.5	0.7
問3(8)	共食の状況（孤食の状況）	『孤食傾向にある』が多い	21.3	21.3	21.1	21.5
問4	毎日の生活について					
問4(1)～(3)	認知機能の低下	リスク該当者が多い	56.1	57.4	54.5	56.6
問4(4)～(8)	IADL	低下該当者が多い	13.2	13.3	11.3	15.0
問4(9)～(12)	知的能動性	低下該当者が多い	57.3	58.5	56.0	57.6
問4(13)～(16)	社会的役割	低下該当者が多い	60.5	60.9	63.0	57.8
問4(17)	趣味	「趣味あり」が少ない	64.7	61.1	69.1	64.0
問4(18)	生きがい	「生きがいあり」が少ない	51.4	45.7	56.3	52.0
問2, 3, 4	虚弱	リスク該当者が多い	12.1	14.4	11.5	10.6
問9	健康について					
問9(1)	健康状態	『よくない』が多い	18.6	19.6	19.7	16.7
問9(2)	幸福度	平均点が低い	6.91	6.86	7.02	6.86
問9(3)(4)	うつ傾向	リスク該当者が多い	37.3	35.7	37.4	39.1
問9(5)	飲酒	「ほぼ毎日飲む」が多い	16.3	16.5	16.1	16.5
問9(6)	喫煙	『喫煙者』が多い	10.6	11.0	10.7	10.0
問9(7)	治療中の病気等	「ない」が少ない	12.9	11.1	14.6	13.1
問9(8)	健康管理、介護・認知症予防のために取り組んでいること	「特になし」が多い	6.1	6.4	5.9	6.1
問9(9)	フレイルの認知度	「知っている」が少ない	27.8	23.9	33.6	25.7

※網掛け部分は、リスク該当者が多い圏域を表しています。

③本人を取り巻く環境等の状況

設問		回答・判定	全体	日常生活圏域		
				第1	第2	第3
問5	地域での活動について					
問5(1)①	ボランティアのグループ	『月1回以上』が少ない	3.3	2.4	3.3	4.0
問5(1)②	スポーツ関係のグループやクラブ	『月1回以上』が少ない	9.9	8.3	11.7	9.5
問5(1)③	趣味関係のグループ	『月1回以上』が少ない	10.9	10.6	12.2	9.8
問5(1)④	学習・教養サークル	『月1回以上』が少ない	2.4	2.3	2.1	2.8
問5(1)⑤	介護予防のための通いの場	『月1回以上』が少ない	5.0	5.6	4.6	5.0
問5(1)⑥	老人クラブ	『月1回以上』が少ない	1.6	1.9	1.4	1.4
問5(1)⑦	町内会・自治会	『月1回以上』が少ない	3.7	2.6	4.5	3.5
問5(1)⑧	収入のある仕事	『月1回以上』が少ない	17.5	15.5	18.8	17.8
問5(2)	活動の参加者としての参加意向	『参加意向あり』が少ない	45.6	44.1	47.4	45.4
問5(3)	活動のお世話役としての参加意向	『参加意向あり』が少ない	25.9	25.7	24.6	27.3
問6	就労について					
問6(1)	現在の就労状態	「引退した」が多い	51.8	52.2	51.6	51.7
問7	たすけあいについて					
問7(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	「そのような人はいない」が多い	5.8	7.0	5.5	5.0
問7(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	「そのような人はいない」が多い	7.9	10.1	7.0	6.7
問7(3)	看病や世話をしてくれる人	「そのような人はいない」が多い	9.6	9.8	11.1	8.2
問7(4)	看病や世話をしてあげる人	「そのような人はいない」が少ない	17.4	20.6	18.1	14.0
問7(5)	家族や知人以外の相談相手	「そのような人はいない」が多い	46.7	48.2	45.6	46.3
問7(6)	友人・知人と会う頻度	『あまりない』が多い	34.9	34.5	35.4	34.6
問7(7)	この1か月、友人・知人と会った	「0人（いない）」が多い	15.2	15.7	13.9	16.1
問7(8)	よく会う友人・知人	「いない」が多い	12.1	14.0	10.9	11.6
問8	日常生活での困りごとについて					
問8(1)	高齢者への手助けについて	「手助けしたくない」が多い	4.1	4.3	4.5	3.6
問8(2)	手助けしてほしいこと	「災害時の避難支援」が少ない	6.7	6.2	7.2	6.9
問8(3)	手伝えること	「手伝いたくない」が多い	2.7	3.1	2.6	2.4
問8(4)	生活必需品の買物	「徒歩圏内にある小売店で買っている(コンビニ含む)」が少ない	43.6	40.9	44.5	45.0
問10	生き方や市の取り組み					
問10(1)	介護が必要となった場合	「自宅で介護サービスや福祉サービスを活用したい」が多い	45.6	44.3	46.4	45.9
問10(2)	最後についての話し合い	「話し合っている（これから話し合う予定）」が少ない	33.0	35.6	33.3	30.2
問10(3)	最期を迎える場所	「自宅」が多い	49.8	47.8	50.3	51.1
問10(4)	エンディングノートの活用状況	「活用している」が少ない	5.0	4.3	6.1	4.5
問10(5)	地域包括支援センターの認知度	「知っている」が少ない	47.4	42.6	49.5	49.9
問10(6)	「ちょーびーのやさしさ便利帳」配布の認知度	「知っている」が少ない	14.3	13.9	16.1	12.9
問11	認知症にかかる相談窓口の把握					
問11(1)	認知症の理解	「わからない」が多い	8.6	9.9	7.6	8.6
問11(2)	家族を含めた認知症の有無	「はい」が多い	8.6	7.8	10.0	8.0
問11(3)	認知症相談窓口の認知度	「はい（知っている）」が少ない	17.8	12.6	20.9	19.5
問12	認知症に対するイメージについて					
問12(1)①	難しいことでも工夫していきいきと生活することができる	『そう思う』が少ない	55.8	54.3	57.6	55.1
問12(1)②	家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる	『そう思う』が少ない	65.6	61.3	67.8	67.4
問12(1)③	身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる	『そう思う』が多い	67.1	66.8	67.6	66.5
問12(1)④	周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい	『そう思う』が多い	61.9	60.7	63.8	60.8
問12(1)⑤	症状が進行すると何もできなくなってしまう	『そう思う』が多い	71.6	69.4	73.3	71.9
問13	成年後見制度について					
問13(1)	成年後見制度の認知度	『制度を知らない』が多い	64.8	66.8	60.3	67.3
問13(2)	成年後見制度の相談先	「わからない」が多い	43.4	44.7	39.9	45.4

(2) 調査結果から見える地域特性

	第1生活圏域	第2生活圏域	第3生活圏域
本人の属性等	・3圏域のうち後期高齢者の割合が最も高く、要支援認定者及び介護・介助が必要である人の割合も最も高い。 ・1人暮らし高齢者世帯の割合も3圏域の中で最も高い。 ・将来的に介護・介助してくれる人がいない割合が最も高い。 ・主な介護・介助者では、配偶者の割合が最も低い。 ・経済的に苦しい人の割合が最も高い。	・家族構成では、3圏域のうち夫婦2人暮らしの割合が最も高い。 ・普段の生活で親の介護・介助をしている割合が最も高く、配偶者の介護・介助をしている割合が最も低い。 ・主な介護・介助者では、娘の割合が最も高い。	・後期高齢者及び要支援認定者の割合が最も低い。 ・家族構成では、3圏域のうち1人暮らしの割合が最も低く、息子・娘との2世帯の割合が最も高い。 ・将来的に介護・介助が必要となった場合、介護・介助してくれる人がいる割合が最も高い。 ・主な介護・介助者では、介護サービスのヘルパーの割合が最も低い。
介護や健康にかかわる本人の状況	・3圏域のうち基本チェックリストによるリスク該当者の割合が最も高いもの。 ・運動器機能 ・閉じこもり ・口腔機能 ・認知機能 ・虚弱 ・知的能動性 ・老研式活動能力 ・昨年と比べて外出の回数が減っている人の割合が最も高い。 ・外出を控えている人の割合が最も高い。その理由では、足腰などの痛みの割合が最も高い。 ・趣味や生きがいを持っている人の割合が最も低い。 ・フレイルの認知度が最も低い。	・3圏域のうち基本チェックリストによるリスク該当者の割合が最も高いもの。 ・転倒リスク ・低栄養リスク ・社会的役割 ・外出を控えている理由では、経済的に出られないと交通手段がないの割合が他の圏域よりも目立って高い。 ・フレイルの認知度が最も高い。 ・生きがいを持っている人、幸福と感じている人の割合が最も高い。 ・銚子プラチナ体操を知っている人の割合が最も高い。	・3圏域のうち基本チェックリストによるリスク該当者の割合が最も高いもの。 ・IADL ・うつ傾向 ・外出を控えている理由では、外での楽しみがないが最も高く、トイレの心配（失禁など）も高い。 ・BMIでは、男性の肥満は最も低かったが、女性の肥満は最も高い。 ・健康状態がよい人の割合が最も高い。
本人を取り巻く環境等の状況	・介護予防のための通いの場へ参加する人の割合が最も高いが、町内会・自治会へ参加する人の割合は最も低い。 ・3圏域の中で、愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人では、配偶者や同居・別居のこどもの割合が最も低く、そのような人はいないという回答の割合が最も高い。 ・よく会う友人・知人に関して、いないと回答した人の割合が他の圏域と比較して最も高い。 ・地域包括支援センターを知っている人の割合が最も低い。	・スポーツ関係のグループやクラブに参加している人の割合と収入のある仕事をしている人の割合が最も高いものの、各種グループに参加していないと答えた人の割合も最も高い。 ・3圏域の中で、愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病してくれる人、してあげる人において、友人の割合が最も高い。 ・地域のサービスをまとめた情報冊子「ちょーびーのやさしさ便利帳」配布の認知度が最も高い。	・趣味関係のグループに参加している人の割合が低い。 ・3圏域の中で、愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病してくれる人、してあげる人において、配偶者の割合が最も高い。 ・最期をどのように迎えたいか家族と話し合いをしている人の割合が最も低い。 ・自身が介護が必要となった場合に自宅で家族などを中心とした介護を希望する人の割合が高く、最期を迎える場所として自宅を希望する人の割合が最も高い。
各圏域の課題	高齢化が最も進んでおり、介護の必要性も高く、心身ともリスクが高い ・要介護認定者の割合が最も高く、1人暮らし高齢者が多い。今後、介護・介助のニーズが一層高まることが想定されるが、経済的に苦しい人の割合も高く、経済面から必要とするサービスを利用できない可能性も考えられる。 ・健康状態がよくない人や健康に関するリスクが高い人も多い。 ・1人暮らし高齢者が多く、愚痴を聞いてくれる・聞いてあげる家族も少ないうえ、友人・知人や近隣との関係が希薄な人が多い。地域包括支援センターを知っている人の割合も低い。 ・フレイル予防や健康づくり、地域とのつながりづくりを積極的に進め、介護予防を積極的に推進するとともに、地域とのつながり・関わり合いを持つ機会の創出が必要である。	活動的な人が多い一方で、活動に参加していない人の割合も高く、二極化がみられる ・現状では夫婦2人暮らしの割合が高く配偶者の介護・介助している割合が低いものの、今後は介護・介助が必要となり、在宅生活を続けることが困難な高齢者が増加することも予想される。 ・スポーツ関係のグループに参加している人が多く、友人との関係が良好な人が多い一方で、活動へ参加していない人も多く、社会的役割のリスクも高い。 ・フレイルの認知度が高く、銚子プラチナ体操や情報冊子「ちょーびーのやさしさ便利帳」を知っている人の割合も高いことから、健康などに関する情報に対する感度が高いと見込まれる。 ・会やグループの活動に参加していない人でも社会的なつながりを創出・維持していくための仕組みづくりを通じ、家族以外とのつながりや社会参加を促していくことが求められる。	若い高齢者が多く、家族の絆・つながりが強いが、精神的健康リスクが高い ・3圏域のうち後期高齢者及び要支援認定者の割合が最も低く、介護・介助を受けている人の割合も少ない。介護サービスのヘルパーからの介護・介助を受けている人が少ない。 ・健康状態がよい人の割合が高いが、80歳未満の人の割合が高いため、今後は健康状態の悪化やリスクの高まりも考えられる。また、精神的健康面でのリスクの高い人も多い。 ・介護サービスのヘルパーから介護を受けている割合は低いですが、今後は在宅サービス利用が増加する可能性がある。 ・精神的健康リスクが高い人が多いことから、高齢者の精神面でのケアが必要である。現状は若い高齢者が多いが、今後は高齢化が進むことで健康リスクや介護ニーズが高まることが想定されるため、介護予防が特に重要である。

Ⅱ 介護サービス事業所等実態調査

1 調査の概要等

(1) 調査の背景と目的

本調査は、市内の介護サービスを提供する事業所等に対して実施した調査です。

介護保険制度の運営や地域包括ケアシステムの構築などにあたり、各種サービスの提供者である介護サービス事業所等について、運営の実態や意向などを把握することにより、今後のあり方等を検討することを目的としています。

介護事業所等の実態を把握するとともに介護事業所等で働く人の実態も含めて調査する「介護サービス事業所等実態調査」（A 票）、自宅等にお住いの方で「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」の実態を把握する調査「在宅生活改善調査」（B 票）、施設・居住系サービスから居所を変更した人数や理由を把握することを調査する「居所変更実態調査」（C 票）により構成されています。

調査結果は、第10期介護保険事業計画を策定するにあたり、実情に即した事業を行うための資料として活用されます。

(2) 調査の実施概要

調査は、以下を対象として実施しました。

調査票の種類		回答対象
A 票 介護サービス事業所等 実態調査	1 共通票	すべての事業所（管理者の方）
	2 職員票	訪問系サービス事業所（介護職員の方すべて）
B 票 在宅生活改善調査	1 事業所票	居宅介護支援事業所・小規模多機能ホーム・ 地域包括支援センター（管理者の方）
	2 利用者票	居宅介護支援事業所・小規模多機能ホーム・ 地域包括支援センター（ケアマネジャーの方すべて）
C 票 居所変更実態調査		施設・居住系サービス事業所（管理者の方）

調査の基準日は、令和7年12月1日現在としています。

(3) 本報告書の見方

複数回答項目においては、構成比の合計が100%を上回る場合があります。

クロス集計表においては、端数処理の関係で、各構成比の合計が100%とならない場合があります。

2 介護サービス事業所等実態調査結果

(A票) 介護サービス事業所等実態調査

1 貴事業所について

回答事業所数（問1 該当するサービス種別をご回答ください）

1. 施設・居住系サービス	22 事業所
2. 通所系サービス	32 事業所
3. 訪問系サービス	19 事業所
4. 小規模多機能型居宅介護	6 事業所
5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 事業所
6. 居宅介護支援	24 事業所
7. 地域包括支援センター	3 事業所

※以下、サービス種別によるクロス集計を実施する際には、「小規模多機能型居宅介護」は「通所系サービス」と、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は「訪問系サービス」と合算して集計

問2 貴事業所（問1で選択したサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

介護職員の総数	962.5 人
介護職員のうち常勤職員	641.5 人
介護職員のうち非常勤職員	310 人
外国人職員数	12 人
派遣社員数	4 人

問3 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。（1つを選択）

はい	107
いいえ	0

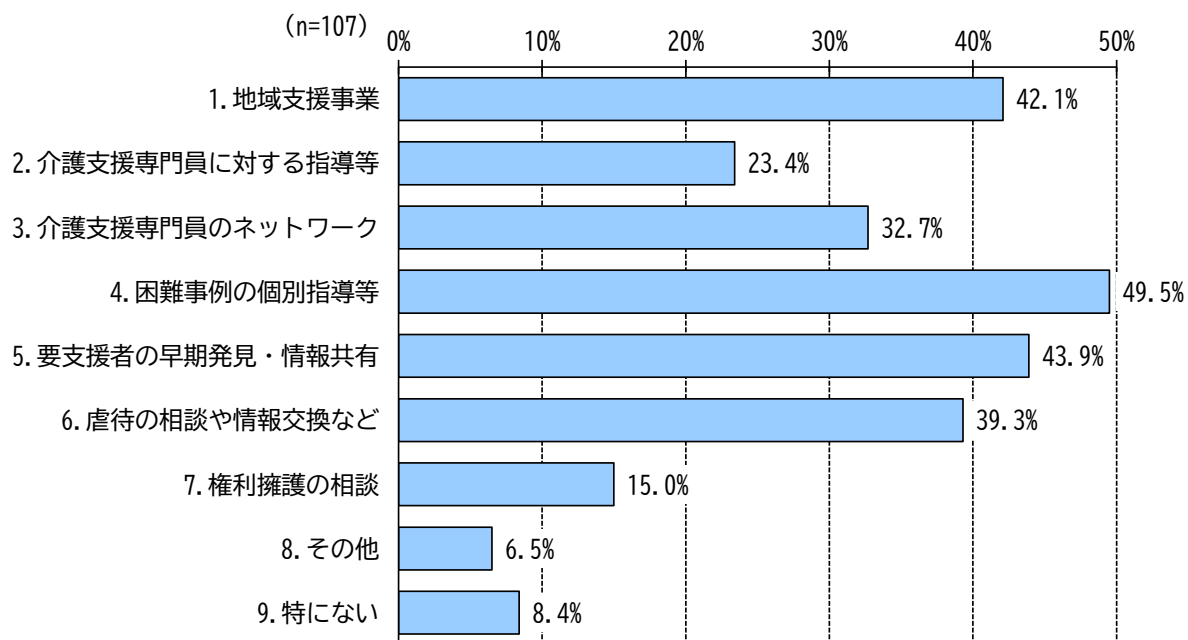
【問3で「1. はい」と答えた事業所におたずねします】

問4 過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

	採用者数	離職者数
常勤職員	108 人	82 人
非常勤職員	53 人	34 人
合計	161 人	116 人

2 地域との関わりについて

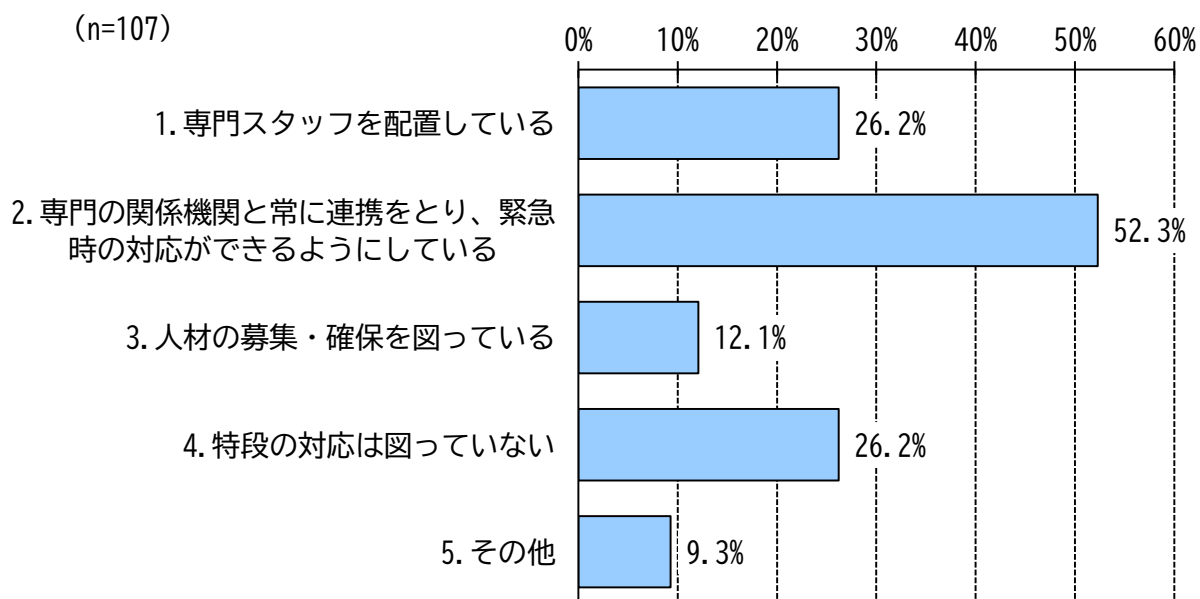
問5 貴事業所では、委託型地域包括支援センターとどのような連携をとっていますか。(複数選択可)



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 地域支援事業での連携	8	17	6	13	1	45	42.1%
2. 介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談	0	9	3	12	1	25	23.4%
3. 地域における介護支援専門員のネットワーク	4	8	4	18	1	35	32.7%
4. 支援困難事例についての個別指導・相談	13	17	4	18	1	53	49.5%
5. 支援を必要とする高齢者の早期発見・情報共有	9	14	8	15	1	47	43.9%
6. 高齢者虐待についての相談や情報交換など	6	18	5	12	1	42	39.3%
7. 成年後見制度などの権利擁護の相談	3	4	1	7	1	16	15.0%
8. その他	3	1	0	1	2	7	6.5%
9. 特にない	2	1	6	0	0	9	8.4%

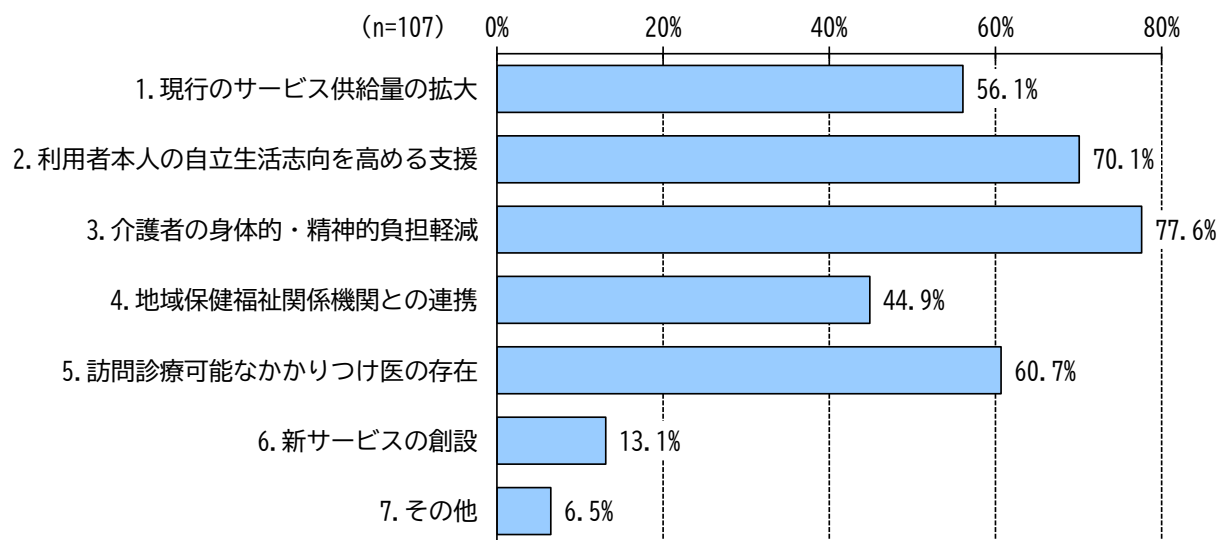
3 事業所運営について

問6 貴事業所では、要医療、認知症、障害等を有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。（複数選択可）



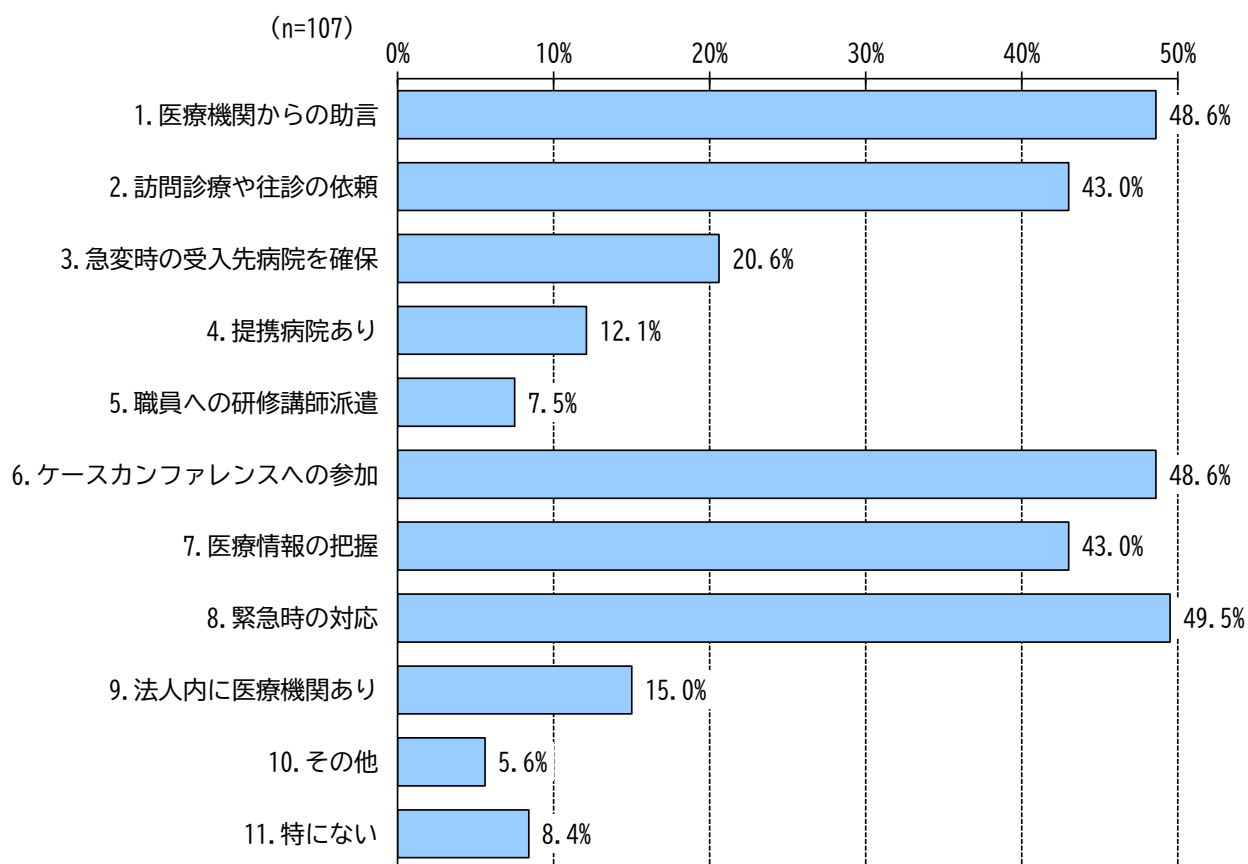
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 専門スタッフを配置している	3	14	7	2	2	28	26.2%
2. 専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている	14	17	7	17	1	56	52.3%
3. 人材の募集・確保を図っている	3	5	3	1	1	13	12.1%
4. 特段の対応は図っていない	6	9	7	5	1	28	26.2%
5. その他	1	7	2	0	0	10	9.3%

問7 貴事業所では、要介護者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要と考えますか。（複数選択可）



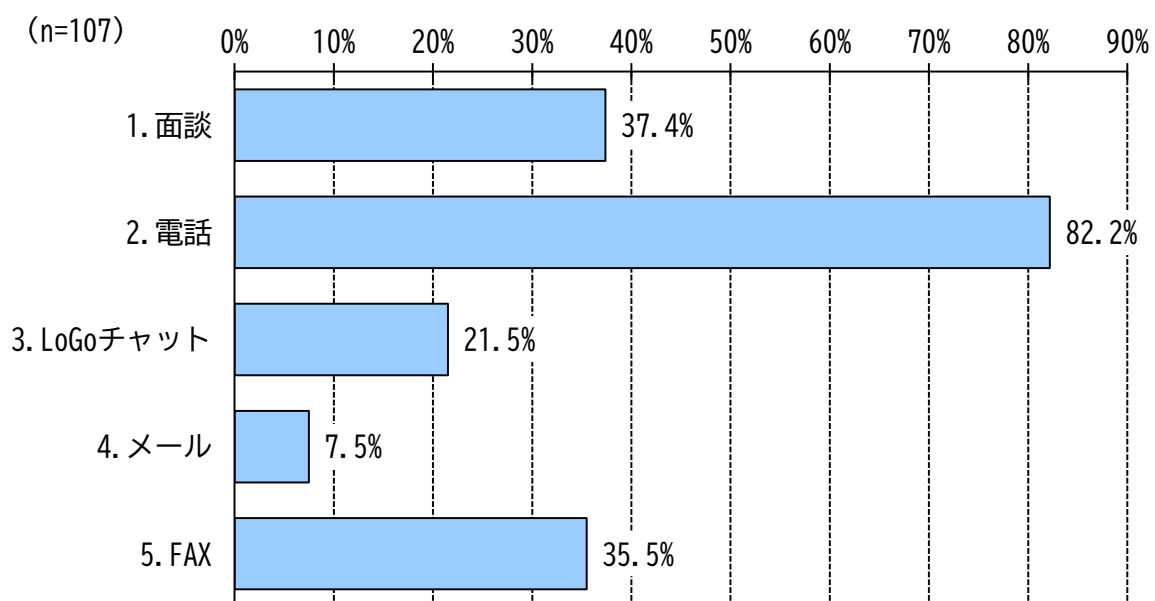
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 現行のサービス供給量の拡大	11	21	11	14	3	60	56.1%
2. 利用者本人の自立生活志向を高める支援	12	31	16	14	2	75	70.1%
3. 介護者の身体的・精神的負担軽減	15	32	13	21	2	83	77.6%
4. 地域保健福祉関係機関との連携	9	19	6	12	2	48	44.9%
5. 訪問診療可能なかかりつけ医の存在	13	25	9	17	1	65	60.7%
6. 新サービスの創設	5	4	2	2	1	14	13.1%
7. その他	2	3	1	1	0	7	6.5%

問8 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることがありますか。(複数選択可)



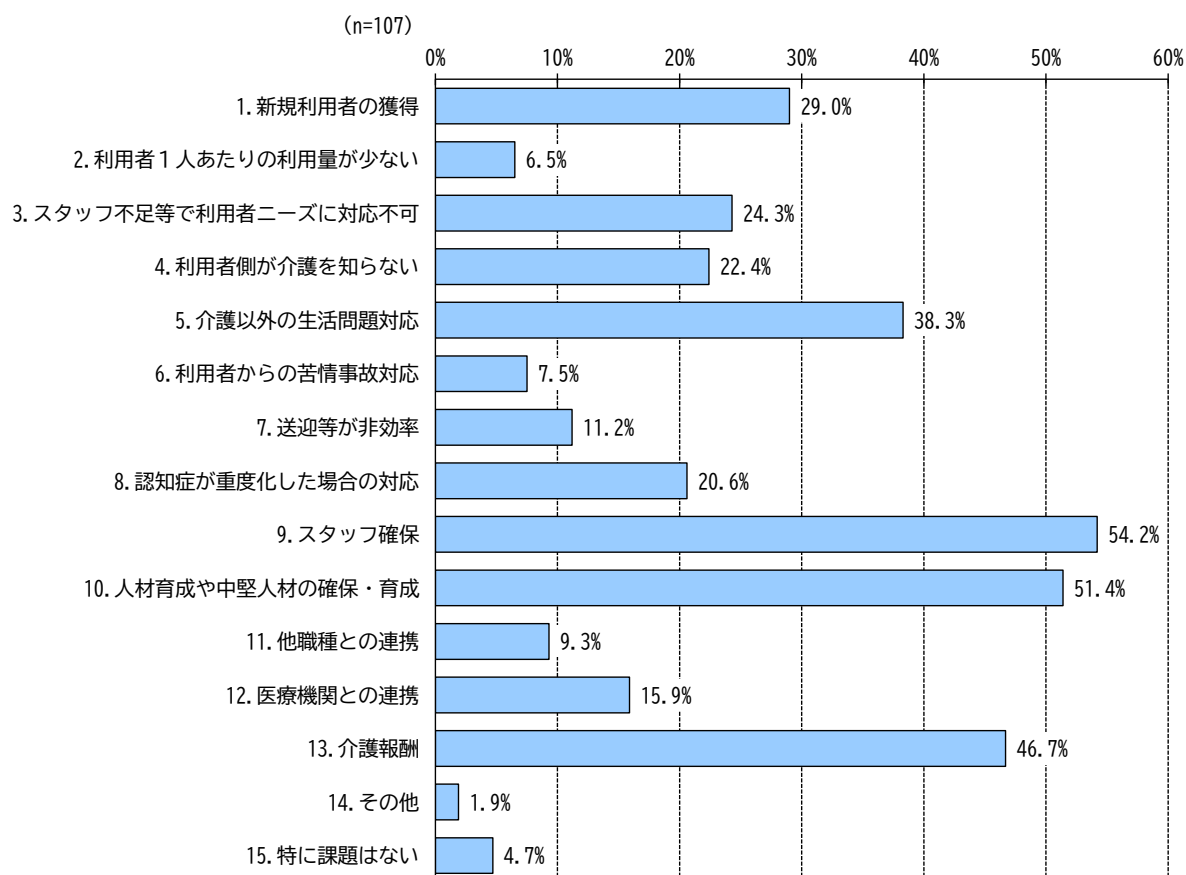
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている	11	15	8	17	1	52	48.6%
2. 訪問診療や往診の依頼をしている	14	5	5	21	1	46	43.0%
3. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している	7	7	3	4	1	22	20.6%
4. 提携病院があり、入院を受け入れてもらっている	5	3	2	3	0	13	12.1%
5. 職員への研修講師などをお願いしている	2	2	2	1	1	8	7.5%
6. ケースカンファレンスへの参加、または、必要な意見（書面や電話等により）を求めている	7	13	11	19	2	52	48.6%
7. 医療情報（検査結果や治療方針）を把握している	9	14	9	13	1	48	43.0%
8. 緊急時の対応	13	18	10	12	0	53	49.5%
9. 法人内で医療機関も経営しており、連携している	6	6	2	1	1	16	15.0%
10. その他	2	4	0	0	0	6	5.6%
11. 特にない	0	6	2	0	1	9	8.4%

問9 医療機関との主な連携手段は何ですか。(複数選択可)



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 面談	10	4	8	17	1	40	37.4%
2. 電話	19	34	17	15	3	88	82.2%
3. LoGo チャット	2	9	5	7	0	23	21.5%
4. メール	2	3	2	1	0	8	7.5%
5. FAX	7	7	7	17	0	38	35.5%

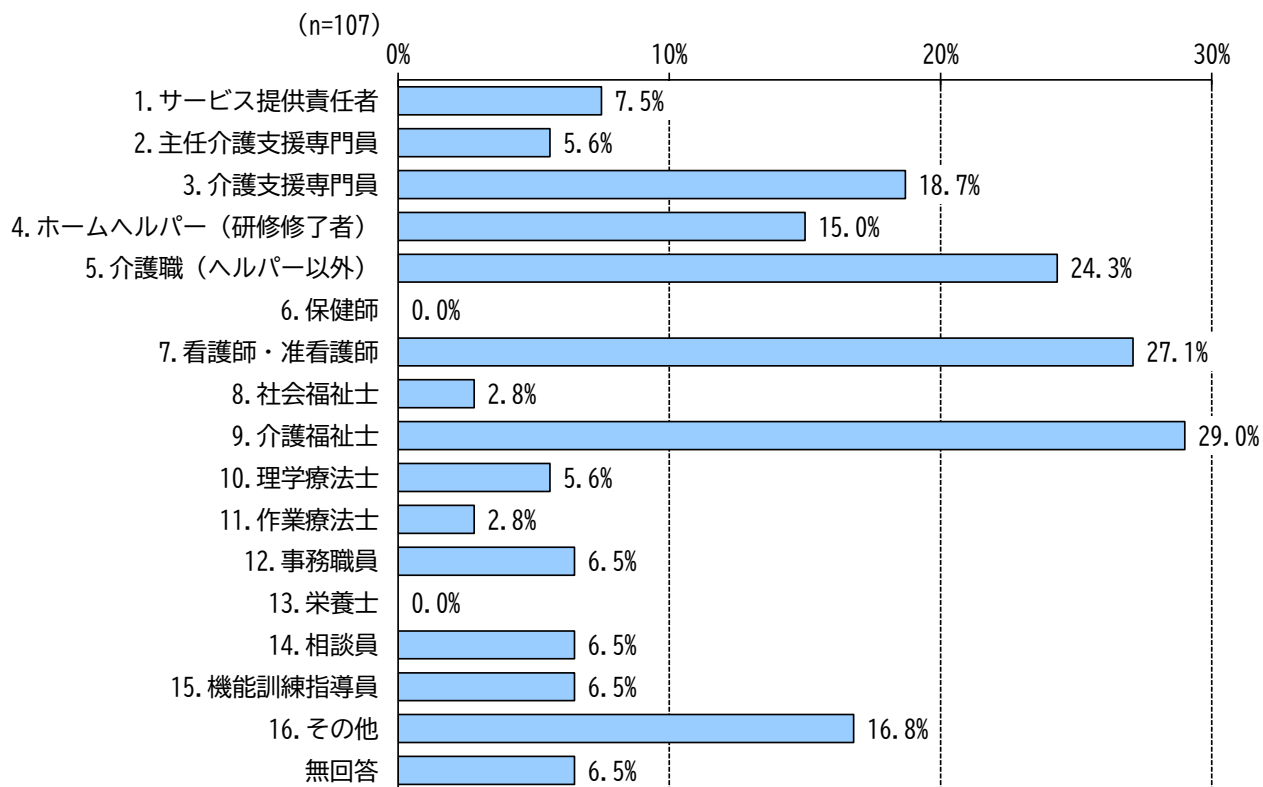
問10 事業を運営する上での課題は何ですか。(5つまで選択可)



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 新規利用者の獲得が困難・他のサービス事業所との競合が激しい	7	13	3	8	0	31	29.0%
2. 利用者1人あたりの利用量が少ない	2	2	1	2	0	7	6.5%
3. 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない	8	8	8	1	1	26	24.3%
4. 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない	7	6	6	3	2	24	22.4%
5. 介護以外の生活問題などへの対応	3	12	6	18	2	41	38.3%
6. 利用者からの苦情や事故への対応	0	5	0	3	0	8	7.5%
7. 訪問や送迎が非効率（エリアが広い等）	1	6	2	3	0	12	11.2%
8. 入居者の認知症が重度化した場合の対応	10	9	1	2	0	22	20.6%
9. スタッフの確保	15	18	14	8	3	58	54.2%
10. スタッフの人材育成や責任者など中堅人材の確保・育成	16	22	11	5	1	55	51.4%
11. 他職種との連携	5	4	0	1	0	10	9.3%
12. 医療機関との連携	3	6	1	7	0	17	15.9%
13. 介護報酬が低い	13	14	13	10	0	50	46.7%
14. その他	1	0	0	1	0	2	1.9%
15. 特に課題はない	0	4	0	1	0	5	4.7%

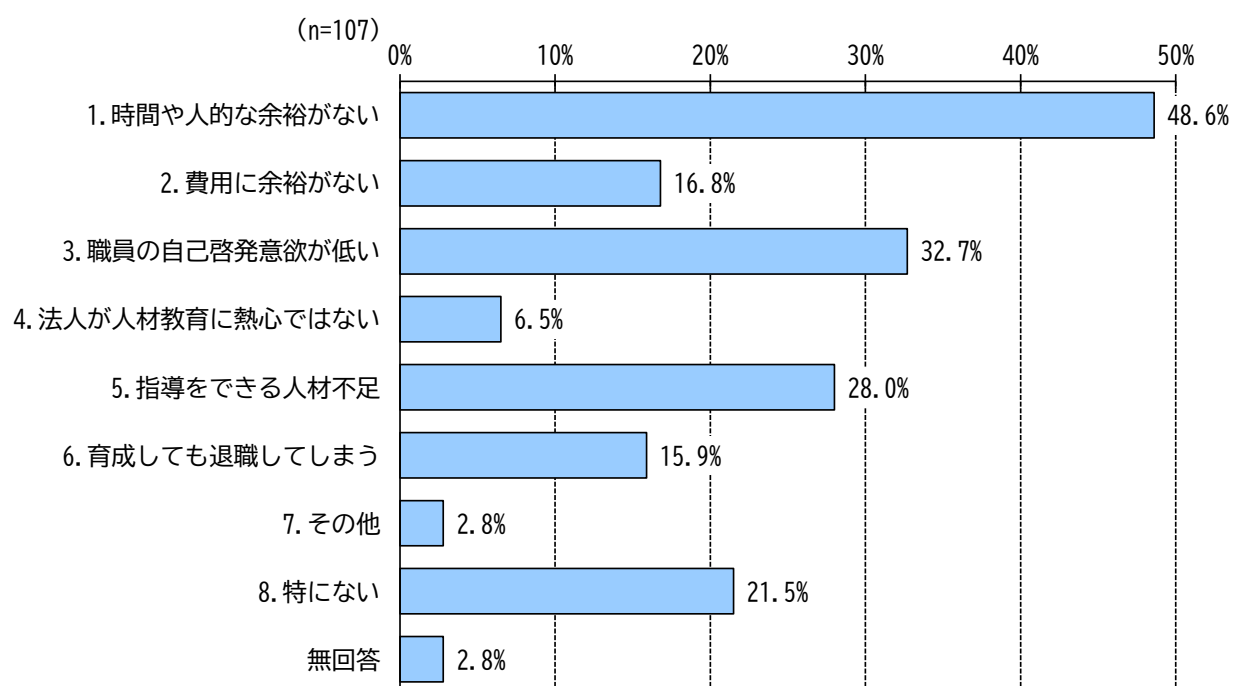
4 人材の確保・育成について

問11 貴事業所において、特に不足する職種は何ですか。(複数選択可)



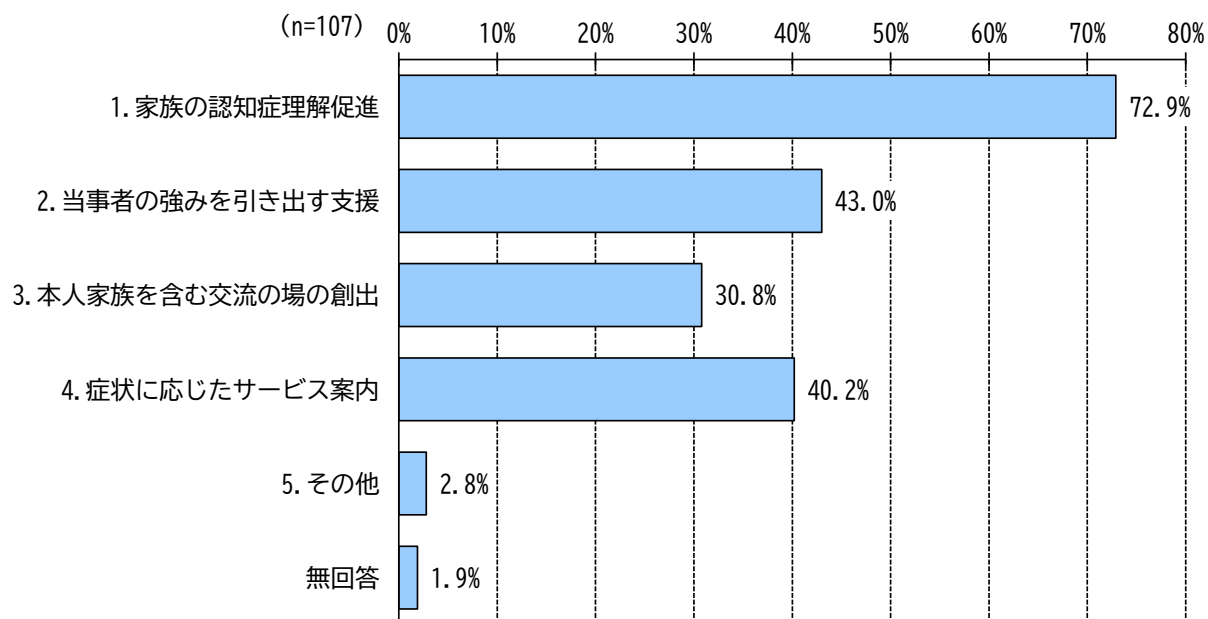
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. サービス提供責任者	0	1	7	0	0	8	7.5%
2. 主任介護支援専門員	0	0	0	5	1	6	5.6%
3. 介護支援専門員	7	4	0	9	0	20	18.7%
4. ホームヘルパー（初任者研修・1級・2級修了者）	4	2	9	1	0	16	15.0%
5. 介護職（ヘルパー及び介護福祉士以外）	7	12	3	3	1	26	24.3%
6. 保健師	0	0	0	0	0	0	0%
7. 看護師・准看護師	7	13	7	2	0	29	27.1%
8. 社会福祉士	1	1	1	0	0	3	2.8%
9. 介護福祉士	11	18	2	0	0	31	29.0%
10. 理学療法士	1	4	1	0	0	6	5.6%
11. 作業療法士	1	2	0	0	0	3	2.8%
12. 事務職員	0	5	1	1	0	7	6.5%
13. 栄養士	0	0	0	0	0	0	0%
14. 相談員	1	6	0	0	0	7	6.5%
15. 機能訓練指導員	1	6	0	0	0	7	6.5%
16. その他	4	8	1	4	1	18	16.8%
無回答	0	3	0	4	0	7	6.5%

問１２ 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。（３つまで選択可）



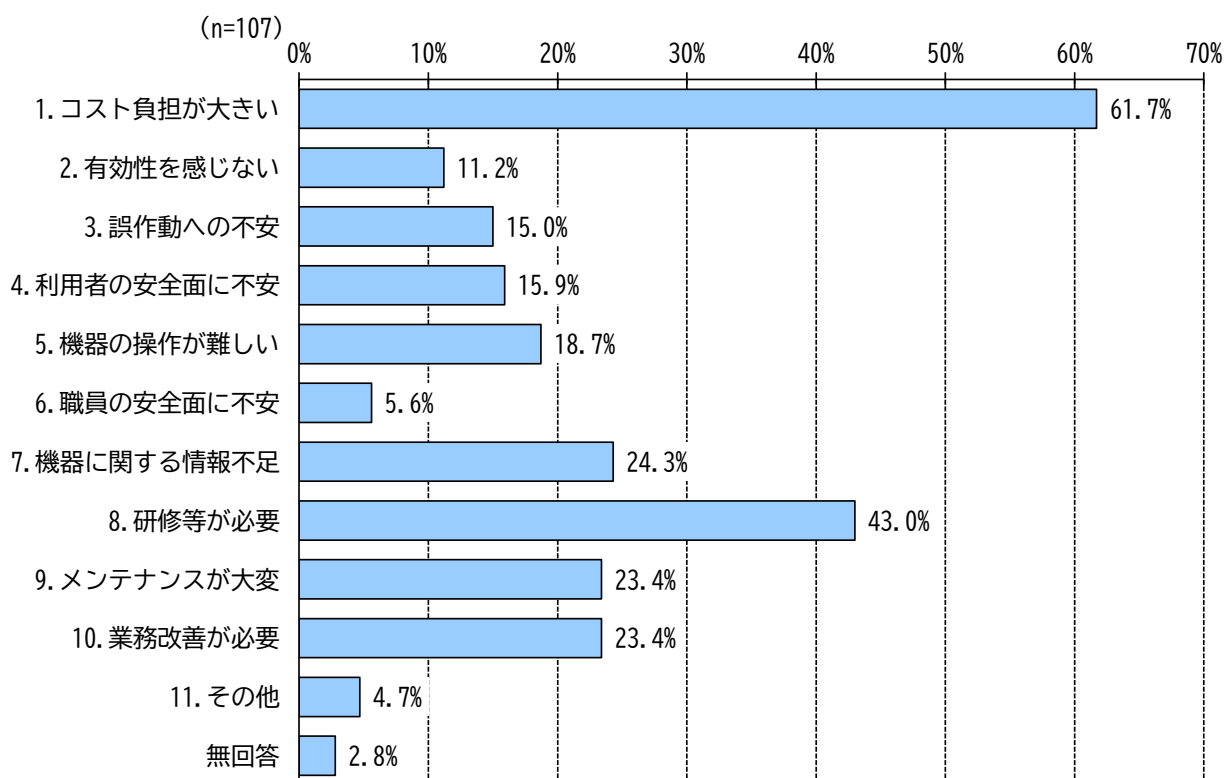
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 人材育成のための時間や研修を受講させる人的な余裕がない	14	17	14	7	0	52	48.6%
2. 人材育成のための費用に余裕がない	6	4	5	2	1	18	16.8%
3. 職員の自己啓発への意欲が低い	14	14	4	2	1	35	32.7%
4. 事業者や法人が人材教育に熱心ではない	3	3	0	1	0	7	6.5%
5. 指導をできる人材が少ない、または、いない	9	11	5	5	0	30	28.0%
6. 育成してもすぐに辞めてしまう	3	9	4	1	0	17	15.9%
7. その他	1	1	0	1	0	3	2.8%
8. 特にない	2	10	1	8	2	23	21.5%
無回答	0	0	0	3	0	3	2.8%

問 1 3 認知症ケアで難しく感じることについてお答えください。（複数回答可）



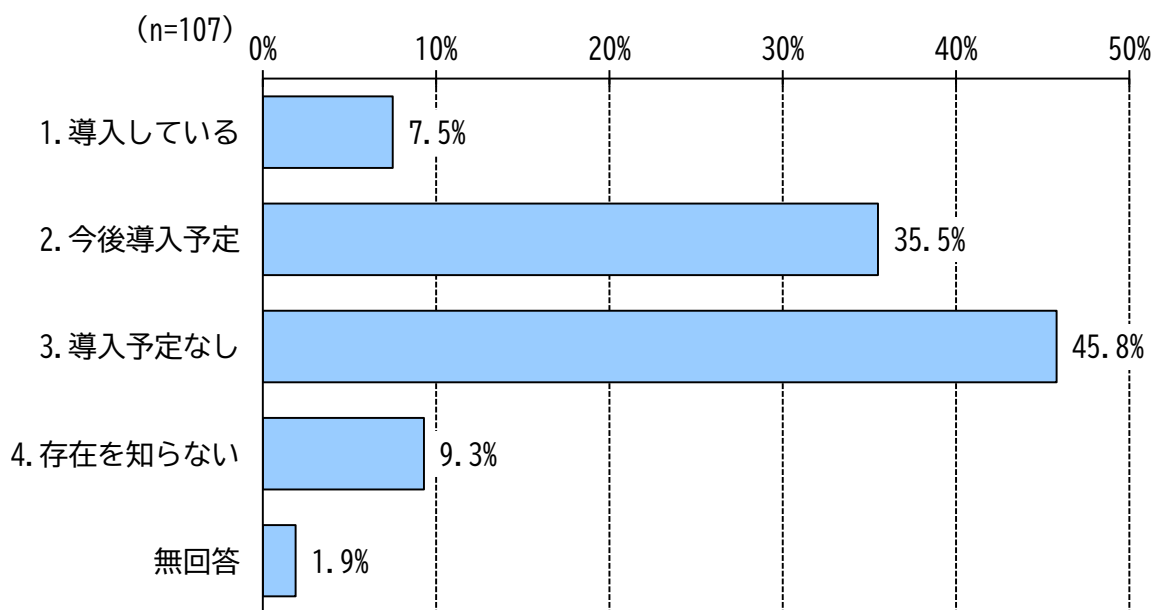
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 家族の認知症理解促進	13	26	16	20	3	78	72.9%
2. 当事者の強みを引き出す支援	8	20	5	11	2	46	43.0%
3. 本人家族を含む交流の場の創出	9	14	2	6	2	33	30.8%
4. 症状に応じたサービスの案内（受入先に 困る）	7	13	5	15	3	43	40.2%
5. その他	2	0	0	1	0	3	2.8%
無回答	0	1	0	1	0	2	1.9%

問14 ICT機器や介護ロボットの導入に関する課題は何ですか。もしくは ICT機器や介護ロボットを導入していない理由は何ですか。(複数選択可)



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 導入・運用に関するコスト負担が大きい	16	24	12	13	1	66	61.7%
2. 有効性を感じない（期待できない）	0	7	1	4	0	12	11.2%
3. 機器の誤作動が不安	1	4	3	7	1	16	15.0%
4. 利用者の安全面に不安	3	11	1	2	0	17	15.9%
5. 機器の操作が難しい	3	7	2	6	2	20	18.7%
6. 職員の安全面に不安	0	4	1	1	0	6	5.6%
7. 機器に関する情報が少ない	6	9	5	5	1	26	24.3%
8. 研修や使い方の周知が必要	12	18	6	9	1	46	43.0%
9. 機器のメンテナンスが大変	7	13	2	3	0	25	23.4%
10. 機器を活用した業務改善が必要	5	11	4	4	1	25	23.4%
11. その他	2	0	0	2	1	5	4.7%
無回答	0	0	1	2	0	3	2.8%

問15 令和5年4月に開始されたケアプランデータ連携システムの導入状況についてお答えください。（1つを選択）

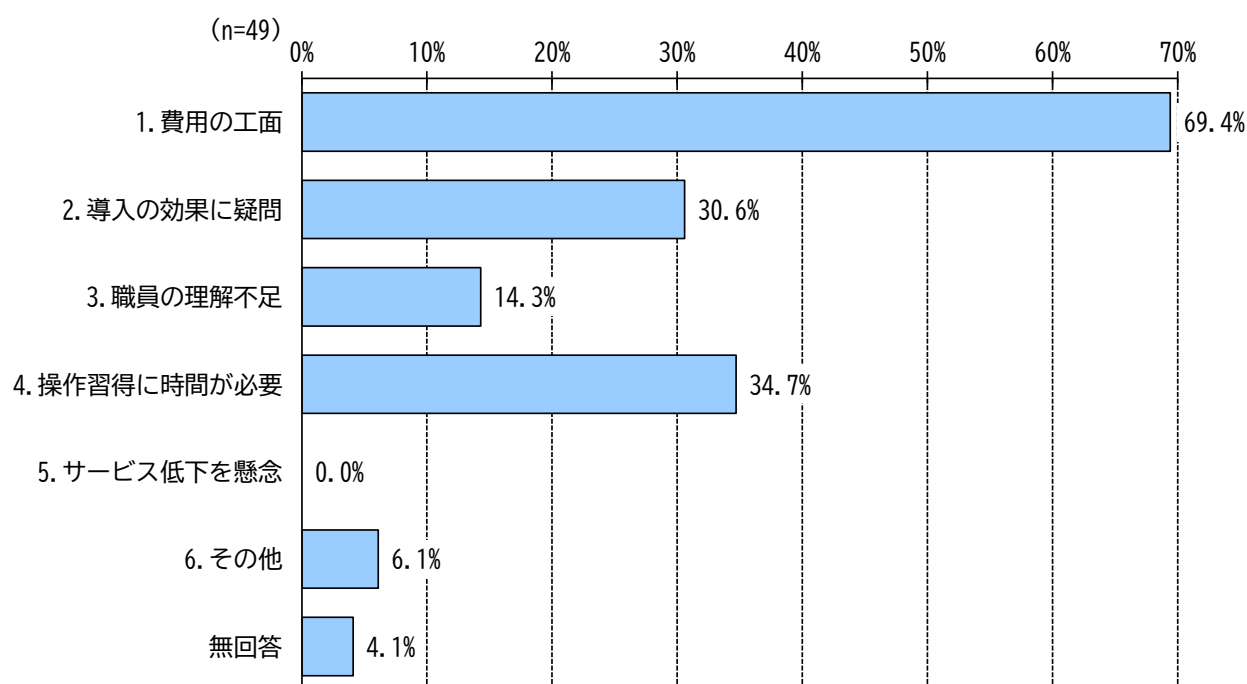


項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 導入している	0	4	3	1	0	8	7.5%
2. 存在は知っており、今後導入を予定している	4	13	9	12	0	38	35.5%
3. 存在を知っているが、導入の予定はない	11	21	4	10	3	49	45.8%
4. 存在を知らない	7	0	3	0	0	10	9.3%
無回答	0	0	1	1	0	2	1.9%

【問15で「3. 存在を知っているが、導入の予定はない」と答えた事業所におたずねします。】

問16 ケアプランデータ連携システムを導入しない理由についてお答えください。

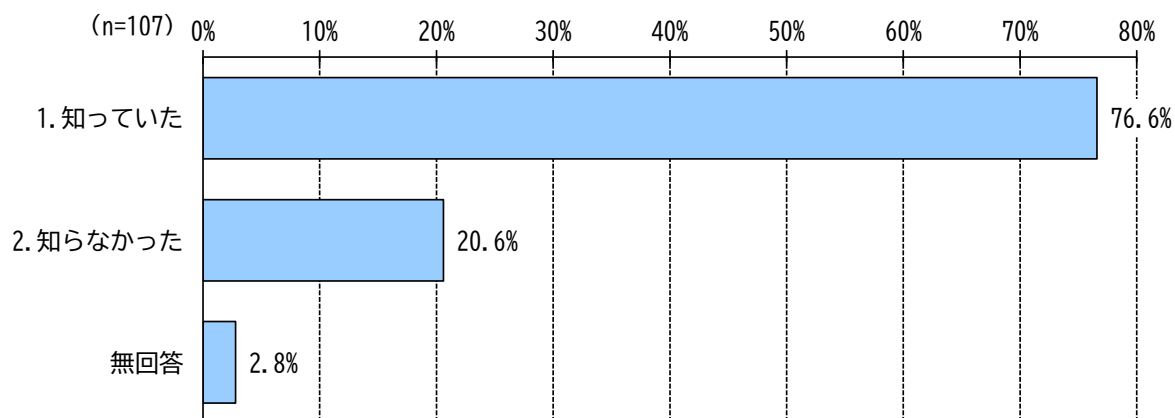
(複数回答可) (N=49)



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 導入費及びランニングコストの工面	9	14	3	6	2	34	69.4%
2. 導入の効果に疑問	4	4	1	6	0	15	30.6%
3. 職員の理解不足	3	2	0	1	1	7	14.3%
4. 操作習得に時間が必要	5	6	2	3	1	17	34.7%
5. サービス低下を懸念	0	0	0	0	0	0	0%
6. その他	1	0	0	1	1	3	6.1%
無回答	0	2	0	0	0	2	4.1%

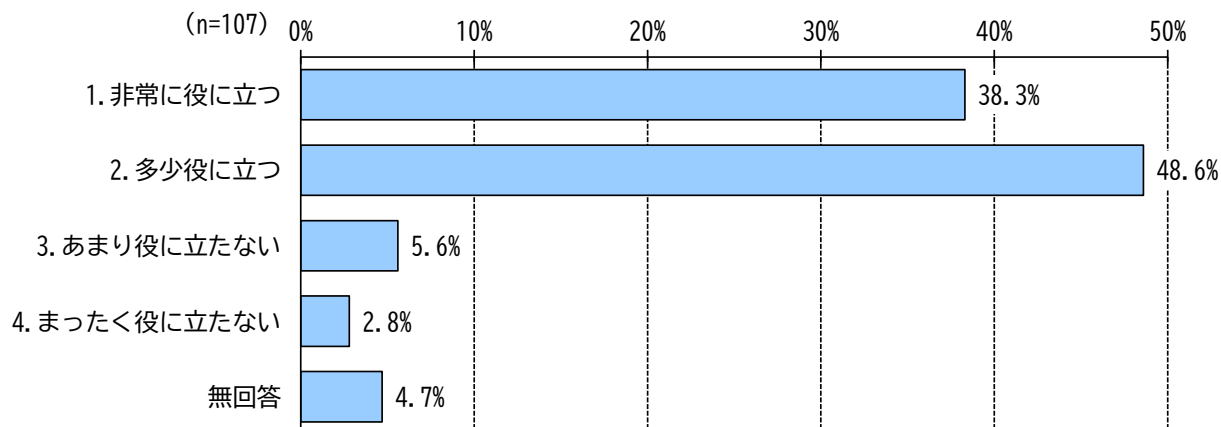
問 17 令和4年度から銚子市介護職員初任者研修等費用補助金を支給していますが、この事業をご存知でしたか。

(1)当該事業をご存知ですか（1つを選択）



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 知っていた	17	34	12	16	3	82	76.6%
2. 知らなかった	5	4	7	6	0	22	20.6%
無回答	0	0	1	2	0	3	2.8%

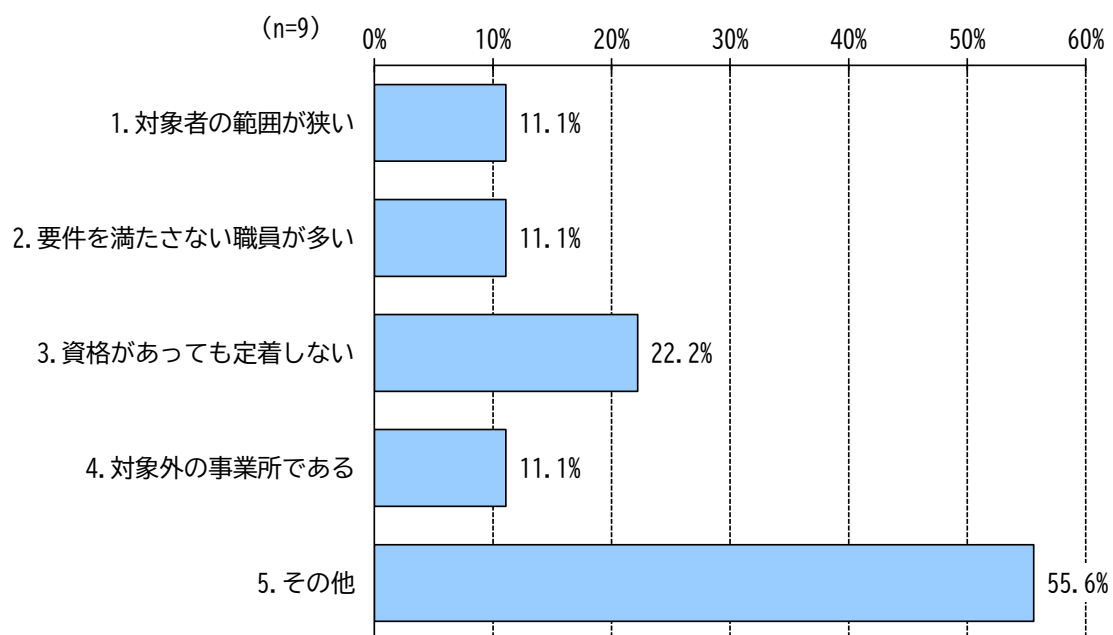
(2)介護人材の確保に役に立つと思いますか（1つを選択）



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 非常に役に立つ	11	18	4	8	0	41	38.3%
2. 多少役に立つ	10	17	11	11	3	52	48.6%
3. あまり役に立たない	1	2	2	1	0	6	5.6%
4. まったく役に立たない	0	1	1	1	0	3	2.8%
無回答	0	0	2	3	0	5	4.7%

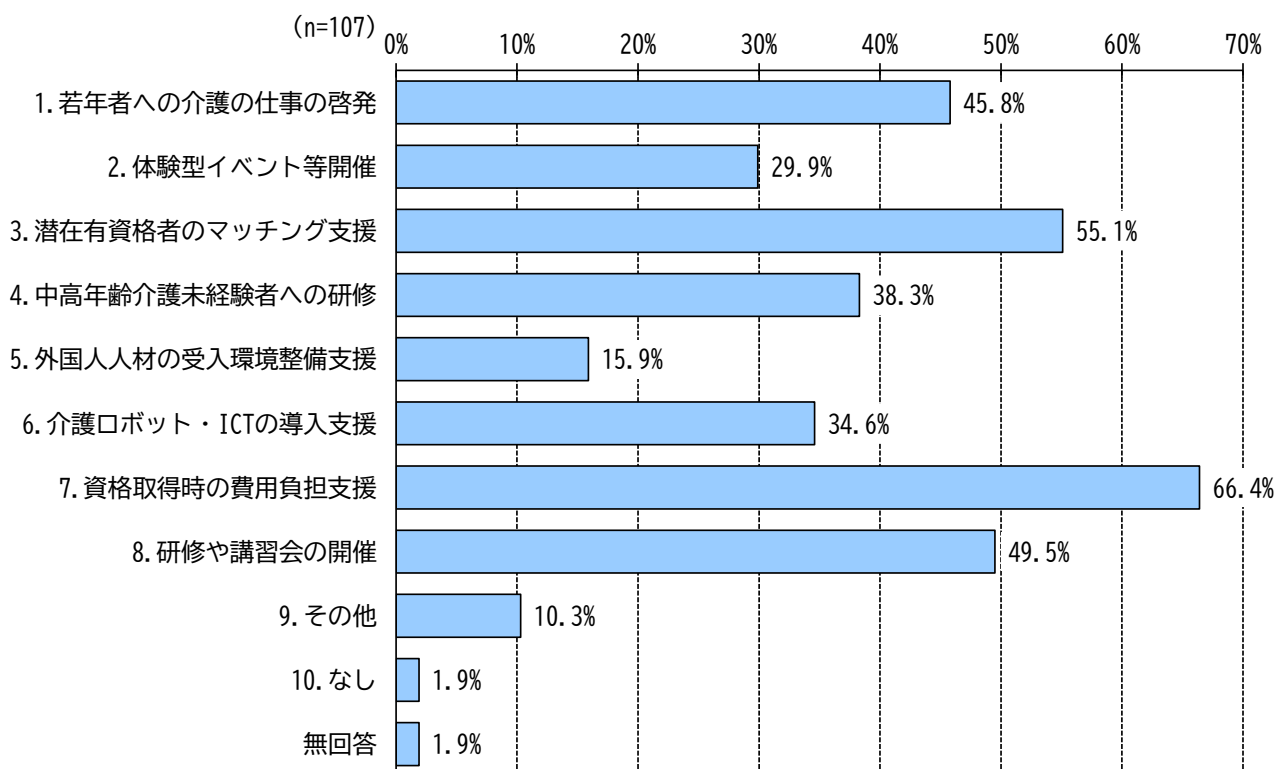
(3)役に立たない理由は何ですか（複数選択可）

※(2)で「3」「4」を選択した時に回答（N=9）



項目	合計	比率
1. 対象者の範囲が狭い	1	11.1%
2. 要件を満たさない職員が多い	1	11.1%
3. 資格があっても定着しない	2	22.2%
4. 対象外の事業所である	1	11.1%
5. その他	5	55.6%

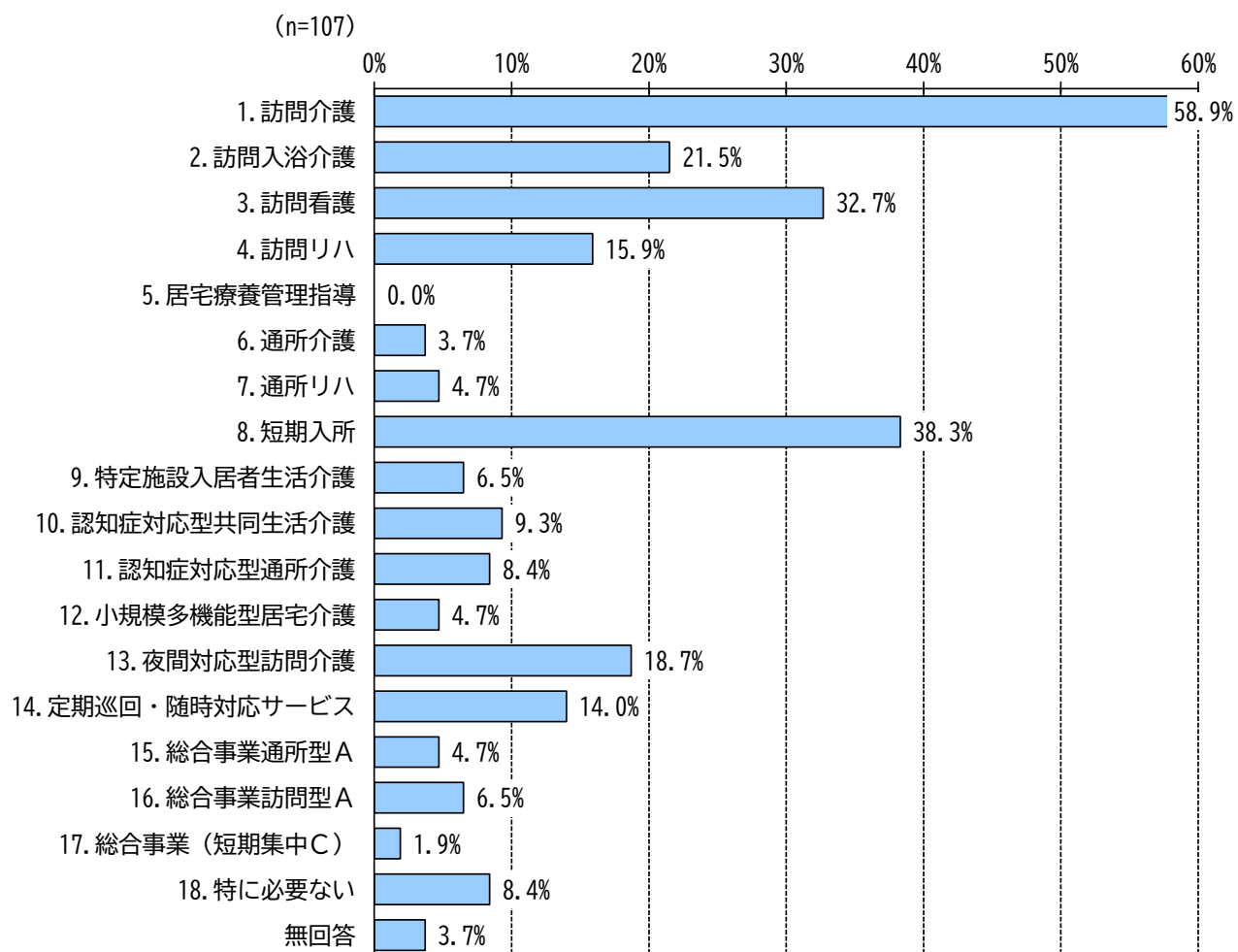
問18 介護人材の確保・定着・育成のために行政（国・県・市）に取り組んで欲しいことは何ですか。（複数選択可）



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 若年者（小学生～大学生等）への介護に関する仕事の啓発	11	19	8	10	1	49	45.8%
2. 介護を知るための体験型のイベント等の開催	7	13	6	5	1	32	29.9%
3. 潜在（現在働いていない）有資格者の人材登録、マッチング支援	10	21	13	13	2	59	55.1%
4. 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施	13	17	5	5	1	41	38.3%
5. 外国人介護人材の受け入れ環境整備の支援	10	3	2	2	0	17	15.9%
6. 介護ロボット・ICT の介護施設・事業所への導入支援	13	14	3	6	1	37	34.6%
7. 資格取得時の費用負担の充実（介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修以外にも拡大）	15	28	11	16	1	71	66.4%
8. 知識やスキル向上のための研修や講習会の開催	11	25	4	12	1	53	49.5%
9. その他	3	3	3	2	0	11	10.3%
10. なし	0	0	1	0	1	2	1.9%
無回答	0	0	1	1	0	2	1.9%

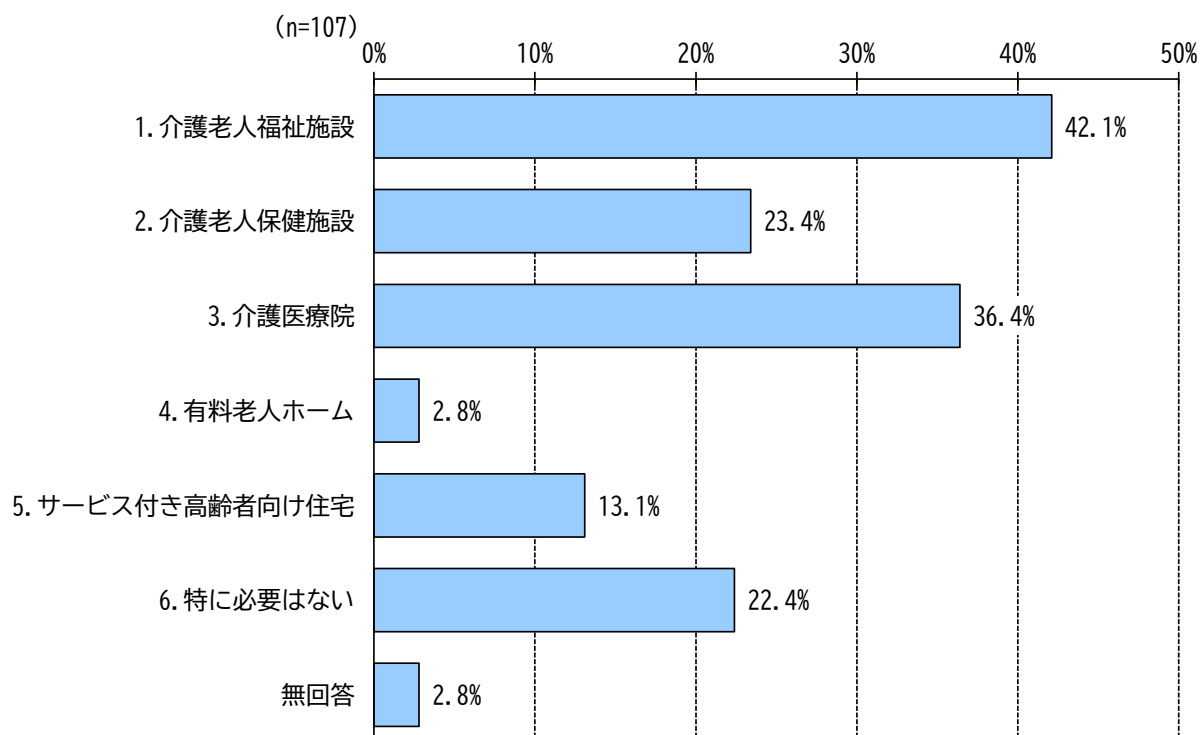
5 地域で不足するサービスについて

問19 居宅サービス・地域密着型サービスのうち、銚子市で今後さらに整備が必要（現在不足している）と思われるサービスはどれですか。（複数選択可）



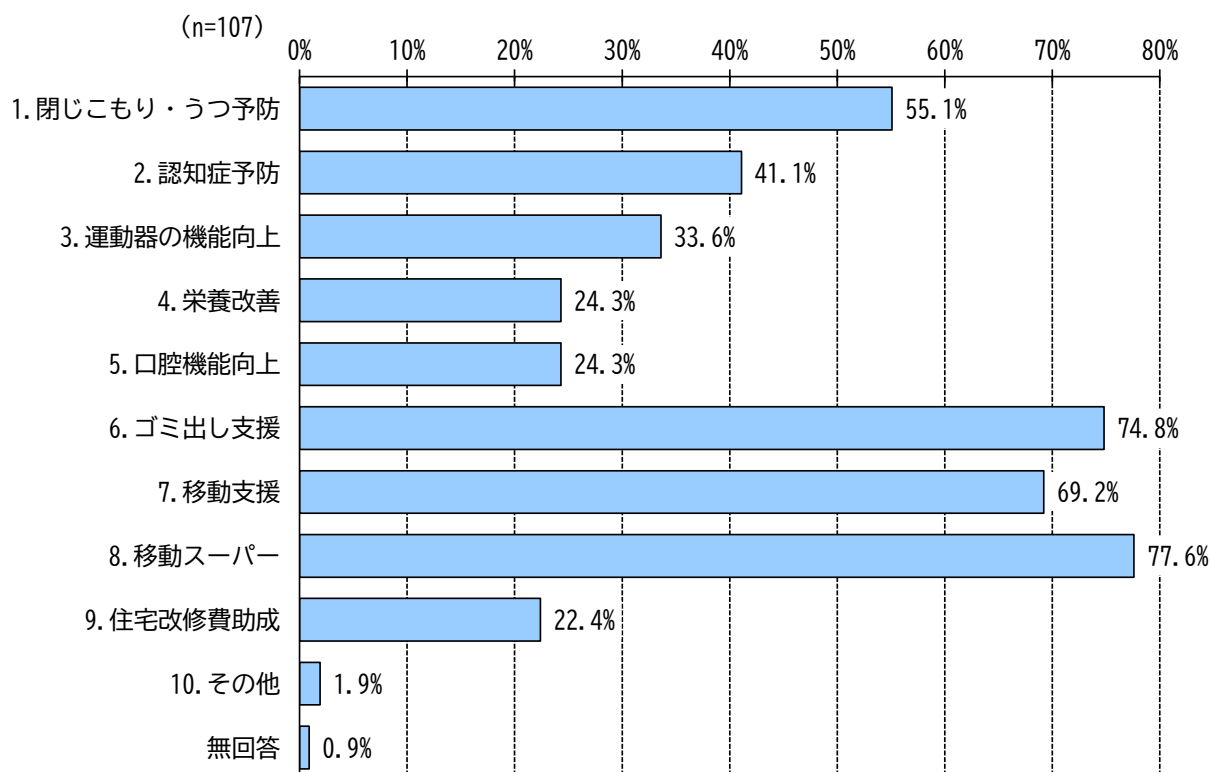
項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. (介護予防)訪問介護	12	23	9	16	3	63	58.9%
2. (介護予防)訪問入浴介護	4	13	2	4	0	23	21.5%
3. (介護予防)訪問看護	7	12	6	9	1	35	32.7%
4. (介護予防)訪問リハビリテーション	2	7	2	5	1	17	15.9%
5. (介護予防)居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0%
6. (介護予防)通所介護	1	2	0	1	0	4	3.7%
7. (介護予防)通所リハビリテーション	1	4	0	0	0	5	4.7%
8. (介護予防)短期入所生活介護	9	11	6	13	2	41	38.3%
9. (介護予防)特定施設入居者生活介護	1	3	2	1	0	7	6.5%
10. (介護予防)認知症対応型共同生活介護	3	3	4	0	0	10	9.3%
11. (介護予防)認知症対応型通所介護	2	2	2	3	0	9	8.4%
12. (介護予防)小規模多機能型居宅介護	2	2	0	1	0	5	4.7%
13. 夜間対応型訪問介護	6	7	3	3	1	20	18.7%
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	5	4	3	2	1	15	14.0%
15. 総合事業(緩和サービス)通所型A	0	4	0	0	1	5	4.7%
16. 総合事業(緩和サービス)訪問型A	0	1	1	3	2	7	6.5%
17. 総合事業(短期集中C)	0	1	0	1	0	2	1.9%
18. 特に必要ない	2	4	3	0	0	9	8.4%
無回答	1	1	1	1	0	4	3.7%

問20 施設サービスのうち、銚子市で今後さらに整備が必要（現在不足している）と思われるサービスはどれですか。（複数選択可）



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 介護老人福祉施設	6	15	11	13	0	45	42.1%
2. 介護老人保健施設	3	11	7	4	0	25	23.4%
3. 介護医療院	10	13	7	8	1	39	36.4%
4. 有料老人ホーム	0	1	1	1	0	3	2.8%
5. サービス付き高齢者向け住宅	2	5	4	2	1	14	13.1%
6. 特に必要はない	7	8	3	5	1	24	22.4%
無回答	1	0	0	2	0	3	2.8%

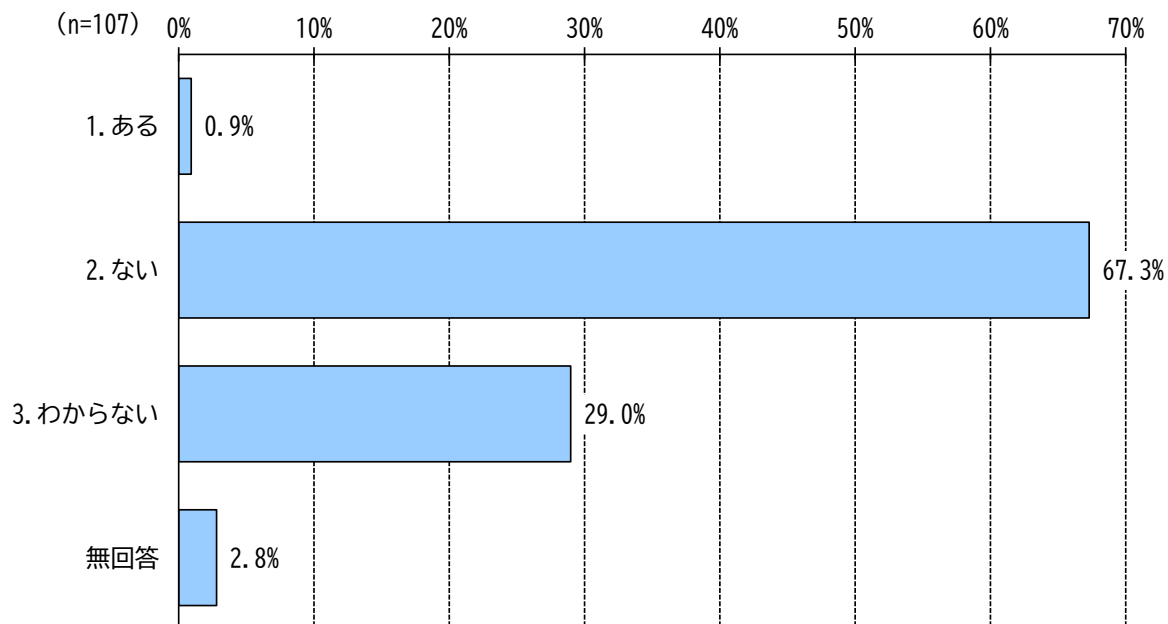
問21 今後、充実させるとする介護予防・生活支援サービスはどれですか。(複数選択可)



項目	施設・ 居住系	通所系	訪問系	居宅介 護支援	地域 包括	合計	比率
1. 閉じこもり・うつ予防（交流サロンなど）	13	23	9	12	2	59	55.1%
2. 認知症予防（認知症カフェなど）	8	19	10	6	1	44	41.1%
3. 運動器の機能向上（ヨガ・体操教室など）	6	13	6	10	1	36	33.6%
4. 栄養改善（男の料理教室・みんなの食堂など）	6	10	1	8	1	26	24.3%
5. 口腔機能向上	4	10	5	6	1	26	24.3%
6. ゴミ出し支援	15	28	11	23	3	80	74.8%
7. 移動支援	16	26	9	20	3	74	69.2%
8. 移動スーパー	18	32	16	15	2	83	77.6%
9. 住宅改修費の助成（介護未申請）	4	10	4	5	1	24	22.4%
10. その他	0	0	1	1	0	2	1.9%
無回答	0	0	0	1	0	1	0.9%

6 新規参入意向について

問22 第10期介護保険事業計画期間（令和9年度～令和11年度）に、新たな事業所を開設する意向がありますか。（1つを選択）



項目	合計	比率
1. ある	1	0.9%
2. ない	72	67.3%
3. わからない	31	29.0%
無回答	3	2.8%

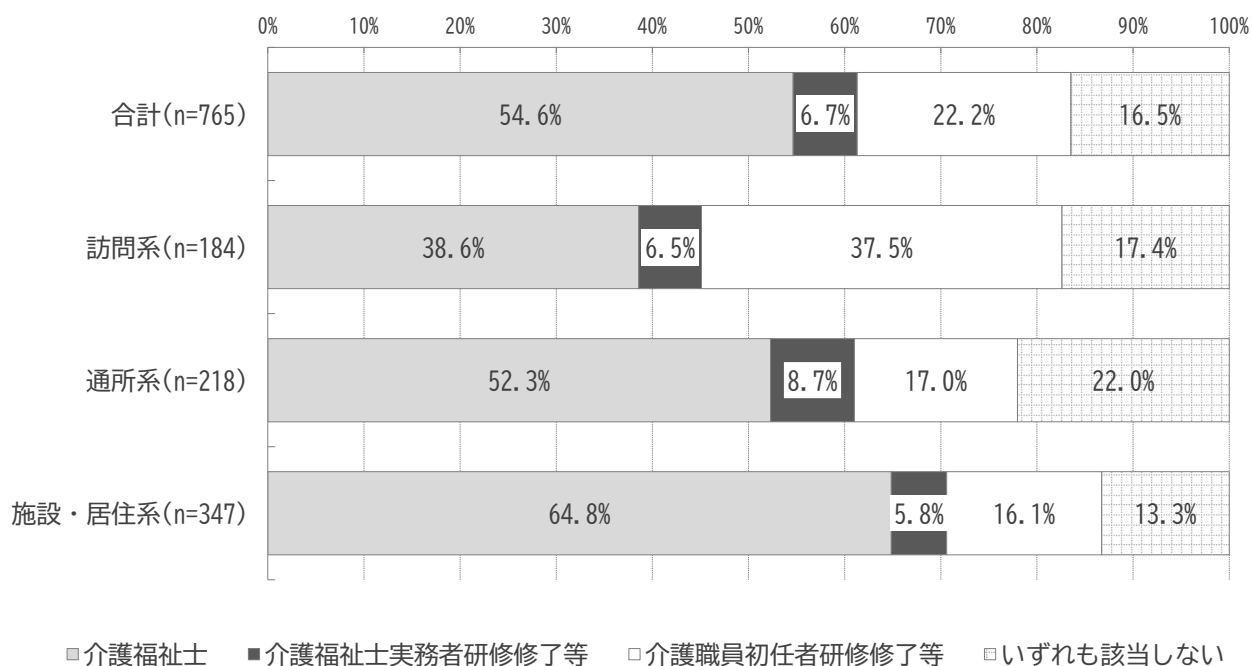
問23 参入意向があるサービス種類等についておたずねします。

問23に対する回答はなかった。

介護職員に関する調査結果

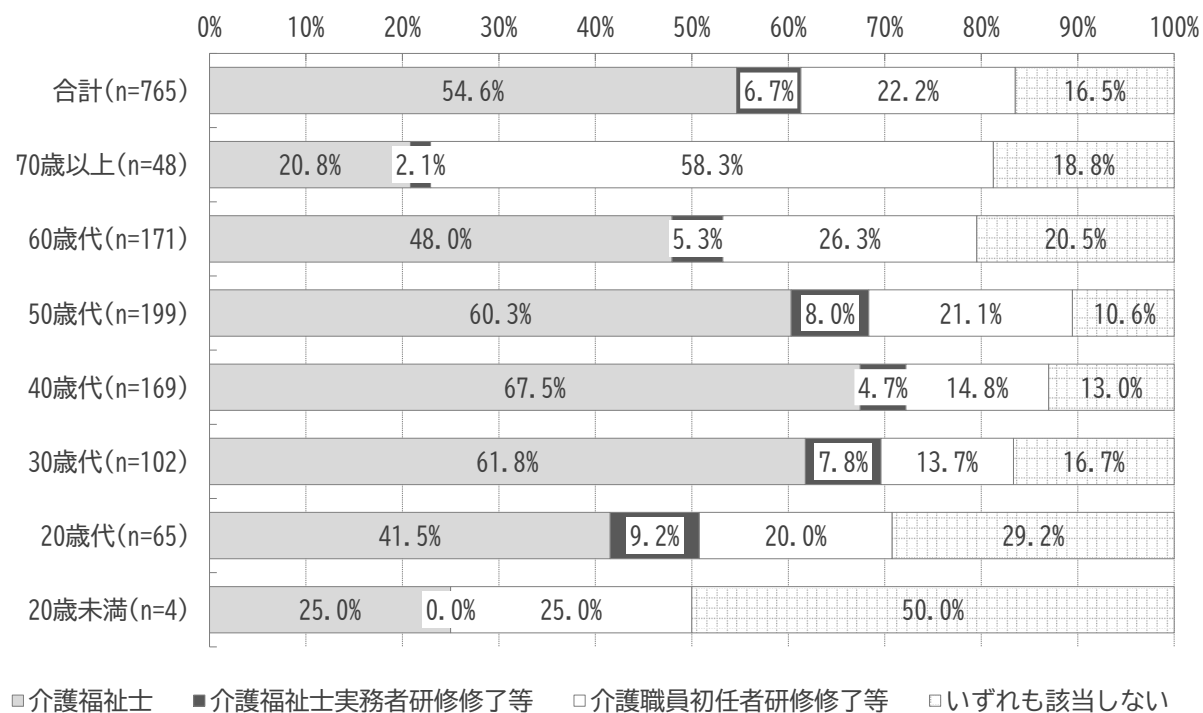
本項目は、施設・通所系サービス事業所に対して実施した問28「貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む、ボランティアの方を除く）について、お答えください」の回答と、訪問系サービスの訪問介護を行う介護職員に対して実施した「銚子市介護サービス事業所等実態調査 職員票（訪問系）」の回答データから集計した結果です。

（１）サービス系統別の資格保有の状況

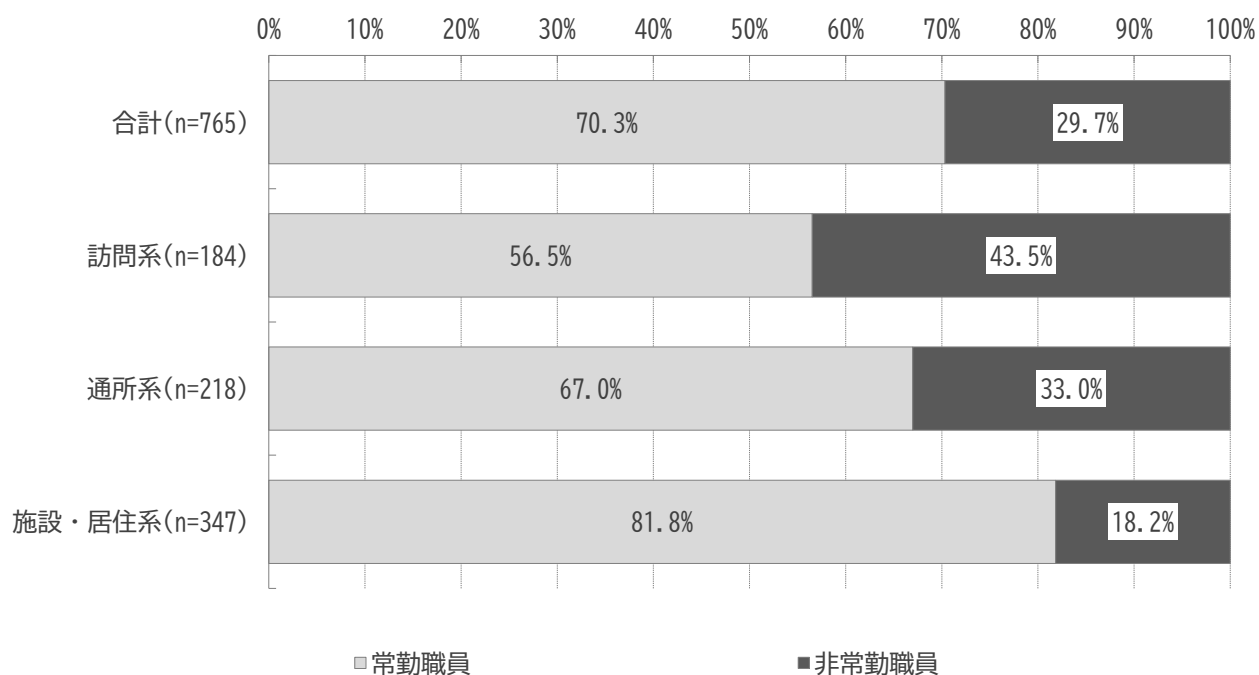


項目	回答数	介護福祉士	介護福祉士実務者研修修了等	介護職員初任者研修修了等	いずれも該当しない
訪問系	184	71 (38.6%)	12 (6.5%)	69 (37.5%)	32 (17.4%)
通所系	218	114 (52.3%)	19 (8.7%)	37 (17.0%)	48 (22.0%)
施設・居住系	347	225 (64.8%)	20 (5.8%)	56 (16.1%)	46 (13.3%)
その他	16	8 (50.0%)	0 (0%)	8 (50.0%)	0 (0%)
合計	765	418 (54.6%)	51 (6.7%)	170 (22.2%)	126 (16.5%)

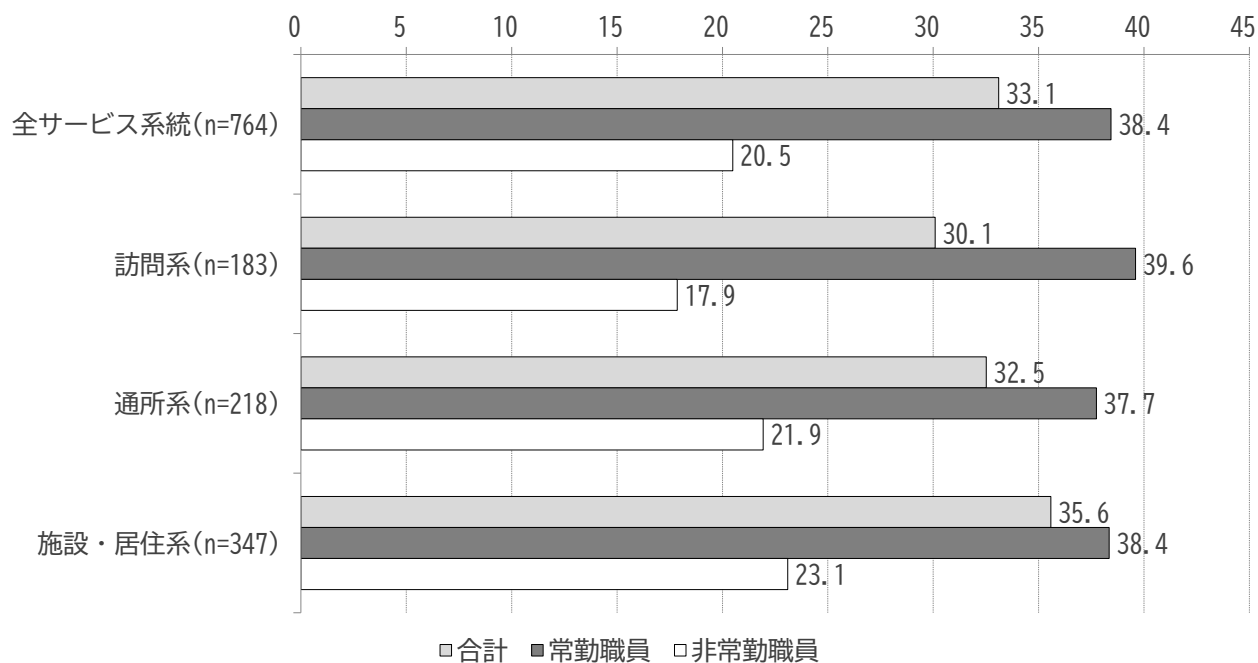
(2) 年齢別の資格保有の状況



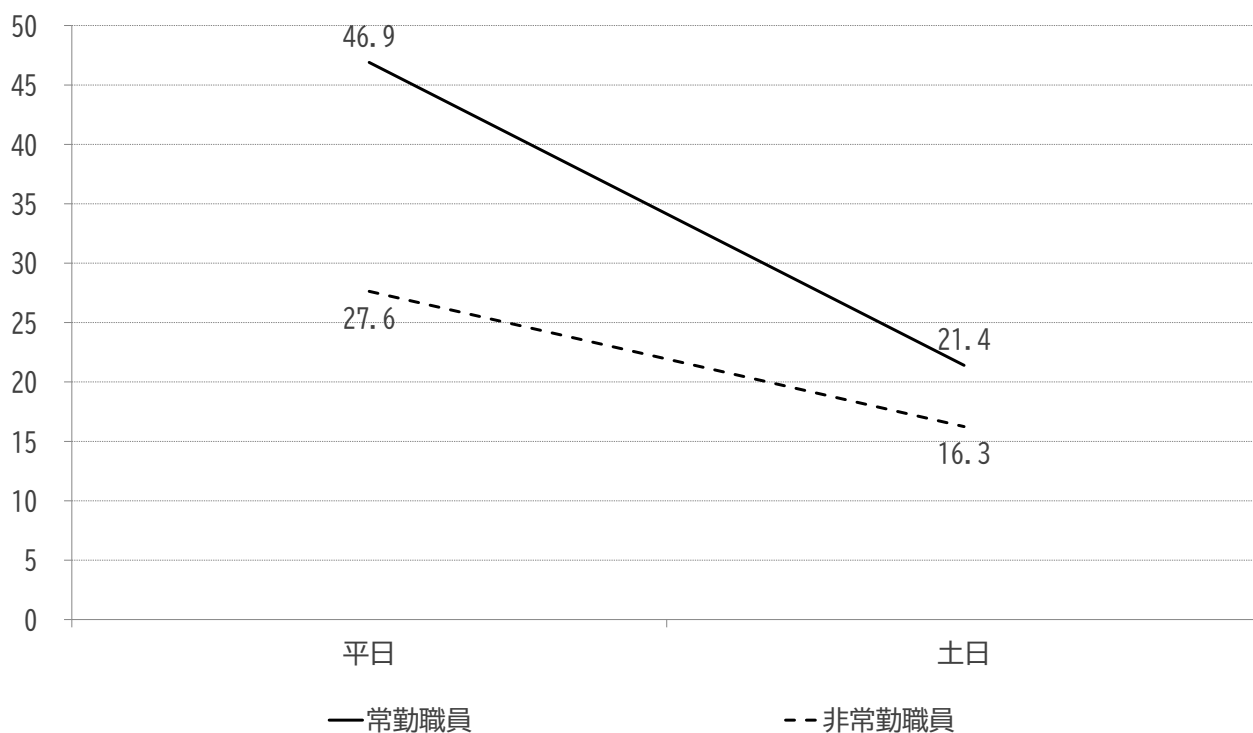
(3) サービス系統別の常勤職員・非常勤職員の割合



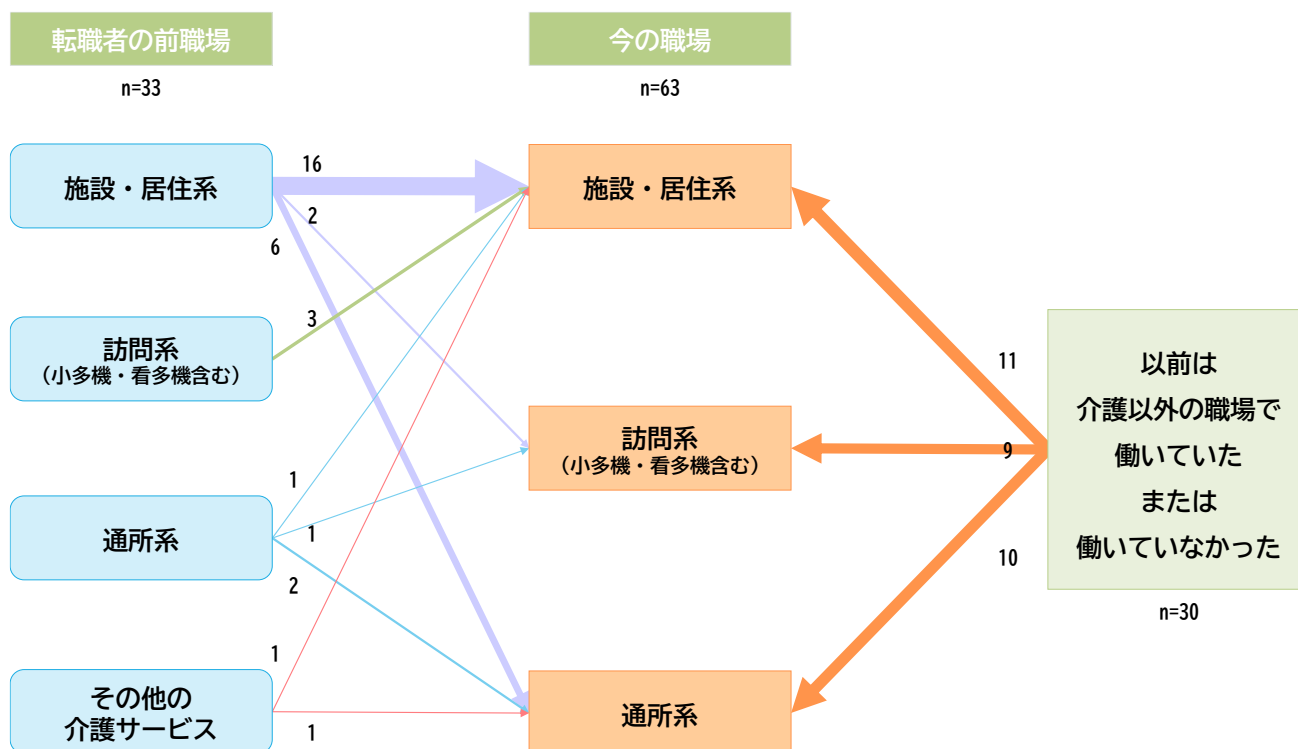
(4) 職員1人あたりの1週間の勤務時間(単位:時間)



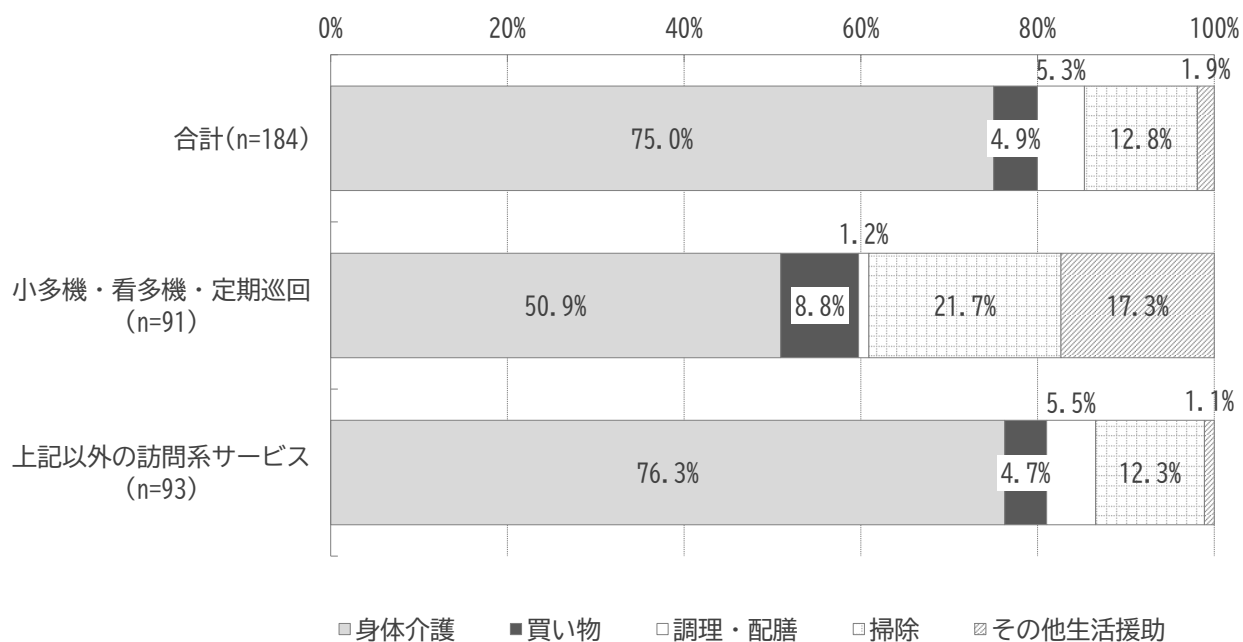
(5) 平日・土日別の職員1人・1日あたり訪問介護サービス提供時間(身体介護、単位:分)



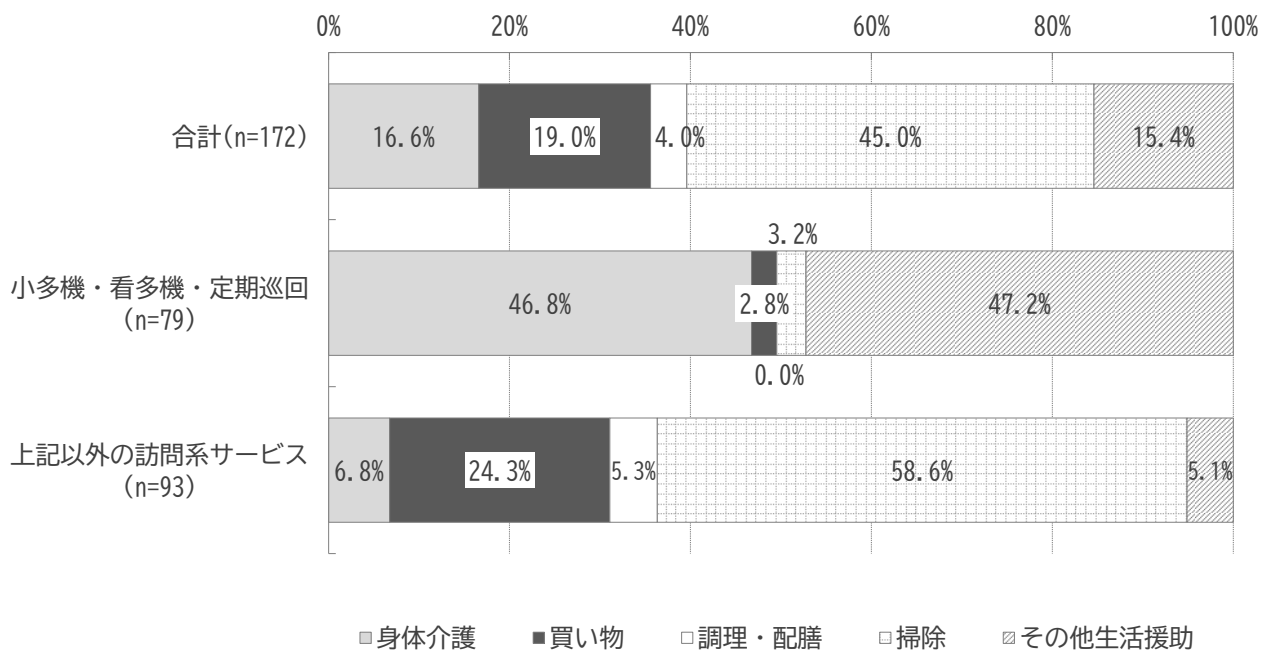
(6) 過去1年間の介護職員の職場の変化（同一法人・グループ内での異動は除く）



(7) 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(8) 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(B票) 在宅生活改善調査

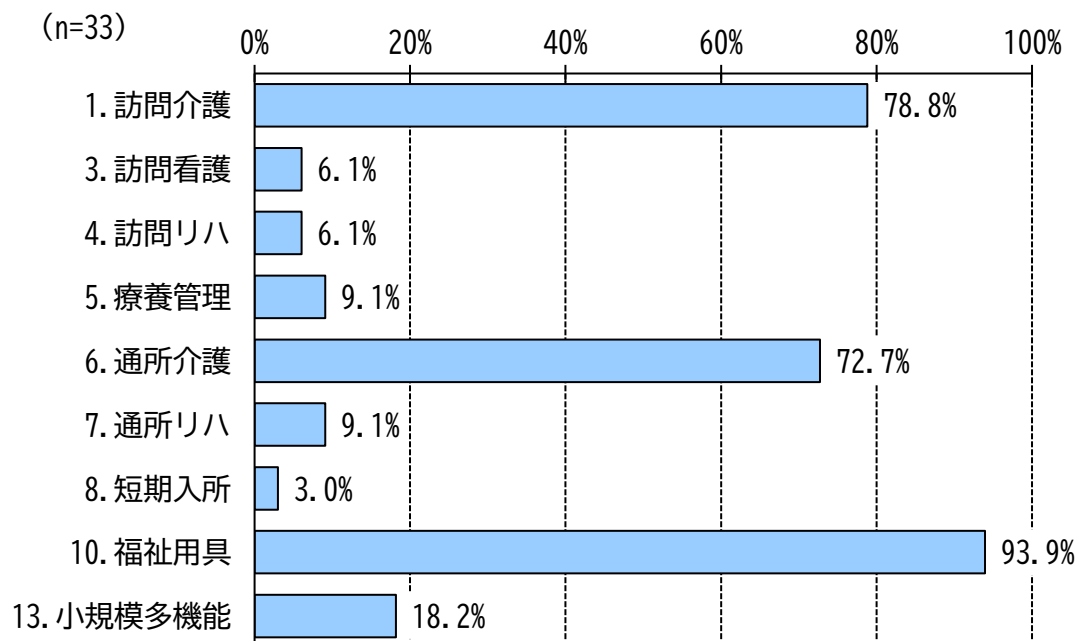
調査対象事業所数

居宅介護支援事業所	24 事業所
小規模多機能型居宅介護事業所	6 事業所
地域包括支援センター	3 事業所

問1 貴事業所に所属するケアマネージャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

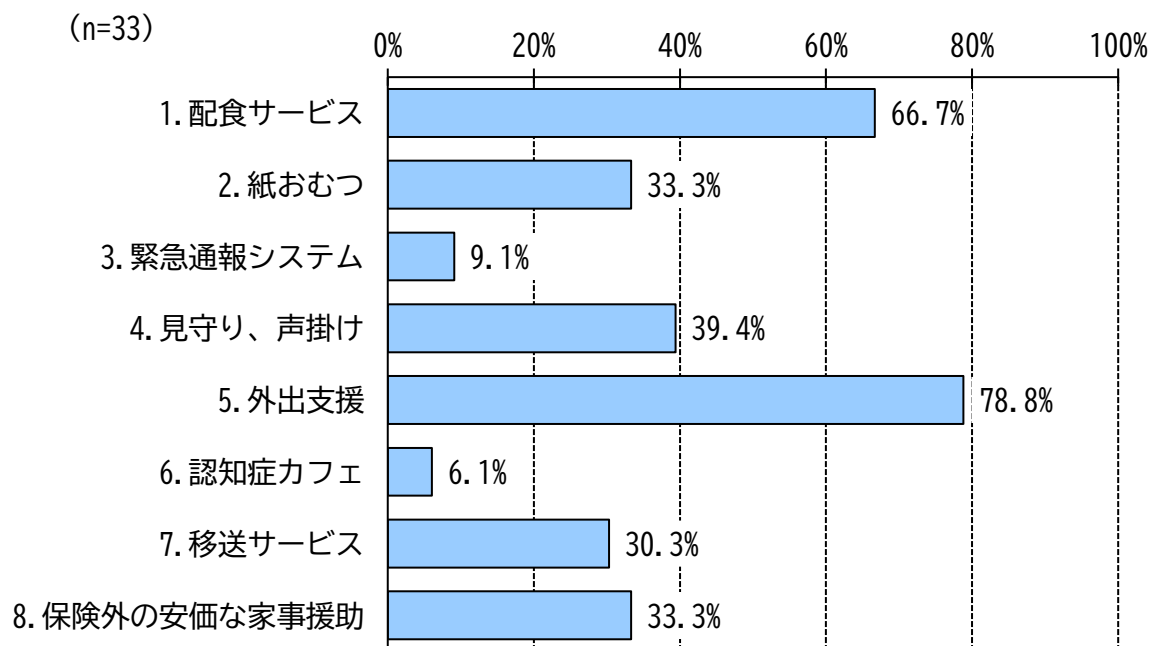
(1) 所属するケアマネージャーの人数	100 人
(2) (3)以外の「自宅等」にお住いの利用者数	1,878 人
(3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「経費老人ホーム」にお住いの利用者数	96 人

問2 現在、利用者が利用しているサービスはどれですか。(多いもの3つを選択)



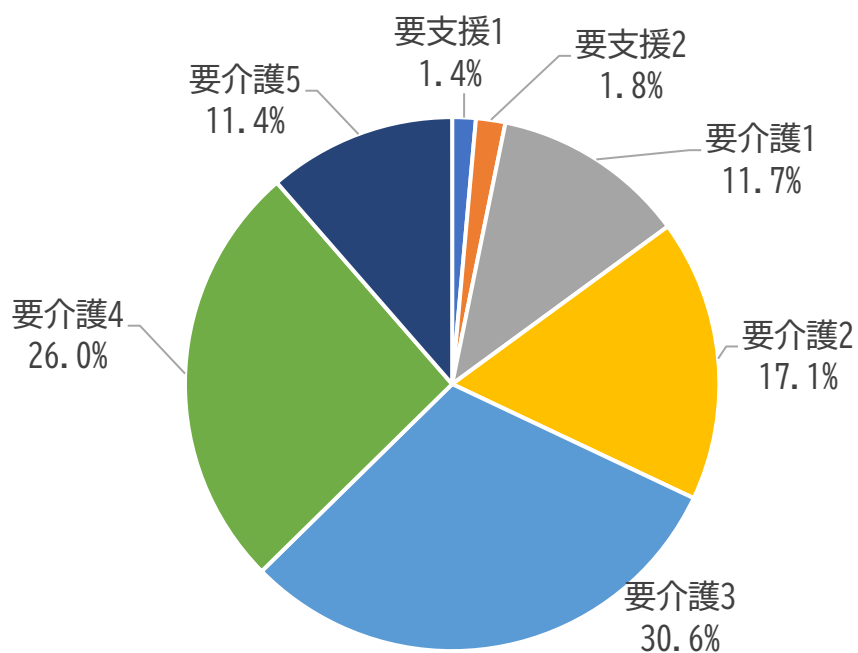
項目	回答数	比率
1. (介護予防) 訪問介護	26	78.8%
2. (介護予防) 訪問入浴介護	0	0%
3. (介護予防) 訪問看護	2	6.1%
4. (介護予防) 訪問リハビリテーション	2	6.1%
5. (介護予防) 居宅療養管理指導	3	9.1%
6. (介護予防) 通所介護	24	72.7%
7. (介護予防) 通所リハビリテーション	3	9.1%
8. (介護予防) 短期入所生活介護	1	3.0%
9. (介護予防) 短期入所療養介護	0	0%
10. (介護予防) 福祉用具貸与・販売	31	93.9%
11. (介護予防) 住宅改修	0	0%
12. (介護予防) 特定施設入居者生活介護	0	0%
13. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	6	18.2%

問3 利用者が在宅生活を継続するために必要な介護サービス以外のサービスはどれですか。
(3つを選択)



項目	回答数	比率
1. 配食サービス	22	66.7%
2. 紙おむつの給付	11	33.3%
3. 緊急通報システム	3	9.1%
4. 見守りや声掛け	13	39.4%
5. 外出支援（通院・買い物）	26	78.8%
6. 認知症カフェ	2	6.1%
7. 移送サービス（福祉タクシー・介護タクシー）	10	30.3%
8. 介護保険外の安価な家事援助サービス	11	33.3%
9. その他	0	0%

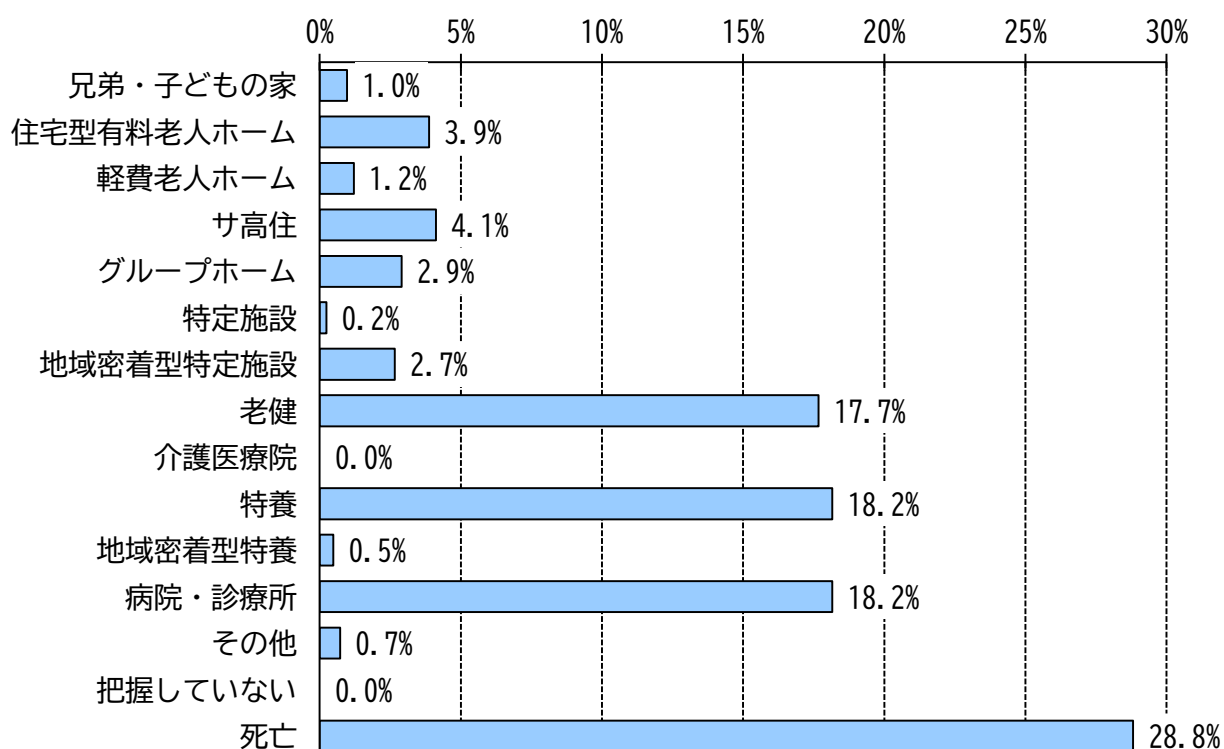
問4 貴事業所において、過去1年の間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）をご記入ください。



※一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4人	5人	33人	48人	86人	73人	32人	281人

問5 貴事業所において、過去1年の間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。



項目	市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	1 人	3 人
2) 住宅型有料老人ホーム	11 人	5 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	3 人	2 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	12 人	5 人
5) グループホーム	12 人	0 人
6) 特定施設	1 人	0 人
7) 地域密着型特定施設	11 人	0 人
8) 介護老人保健施設	66 人	7 人
9) 介護医療院	0 人	0 人
10) 特別養護老人ホーム	53 人	22 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	2 人	0 人
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）	58 人	17 人
13) その他	3 人	0 人
14) 把握していない	0 人	
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む	119 人	
合計	413 人	

問6 特別養護老人ホームへの申込者（待機者）数を世帯構成別・要介護度別にご記入ください。

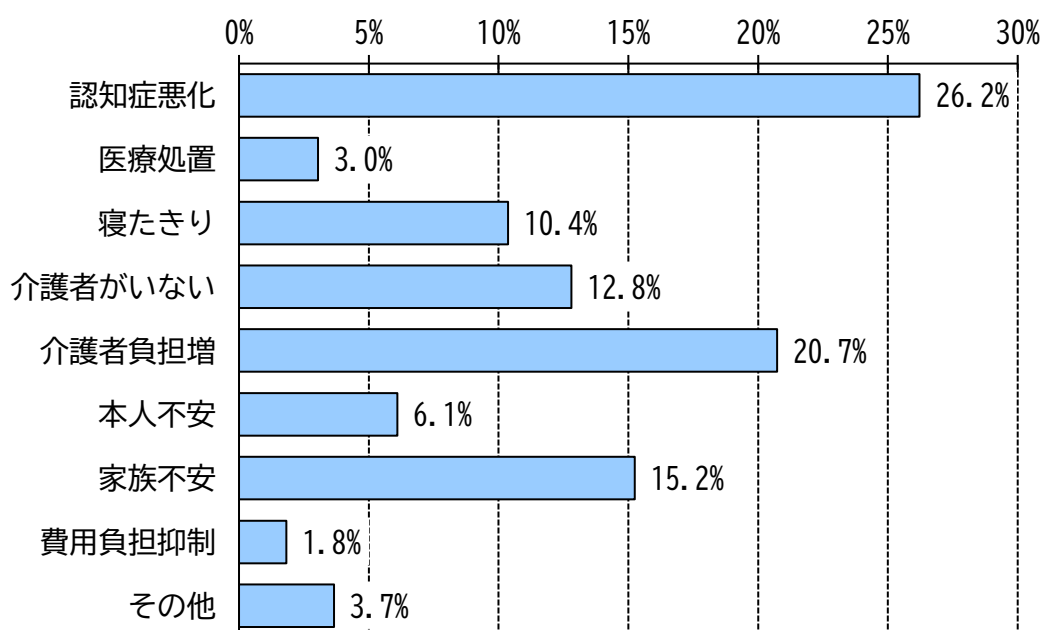
※「緊急性が高い者」・・・在宅生活を継続することが困難で直ちに入所が必要な者

世帯構成	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
独居	7人	4人	26人	9人	8人	54人
うち緊急性が高い者	1人	0人	8人	4人	3人	16人
高齢者のみ	0人	2人	3人	13人	8人	26人
うち緊急性が高い者	0人	0人	2人	4人	2人	8人
家族と同居	3人	15人	24人	26人	11人	79人
うち緊急性が高い者	0人	2人	4人	7人	4人	17人
その他	1人	0人	3人	1人	0人	5人
うち緊急性が高い者	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合 計	11人	21人	56人	49人	27人	164人
うち緊急性が高い者	1人	2人	14人	15人	9人	41人

問7 問6の申込施設数別の人数をご記入ください

申込施設数	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所以上	合計
人数	62人	30人	65人	4人	3人	164人

問8 上記の待機者が特別養護老人ホームに申し込みをした理由に最も近いものを一つ選択し、その人数を記入してください。



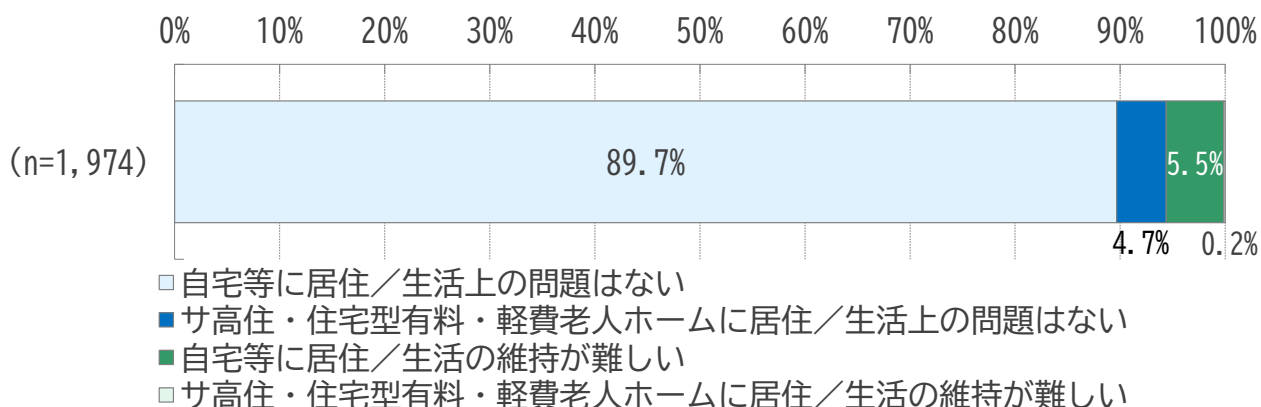
項目	回答数	構成比
1. 認知症の周辺症状が悪化したため、自宅での生活が困難	43	26.2%
2. 医療的な処置があり、自宅での介護が困難	5	3.0%
3. 寝たきり、あるいはそれに近い状態で、自宅での生活が困難	17	10.4%
4. 介護者がいない、もしくは介護者が病気などで介護できない状態	21	12.8%
5. 介護が大変で、介護者が負担に感じているため	34	20.7%
6. 現在はよいが、本人が今後の在宅生活に不安を感じるため	10	6.1%
7. 現在はよいが、家族が今後の在宅生活に不安を感じるため	25	15.2%
8. 費用負担の抑制が期待できるため	3	1.8%
9. その他（※）	6	3.7%
合計	164	100%

※その他の内容として、自宅の老朽化により住環境の問題が出ているため、トリプル介護のため、認知症の進行に加え視力低下が著しいためとの回答があった。

在宅生活改善調査 利用者票

本項目は、在宅生活改善調査におけるB票（事業所票）と同時に回答いただいた利用者票の回答内容を取りまとめ、事業所票の回答内容と組み合わせた集計結果です。

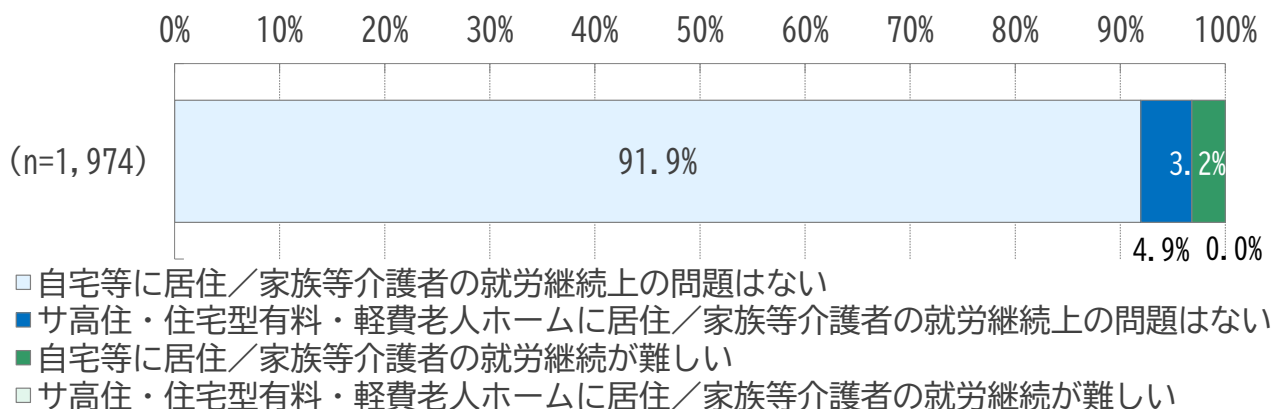
（１） 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



銚子市全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数

要介護２以下	45人
要介護３以上	66人
合計	111人

（２） 現在、家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者



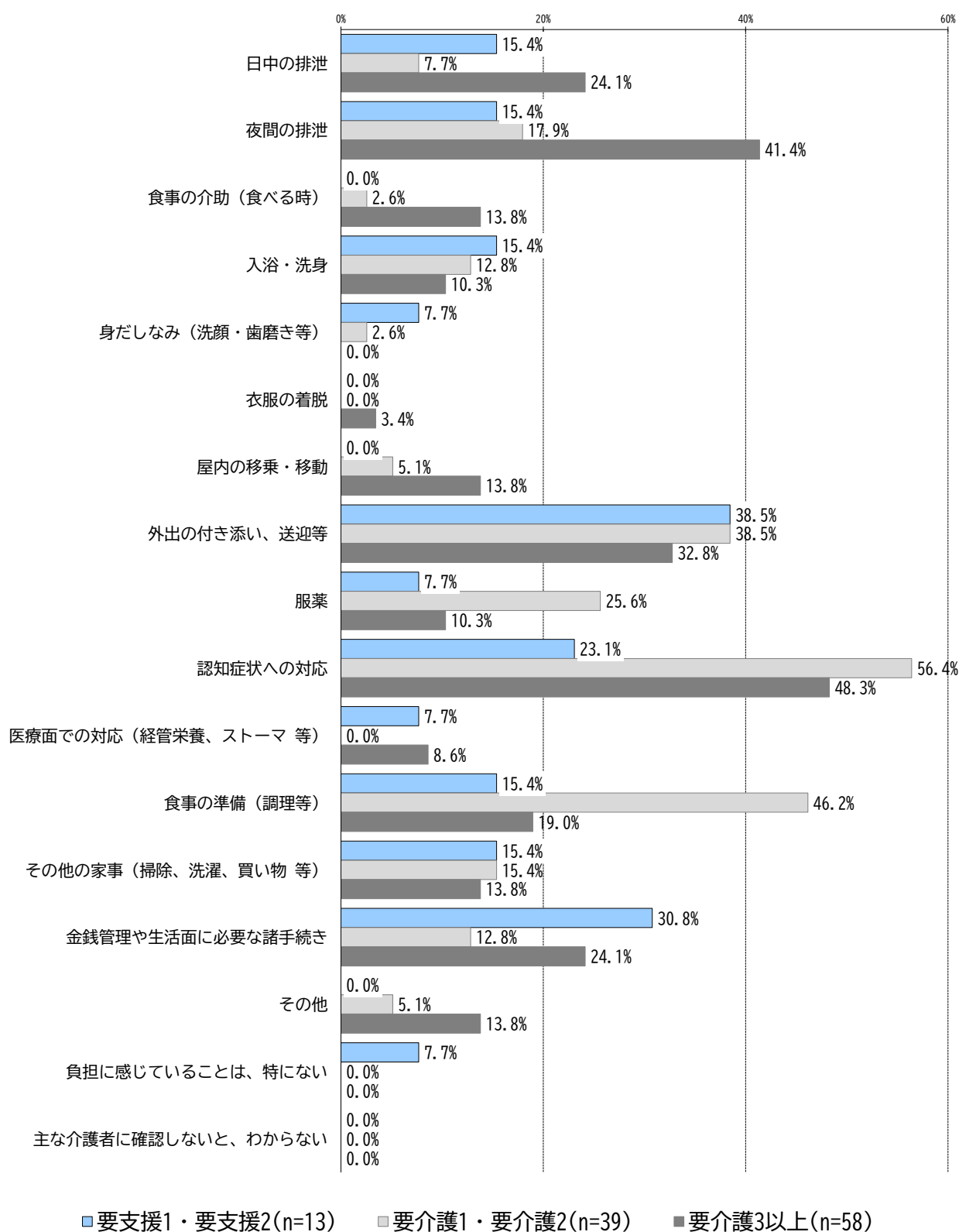
銚子市全体で、家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者数

要介護２以下	38人
要介護３以上	25人
合計	63人

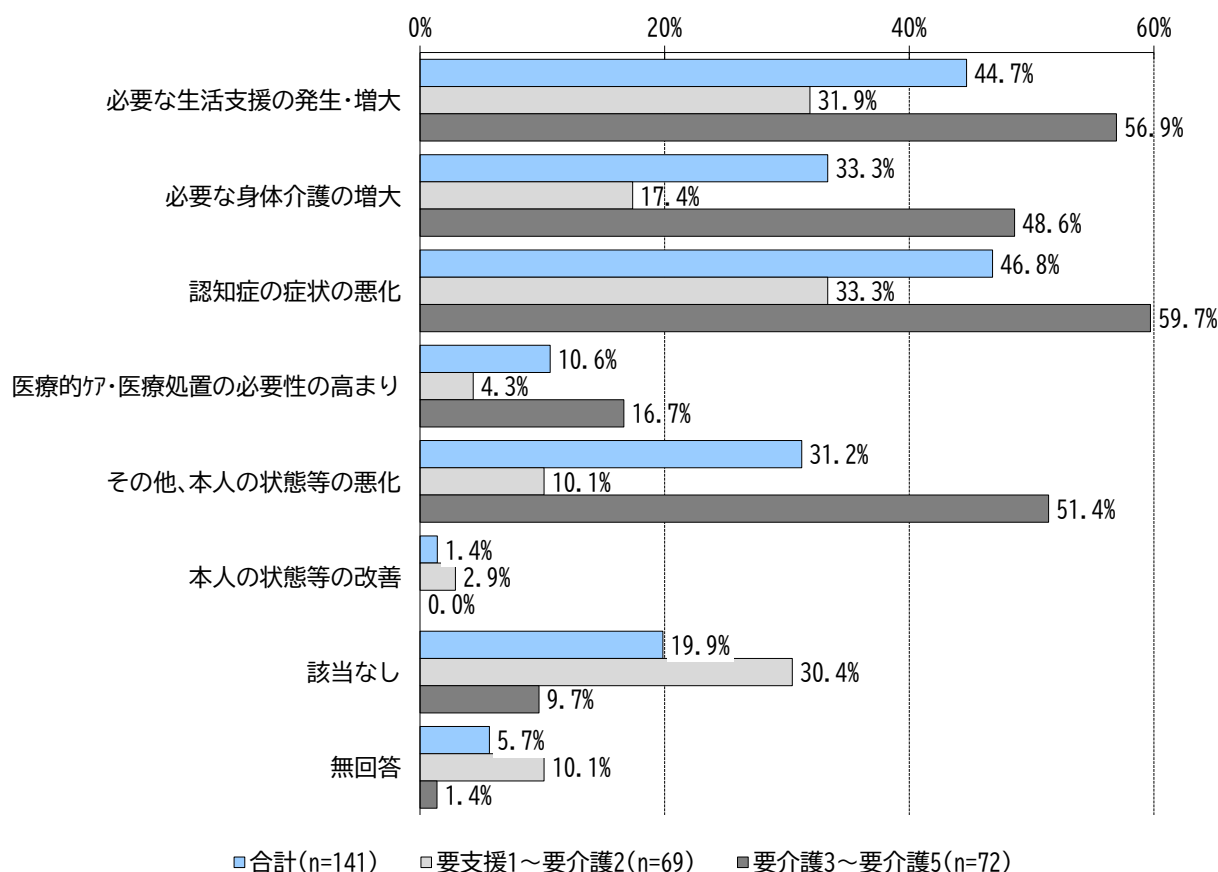
(3) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位	回答数	比率	世帯類型				要介護度	
			独居	夫婦 のみの 世帯	単身の 子ども と同居	その他 世帯	要介護 2 以下	要介護 3 以上
1	27	19.1%	★				★	
2	24	17.0%				★		★
3	20	14.2%	★					★
4	18	12.8%				★	★	
5	16	11.3%			★			★
6	12	8.5%		★			★	
7	11	7.8%			★		★	
8	10	7.1%		★				★
その他	3	2.1%						
合計	141	100.0%						

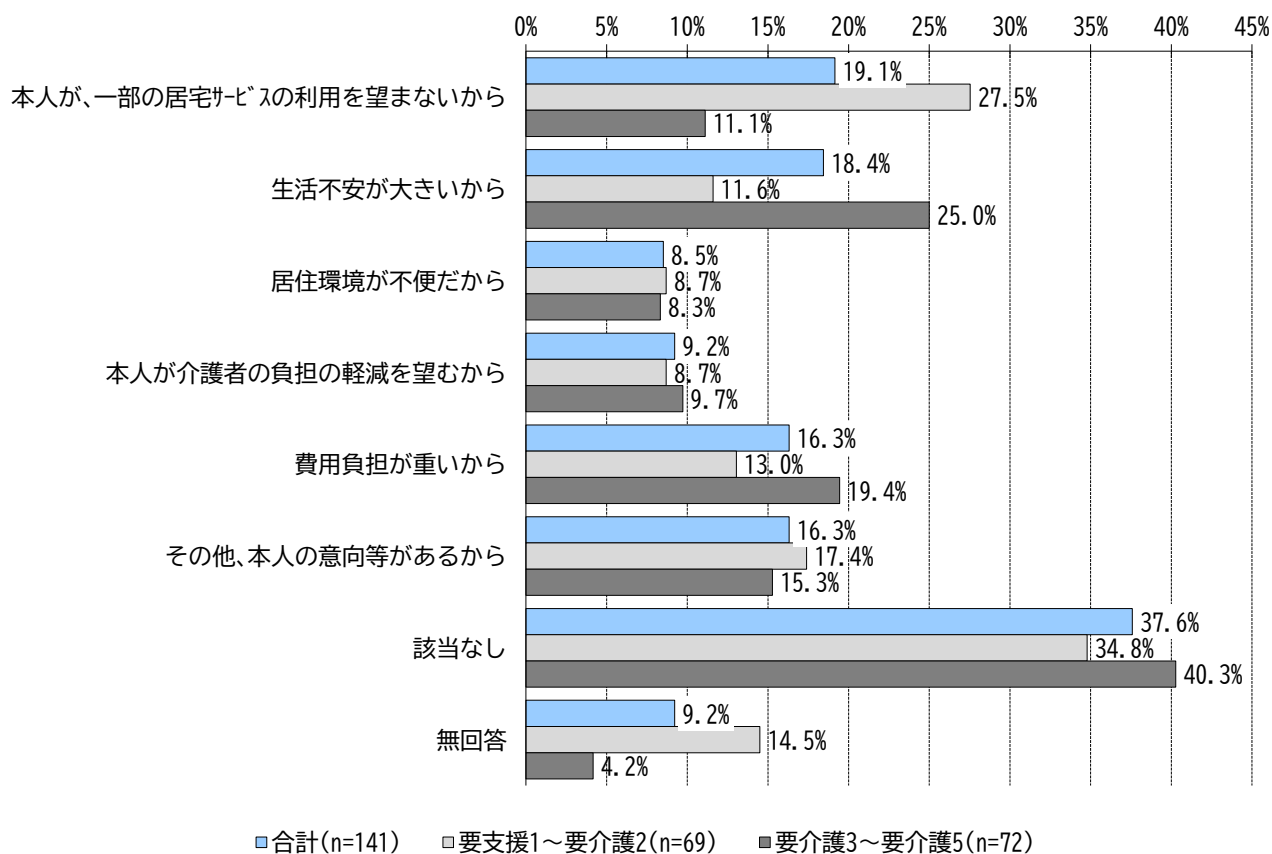
(4) 現在、家族等介護者の負担になっている介護



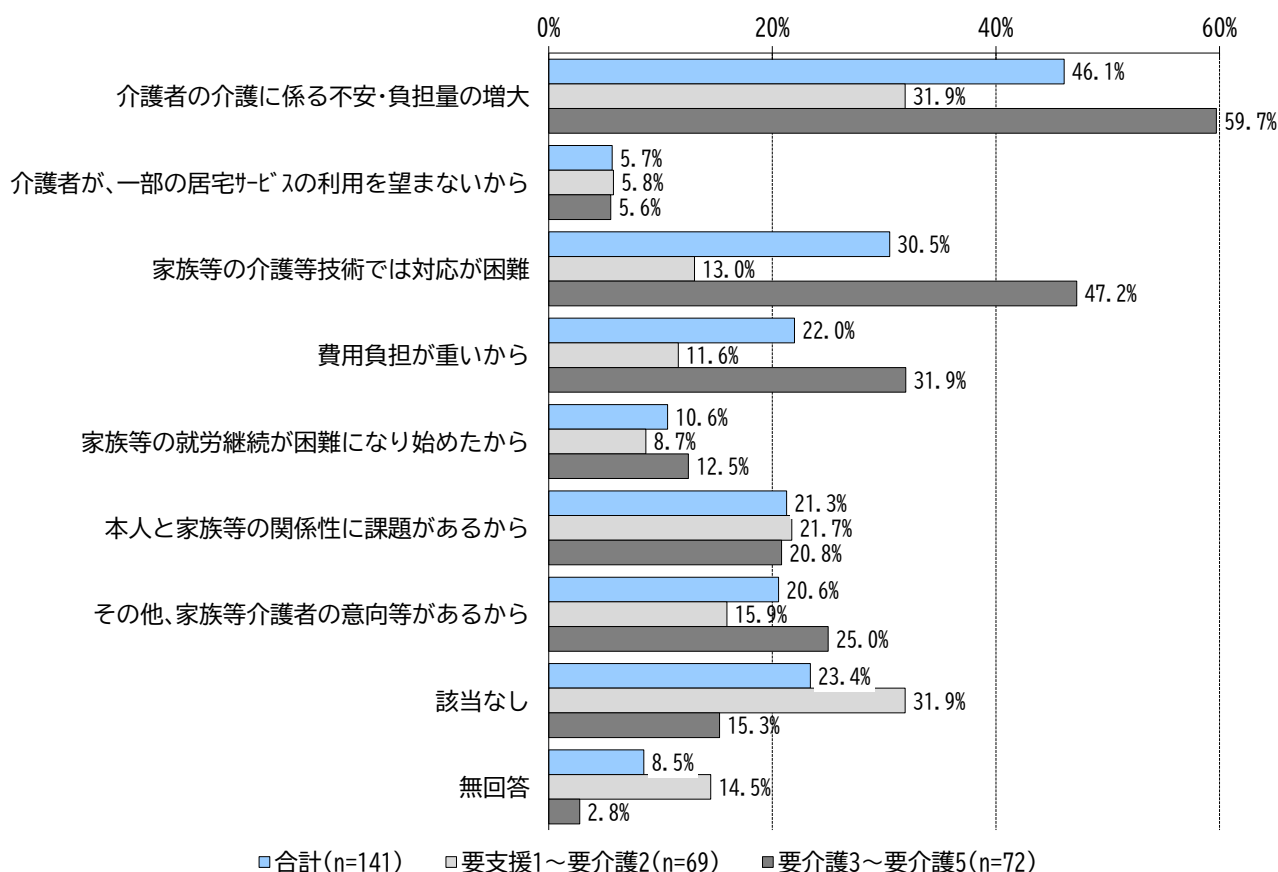
(5) 生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態に属する理由、複数回答）



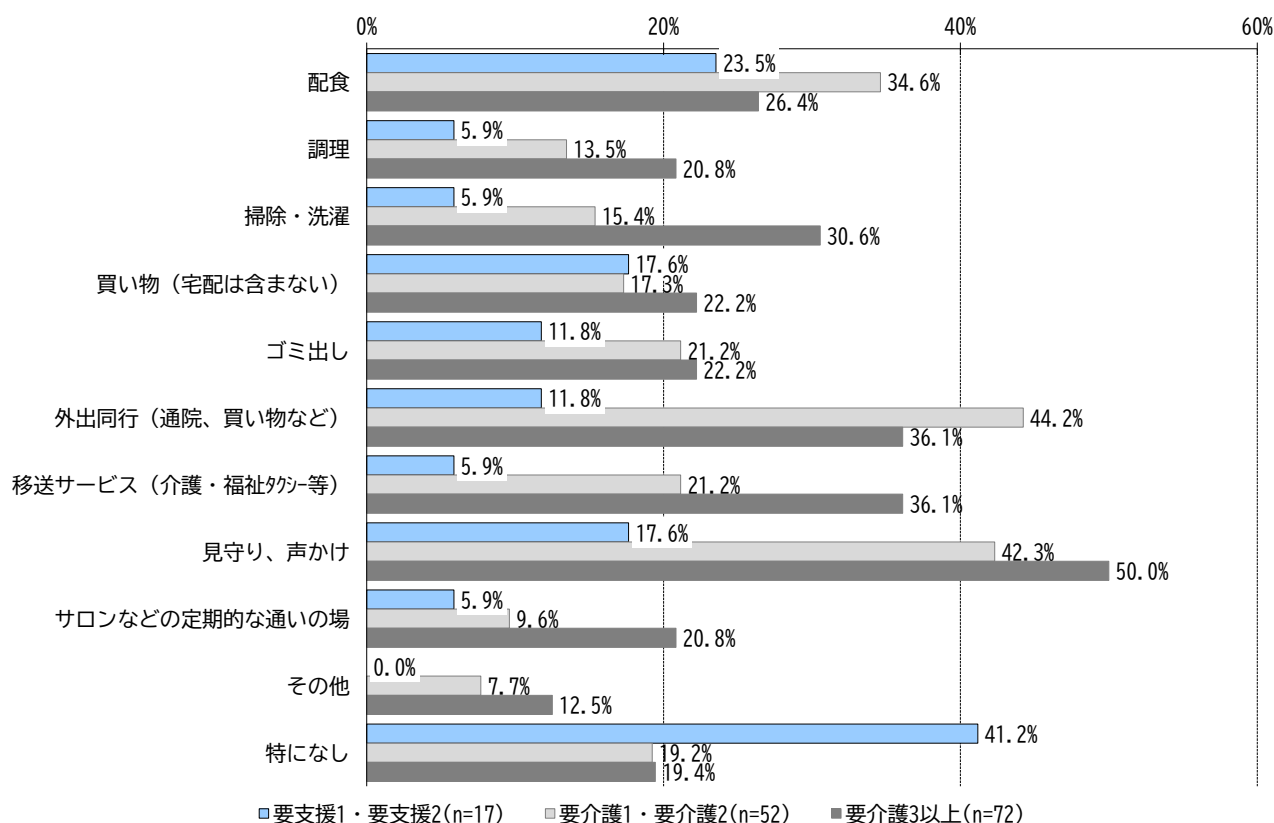
(6) 生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向に属する理由、複数回答）



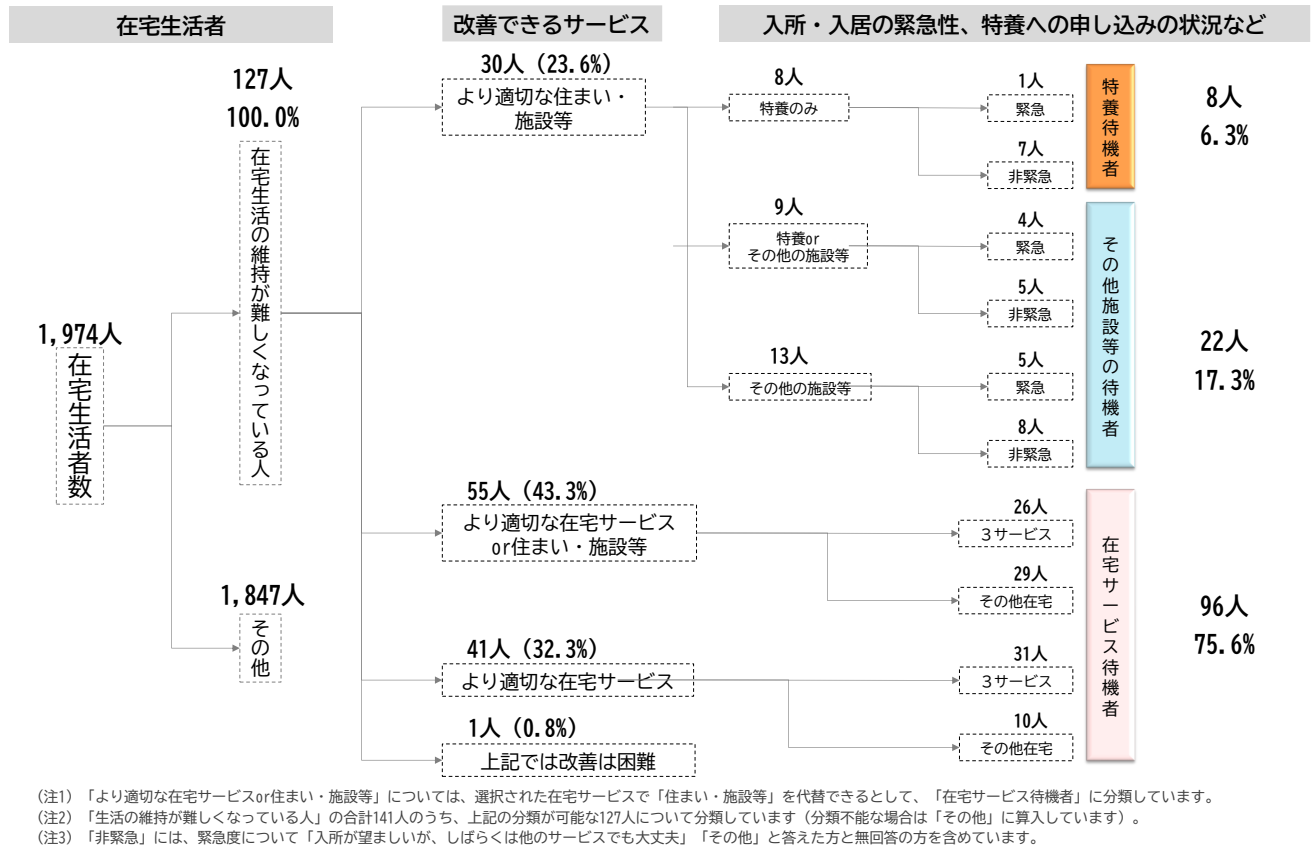
(7) 生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答）



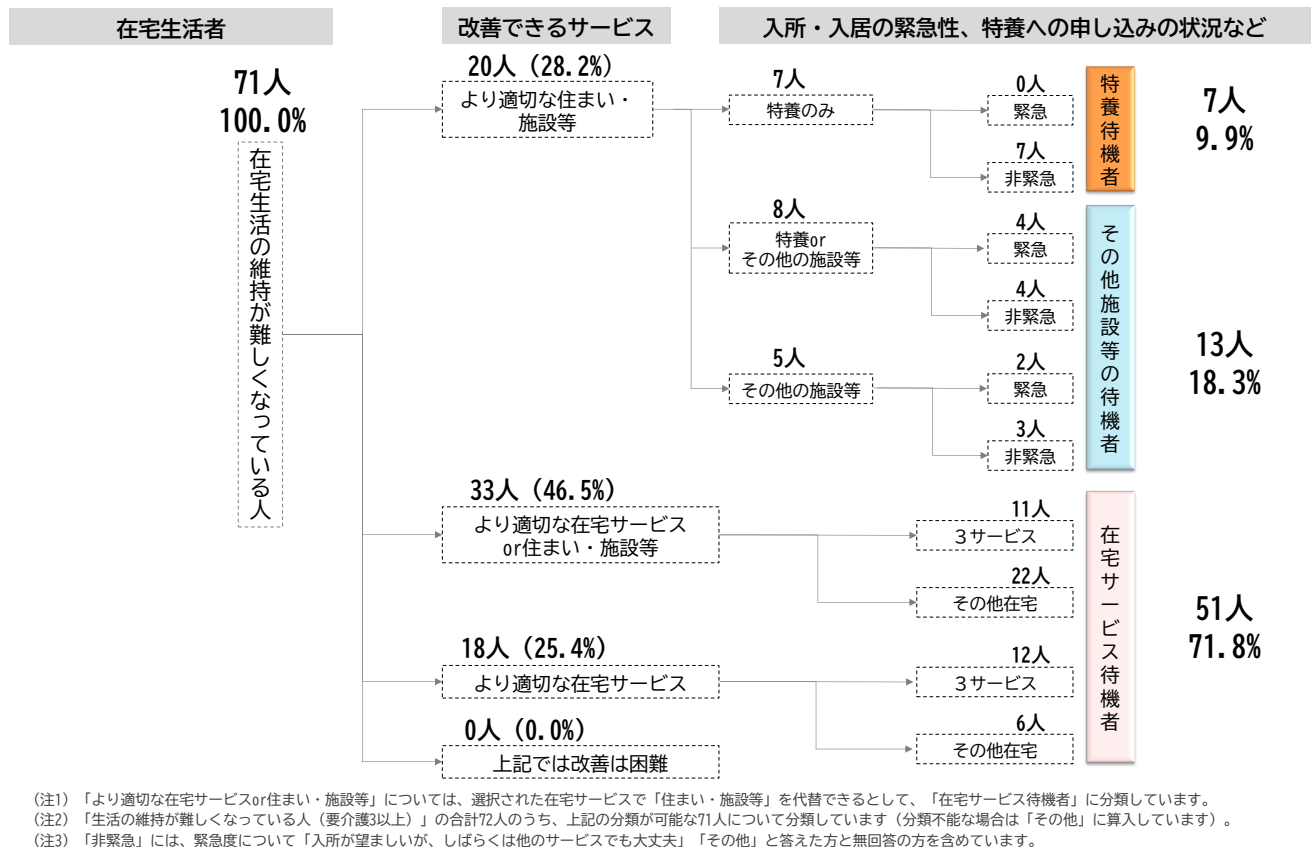
(8) 本人の生活の維持もしくは家族等介護者の就労継続のために、充実が必要な生活支援



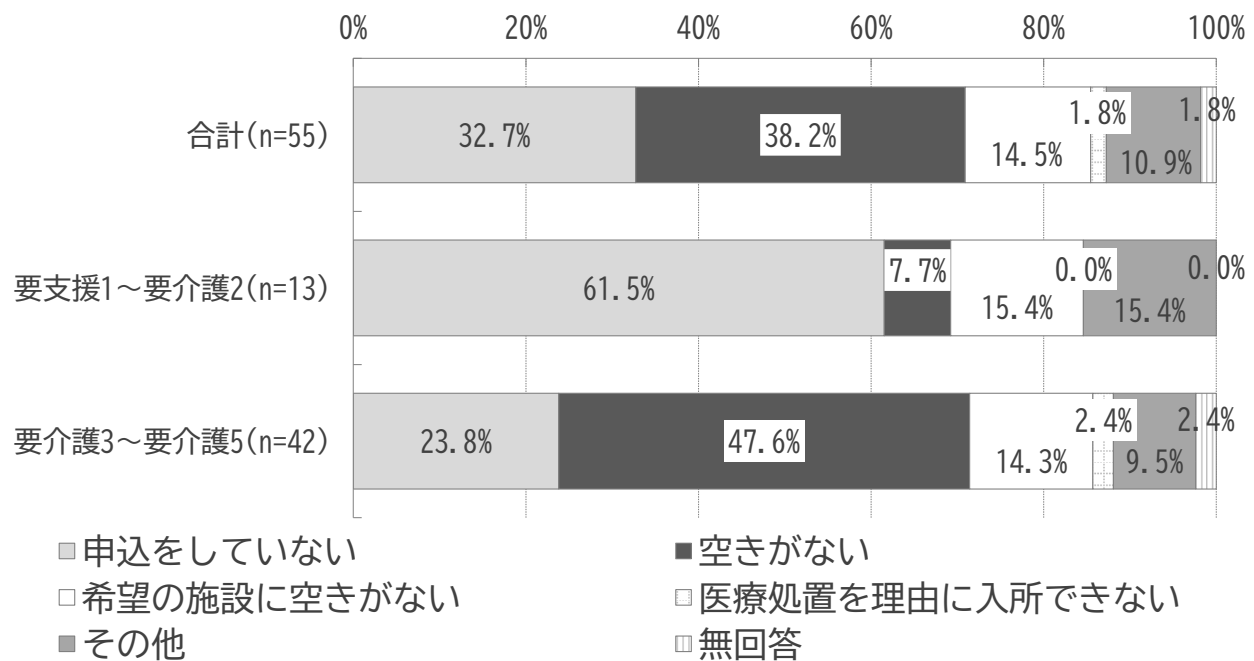
(9) 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(10) 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）

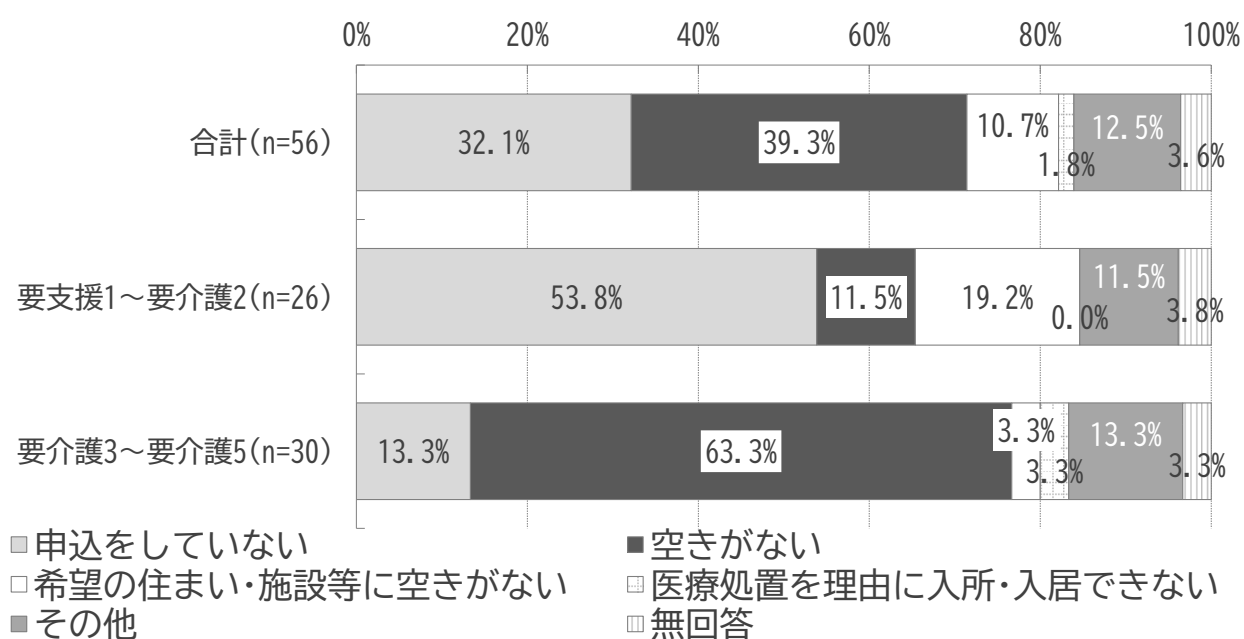


(11) 特養に入所できていない理由（改善に必要なサービスで、特養を選択した人）



	申請をしていない	空きがない	希望の施設に 空きがない	医療処置を 理由に入所 できない	その他	無回答
要支援 1～要介護 2	61.5%	7.7%	15.4%	0%	15.4%	0%
要介護 3～要介護 5	23.8%	47.6%	14.3%	2.4%	9.5%	2.4%
合計	32.7%	38.2%	14.5%	1.8%	10.9%	1.8%

(12) 特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由（改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人）



	申請をしていない	空きがない	希望の施設に 空きがない	医療処置を 理由に入所 できない	その他	無回答
要支援1～要介護2	53.8%	11.5%	19.2%	0%	11.5%	3.8%
要介護3～要介護5	13.3%	63.3%	3.3%	3.3%	13.3%	3.3%
合計	32.1%	39.3%	10.7%	1.8%	12.5%	3.6%

(C票) 居所変更実態調査

調査対象事業所数

1. 住宅型有料老人ホーム	1 事業所	2. 軽費老人ホーム	2 事業所
3. サービス付き高齢者向け住宅	2 事業所	4. グループホーム	7 事業所
5. 特定施設	1 事業所	6. 地域密着型特定施設	1 事業所
7. 介護老人保健施設	3 事業所	9. 特別養護老人ホーム	3 事業所
10. 地域密着型特別養護老人ホーム	1 事業所	合計	21 事業所

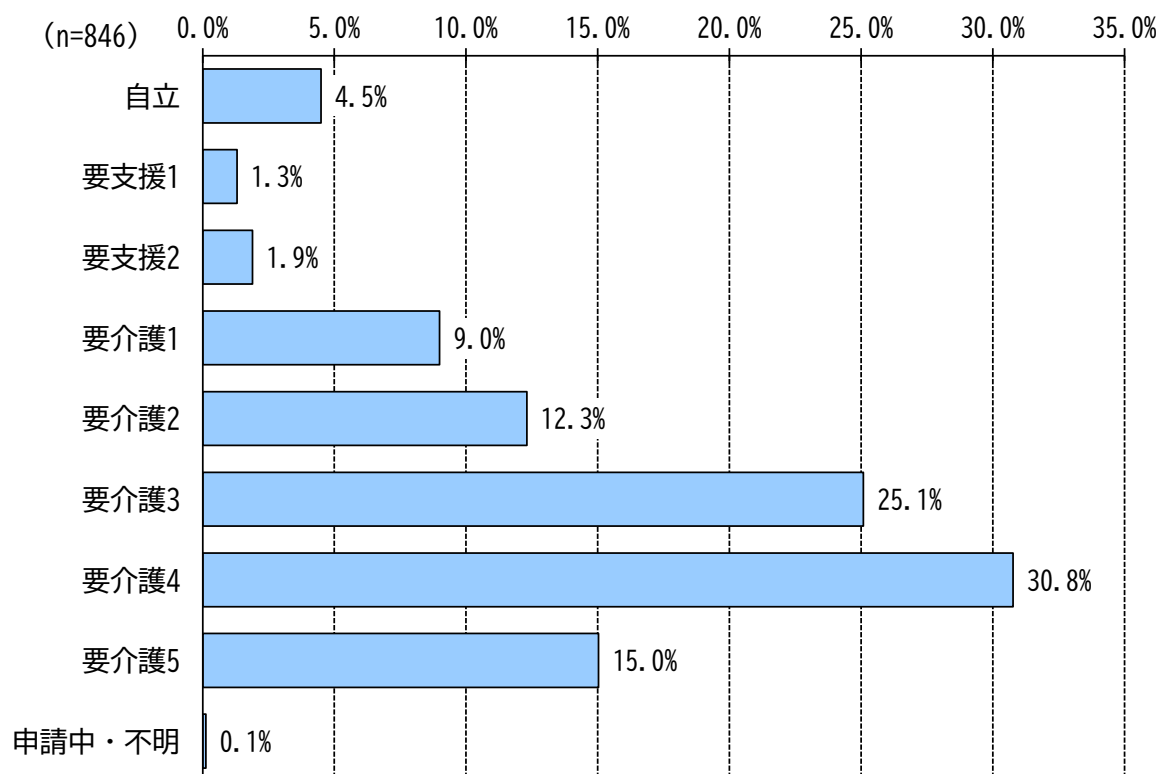
問2 施設等の概要

サービス種別	定員数等	入居者数	待機者数	特養申込者数
1. 住宅型有料老人ホーム	8	3	0	0
2. 軽費老人ホーム	90	91	6	3
3. サービス付き高齢者向け住宅	59	52	5	2
4. グループホーム	72	71	17	6
5. 特定施設	30	25	3	0
6. 地域密着型特定施設	29	28	2	0
7. 介護老人保健施設	280	269	7	9
9. 特別養護老人ホーム	310	286	791	
10. 地域密着型特別養護老人ホーム	20	20	82	
合計	898	845	—	—

※「待機者数」は複数の施設へ申し込みしている者も多いため、延べ人数となる。

※サービス種別「8. 介護医療院」は市内に該当施設がないため、回答結果から省略しています。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください（数値を記入）



【単位：人】

サービス種別	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計
1. 住宅型有料老人ホーム	0	0	0	0	1	0	1	1	1	4
2. 軽費老人ホーム	24	5	11	26	16	6	2	1	0	91
3. サービス付き高齢者向け住宅	14	6	4	9	3	5	9	2	0	52
4. グループホーム	0	0	0	7	13	20	19	12	0	71
5. 特定施設	0	0	1	9	10	4	1	0	0	25
6. 地域密着型特定施設	0	0	0	2	7	3	9	7	0	28
7. 介護老人保健施設	0	0	0	23	53	91	77	25	0	269
9. 特別養護老人ホーム	0	0	0	0	1	83	138	64	0	286
10. 地域密着型特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	5	15	0	20
合計	38	11	16	76	104	212	261	127	1	846

問4 医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。(あてはまる項目全てに○)

1) 点滴の管理	6
2) 中心静脈栄養	2
3) 透析	5
4) ストーマの処置	12
5) 酸素療法	12
6) レスピレーター	0
7) 気管切開の処置	0
8) 疼痛の看護	5
9) 経管栄養	6
10) モニター測定	1
11) 褥瘡の処置	16
12) カテーテル	9
13) 喀痰吸引	6
14) インスリン注射	6
15) 上記に対応可能な医療処置はない	4

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。

問4の医療処置を受けている入所・入居者の合計	67 人
------------------------	------

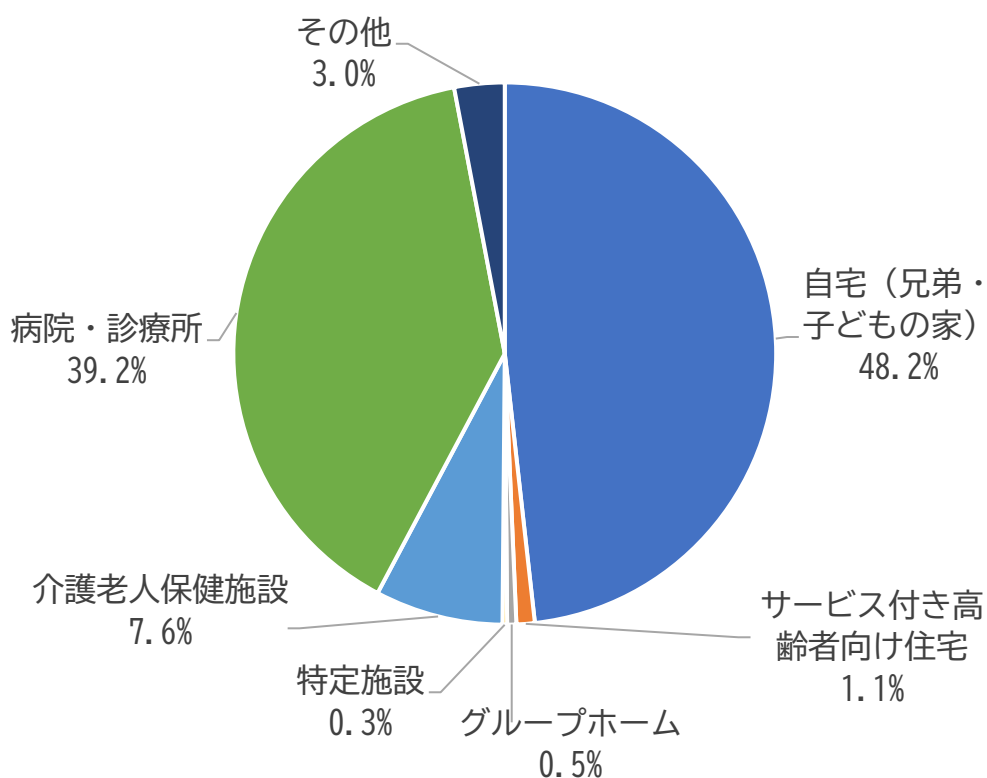
ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問6 過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に、貴施設に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※貴施設などに入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設に戻った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）	367 人
----------------	-------

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。



項目	市内	市外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	146 人	31 人
2) 住宅型有料老人ホーム	0 人	0 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	0 人	0 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	2 人	2 人
5) グループホーム	1 人	1 人
6) 特定施設	1 人	0 人
7) 地域密着型特定施設	0 人	0 人
8) 介護老人保健施設	24 人	4 人
9) 介護医療院	0 人	0 人
10) 特別養護老人ホーム	0 人	0 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	0 人	0 人
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）	116 人	28 人
13) その他	6 人	5 人
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない	0 人	
合計	296 人	71 人

参考：特別養護老人ホーム入所者のみ

項目	市内	市外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	53 人	1 人
8) 介護老人保健施設	15 人	1 人
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）	23 人	7 人
13) その他	2 人	1 人
合計	93 人	10 人

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

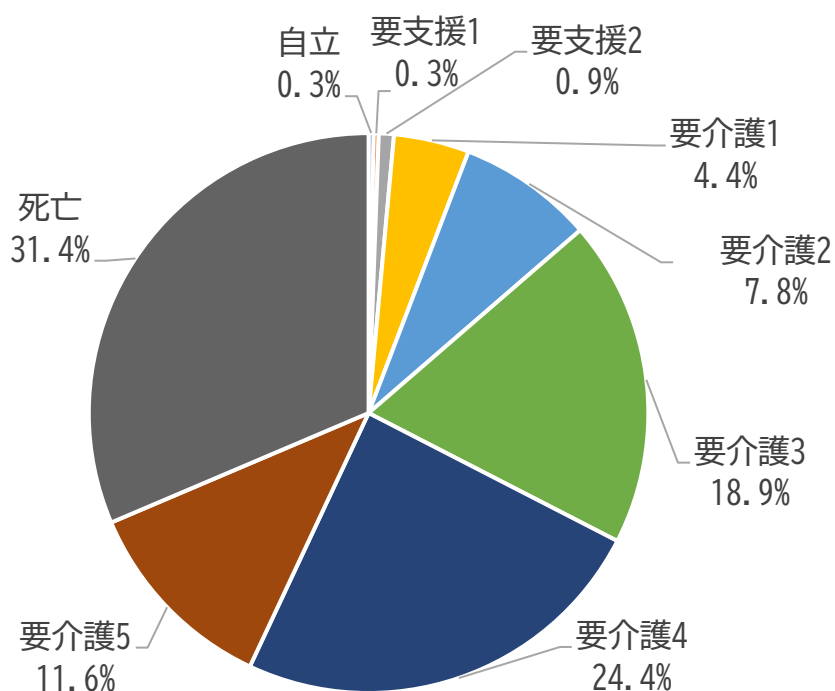
問8 過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）

344 人

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。



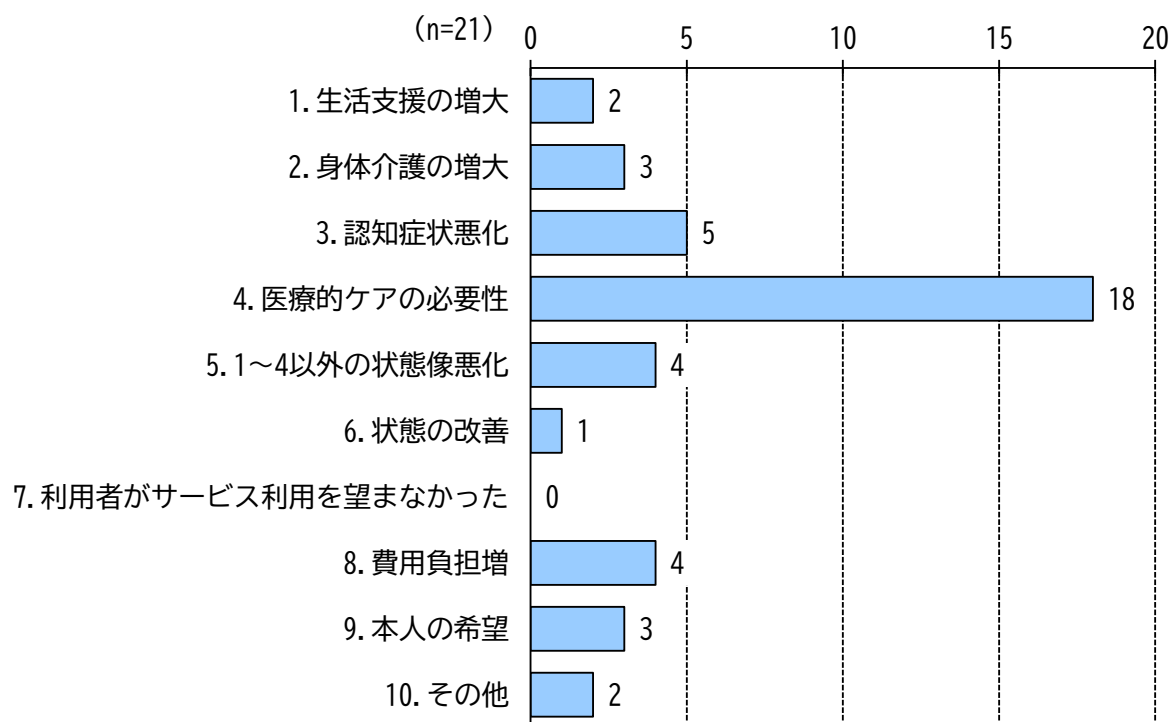
自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3
1 人	1 人	3 人	15 人	27 人	65 人
要介護 4	要介護 5	申請中・不明	死亡	合計	
84 人	40 人	0 人	108 人	344 人	

問１０ 問８でご記入いただいた過去１年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

項目	市内	市外
１）自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	27 人	13 人
２）住宅型有料老人ホーム	0 人	0 人
３）軽費老人ホーム（特定施設除く）	1 人	0 人
４）サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	1 人	0 人
５）グループホーム	7 人	1 人
６）特定施設	0 人	0 人
７）地域密着型特定施設	0 人	0 人
８）介護老人保健施設	6 人	2 人
９）介護医療院	0 人	0 人
10) 病院・診療所（上記「９」を除く）	96 人	39 人
11) 特別養護老人ホーム	23 人	12 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	0 人	1 人
13) その他	0 人	0 人
14) 行先を把握していない	0 人	
15) 死亡（※搬送先での死亡を含む）	115 人	
合計	344 人	

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。（3つまでに○）



退去理由	回答数	内訳（再掲）		
		特養	老健	その他
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	2			2
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	3			2
3) 認知症の症状が悪化したから	5			4
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	18	3	3	12
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	4	2	1	1
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	1		1	
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	0			
8) 費用負担が重くなったから	4			4
9) 本人が希望したから	3		1	2
10) その他	2		1	1

Ⅲ 調査票



介護予防・
日常生活圏域
ニーズ調査
【調査票】

調査ご協力のお願い

日頃から、本市の高齢者福祉に対しまして、ご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、このたび銚子市では、市内在住の65歳以上の介護認定を受けていない方、及び要支援1・要支援2の認定をされた方から無作為に抽出し、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施することといたしました。

この調査は、皆様の生活状況や社会参加状況を把握することで、地域の抱える課題を推測し、今後の高齢者福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と新たな介護保険事業計画策定のために役立てさせていただくものです。

ご回答いただきました内容は、全て統計的に処理いたします。

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、令和8年1月23日(金)までに投函してください。

令和8年1月

銚子市長 越 川 信 一

問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助をしていますか。(いくつでも)

1. 親（父・母） 2. 配偶者（夫・妻） 3. 障害のある子ども
4. 兄弟・姉妹 5. その他（ ）

(3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(3) において「1. 介護・介助は必要ない」の方のみ】

① 将来的に介護・介助が必要になった場合、介護・介助をしてくれる人はいますか。
(1つに○)

1. いる（続柄等） 2. いない

【(3) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

② 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 ()
15. 不明

【(3) において「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】		
③ 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他()	
(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
(5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)		
1. 持家(一戸建て)	2. 持家(集合住宅)	
3. こうえいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅	4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅(一戸建て)	
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅(集合住宅)	6. 借家	
7. その他		

問2	からだを動かすことについて
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)	
1. 何度もある	2. 1度ある 3. ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)	
1. とても不安である	2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)		
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし		
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
① 噛み合わせは良いですか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つに○)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4	毎日の生活について
(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)	
1. はい	2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 役所や病院などに出す書類が書けますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(10) 新聞を読んでいますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(11) 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(13) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(15) 病人を見舞うことができますか。(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。(1つに○)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか。(1つに○)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 就労について
(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)
1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤 (フルタイム) 4. 非常勤 (パート・アルバイト等) 5. 自営業 6. 求職中 7. その他
【(1) において「2. 引退した」の方のみ】 ① あなたはいつ引退しましたか
1. 昭和 年 2. 平成 年 3. 令和 年

問7 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 () 8. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 () 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしつづける人を教えてください。(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他	
7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つに○) 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。		
1. 0人 (いない)	2. 1～2人	3. 3～5人
4. 6～9人	5. 10人以上	
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他	8. いない

問8 日常生活での困りごとについて

(1) 地域で何らかの日常生活上の支援を必要としている高齢者への手助けについて、あなたの考えに近いものはどれですか。(1つに○)

1. できる範囲で手助けしたい
2. 手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない
3. 手助けしたいが、余裕がない
4. 近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける
5. 手助けは市役所や社会福祉協議会など公的機関がするものである
6. 手助けしたくない
7. その他（ ）

(2) 近所の人に手助けしてほしいことは何ですか。(いくつでも)

1. 買い物
2. ゴミ出し
3. 食事や清掃・洗濯の手伝い
4. 家のまわりの清掃
5. 電球の交換
6. 家の中の修理
7. 話し相手・安否確認の声かけ
8. 通院や外出の送迎
9. 市役所などの手続き支援
10. 災害時の避難支援
11. その他（ ）
12. 個人情報を知られたくないので頼まない
13. 今は自身で対応できているので不要

(3) 近所の人に頼まれたとき、手伝ってあげることができることは何ですか。
(いくつでも)

1. 買い物
2. ゴミ出し
3. 食事や清掃・洗濯の手伝い
4. 家のまわりの清掃
5. 電球の交換
6. 家の中の修理
7. 話し相手・安否確認の声かけ
8. 通院や外出の送迎
9. 市役所などの手続き支援
10. 災害時の避難支援
11. その他（ ）
12. 手伝えることがない
13. 手伝いたくない

(4) 食品や日用品など生活必需品の買い物はどのようにしていますか。(いくつでも)	
1. 徒歩圏内にある小売店で買っている(コンビニ含む)	
2. 大規模店で買っている	3. 移動販売を活用している
4. 買い物代行の利用(家族・知人含む)	5. 宅配(生協などのグループ購入含む)
6. 宅配(ネット注文)	7. その他()

問9	健康について
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)	
1. とてもよい	2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つに○) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○をしてください)	
とても不幸 とても幸せ 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点	
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(5) お酒は飲みますか。(1つに○)	
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない
(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)	
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)		8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()
(8) 健康管理や介護予防、認知症予防のために、何か取り組んでいることがありますか。(いくつでも)		
1. 水分をとる	2. 食生活に気をつける	3. 便秘にならない
4. 運動する	5. きめられた受診、服薬を守る	
6. 不安に思った時は主治医に相談する		7. 健康診査を受ける
8. その他 ()		9. 特になし
(9) フレイルという言葉を知っていますか。(1つに○)		
1. 知っている	2. 知っているが意味は分からない	3. 知らない
(10) 銚子プラチナ体操を知っていますか。(1つに○)		
1. 知っている	2. 知らない	

問 10	これからの生き方や市の取組について	
(1) 今後、あなた自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)		
1. 自宅で家族などを中心に介護してもらいたい 2. 自宅で介護サービスや福祉サービスを活用したい 3. 特別養護老人ホームや病院などに入所(入院)したい 4. 住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居したい 5. その他()		
(2) 最期をどのように迎えたいか家族と話し合いをしていますか。(1つに○)		
1. 話し合っている(これから話し合う予定) 2. 話し合っていない 3. 話し合う人がいない 4. 話し合う必要性がない		
(3) 最期を迎える場所はどこを希望しますか。(1つに○)		
1. 自宅 2. 病院 3. 施設 4. その他()		
(4) エンディングノート(終活ノート)を活用していますか。(1つに○)		
1. 活用している 2. 活用していない		
(5) 地域包括支援センター(総合相談窓口、高齢者の介護予防のお手伝い)をご存じですか。(1つに○)		
1. 知っている 2. 知らない		
(6) 地域のサービスをまとめた情報冊子「ちょーぴーのやさしさ便利帳」を配布していますが、ご存じですか。(1つに○)		
1. 知っている 2. 知らない		

問 11 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症について、どのように理解していますか。(いくつでも)

1. 脳の病気が原因の症状である
2. 認知症と物忘れは異なる
3. 認知症は治らないので、受診や治療は必要ない
4. お薬や対応の仕方で進行を遅らせることができる
5. 脱水や低栄養（栄養が不足している状態）でも認知症を引き起こすことがある
6. 早期発見・早期受診が大切である
7. わからない
8. その他（ ）

(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問12 認知症に対するイメージについて

(1) あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。
※①～⑤それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
①難しいことでも工夫していきいきと生活 することができる	1	2	3	4
②家族や医療・介護などのサポートを利用 すれば自立した生活を送ることができる	1	2	3	4
③身の回りのことができなくなるため、介 護施設に入ることが必要になる	1	2	3	4
④周りの人に迷惑をかけてしまうことがあ るので、地域で生活することが難しい	1	2	3	4
⑤症状が進行すると何もできなくなってし まう	1	2	3	4

問 13 成年後見制度について

(1) 「成年後見制度」を知っていますか。(1つに○)

1. 聞いたこともないし、制度も知らない
2. 聞いたことはあるが、制度のことは知らない
3. 制度は知っているが、利用する必要がない
4. 制度を利用している
5. 制度を利用するための手続き中である
6. 制度を利用したいが、どこに相談したらよいかわからない
7. その他 ()

(2) 成年後見制度の相談先として知っているところはどこですか。(いくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 市役所 | 2. 地域包括支援センター |
| 3. 中核機関 | 4. 法テラス・弁護士相談 |
| 5. 司法書士などの機関への相談 | 6. その他 () |
| 7. わからない | |

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て（表紙を含みます）を
3つ折りにして同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

介護サービス事業所等実態調査

(A票) 介護サービス事業所等実態調査

共通票



銚子市介護サービス事業所等実態調査 共通票

【記入方法】

- ◇ 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字を回答欄（黄色で色付けしている箇所）にご記入ください。（令和7年12月1日現在）
- ◇ 記入後はお手数ですが、この調査票を1月9日（金）までに市高齢者福祉課にメールでご提出ください。
- ◇ 「その他」を選択された場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ◇ 本調査は事業所ごとに回答をお願いしています。問22及び問23以外は回答者（管理者等）の考えや意見として回答してください。

事業所名	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	
この調査票を記入した日	令和 年 月 日

1 貴事業所について

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つを選択）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 施設・居住系サービス※1 | 2. 通所系サービス※2 |
| 3. 訪問系サービス※3 | 4. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 6. 居宅介護支援 |
| 7. 地域包括支援センター | |

※1 施設・居住系サービス…特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム

※2 通所系サービス…通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護

※3 訪問系サービス…訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護

問1 回答欄（1つを選択）

問2 貴事業所（問1で選択したサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数		人	左記のうち常勤職員		人
			左記のうち非常勤職員		人
外国人職員数		人	派遣社員数		人

問3 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(1つを選択)

1. はい ⇒問4へ 2. いいえ ⇒問5へ

問3 回答欄(1つを選択)

【問3で「1. はい」と答えた事業所におたずねします】

問4 過去1年間(令和6年12月1日～令和7年11月30日)の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。(数値を記入)

	採用者数		離職者数	
常勤職員		人		人
非常勤職員		人		人
合計		人		人

2 地域との関わりについて

問5 貴事業所では、委託型地域包括支援センターとどのような連携をとっていますか。(複数選択可)

1. 地域支援事業での連携
2. 介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談
3. 地域における介護支援専門員のネットワーク
4. 支援困難事例についての個別指導・相談
5. 支援を必要とする高齢者の早期発見・情報共有
6. 高齢者虐待についての相談や情報交換など
7. 成年後見制度などの権利擁護の相談
8. その他 ()
9. 特になし

問5 回答欄(複数選択可)

※「8. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

3 事業所運営について

問6 貴事業所では、要医療、認知症、障害等を有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。(複数選択可)

1. 専門スタッフを配置している
2. 専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている
3. 人材の募集・確保を図っている
4. 特段の対応は図っていない
5. その他 ()

問6 回答欄(複数選択可)

※「5. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問7 貴事業所では、要介護者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要と考えますか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 現行のサービス供給量の拡大 | 2. 利用者本人の自立生活志向を高める支援 |
| 3. 介護者の身体的・精神的負担軽減 | 4. 地域保健福祉関係機関との連携 |
| 5. 訪問診療可能なかかりつけ医の存在 | 6. 新サービスの創設 |
| 7. その他 () | |

問7 回答欄(複数選択可)

※「7. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問8 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることがありますか。(複数選択可)

- | |
|--|
| 1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている |
| 2. 訪問診療や往診の依頼をしている |
| 3. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している |
| 4. 提携病院があり、入院を受け入れてもらっている |
| 5. 職員への研修講師などをお願いしている |
| 6. ケースカンファレンスへの参加、または、必要な意見(書面や電話等により)を求めている |
| 7. 医療情報(検査結果や治療方針)を把握している |
| 8. 緊急時の対応 |
| 9. 法人内で医療機関も経営しており、連携している |
| 10. その他 () |
| 11. 特にない |

問8 回答欄(複数選択可)

※「10. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問9 医療機関との主な連携手段は何ですか。(複数選択可)

- | | | | | |
|-------|-------|--------------|--------|--------|
| 1. 面談 | 2. 電話 | 3. LoGo チャット | 4. メール | 5. FAX |
|-------|-------|--------------|--------|--------|

問9 回答欄(複数選択可)

問10 事業を運営する上での課題は何ですか。(5つまで選択可)

1. 新規利用者の獲得が困難・他のサービス事業所との競争が激しい
2. 利用者1人あたりの利用量が少ない
3. 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない
4. 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない
5. 介護以外の生活問題などへの対応
6. 利用者からの苦情や事故への対応
7. 訪問や送迎が非効率（エリアが広い等）
8. 入居者の認知症が重度化した場合の対応
9. スタッフの確保
10. スタッフの人材育成や責任者など中堅人材の確保・育成
11. 他職種との連携
12. 医療機関との連携
13. 介護報酬が低い
14. その他（ ）
15. 特に課題はない

問10 回答欄(5つまで選択可)

※「14. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

4 人材の確保・育成について

問11 貴事業所において、特に不足する職種は何ですか。(複数選択可)

1. サービス提供責任者
2. 主任介護支援専門員
3. 介護支援専門員
4. ホームヘルパー（初任者研修・1級・2級修了者）
5. 介護職（ヘルパー及び介護福祉士以外）
6. 保健師
7. 看護師・准看護師
8. 社会福祉士
9. 介護福祉士
10. 理学療法士
11. 作業療法士
12. 事務職員
13. 栄養士
14. 相談員
15. 機能訓練指導員
16. その他（ ）

問11 回答欄(複数選択可)

※「16. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問12 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(3つまで選択可)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 人材育成のための時間や研修を受講させる人的な余裕がない | 3. 職員の自己啓発への意欲が低い |
| 2. 人材育成のための費用に余裕がない | 5. 指導をできる人材が少ない、または、いない |
| 4. 事業者や法人が人材教育に熱心ではない | 7. その他 |
| 6. 育成してもすぐに辞めてしまう | () |
| 8. 特になし | |

問12 回答欄(3つまで選択可)

※「7. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問13 認知症ケアで難しく感じることにについてお答えください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 家族の認知症理解促進 | 2. 当事者の強みを引き出す支援 |
| 3. 本人家族を含む交流の場の創出 | 4. 症状に応じたサービスの案内(受入先に困る) |
| 5. その他 () | |

問13 回答欄(複数選択可)

※「5. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問14 ICT機器や介護ロボットの導入に関する課題は何ですか。もしくは ICT機器や介護ロボットを導入していない理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 導入・運用に関するコスト負担が大きい | 2. 有効性を感じない(期待できない) |
| 3. 機器の誤作動が不安 | 4. 利用者の安全面に不安 |
| 5. 機器の操作が難しい | 6. 職員の安全面に不安 |
| 7. 機器に関する情報が少ない | 8. 研修や使い方の周知が必要 |
| 9. 機器のメンテナンスが大変 | 10. 機器を活用した業務改善が必要 |
| 11. その他 () | |

問14 回答欄(複数選択可)

※「11. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問15 令和5年4月に開始されたケアプランデータ連携システムの導入状況についてお答えください。(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 導入している | 2. 存在は知っており、今後導入を予定している |
| 3. 存在を知っているが、導入の予定はない | 4. 存在を知らない |

問15 回答欄(1つを選択)

【問15で「3. 存在を知っているが、導入の予定はない」と答えた事業所におたずねします。】

問16 ケアプランデータ連携システムを導入しない理由についてお答えください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------------|--------------|------------|
| 1. 導入費及びランニングコストの工面 | 2. 導入の効果に疑問 | 3. 職員の理解不足 |
| 4. 操作習得に時間が必要 | 5. サービス低下を懸念 | |
| 7. その他 () | | |

問16 回答欄(複数選択可)

※「7. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

問17 令和4年度から銚子市介護職員初任者研修等費用補助金を支給していますが、この事業をご存知でしたか。

(1) 当該事業をご存知ですか（1つを選択）	(2) 介護人材の確保に役に立つと思いますか（1つを選択）	(3) 役に立たない理由は何ですか（複数選択可）※(2)で「3」「4」を選択した時に回答
1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 対象者の範囲が狭い 2. 要件を満たさない職員が多い 3. 資格があっても定着しない 4. 対象外の事業所である 5. その他（ ）
回答欄	回答欄	回答欄

※「5. その他」を選択した方は（ ）内にご記入ください。

問18 介護人材の確保・定着・育成のために行政（国・県・市）に取り組んで欲しいことは何ですか。（複数選択可）

1. 若年者（小学生～大学生等）への介護に関する仕事の啓発 2. 介護を知るための体験型のイベント等の開催 3. 潜在（現在働いていない）有資格者の人材登録、マッチング支援 4. 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施 5. 外国人介護人材の受け入れ環境整備の支援 6. 介護ロボット・ICTの介護施設・事業所への導入支援 7. 資格取得時の費用負担の充実（介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修以外にも拡大） 8. 知識やスキル向上のための研修や講習会の開催 9. その他（ ） 10. なし

問18 回答欄（複数選択可）

※「9. その他」を選択した方は（ ）内にご記入ください。

5 地域で不足するサービスについて

問19 居宅サービス・地域密着型サービスのうち、銚子市で今後さらに整備が必要（現在不足している）と思われるサービスはどれですか。（複数選択可）

1. （介護予防）訪問介護	2. （介護予防）訪問入浴介護
3. （介護予防）訪問看護	4. （介護予防）訪問リハビリテーション
5. （介護予防）居宅療養管理指導	6. （介護予防）通所介護
7. （介護予防）通所リハビリテーション	8. （介護予防）短期入所生活介護
9. （介護予防）特定施設入居者生活介護	10. （介護予防）認知症対応型共同生活介護
11. （介護予防）認知症対応型通所介護	12. （介護予防）小規模多機能型居宅介護
13. 夜間対応型訪問介護	14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 総合事業（緩和サービス）通所型A	16. 総合事業（緩和サービス）訪問型A
17. 総合事業（短期集中C）	18. 特に必要ない

※総合事業…高齢者が、できるだけ住み慣れた地域で生活を続けられるように、市町村が主体となって提供する介護予防サービス。人員基準や資格要件が緩和されており、地域の実情に応じた柔軟な支援が可能。

問19 回答欄（複数選択可）

問20 施設サービスのうち、銚子市で今後さらに整備が必要(現在不足している)と思われるサービスはどれですか。(複数選択可)

1. 介護老人福祉施設	2. 介護老人保健施設	3. 介護医療院
4. 有料老人ホーム	5. サービス付き高齢者向け住宅	6. 特に必要はない

問20 回答欄(複数選択可)

問21 今後、充実させるべきだと思う介護予防・生活支援サービスはどれですか。(複数選択可)

1. 閉じこもり・うつ予防(交流サロンなど)	2. 認知症予防(認知症カフェなど)
3. 運動器の機能向上(ヨガ・体操教室など)	4. 栄養改善(男の料理教室・みんなの食堂など)
5. 口腔機能向上	6. ゴミ出し支援
7. 移動支援	8. 移動スーパー
9. 住宅改修費の助成(介護未申請)	
10. その他()	

問20 回答欄(複数選択可)

※「10. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

6 新規参入意向について

問22 第10期介護保険事業計画期間(令和9年度～令和11年度)に、新たな事業所を開設する意向がありますか。(1つを選択)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問22 回答欄(1つを選択)

【問22で「1. ある」と答えた事業所におたずねします。】

問23 参入意向があるサービス種類等についておたずねします。

サービス種類	1. 介護サービス ()	
	2. 介護サービス以外* () *サ高住、有料老人ホーム等	
	回答欄(1つを選択)	
定員	人	
日常生活圏域	1. 第1日常生活圏域 2. 第2日常生活圏域 3. 第3日常生活圏域	
	回答欄(1つを選択)	
建物整備区分	1. 新築 2. 増・改築 3. 借家 4. 未定 5. その他 ()	
	回答欄(1つを選択) ※「5. その他」を選択した方は ()内にご記入ください。	
開設見込年度	令和 年度	

※複数の事業所を開設する意向がある場合、次ページの要望・ご意見欄に記載してください。

問24 採用や人材定着に関する課題を自由にご記入ください。

問25 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、自由にご記入ください。

問26 介護保険制度に対する要望・ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

問27 市に対する要望・ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

施設・通所系サービス事業所の方は次のページ(A-9)にお答えください。

訪問系サービス事業所の方は、職員票にお答えください(職員お一人につき1枚)。

【施設・通所サービス事業所におたずねします。】

問28 貴施設等に所属している介護職員全員(非常勤含む。ボランティアの方を除く)について、お答えください。

回答方法	※番号1つ記載				※数値を記入		※番号1つ記載		※番号1つ記載		
設問	(1)資格の取得、研修の修了の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について			
選択肢	1. 介護福祉士 (認定介護福祉士含む) 2. 介護福祉士実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、 または (旧)ヘルパー2級 4. 上記のいずれも該当しない	1. 常勤職員 2. 非常勤職員	1. 男性 2. 女性	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 8. 不明	※残業時間を含む。 休憩時間は除く。 ※週の始まりは事業所ごとに任意の曜日で構いません。	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(7)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機能、雪多機能、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住(特定施設以外) 8. その他の介護サービス ⇒【3. 1～「8.」の場合は(8)へ】 9. 不明 ⇒【回答終了】	1. 現在の施設等と、同一の市区町村内 2. 現在の施設等と、別の市区町村内 3. 不明 1. 現在の施設等と、同一の法人・グループ 2. 現在の施設等と、別の法人・グループ 3. 不明			
	記入例	1	1	1	3	40	時間	2	2	1	2
	01						時間				
	02						時間				
	03						時間				
	04						時間				
	05						時間				
	06						時間				
	07						時間				
	08						時間				
	09						時間				
	10						時間				
	11						時間				
	12						時間				
	13						時間				
14						時間					
15						時間					

※記入欄が足りない場合は行を追加してください。

A 共通票の調査は以上です。

引き続き居宅介護支援事業所・小規模多機能ホーム・地域包括支援センターはB票を、

施設・居住系サービス事業所はC票へのご協力をお願いします。

A 銚子市介護サービス事業所等実態調査 職員票（訪問系）

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む。ボランティア除く）が対象です。

※令和7年12月1日現在の状況について、 の中に、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つ選択）

- | | |
|--|---|
| | 1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）） |
| | 2. 小規模多機能型居宅介護 |
| | 3. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| | 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つ選択）

- | | |
|--|---|
| | 1. 介護福祉士（認定介護福祉士を含む） |
| | 2. 介護福祉士実務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級 |
| | 3. 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級 |
| | 4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない |

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態（1つに○）	 1. 常勤職員	 2. 非常勤職員
2) 性別（1つに○）	 1. 男性	 2. 女性
3) 年齢（1つに○）	 1. 20歳未満	 2. 20代
	 3. 30代	 4. 40代
	 5. 50代	 6. 60代
 7. 70代以上		
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入） ※問1で回答した勤務先における時間	週 時間	★ ※残業時間を含む。 休憩時間は除く。
5) 現在の事業所での勤務年数（1つに○）	 1. 1年以上 →裏面に回答	
	 2. 1年未満 →問4と裏面に回答	

問4 【問3の5）で「2.」と回答された方】現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

- | | |
|--|---|
| | 1. 現在の職場が初めての勤務先 →【裏面に回答】 |
| | 2. 介護以外の職場 →【裏面に回答】 |
| | 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 |
| | 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 |
| | 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス |
| | 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ |
| | 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） |
| | 8. その他の介護サービス |
- 【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

問5 【問4で「3.」～「8.」と回答された方】ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）	 1. 現在の事業所と、同一の市区町村内	
	 2. 現在の事業所と、別の市区町村内	
2) 法人（1つに○）	 1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ	
	 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ	

⇒皆様、裏面も
ご回答ください

職員票（訪問介護員向け）裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

※表面の間3「4」過去1週間の勤務時間（★欄）で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

（例：水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。

※「掃除」には、ゴミ出しも含まれます。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	60	分	20	分	20	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	30	分	0	分	0	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

※自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護を含む

週の合計時間

時間

(B票) 在宅生活改善調査

事業所票

B

在宅生活改善調査 事業所票

【記入方法】

- ◇ 居宅介護支援事業所・小規模多機能ホーム・地域包括支援センターの方に回答をお願いします。
- ◇ 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字を回答欄（黄色で色付けしている箇所）にご記入ください。（令和7年12月1日現在）
- ◇ 「その他」を選択された場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ◇ 記入後はお手数ですが、この調査票を 1月9日（金） までに市高齢者福祉課にメールでご提出ください。

事業所名	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	
この調査票を記入した日	令和 年 月 日

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

(1) 所属するケアマネジャーの人数		人
(2) (3) 以外の「自宅等」にお住まいの利用者数		人
(3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数		人

問2 現在、利用者が利用しているサービスはどれですか。（多いもの3つを選択）

1. (介護予防)訪問介護	2. (介護予防)訪問入浴介護
3. (介護予防)訪問看護	4. (介護予防)訪問リハビリテーション
5. (介護予防)居宅療養管理指導	6. (介護予防)通所介護
7. (介護予防)通所リハビリテーション	8. (介護予防)短期入所生活介護
9. (介護予防)短期入所療養介護	10. (介護予防)福祉用具貸与・販売
11. (介護予防)住宅改修	12. (介護予防)特定施設入居者生活介護
13. (介護予防)小規模多機能型居宅介護	

問2 回答欄(多いもの3つを選択)

問3 利用者が在宅生活を継続するために必要な介護サービス以外のサービスはどれですか。（3つを選択）

1. 配食サービス	2. 紙おむつの給付
3. 緊急通報システム	4. 見守りや声掛け
5. 外出支援（通院・買い物）	6. 認知症カフェ
7. 移送サービス（福祉タクシー・介護タクシー）	8. 介護保険外の安価な家事援助サービス
9. その他（ ）	

問3 回答欄(3つを選択)

※「9. その他」を選択した方は（ ）内にご記入ください。

問4 貴事業所において、過去1年の間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

※ 病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

①自宅等から、居場所を変更した利用者							申請中 ・不明	②自宅等 での死亡	合計★
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			

単位：人

問5 貴事業所において、過去1年の間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ 搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

※ ここでご記入いただいた1)～15)の合計と、問4でご記入いただいた合計人数（★欄）が一致することをご確認ください。

	市（区町村）内		市（区町村）外	
1) 兄弟・子ども・親戚等の家		人		人
2) 住宅型有料老人ホーム		人		人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		人		人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		人		人
5) グループホーム		人		人
6) 特定施設		人		人
7) 地域密着型特定施設		人		人
8) 介護老人保健施設		人		人
9) 介護医療院		人		人
10) 特別養護老人ホーム		人		人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		人		人
12) 病院・診療所 ※一時的な入院を除く		人		人
13) その他		人		人
14) 行先を把握していない				人
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む				人
16) 合計★				人

問6 特別養護老人ホームへの申込者(待機者)数を世帯構成別・要介護度別にご記入ください。

世帯構成	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
独居	人	人	人	人	人	人
うち緊急性が高い者	人	人	人	人	人	人
高齢者のみ	人	人	人	人	人	人
うち緊急性が高い者	人	人	人	人	人	人
家族と同居	人	人	人	人	人	人
うち緊急性が高い者	人	人	人	人	人	人
その他	人	人	人	人	人	人
うち緊急性が高い者	人	人	人	人	人	人
合 計	人	人	人	人	人	人

※「緊急性が高い者」…在宅生活を継続することが困難で直ちに入所が必要な者

問7 問6の申込施設数別の人数をご記入ください。

申込施設数	1 か所	2 か所	3 か所	4 か所	5 か所以上	合 計
人数	人	人	人	人	人	人

問8 上記の待機者が特別養護老人ホームに申し込みをした理由に最も近いもの1つを選択し、その人数を記入してください。

1. 認知症の周辺症状が悪化したため、自宅での生活が困難	人
2. 医療的な処置があり、自宅での介護が困難	人
3. 寝たきり、あるいはそれに近い状態で、自宅での生活が困難	人
4. 介護者がいない、もしくは介護者が病気などで介護できない状態	人
5. 介護が大変で、介護者が負担に感じているため	人
6. 現在はよいが、 <u>本人</u> が今後の在宅生活に不安を感じるため	人
7. 現在はよいが、 <u>家族</u> が今後の在宅生活に不安を感じるため	人
8. 費用負担の抑制が期待できるため	人
9. その他 ()	人

※「9. その他」を選択した方は()内にご記入ください。

※問6, 7, 8の合計は、一致します。

問9 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。
よくあるケースについてお答えください。



ご協力ありがとうございました。

B 在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「アパレル」、「消費サービス」にお住まいの方のうち「現在のカードで利用は、生活の基盤が難しくなっている利用者」もしくは「言葉が介助者の聞き取りが難しくなっている利用者」が対象です。

原則として「個人型介護保険の利用では経済的負担が大きいため、グループホームへの入居により適切と思う方が対象です。」

原則として「個人型介護保険の利用では経済的負担が大きいため、現在、訪問介護の利用では経済的負担があり、定期巡回・回診の利用により適切な利用者」として認定された方に対しては、原則として「個人型介護保険の利用では経済的負担が大きいため、グループホームへの入居により適切と思う方が対象です。」

1.	対象となる利用者の状況等について、お伺いします。
2.	対象となる利用者の主な家族等介護者の状況等について、お伺いします。
3.	現在のサービス利用では、本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労維持が難しくなっている理由等について、お伺いします。
4.	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている状況改善のための、サービスの利用の

[illegible]

(C票) 居所変更実態調査

C 居所変更実態調査

※令和7年12月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

※記入後はお手数ですが、この調査票を1月9日(金)までに市高齢者福祉課にメールでご提出ください。

問1 該当するサービス種別をご回答ください。(1つに○)

	1. 住宅型有料老人ホーム		6. 地域密着型特定施設
	2. 軽費老人ホーム(特定施設除く)		7. 介護老人保健施設
	3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)		8. 介護医療院
	4. グループホーム		9. 特別養護老人ホーム
	5. 特定施設		10. 地域密着型特別養護老人ホーム

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称			
2) 定員数など		(人/戸/室)	
3) 入所・入居者数		人	
4) (貴施設等の) 待機者数		人	
5) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)		人	

※「2)定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

※5)は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。(数値を記入)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。(あてはまる項目全てに○)

※1人でも受け入れが可能であれば、○とご記入ください。

1) 点滴の管理		8) 疼痛の看護	
2) 中心静脈栄養		9) 経管栄養	
3) 透析		10) モニター測定	
4) ストーマの処置		11) 褥瘡の処置	
5) 酸素療法		12) カテーテル	
6) レスピレーター		13) 喀痰吸引	
7) 気管切開の処置		14) インスリン注射	
		15) 上記に対応可能な医療処置はない	

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。(数値を記入)

問4の医療処置を受けている入所・入居者の合計(実人数)	人
-----------------------------	------------------------

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問6 過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に、貴施設等へ新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。（数値を記入）

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計★） 人

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※ 「合計★」と、問6「新規の入所・入居者数（合計★）」が一致することをご確認ください。

※ 一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「12) 病院」を選択してください。

※ 「1) 自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）		
13) その他		
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない		
合計★		

合計人数が一致することをご確認ください

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問8 過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含め
ないでください。

※「死亡」には、「貴施設等で亡くなられた方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含みます。

退去者数（合計）※死亡を含む 人 ☆

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご記入ください。

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②貴施設等での死亡」、
搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」が一致することをご確認ください。

①退去者									②貴施設等 での死亡 ※搬送先での 死亡を含む	合計☆ ※①②の 合計
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・ 不明		

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントして
ください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」、問9の「合計☆」が一致することをご確認ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 病院・診療所（上記「9」を除く） ※一時的な入院は含みません。		
11) 特別養護老人ホーム		
12) 地域密着型特別養護老人ホーム		
13) その他		
14) 行先を把握していない		
15) 死亡（※搬送先での死亡を含む）		
合計☆		

合計人数が一致することをご確認ください

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。(3つまで○)

※死亡した方は除く、退去者についてお答えください。

	3つまで○
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	
3) 認知症の症状が悪化したから	
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	
8) 費用負担が重くなったから	
9) 本人が希望したから	
10) その他	

問12 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。(自由回答)

--

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	
この調査票を記入した日	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

銚子市

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・
介護サービス事業所等実態調査結果報告書

令和8年3月

発行：銚子市

編集：銚子市 高齢者福祉課

〒288-8601

千葉県銚子市若宮町1番地の1

電話（代表）0479-24-8181

